2020(令和2)年度

履修要覧

この履修要覧は卒業するまで大切に扱ってください。 (年度毎には配付しません。)

掲示情報を必ず見ること ――

学生の皆さんへの通知や連絡はすべて 「IC-UNIPA」および掲示により行います。

毎日、必ず、掲示情報を確認してください。 掲示情報を確認しなかったために、思いもか けない不利益を被る場合もありますので、見落 とさないよう十分注意してください。

■学籍番号

学籍番号は入学時に各学生に与えられ、原則として卒業時まで変わりません。 それぞれの数字には下記のような意味があります。

この番号をもとに学内の全ての事務処理が行われますので、覚えておいてくだ さい。

2020 (令和2) 年度入学生の場合

2 5 1 0 0 0 入学年度の 学部学科番号 五十音順の個人番号 (専攻番号) 西暦下 2 桁 15 …文学部現代英語学科 (E科) 131…文学部児童教育学科児童教育専攻 (Pe科) 133…文学部児童教育学科幼児保育専攻 (Pc科) 14 …文学部文化交流学科 (C科) 23 …生活科学部心理福祉学科 (W科) 22 …生活科学部食物健康科学科 (F科) 31 …看護学部看護学科 (N科) 41 …経営学部経営学科 (M科)

_{学籍番号} 20

氏名

【この冊子は】

- ・この冊子には、あなたの大学生活における学修に必要な情報が満載されています。卒業するまで大切に使いましょう。
- ・この冊子は、入学年度毎に変更されています。先輩や後輩が持っている冊子では、あなた の卒業に必要な情報は得られません。
- ・この冊子の内容が訂正される場合があります。その時には様々な手段でみなさんに周知徹 底しますが、みなさんも掲示などによく注意してください。

【この冊子の利用の仕方】

- 1. まず、「履修について」に目を通しましょう。
- 2. 次に「履修要項Ⅰ~Ⅳ を読み自分の学科の卒業要件をしっかりと理解しましょう。
- 3. 表の注やただし書きには、十分留意しましょう。
- 4. 取得したい資格について、理解しましょう。
- 5. 年度毎に配付される「履修登録の手引き」やIC-UNIPAで配信される各種情報と照らし合わせて、履修計画を立てましょう。
- 6. 自分の責任において、目標に合った履修計画を立てましょう。
- 7. あいまいな情報を鵜呑みにしないようにしましょう。
- 8. わからないことがあったら、所属する学科の教務委員の先生、学務部窓口に相談しましょう。

【履修に関する相談窓口】 学務部:11号館1階

履修ガイダンスについて

履修ガイダンスは、毎年、学年・学科ごとに実施されます。重要な説明会なので、必ず出席してください。なお、履修ガイダンス出席に際し、事前に配付された履修要覧を熟読しておくことが大切です。

※ガイダンス等の日時は、掲示、履修登録の手引き等で確認すること。

目 次

履修について 1. 教育日標 17 2. 学位投与方針(ディブロマ・ポリシー) 18 3. 教育課程方針(カリキュラム・ポリシー) 22 4. 投業、単位と卒業要件 30 5. 履修登録 32 6. 投業の履修 34 7. 試験規程 35 8. 科目ナンバリング 41 履修要項 I 文学部 全学教養科目および学科科目の履修 32 2. 投業科日、単位数および履修規程 36 2. 投業科日、単位数および履修規程 36 (1) 全学教養科目 50 (2) 学科科日 50 (2) 学科科日 50 (2) 学科科目 50 (2) 学科科目 50 (2) 学科科目 50 (2) 学科科目 66 (2) 学科科目 66 (2) 学科科目 66 (2) 学科科目 76 (2) 学科科目 76 (2) 学科科目 77 (1) 全学教養科目 44 (2) 学科科目 77 (1) 全学教養科目 58 (2) 学科科目 68 (2) 学科科目 77 (1) 全学教養科目 77 (2) 学科科目 78 (2) 学科科目 78 (2) 学科科目 78 (3) 生活科学部 全学教養科目および学科科目の履修 71 (2) 学科科目 76 (3) 生活科学部食物健康科学科の膨地実習に関わる原修規程 87 (4) 生活科学部食物健康科学科の膨地実習に関わる原修規程 87 (4) 生活科学部食物健康科学科の膨地実習に関わる原修規程 87 (4) 生活科学部食物健康科学科目の服修に関する規程 97 (2) 学科科目 90 (2) 学科科目 90 (2) 学科科目 94 (3) 名語学部 全学教養科目および学科科目の履修 97 (2) 学科科目 94 (4) 全学教養科目 97 (2) 学科科目 94 (4) 全学教養科目 97 (2) 学科科目 98 (2) 学科科目 97 (2) 学科科目 98	大学学則·····	1
2. 学位授与方針 (ディブロマ・ポリシー) 22 3. 教育課程力針 (カリキュラム・ポリシー) 22 4. 授業、単位と卒業要件 30 5. 関係登録 34 7. 試験規程 34 7. 試験規程 35 8. 科目ナンバリング 41 22 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	履修について	
3. 教育課程方針 (カリキュラム・ボリシー) 22 4. 技業、単位と卒業要件 30 6. 投資、関係登録 32 6. 投資の関係 33 7. 試験規程 33 7. 試験規程 33 7. 試験規程 34 7. 試験規程 35 8. 科目ナンバリング 41 2 2 2 2 2 2 2 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2	1. 教育目標	17
4. 投票、単位と卒業要件 30 5. 履修登録 32 6. 投業の履修 34 7. 記錄規程 35 8. 科目ナンバリング 41 履修要項 1 文学部 全学教養科目および学科科目の履修 42 1. 卒業に必要な最低修得単位 43 2. 投業科目、単位数および履修規程 35 以完業計学科 (1) 全学教養科目 46 (2) 学科科目 50 以宣教育学科 見意教育専攻 50 以宣教育学科 90 現保育専攻 50 以宣教育学科 90 限保育専攻 50 以宣教育学科 90 限保育申攻 62 文化交流学科 (1) 全学教養科目 55 (2) 学科科目 56 (2) 学科科目 56 (2) 学科科目 57 (2) 学科科目 70 長衛 70 長衛 70 長衛 70 長衛 70 大学教養科目および学科科目の履修 71 (2) 学科科目 72 (2) 学科科目 73 (2) 学科科目 73 (2) 学科科目 76 (2) 学科科目の履修 77 (2) 学科科目 76 (2) 学科科目 76 (2) 学科科目 76 (2) 学科科目 76 (2) 学科科目の履修 77 (2) 学科科目の履修 87 (1) 全学教養科目および関修規程 87 歴修要項 47 (1) 全学教養科目 52 (2) 学科科目の履修 97 (2) 学科科目 94 (3) 名湾学等音楽学科科目の履修に関する規程 96 歴修要項 41 (1) 全学教養科目 96 歴修要項 42 と対義科目 単位数および服修規程 87 歴修要項 42 経営学科 単位数および服修規程 87 歴修要項 42 経営学科 1 中級数および帰修規程 87		
5. 履修登録 32 6. 技業の服修 34 7. 試験規程 35 8. 科目ナンパリング 41 22 24 22 41 22 41 22 41 22 41 23 41 24 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25		
6. 授業の履修 34 7. 試験規程 35 8. 科目ナンパリング 41 腰修要項 I 文学部 全学教養科目および学科科目の履修 2. 卒業に必要な量低修得単位 43 2. 授業科目、単位数および履修規程 現代英語学科 (1) 全学教養科目の 50 児童教育学科 児童教育専攻 50 児童教育学科 別見電教育専攻 50 児童教育学科 幼児保育専攻 50 児童教育学科 幼児保育専攻 60 (1) 全学教養科目 52 (2) 学科科目 52 (2) 学科科目 52 (2) 学科科目 58 定学教養科目 64 (2) 学科科目 68 歴修要項 I 生活科学部 全学教養科目および学科科目の履修 71 2. 授業科目 4位数および履修規程 72 (2) 学科科目 73 (2) 学科科目 74 (1) 全学教養科目および学科科目の履修 73 (2) 学科科目 73 (2) 学科科目 75 (2) 学科科目 75 (3) 学科科目 75 (4) 学科科目 75 (5) 学科科目 75 (6) 物健康科学科 86 4. 生活科学部食物健康科学科の雄級要件に関する規程 86 4. 生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる履修規程 87 歴修要項		
7. 試験規程 8. 科日ナンバリング 41 履修要項 I 文学部 全学教養科目および学科科目の履修 1. 卒業に必要な最低修得単位 43 2. 授業科目 単位数および履修規程 現代英語学科 (1) 全学教養科目 50 児童教育学科 児童教育専攻 (1) 全学教養科目 50 児童教育学科 別保育専攻 (1) 全学教養科目 56 児童教育学科 幼児保育専攻 (1) 全学教養科目 56 児童教育学科 幼児保育専攻 (1) 全学教養科目 62 文件科目 56 定主教育学科 (1) 全学教養科目 62 文件科目 62 文件交流学科 (1) 全学教養科目 64 (2) 学科科目 68 履修要項 I 生活科学部 全学教養科目および学科科目の履修 71 2. 授業科日、単位数および履修規程 73 (2) 学科科目 75 食物健康科学科 (1) 全学教養科目および学科科目の履修 80 3. 生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる履修規程 87 履修要項 I 看護学部 全学教養科目および学科科目の履修 87 履修要項 I 看護学部 全学教養科目および学科科目の履修 97 2. 授業科目、単位数および履修規程 73 (2) 学科科目 90 (3) 看護学部 全学教養科目および學科科目の履修 97 2. 授業科目 単位数および履修規程 経営学部 全学教養科目の履修 97 2. 授業科目 単位数および履修規程 経営学部 全学教養科目の最修 97 2. 授業科目 単位数および履修規程		
8. 科目ナンバリング 個修要項		
展修要項I 文学部 全学教養科目および学科科目の履修 1. 卒業に必要な最低修得単位 2. 投索科目、甲位数および限修規程 現代交話学科 (1) 全学教養科目 46 (2) 学科科目 50 児童教育学科 児童教育専攻 (1) 全学教養科目 52 (2) 学科科日 56 児童教育学科 効児保育専攻 (1) 全学教養科目 58 (2) 学科科日 62 文化交流学科 (1) 全学教養科目 64 (2) 学科科日 62 文化交流学科 (1) 全学教養科目 58 (2) 学科科目 64 (2) 学科科日 65 医修要項I 生活科学部 全学教養科目および学科科目の履修 1. 卒業に必要な最低修得単位 2. 投索科目、単位数および履修規程 心理編祉学科 (1) 全学教養科目 73 (2) 学科科目 76 食物健康科学科 76 食物健康科学科 80 (2) 学科科目 80 (2) 学科科目の履修 1. 全業に必要な最低修得単位 80 4. 生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる履修規程 87 歴修要項I 看護学部 全学教養科目および学科科目の履修 1. 全業に必要な最低修得単位 2. 投索科目 単位数および履修規程 看護学科 (1) 全学教養科目の履修に関する規程 86 4. 生活科学部食物健康科学科の臨地実習・対科目の履修 1. 全業に必要な最低修得単位 2. 投索科目 90 (2) 学科科目 90 (2) 学科科目の履修に関する規程 96 履修要項N 経営学部 全学教養科目および学科科目の履修 1. 全業に必要な最低修得単位 2. 投索科目 90 (2) 学科科目の履修に関する規程 96		
1. 卒業に必要な最低修得単位 2. 授業科目、単位数および履修規程 現代英語学科 (1) 全学教養科目 46 (2) 学科科目 50 児童教育学科 児童教育専攻 (1) 全学教養科目 56 児童教育学科 幼児保育専攻 (1) 全学教養科目 62 児童教育学科 幼児保育専攻 (1) 全学教養科目 62 文化交流学科 (1) 全学教養科目 64 (2) 学科科目 62 文化交流学科 (1) 全学教養科目 64 (2) 学科科目 71 (2) 学科科目 71 (2) 学科科目 72 (2) 学科科目 73 (2) 学科科目 73 (2) 学科科目 73 (2) 学科科目 76 食物健康科学科 76 食物健康科学科 88 (2) 学科科目 76 食物健康科学科 88 (2) 学科科目 88 (2) 学科科目 76 食物健康科学科 88 (2) 学科科目 76 食物健康科学科 89 (2) 学科科目 80 (3) 生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる履修規程 86 4、生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる履修規程 86 4、生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる履修 89 1、卒業に必要な最低修得単位 90 (2) 学科科目 90 (3) 学科科目の履修 97 足療等項収 経営学部 全学教養科目および学科科目の履修 97 足療等項収 経営学部 全学教養科目および学科科目の履修 97 足療等項収 経営学部 全学教養科目および学科科目の履修 97 (1) 全学教養科目 場位数および服修規程 86 経営学科 1、卒業に必要な最低修得単位 97 (1) 全学教養科目 場位数および服修規程 86		41
2. 授業科目、単位数および服修規程 現代英語学科 (1) 全学教養科目 50 児童教育学科 児童教育専攻 50 児童教育学科 児童教育専攻 55 児童教育学科 児童教育専攻 55 児童教育学科 幼児保育専攻 56 児童教育学科 幼児保育専攻 58 (2) 学科科目 58 (2) 学科科目 58 (2) 学科科目 64 (2) 学科科目 64 (2) 学科科目 64 (2) 学科科目 72 (2) 学科科目 73 (2) 学科科目 73 (3) 全学教養科目および学科科目の履修 71 (1) 全学教養科目 73 (2) 学科科目 73 (2) 学科科目 76 食物健康科学科 (1) 全学教養科目 80 (2) 学科科目 76 食物健康科学科 86 (2) 学科科目 80 (2) 学科科目 86 (2) 学科科目 76 食物健康科学科 87 (1) 全学教養科目 87 (2) 学科科目 88 (2) 学科科目 88 (2) 学科科目 89 (2) 学科科目 80 (3) 生活科学部食物健康科学科の進級要件に関する規程 86 4 生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる履修規程 86 1 卒業に必要な最低修得単位 89 1、卒業に必要な最低修得単位 89 (1) 全学教養科目 90 (2) 学科科目 90 (2) 学科科目 90 (3) 学科科目の履修 97 (4) 全学教養科目 97 (4) 全学教養科目 98		40
現代英語学科 (1) 全学教養科目 46 (2) 学科科目 50 児童教育学科 児童教育専攻 (1) 全学教養科目 52 (2) 学科科目 56 児童教育学科 幼児保育専攻 (1) 全学教養科目 58 (2) 学科科目 58 (2) 学科科目 62 文化交流学科 (1) 全学教養科目 64 (2) 学科科目 64 (2) 学科科目 64 (2) 学科科目 71 (2) 学科科目 67 (3) 学科科目 72 (4) 学科科目 73 (5) 学科科目 73 (2) 学科科目 80 (3) 生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる服修規程 86 (4) 生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる服修規程 86 (4) 生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる服修規程 87 (4) 全学教養科目および慶修規程 89 (5) 全学教養科目および慶修規程 89 (6) 生活教学部 全学教養科目および学科科目の履修 96 (6) 産務要項N 経営学科 99 (6) 全学教養科目 99 (7) 全学教養科目 99		43
(1) 全学教養科目 46 (2) 学科科目 50 児童教育学科 児童教育専攻 50 児童教育学科 児童教育専攻 55 児童教育学科 幼児保育専攻 56 児童教育学科 幼児保育専攻 56 児童教育学科 幼児保育専攻 56 児童教育学科 幼児保育専攻 62 文化交流学科 64 (2) 学科科目 64 (2) 学科科目 64 (2) 学科科目 64 (2) 学科科目 77 (2) 授業科目、単位数および履修規程 77 (1) 全学教養科目 76 食物健康科学科 77 (1) 全学教養科目 76 食物健康科学科 80 (2) 学科科目 76 食物健康科学科 80 (2) 学科科目 80 (2) 学科科目 80 (2) 学科科目 80 (2) 学科科目 80 (2) 学科科目の履修 87 展修要項面 看護学部 全学教養科目および学科科目の履修 87 歴修要項面 看護学科 60 (2) 学科科目 80 (2) 学科科目 80 (2) 学科科目 80 (3) 学科科目 80 (4) 生活科学部食物健康科学科の進級要件に関する規程 86 (4) 生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる履修規程 87 歴修要項面 看護学部 全学教養科目および学科科目の履修 89 (2) 学科科目の履修に関する規程 86 (3) 全学教養科目 90 (2) 学科科目の履修に関する規程 89 (3) 全学教養科目 90 (2) 学科科目の履修に関する規程 96 歴修要項N 経営学科 90 (3) 学科科目の履修に関する規程 96 歴修要項N 経営学科 99 歴修要項N 経営学科 2学教養科目および院修規程 82 と 授業科目、単位数および履修規程 82 と 授業科目、単位数および履修規程 82 と 投業科目、単位数および履修規程 82 と 投業科目、単位数および履修規程 82 と 投業科目 90 (1) 全学教養科目 99		
(2) 学科科目 50 児童教育学科 児童教育専攻 (1) 全学教養科目 52 (2) 学科科目 56 児童教育学科 効児保育専攻 (1) 全学教養科目 58 (2) 学科科目 58 (2) 学科科目 68 ア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		16
児童教育学科 児童教育専攻 (1) 全学教養科目 52 (2) 学科科目 56 児童教育学科 幼児保育専攻 (1) 全学教養科目 58 (2) 学科科目 58 (2) 学科科目 62 文化交流学科 (1) 全学教養科目および学科科目の履修 71 (2) 学科科目 68 履修要項Ⅱ 生活科学部 全学教養科目および学科科目の履修 71 (3) 全学教養科目 73 (4) 全学教養科目 73 (5) 学科科目 73 (6) 学科科目 76 食物健康科学科 76 食物健康科学科 76 食物健康科学科 84 (1) 全学教養科目 84 (2) 学科科目 84 (3. 生活科学部食物健康科学科の進級要件に関する規程 86 (4. 生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる履修規程 87 履修要項Ⅲ 生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる履修規程 87 履修要項Ⅲ 香港学部 全学教養科目および学科科目の履修 89 (2) 学科科目 90 (2) 学科科目 90 (2) 学科科目 90 (3) 学科科目 90 (3) 学科科目 90 (4) 全学教養科目 96 履修要項Ⅳ 経営学部 全学教養科目および学科科目の履修 97 (4) 全学教養科目の履修に関する規程 96 履修要項Ⅳ 経営学部 全学教養科目および学科科目の履修 97 (2) 生位数および履修規程 76 (3) 全学教養科目 96		
(1) 全学教養科目 52 (2) 学科科目 56 児童教育学科 幼児保育専攻 (1) 全学教養科目 62 文化交流学科 (1) 全学教養科目 64 (2) 学科科目 68 履修要項I 生活科学部 全学教養科目および学科科目の履修 1. 卒業に必要な最低修得単位 71 2. 授業科日、単位数および履修規程 心理福祉学科 (1) 全学教養科目 73 (2) 学科科目 73 (2) 学科科目 80 (3. 生活科学部食物健康科学科の遮地実習に関わる履修規程 86 4、生活科学部食物健康科学科の遮地実習に関わる履修規程 86 1、卒業に必要な最低修得単位 89 2、授業科目、単位数および履修規程 70 全学教養科目 90 (2) 学科科目 90 (3. 看護学科 94 (1) 全学教養科目の履修に関する規程 96 履修要項Ⅳ 経営学部 全学教養科目および学科科目の履修	()	00
(2) 学科科目 56 児童教育学科 幼児保育専攻 (1) 全学教養科目 58 (2) 学科科目 62 文化交流学科 (1) 全学教養科目 64 (2) 学科科目 68 履修要項 I 生活科学部 全学教養科目および学科科目の履修 1. 卒業に必要な最低修得単位 71 (2) 授業科目 4位数および履修規程 72 (2) 学科科目 73 (2) 学科科目 76 (1) 全学教養科目 76 (2) 学科科目 76 (1) 全学教養科目 80 (2) 学科科目 80 (3. 生活科学部食物健康科学科の進級要件に関する規程 86 (4. 生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる履修規程 87 履修要項 I 看護学部 全学教養科目および学科科目の履修 89 (2. 授業科日 単位数および履修規程 76 電影学科 1) 全学教養科目 90 (2) 学科科目 90 (3. 看護学部看護学科科目の履修に関する規程 96 履修要項 IV 経営学部 全学教養科目および学科科目の履修 97 (2) 学科科目 99 (3. 看護学部看護学科科目の履修に関する規程 96 履修要項 IV 経営学部 全学教養科目および学科科目の履修 97 (2) 授業科目 96		52
(1) 全学教養科目 58 (2) 学科科目 62 文化交流学科 64 (1) 全学教養科目 64 (2) 学科科目 68 履修要項I 生活科学部 全学教養科目および学科科目の履修 71 2. 授業科目、単位数および履修規程 0理福祉学科 (1) 全学教養科目 73 (2) 学科科目 76 食物健康科学科 80 (2) 学科科目 80 (2) 学科科目 84 3. 生活科学部食物健康科学科の進級要件に関する規程 86 4. 生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる履修規程 87 履修要項I 看護学部 全学教養科目および学科科目の履修 87 履修要項I 看護学部 全学教養科目および学科科目の履修 97 (1) 全学教養科目 90 (2) 学科科目 90 (3) 看護学部全学教養科目および学科科目の履修 97 (4) 全学教養科目 99 (5) 学科科目 99 (6) 学科科目の履修に関する規程・96 (7) を学教養科目 99 (7) を学教養科目 99 (7) を学教養科目および房修規程 82 (7) を学教養科目 99 (7) を学教養科目 99		
(2) 学科科目 62 文化交流学科 (1) 全学教養科目 64 (2) 学科科目 68 履修要項Ⅱ 生活科学部 全学教養科目および学科科目の履修 71 2. 技業科目、単位数および履修規程 72 2. 技業科目、単位数および履修規程 73 (2) 学科科目 74 (1) 全学教養科目 80 (2) 学科科目 80 (2) 学科科目 84 3. 生活科学部食物健康科学科の進級要件に関する規程 86 4. 生活科学部食物健康科学科の随地実習に関わる履修規程 87 履修要項Ⅲ 看護学部 全学教養科目および学科科目の履修 89 2. 技業科目、単位数および履修規程 看護学科 (1) 全学教養科目 90 (2) 学科科目 90 (2) 学科科目 90 (2) 学科科目 94 3. 看護学部看護学科科目の履修に関する規程 96 履修要項Ⅳ 経営学部 全学教養科目および学科科目の履修 97 2. 技業科目、単位数および履修規程 96 履修要項Ⅳ 経営学部 全学教養科目および学科科目の履修 97 2. 技業科目、単位数および履修規程 96		
文化交流学科 (1) 全学教養科目 (2) 学科科目 (3) 標子科目 (4) (2) 学科科目の履修 (5) 中華に必要な最低修得単位 (6) 中華に必要な最低修得単位 (7) 生学教養科目、単位数および履修規程 (7) 生学教養科目 (7) 生活科学部食物健康科学科の進級要件に関する規程 (8) 生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる履修規程 (8) 生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる履修規程 (8) 生活科学部食物健康科学科の腐敗を規程 (8) 生活科学部食物健康科学科の腐敗を規程 (8) 生活科学部食物健康科学科の腐敗を規程 (8) 生活科学部食物健康科学科の腐敗を規程 (8) 生活科学部食物健康科学科の腐敗を規程 (8) 生活科学部食物健康科学科の腐敗を規程 (8) 生活科学部食物健康科学科目の履修 (9) 生活科学部食養科目 (1) 生学教養科目・90 (2) 学科科目の履修に関する規程・96 (2) 学科科目の履修に関する規程・96 (2) 学科科目の履修に関する規程・96 (2) 生産業に必要な最低修得単位・97 (2) 大学教養科目および学科科目の履修 (1) 生学教養科目および学科科目の履修 (1) 生学教養科目、単位数および履修規程 経営学科 (1) 生学教養科目・98		58
(1) 全学教養科目 64 (2) 学科科目 64 (2) 学科科目 68 履修要項Ⅱ 生活科学部 全学教養科目および学科科目の履修 1. 卒業に必要な最低修得単位 71 2. 授業科目、単位数および履修規程 02 学科科目 76 食物健康科学科 (1) 全学教養科目 80 (2) 学科科目 80 (2) 学科科目 80 (2) 学科科目 84 3. 生活科学部食物健康科学科の進級要件に関する規程 86 4. 生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる履修規程 87 履修要項Ⅲ 看護学部 全学教養科目および学科科目の履修 1. 卒業に必要な最低修得単位 89 2. 授業科目、単位数および履修規程 看護学科 (1) 全学教養科目の履修用程 90 (2) 学科科目 90 (2) 学科科目 90 (2) 学科科目の履修に関する規程 96 履修要項Ⅳ 経営学部 全学教養科目および学科科目の履修 97 2. 授業科目、単位数および履修規程 96 履修要項Ⅳ 経営学部 全学教養科目および学科科目の履修 97 2. 投業科目、単位数および履修規程 96	(2) 学科科目	62
(2) 学科科目 68 履修要項 I 生活科学部 全学教養科目および学科科目の履修 1. 卒業に必要な最低修得単位 71 2. 授業科目、単位数および履修規程 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
履修要項Ⅱ 生活科学部 全学教養科目および学科科目の履修 1. 卒業に必要な最低修得単位		
1. 卒業に必要な最低修得単位	(2) 学科科目	68
2. 授業科目、単位数および履修規程 ・		
 ○型福祉学科 (1) 全学教養科目 (2) 学科科目 (5) 食物健康科学科 (6) 全学教養科目 (7) 全学教養科目 (8) (2) 学科科目 (2) 学科科目 (3) 生活科学部食物健康科学科の進級要件に関する規程 (4) 生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる履修規程 (5) 存業に必要な最低修得単位 (6) 存業に必要な最低修得単位 (7) 全学教養科目 (8) 全学教養科目 (9) 全学教養科目 (1) 全学教養科目の履修に関する規程 (2) 学科科目の履修に関する規程 (3) 看護学部 看護学部 全学教養科目および学科科目の履修 (4) 本業に必要な最低修得単位 (5) 存業に必要な最低修得単位 (6) 存業に必要な最低修得単位 (7) 全学教養科目、単位数および履修規程 経営学科 (1) 全学教養科目 (2) 学教養科目 	1. 卒業に必要な最低修得単位	71
(1) 全学教養科目 73 (2) 学科科目 76 食物健康科学科 (1) 全学教養科目 80 (2) 学科科目 84 3. 生活科学部食物健康科学科の進級要件に関する規程 86 4. 生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる履修規程 87 履修要項Ⅲ 看護学部 全学教養科目および学科科目の履修 1. 卒業に必要な最低修得単位 89 2. 授業科目、単位数および履修規程 看護学科 (1) 全学教養科目の履修に関する規程 90 (2) 学科科目 94 3. 看護学部看護学科科目の履修に関する規程 96 履修要項Ⅳ 経営学部 全学教養科目および学科科目の履修 97 2. 授業科目、単位数および履修規程 87	2. 授業科目、単位数および履修規程	
(2) 学科科目 76 食物健康科学科 (1) 全学教養科目 80 (2) 学科科目 84 3. 生活科学部食物健康科学科の進級要件に関する規程 86 4. 生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる履修規程 87 履修要項Ⅲ 看護学部 全学教養科目および学科科目の履修 1. 卒業に必要な最低修得単位 89 2. 授業科目、単位数および履修規程 看護学科 (1) 全学教養科目 90 (2) 学科科目 94 3. 看護学部看護学科科目の履修に関する規程 96 履修要項N 経営学部 全学教養科目および学科科目の履修 1. 卒業に必要な最低修得単位 96 履修要項N 経営学部 全学教養科目および学科科目の履修 97 2. 授業科目、単位数および履修規程 82 2. 授業科目、単位数および履修規程 82 89		
食物健康科学科 (1) 全学教養科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
(1) 全学教養科目 80 (2) 学科科目 84 3. 生活科学部食物健康科学科の進級要件に関する規程 86 4. 生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる履修規程 87 履修要項Ⅲ 看護学部 全学教養科目および学科科目の履修 1. 卒業に必要な最低修得単位 89 2. 授業科目、単位数および履修規程 看護学科 (1) 全学教養科目 90 (2) 学科科目 90 (2) 学科科目 90 (2) 学科科目の履修に関する規程 96 履修要項Ⅳ 経営学部 全学教養科目および学科科目の履修 1. 卒業に必要な最低修得単位 97 2. 授業科目、単位数および履修規程 87 2. 授業科目、単位数および履修規程 87 2. 授業科目、単位数および履修規程 88 経営学科 (1) 全学教養科目 98	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	76
(2) 学科科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	隻物健康科学科 (1) 人类教养新见	0.0
3. 生活科学部食物健康科学科の進級要件に関する規程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(1) 至子教食科目····································	
4. 生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる履修規程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
履修要項Ⅲ 看護学部 全学教養科目および学科科目の履修 1. 卒業に必要な最低修得単位・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
1. 卒業に必要な最低修得単位 89 2. 授業科目、単位数および履修規程 看護学科 (1) 全学教養科目 90 (2) 学科科目 94 3. 看護学部看護学科科目の履修に関する規程 96 履修要項N 経営学部 全学教養科目および学科科目の履修 96 1. 卒業に必要な最低修得単位 97 2. 授業科目、単位数および履修規程 89 経営学科 (1) 全学教養科目 98		01
2. 授業科目、単位数および履修規程 看護学科 (1) 全学教養科目 90 (2) 学科科目 94 3. 看護学部看護学科科目の履修に関する規程 96 履修要項N 経営学部 全学教養科目および学科科目の履修 97 2. 授業科目、単位数および履修規程経営学科 97 (1) 全学教養科目 98		00
看護学科 (1) 全学教養科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		89
(1) 全学教養科目 90 (2) 学科科目 94 3. 看護学部看護学科科目の履修に関する規程 96 履修要項N 経営学部 全学教養科目および学科科目の履修 97 1. 卒業に必要な最低修得単位 97 2. 授業科目、単位数および履修規程 経営学科 (1) 全学教養科目 98		
(2) 学科科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		90
3. 看護学部看護学科科目の履修に関する規程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
履修要項N 経営学部 全学教養科目および学科科目の履修 1. 卒業に必要な最低修得単位・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
 卒業に必要な最低修得単位・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		00
2. 授業科目、単位数および履修規程経営学科(1) 全学教養科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		07
経営学科 (1) 全学教養科目······ 98		91
(1) 全学教養科目		
		98

履修要	項V	7 j	資格 和	斗目	の履修	文)	学部	・生活	科学部	・看語	護学部	•	経営学部)	
資格	取得	引にす	あた-	って	• • • • • • • •	• • • • • •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • • • •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • • •	• • • • • • •	• • •		105
	(丈	(学音	以											
	(文	(学音	写)											
	(寸	(学音	(S)											
	(寸	"学音	邓現在	英分	語学科	!)								
8.	保育	计士覧	資格に	こ関	する科 育学科	目の			•••••	•••••	• • • • • • •	•••		158
9.	社会	福祉	吐士	国家		験資	格に関		科目の	履修·		•••		164
	公部(4	3心型 :活系	ます。 計学さ	国家	試験受 理福祉	上 験資 上 学科	格に関							
11.					に関す 理福祉			夏修…	•••••	•••••	• • • • • • •	•••		172
12.					に関す 理福祉			殞修…	•••••	•••••		•••		174
	(生	:活利	补学 音	8食	物健康	科学	科))履修	
	(4	:活和	沙学	彩食:	物健康	科学	科)						計目の履修	
	(柔	護	き部え	 音護	学科)									
16.					受験資 学科)	格に	関する	る科目	の履修	•••••		•••		191
履修要	項V	I	者規利	呈・	諸制度	・そ	の他							
1.	卒業	\$研多	記規和	呈…					• • • • • • • • •	• • • • • •	• • • • • • •	•••		195
3.	海夕	卜研作	多制月	隻…		• • • • • •	• • • • • • •	• • • • • • •	• • • • • • • • •	• • • • • •	• • • • • • •	•••		202
6.	派遣	学生	Eお。	はび	特別聴	講学	生に関	関する	規程…	• • • • • •	• • • • • • •	•••		216
7.	国夕	大学	さとの	りデ	ュアル	・デ	イグ!	ノー制	度運営	規程・	• • • • • • • •	•••		218
8.	科目	等層	夏修!	主に	関する	規程			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • • •	• • • • • • •	• • •		220
10.	₹0.)他·	••••	• • • • •	• • • • • • • •	• • • • • •	•••••		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • • • •	• • • • • • • •	•••		224
大学院	記につ	017												
1.	文賞	经研究	铝科基	英語	英米文	(学専	攻/作	多士課	程			• • •		229
)いて	
4.	生活	科学	字研?	岩科	心理学	専攻	/修-	上課程						232
5.	看護	美学 矿	开究和	斗看	護学専	攻/	修士記	果程…		•••••		•••		234
施設案	内区	お。	よび碁	枚員	研究室	配置	図							

台風・暴風雨の接近等に伴う対応指針

一般注意事項

地震発生時の対処法

茨城キリスト教大学学則

第1章 目的および使命

第1条 本学は茨城キリスト教学園に属する認定こども園、中学校、高等学校と連携し、一貫した教育体系の最高機関として、キリスト教の精神による人格教育に基づき豊かな教養を培うと共に、深く学術を研究教授し、知的応用能力をもって地域社会はもとより広く国際社会に奉仕する人物を養成することを目的とする。

第2章 大学院、学部および附属認定こども園

第2条 本学に次の大学院、学部、学科、専攻および附属認定こども園を置く。

大学院 文学研究科 英語英米文学専攻

生活科学研究科 食物健康科学専攻

心理学専攻

看護学研究科 看護学専攻

文学部 現代英語学科

児童教育学科 児童教育専攻

幼児保育専攻

文化交流学科

生活科学部 心理福祉学科

食物健康科学科

看護学部 看護学科

経営学部 経営学科

附属認定こども園 せいじ園

みらい園

- 2 文学部は、幅広く豊かな教養を身につけ、教育、保育、国際交流など、多様な分野において地域 社会ならびに国際社会に貢献する人材の養成を目指す。
 - 1) 現代英語学科は、国際交流語としての英語の基本的かつ高度な運用能力を有し、国際化する現代社会で活躍する人材を養成する。
 - 2) 児童教育学科児童教育専攻は、初等教育に関する専門知識を有し、未来を担う子どもの健やかな成長支援と学校教育等に携わる有為な人材を養成する。
 - 3) 児童教育学科幼児保育専攻は、初等教育および保育に関する専門知識を有し、就学前の子どもの教育、保育ならびに子育て支援に関わる人材を養成する。
 - 4) 文化交流学科は、国内外の歴史、社会および文化に関する専門知識を有し、実践的な交流を通して世界に奉仕する人材を養成する。
- 3 生活科学部は、心と生命を持ち、共同体の中で自然と共生しながら生きる、傷つきやすく精妙な 人間を癒し、その良き生を守る人材の養成を目指す。
 - 1) 心理福祉学科は、心理と福祉、二つの専門領域が相互にその専門性を高めあいながら学生を 育み、地域の社会福祉に貢献する人材を養成する。
 - 2) 食物健康科学科は、人間の基本的な営みである食を科学と文化の視点から教授研究して地域

社会の発展に寄与するとともに、食べ物と健康の関わりを管理、教育する人材を養成する。

- 4 看護学部看護学科は、生命の尊厳への深い畏敬の念と、人間に対する深い洞察力と温かい感受性を有し、地域の保健医療福祉に貢献する人材の養成を目指す。
- 5 経営学部経営学科は、幅広い教養と倫理観を備え、経営の専門的知識を持った職業人の養成を目 指す。
- 6 大学院の学則については、別にこれを定める。
- 7 附属認定こども園の園則および必要な規程については、別にこれを定める。

第3章 学生定員

第3条 本学の学生入学定員および収容定員は次のとおりとする。

	入学定員	編入学	定員	収容定員
		2 年次	3年次	
現代英語学科	70名	5名	5名	305名
児童教育学科				
児童教育専攻	70名	5名	5名	305名
幼児保育専攻	70名		10名	300名
文化交流学科	60名		5名	250名
心理福祉学科	60名	_	5名	250名
食物健康科学科	80名		_	320名
看護学科	80名		_	320名
経営学科	60名	_	5名	250名
	現代英語学科 児童教育学科 児童教育専攻 幼児保育専攻 文化交流学科 心理福祉学科 食物健康科学科 看護学科	児童教育学科 児童教育専攻 70名 幼児保育専攻 70名 文化交流学科 60名 心理福祉学科 60名 食物健康科学科 80名 看護学科 80名	現代英語学科 70名 5名 現童教育学科 70名 5名 児童教育専攻 70名 5名 幼児保育専攻 70名 — 文化交流学科 60名 — 心理福祉学科 60名 — 食物健康科学科 80名 — 看護学科 80名 —	現代英語学科 70名 2年次 3年次 現代英語学科 70名 5名 5名 児童教育専攻 70名 5名 5名 幼児保育専攻 70名 — 10名 文化交流学科 60名 — 5名 心理福祉学科 60名 — 5名 食物健康科学科 80名 — — 看護学科 80名 — —

第4章 修業年限・学年・学期および休業日

- 第4条 本学の修業年限を4年とし、在学年限は8年を超えることができない。
 - 2 2年次編・転入学生の修業年限は3年とし、在学年限は6年を超えることができない。
 - 3 3年次編・転入学生の修業年限は2年とし、在学年限は4年を超えることができない。
- 第5条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。
- 第6条 学年は前期、後期の2期にわけ、その期間については、毎年度の学事暦によって定める。
- 第7条 学年の定期休業日は次のとおりとする。

日曜および国民の祝日に関する法律に規定する休日

夏期休業

冬期休業

春期休業

- 2 前項の定期休業日のうち夏期休業、冬期休業、春期休業の期間については、毎年度の学事暦によって定める。
- 3 夏期休業、冬期休業、春期休業の期間中に、補講、集中講義、実習等の授業を行う場合がある。
- 第8条 臨時休業日については、そのつど学長がこれを定める。
- 第9条 必要がある場合には、学長は休業日を変更することがある。

第5章 教育課程

第10条 本学の教育課程は、全学教養課程、学科専門課程、および資格課程によって構成する。

- 2 全学教養課程は、第1条に掲げる本学の使命を全学的かつ中心的に担う課程として、全学教養科目と称する授業科目群をもって運用し、キリスト教精神にもとづくリテラシー教育を通じて高い見識をそなえた自律的市民の育成を目指す。
- 3 学科専門課程は、第2条に掲げる各学科の設置目的を実現する課程として、学科科目と称する授業科目群をもって運用する。
- 4 資格課程は、前二項の課程の補完・深化を目的とする複数の資格・免許課程をもって構成し、その取得要件となる授業科目群をもって運用する。
- 第11条 授業科目およびその単位数と授業時数は、別表 I のとおりとする。
 - 2 別表 I の改定を含む教育課程の編成・運用・改善に関わる事項は、『茨城キリスト教大学教育課程の編成・運用・改善に関する規程』において別に定める。
- 第12条 各学年の授業実施期間は定期試験等の日数も含めて35週を標準とする。

第6章 履修方法および単位算定基準

- 第13条 履修方法は『履修規程』において別に定める。
- 第14条 各授業科目の単位数は、次の基準によって算定する。
 - 1) 講義については、1時間の授業に対して2時間の準備のための学修を必要とするものとし、 15時間の授業をもって1単位とする。
 - 2) 演習については、1時間の授業に対して2時間の準備のための学修を必要とし、15時間の授業をもって1単位とする科目、または、2時間の授業に対して1時間の準備のための学修を必要とし、30時間の授業をもって1単位とする科目のいずれかとする。
 - 3) 実験および実技については、2時間の授業に対して1時間の準備のための学修を必要とし、 30時間の授業をもって1単位とする。
 - 4) 実習については、2時間の授業に対して1時間の準備のための学修を必要とし、30時間の授業をもって1単位とする科目、または、45時間の授業をもって1単位とする科目のいずれかとする
 - 5) 卒業研究については、これらに必要な学修等を勘案して単位数を定める。

第7章 学修の評価および試験

- 第15条 単位を得るためには、その授業科目の授業に出席し、試験に合格しなければならない。ただし、 出席時数が前条に定める全授業時数の3分の2に満たない場合には、受験資格を与えない。
 - 2 法定学校感染症の罹患、罹患の疑い、罹患のおそれがある場合の授業欠席は公欠とし、原則として受験資格に関わる前項の算定に含めない。ただし、評価に際して支障のあるときは、当該科目の担当教員と学務部との協議においてその対応を決するものとする。
- 第16条 学生が履修した授業科目の成績は、当該科目の担当教員がこれを定める。
 - 2 各授業科目の成績は、AA、A、B、C、Fをもって表わし、AA、A、B、Cを合格とする。
- 第17条 病気その他やむを得ない事情によって、第15条に定める試験に欠席した者は、所定の手続きを経 て追試験を受け、単位の認定を受けることができる。
 - 2 卒業見込み者で、一定の条件を満たしている者は再試験を受け、単位の認定を受けることができる。
 - 3 追試験および再試験に関しては、『試験規程』に定める。

第8章 卒業の認定および学位の授与

- 第18条 本学学則第4条に定める期間本学に在学し、以下に定める授業科目を履修し、文学部各学科・専攻においては124単位以上、生活科学部心理福祉学科においては124単位以上、生活科学部食物健康科学科においては128単位以上、看護学部看護学科においては124単位以上、経営学部経営学科においては124単位以上を修得した者について、当該学生が所属する学部の教授会の議を経て、学長が卒業を認定し、文学部各学科・専攻を卒業した者には学士(文学)、生活科学部各学科を卒業した者には学士(生活科学)、看護学部看護学科を卒業した者には学士(看護学)、経営学部経営学科を卒業した者には学士(経営学)を授与する。
 - 1) 文学部現代英語学科においては、全学教養科目のうちの「建学の精神」について6単位、「基礎演習」について2単位、「外国語」について英語以外の外国語(ドイツ語、フランス語、中国語、コリアン、外国語としての日本語、その他の外国語)のうち同一言語6単位、「健康スポーツ」について2単位、「人文」「社会」「自然」について14単位、「情報」について2単位、合計32単位以上を修得しなければならない。また、学科科目については、「英語技能科目」について20単位、「演習」について12単位を含み、合計76単位以上を修得しなければならない。
 - 2) 文学部児童教育学科児童教育専攻においては、全学教養科目のうちの「建学の精神」について6単位、「基礎演習」について2単位、「外国語」について「英語」4単位、英語以外の外国語(ドイツ語、フランス語、中国語、コリアン、外国語としての日本語、その他の外国語)のうち同一言語6単位、「健康スポーツ」について2単位、「人文」「社会」「自然」について14単位、「情報」について2単位、合計36単位以上を修得しなければならない。また、学科科目については、「基幹科目」について20単位、「専門科目」について54単位、合計74単位以上を修得しなければならない。
 - 3) 文学部児童教育学科幼児保育専攻においては、全学教養科目のうちの「建学の精神」について4単位、「基礎演習」について2単位、「外国語」について「英語」2単位と英語以外の外国語(ドイツ語、フランス語、中国語、コリアン、外国語としての日本語、その他の外国語)2単位を含み合計6単位(ただし「英語以外の外国語」は同一言語2単位または同一言語4単位とする)、「健康スポーツ」について2単位、「人文」「社会」「自然」について14単位、「情報」について2単位、合計30単位以上を修得しなければならない。また、学科科目については、「基幹科目」について20単位、「専門科目」について60単位、合計80単位以上を修得しなければならない。
 - 4) 文学部文化交流学科においては、全学教養科目のうちの「建学の精神」について6単位、「基礎演習」について2単位、「外国語」について「英語」8単位、英語以外の外国語(ドイツ語、フランス語、中国語、コリアン、外国語としての日本語、その他の外国語)のうち同一言語6単位、「健康スポーツ」について2単位、「人文」「社会」「自然」について14単位、「情報」について2単位、合計40単位以上を修得しなければならない。また、学科科目については、「基幹科目」について30単位、「文化交流を実践する」について「国際共生」「観光」「地域貢献」「日本語教育」のいずれか1区分から4単位、を含み合計70単位以上を修得しなければならない。
 - 5) 生活科学部心理福祉学科においては、全学教養科目のうちの「建学の精神」について4単位、「基礎演習」について2単位、「外国語」について「英語」4単位、「健康スポーツ」について1単位、「人文」「社会」「自然」について14単位、「情報」について2単位、合計27単位以上を修得しなければならない。また、学科科目については、「基幹科目」について18単位、「専門基礎科目」について10単位以上、「心理カウンセリング系科目」について4単位以上、「福祉系科

- 目」について4単位以上、「心理福祉教育系科目」について4単位以上、合計92単位以上を修得 しなければならない。
- 6) 生活科学部食物健康科学科においては、全学教養科目のうちの「建学の精神」について4単位、「基礎演習」について2単位、「外国語」について「英語」4単位、「健康スポーツ」について1単位、「人文」「社会」「自然」について12単位、「情報」について2単位、合計25単位以上を修得しなければならない。また、学科科目については、「基幹科目」について14単位、「専門基礎分野」について35単位、「専門分野」について47単位、「人間生活領域」について2単位、「応用専門分野」について5単位、合計103単位以上を修得しなければならない。ただし生活科学部食物健康科学科における3年次への進級要件については別に定める。
- 7)看護学部看護学科においては、全学教養科目のうちの「建学の精神」について4単位、「基礎演習」について2単位、「外国語」について「英語」4単位、「健康スポーツ」について1単位、「人文」「社会」「自然」について12単位、「情報」について2単位、合計25単位以上を修得しなければならない。また、学科科目については、「専門基礎科目」について27単位、「専門科目」について72単位、合計99単位以上を修得しなければならない。
- 8)経営学部経営学科においては、全学教養科目のうちの「建学の精神」について4単位、「基礎演習」について2単位、「外国語」について「英語」4単位以上を含み8単位(ただし「英語以外の外国語」を含める場合は同一言語2単位または同一言語4単位とする)、「健康スポーツ」について1単位、「人文」「社会」「自然」について16単位、「情報」について4単位、合計35単位以上を修得しなければならない。また、学科科目については、「基幹科目」について18単位、「専門科目」について52単位以上、「専門基礎科目」について6単位以上を含み、合計78単位以上を修得しなければならない。
- 9)生活科学部食物健康科学科および看護学部看護学科を除く各学科・専攻においては、上記合計最低単位数の他に、全学教養科目、自学科科目、他学科科目、他学部科目の中から、文学部現代英語学科においては16単位以上、文学部児童教育学科児童教育専攻においては14単位以上、文学部児童教育学科幼児保育専攻においては14単位以上、文学部文化交流学科においては14単位以上、生活科学部心理福祉学科においては5単位以上、経営学部経営学科においては11単位以上を修得しなければならない。
- 10) 教育上有益と認めるときは、他の大学または短期大学(外国の大学・短期大学を含む)を卒業または中途退学のうえ、本学1年次に入学した者の、他の大学または短期大学における既修得単位を、30単位を超えない範囲で、本学において修得したものとして単位を認定することがある。
- 11) 本学則第22条および第23条により転入学または編入学を許可された者の、入学前の既修得単位の認定、卒業の認定および学位の授与に関しては、『編転入学生の入学前の既修得単位の認定、卒業の認定および学位の授与に関する規程』に定める。なお、デュアル・ディグリー制度を利用して本学に留学する学生(以下デュアル・ディグリー生という)の学位の授与に関しては、『編転入学生の入学前の既修得単位の認定、卒業の認定および学位の授与に関する規程』を準用する。

第9章 入学、退学、転学および休学

第19条 入学の時期は学年の初めを原則とする。

第20条 本学に入学できる者は、次の各号のいずれかに該当する者でなければならない。

- 1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者。
- 2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者。
- 3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者。またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
- 4) 文部科学大臣の指定した者。
- 5) 高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定に合格した者。
- 6) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。
- 7) その他、相当の年齢に達し、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。
- 第21条 出願手続き、および選抜の方法は、そのつどこれを公示する。
- 第22条 他の大学の学生で、当該大学の学長の承認を受けて本学に転入学を志願する者は、選考のうえ 2 年次または 3 年次への転入学を許可することがある。
- 第23条 次の各号の一に該当する者は、各学部教授会の認定により2年次または3年次への編入学を許可することがある。
 - 1) 学士の称号を有する者で、編入学を志願する者。
 - 2) 短期大学、高等専門学校、工業教員養成所、養護教諭養成所を卒業した者で、編入学を志願する者。
 - 3) 学校教育法施行規則第92条の3に定める従前の規定による高等学校、専門学校または教員養成諸学校等の課程を修了し、または卒業した者で、編入学を志願する者。
 - 4) 本学との間にあらかじめデュアル・ディグリーに関する協定を締結している外国の大学から のデュアル・ディグリー生。
- 第24条 入学を許可された者は、所定の手続きを、決められた期間内に終了させなければならない。
 - 2 前項の手続きをしない者については、入学許可を取り消す。
- 第25条 退学を希望する者は、保証人連署のうえ、その理由書を提出し、許可を受けなければならない。
- 第26条 願いにより退学した者および本学則第44条により除籍となった者が再入学を希望するときは、そ の理由書を提出し、許可を受けなければならない。
 - 2 再入学に関しては、『茨城キリスト教大学再入学に関する規程』に定める。
- 第27条 他の大学へ転入学を志願しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。
- 第28条 学内における転科・転部は、試験を行ったうえ、これを認めることがある。
- 第29条 病気その他、やむを得ない事情により休学を希望する者は、保証人連署のうえ、医師の診断書または詳細な理由書を提出し、許可を受けなければならない。
- 第30条 休学の期間は通算2年を超えることができない。
 - 2 休学期間は、原則として第6条に定める学年の学期(半期)ごとに設定するものとする。
 - 3 前項の休学期間は在学期間には算入しない。
 - 4 休学期間は、第1項に定める通算2年を限度として、新たな届出により学期ごとに延長できる。
- 第31条 休学期間中にその事情が変化したときは、願いにより復学を許可することがある。ただし、学期 の途中で復学した場合は、当該学期の学納金の全額を納入するものとし、当該学期の休学在籍料 は返金する。

第10章 外国において中等教育を受けた学生

- 第32条 外国において相当の期間、中等教育(中学校および高等学校に相当する学校における教育)を受けた者で、本学に入学を志願する者があるときは、別に定めるところにより、特別選考を行ったうえ、入学を許可することがある。
- 第33条 前条に基づいて入学した者については、外国語科目の履修について特例を認めることがある。

第11章 留学

- 第34条 次の各号の一に該当する者は、各学部教授会の認定により留学を許可することがある。
 - 1) 本学との間にあらかじめ学生の相互交流を目的とする協定または本学からの留学に関する協議が成立している外国の大学・短期大学またはこれに相当する高等教育機関等の授業科目を履修することを希望する者。
 - 2) 本学との間にあらかじめデュアル・ディグリーに関する協定を締結している外国の大学において、デュアル・ディグリー制度を利用することを希望する者。
 - 2 前項による留学は、本学における学籍上の扱いを在学のままとする留学(以下在学留学という)とする。
- 第35条 在学留学の許可を受けた者については、その許可を受けた期間を本学における在学年数に算入する。
- 第36条 在学留学の許可を受けた者が留学した大学等において修得した単位のうち、当該学生の所属する 学部教授会が適当と認めたものは、本学の卒業に必要な単位として認定することがある。ただし、 認定しうる単位数は、30単位を限度とする。なお、デュアル・ディグリー制度を利用して在学留 学する学生の単位認定については、別に定める。

第12章 資格

- 第37条 本学が開設する各種資格取得のための科目を履修し、単位を修得したものは、次の各項に掲げる 資格を取得することができる。
 - 2 教育職員免許法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位を修得した者は、次の免許状を取得することができる。
 - 1) 文学部現代英語学科

高等学校教諭一種免許状 (英語) 中学校教諭一種免許状 (英語)

2) 文学部児童教育学科児童教育専攻

小学校教諭一種免許状

幼稚園教諭一種免許状

特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者)

特別支援学校教諭一種免許状(肢体不自由者)

特別支援学校教諭一種免許状(病弱者)

3) 文学部児童教育学科幼児保育専攻

幼稚園教諭一種免許状

4) 文学部文化交流学科

高等学校教諭一種免許状(地理歷史)

中学校教諭一種免許状(社会)

5) 生活科学部心理福祉学科

高等学校教諭一種免許状(福祉) 高等学校教諭一種免許状(公民) 中学校教諭一種免許状(社会)

6) 生活科学部食物健康科学科

高等学校教諭一種免許状(家庭) 中学校教諭一種免許状(家庭) 栄養教諭一種免許状

7) 看護学部看護学科

養護教諭一種免許状

8) 経営学部経営学科

高等学校教諭一種免許状(公民)

中学校教諭一種免許状(社会)

- 3 学校図書館法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位を修得した者に、学校図書館司書教諭となる資格を与える。
- 4 社会教育法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位を修得した者に、社会教育主事となる資格を与える。
- 5 博物館法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位を 修得した者に、学芸員となる資格を与える。
- 6 児童福祉法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位 を修得した者に、保育士となる資格を与える。
- 7 社会福祉法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位 を修得した者に、社会福祉主事となる資格を与える。
- 8 社会福祉士及び介護福祉士法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位を修得して生活科学部心理福祉学科を卒業する者に、社会福祉士試験受験資格を与える。
- 9 栄養士法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位を 修得して生活科学部食物健康科学科を卒業する者に、管理栄養士国家試験受験資格および栄養士 資格を与える。
- 10 食品衛生法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位を修得して生活科学部食物健康科学科を卒業する者に、食品衛生管理者および食品衛生監視員となる資格を与える。
- 11 保健師助産師看護師法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位を修得して看護学部看護学科を卒業する者に、看護師国家試験受験資格を与える。さらに、所定の科目を履修し単位を修得した者には、保健師国家試験受験資格を与える。
- 12 その他の資格について、取得に必要な要件は別に定める。

第13章 授業料等学納金

- 第38条 入学金、授業料、設備拡充費、その他学納金、および入学検定料等手数料の金額、および納入方法については、別表 II のとおりとする。
- 第39条 授業料等学納金は、それぞれ所定の期日までに納入しなければならない。

- 2 特別の理由がある場合には、授業料等学納金の月割分納、延納、減免を認めることがある。
- 第40条 前条第2項の規定により分納、延納、減免の取扱いを希望する者は、願書に詳細な理由書をつけて、保証人連署のうえ、学長に提出し、許可を受けなければならない。
- 第41条 当該学期履修登録期間の最終日までに休学を届出た者は、所定の休学在籍料を納入するものとし、 当該学期分の学納金を納入済の場合は返金するものとする。
 - 2 前項の届出を行った者が当該学期分の学納金延納願を提出済の場合は、当該延納願を無効とする。
 - 3 当該学期履修登録期間の最終日を超えて休学を届出た者に対しては、納入済の当該学期分学納金は原則として返金せず、休学在籍料は徴収しない。
 - 4 延納願を提出した者が前項の届出を行う場合、原則として当該学期分の学納金を延納期限までに 納入しなければならない。またこの場合、休学在籍料は徴収しない。
- 第42条 在学留学生は、在学留学期間中、授業料を除いた学納金の納入を免除する。ただし、在学留学生 のうち特に優れた者に対しては、在学留学期間中の授業料の納入も免除することがある。
 - 2 授業料を含む学納金の納入を全額免除される在学留学生を「特別在学留学生」という。特別在学 留学生は、手続き料5万円を納入するものとする。
- 第43条 既納の授業料等学納金は、原則としてこれを返さない。
 - 2 入学前に納入した学納金の取扱いについては、別に定める。
- 第44条 授業料等学納金を理由なく所定の期日までに納入しない者には催告を行い、なお納入しないとき には除籍することがある。

第14章 賞罰

- 第45条 他の学生の模範となる行為のあった者は、これを表彰することがある。
- 第46条 学則に違反し、または学生としての本分にもとる行為のあった者は、学長が当該学生の所属する 学部教授会の意見を徴し、これを懲戒することがある。懲戒は、退学、停学および訓告とする。
 - 2 退学は次の各号の一に該当する者に対して行う。
 - 1) 性行不良で改善の見込がないと認められる者。
 - 2) 学力劣等で成業の見込がないと認められる者。
 - 3) 正当の理由がなくて出席常でない者。
 - 4) 大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者。

第15章 職員組織

第47条 本学に次の職員を置く。ただし、必要に応じて非常勤の職員を置くことができる。

学長

学部長

教授、准教授、講師、助教、助手

事務部長、次長、事務職員、その他

- 2 学長は、指名により副学長を置くことができる。
- 3 学長、副学長、学部長の選出に関しては、『茨城キリスト教大学学長候補者選出規程』、『茨城キリスト教大学副学長選出規程』、『茨城キリスト教大学学部長選出規程』に定める。
- 第48条 本学の事務組織は、別にこれを定める。

第16章 教授会

- 第49条 学長が学校教育法の規定に則り校務をつかさどり、かつ所属職員を統督するにあたり、必要な事項を決定するために参酌すべき意見を表明する組織として、本学に各学部教授会および合同教授会を置く。
 - 2 各学部に学部教授会を置き、当該学部の学部長、教授、准教授、講師および助教をもって組織する。ただし、学長、副学長、年度毎に雇用契約を結ぶ教育職員を除く。
 - 3 各学部教授会は、当該学部長が主催・招集する。
 - 4 各学部教授会は、学長に対し意見として表明する次の事項を審議決定する。
 - 1) 当該学部学生の入学および転科に関する事項。
 - 2) 当該学部学生の試験および卒業に関する事項。
 - 3) 当該学部学生の指導、厚生、賞罰に関する事項。
 - 4) 他学部からの転部に関する事項。
 - 5) 当該学部の教育課程に関する事項。
 - 6) 当該学部の諸規程に関する事項。
 - 7) 当該学部の教員の採用または昇任に関し、学園理事長に推薦する事項。
 - 8) その他当該学部の運営に必要な事項のうち、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学 長が定めるもの。
 - 5 合同教授会は、各学部教授会の構成員をもってこれを組織する。
 - 6 合同教授会は、学長が主催・招集する。
 - 7 合同教授会は、学長に対し意見として表明する次の事項を審議決定する。
 - 1) 本学学則・諸規程の改正に関する事項。
 - 2) その他全学の運営に関する事項のうち、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの。
- 第50条 学長は、前条に定める各学部教授会および合同教授会の決議を尊重し、原則としてその決議に即 して校務をつかさどる。
 - 2 学長は、その法的権能により教授会決議事項と異なる校務の執行を決定するとき、または教授会 決議事項を執行しないことを決定するときは、当該教授会に対し速やかにその理由を説明する義 務を負う。
- 第51条 教授会主催者は、必要に応じて事務部長その他事務職員を教授会に出席させることができる。ただし、事務職員は、議決には参加しない。
- 第52条 その他各学部教授会および合同教授会の運営については、『茨城キリスト教大学教授会運営規則』 に定める。

第17章 大学運営会議

第53条 学長が学校教育法の規定に則り校務をつかさどり、かつ所属職員を統督するにあたり、学長の命に基づいて本学の教育研究方針策定と管理運営を担い、またそのために必要な事項を調整する組織として、学長のもとに茨城キリスト教大学運営会議を置く。その構成と具体的職務については、『茨城キリスト教大学運営会議規程』に定める。

第18章 図書館

第54条 本学に附属図書館を置き、茨城キリスト教大学図書館と称し、その利用と運営については、『茨

城キリスト教大学図書館利用規程』に定める。

第19章 センター

第55条 本学に学術研究センター、情報センター、地域・国際交流センター、キャリア支援センター、全学教養課程センター、カウンセリング子育て支援センターを置き、それらの運営については、それぞれ『茨城キリスト教大学学術研究センター規程』、『茨城キリスト教大学情報センター規程』、『茨城キリスト教大学地域・国際交流センター規程』、『茨城キリスト教大学キャリア支援センター規程』、『茨城キリスト教大学全学教養課程の編成と運用に関する規程』、『茨城キリスト教大学カウンセリング子育て支援センター規程』に定める。

第20章 派遣学生および特別聴講学生

- 第56条 本学学生で、本学卒業要件中の科目を他大学または短期大学において履修することを希望する者があるときは、派遣学生として、当該学生の所属する学部教授会の議を経てこれを許可することがある。
- 第57条 他大学または短期大学の学生で、当該大学の卒業要件中の科目を本学において履修することを希望する者があるときは、本学の教育研究に支障がない限り、特別聴講学生として、各学部教授会または合同教授会の議を経てこれを許可することがある。
- 第58条 特別聴講学生には本学学則を準用する。ただし、第8章および第14章の各条は適用しない。
- 第59条 派遣学生および特別聴講学生の授業料その他については、『派遣学生および特別聴講学生に関する 規程』に定める。

第21章 聴講生および科目等履修生

- 第60条 本学学生以外の者で、本学の授業科目中、1または数科目の受講を希望する者があるときは、教育研究に支障がない限り、聴講生および科目等履修生として、これを許可することがある。ただし、科目等履修生の場合は、各学部教授会または合同教授会の議を経るものとする。
- 第61条 聴講生および科目等履修生の区分は、次の各号による。
 - 1) 聴講生:単位の修得を目的としない者。
 - 2) 科目等履修生:単位の修得を目的とする者。
 - 3) 特別科目等履修生: 本学入学前に本学の授業科目を履修する者。
- 第62条 聴講生および科目等履修生には本学学則を準用する。ただし、第8章および第14章の各条は適用 しない。
- 第63条 聴講生および科目等履修生の受講料その他については、『聴講生に関する規程』、『科目等履修生に 関する規程』、『特別科目等履修生に関する規程』に定める。

第22章 公開講座

第64条 本学は適時に公開講座を開設することがある。

第23章 厚生保健施設

- 第65条 本学に保健室を設ける。
- 2 保健室の業務を円滑に実施し、学生の健康管理に資することを目的として、本学に学校医を置く。
- 第66条 本学に学生寮を設け、その利用と運営については、『茨城キリスト教大学学生寮規程』に定める。

第24章 自己点検・評価および授業改善

- 第67条 本学の教育研究水準の向上を図り、本学創設の目的および社会的使命を達成するため、教育研究 活動の状況について本学は自ら点検および評価に努める。
 - 2 前項の点検・評価を行うための組織等については、『茨城キリスト教大学自己点検・評価の規程』 に定める。
- 第68条 本学は、授業内容およびその方法の改善を図るため、組織的な研修ならびに研究を実施する。
 - 2 前項の研修および研究を行うための組織等については、『茨城キリスト教大学授業改善委員会規程』に定める。

附 則

1 本学則は所轄官庁の認可の日をもって実施する。

附則2から9まで記載省略

- 10 本学則は昭和51年4月1日から施行する。
- 11 本学則は昭和53年4月1日から施行する。

附則12から24まで記載省略

25 本学則は平成4年4月1日から施行する。

ただし、学則第3章第3条の規定にかかわらず、平成4年度から平成11年度までの入学定員は次のと おりとする。

キリスト教学科 70名

英語英米文学科 100名

児童教育学科 80名

第8章第18条については平成4年3月3日から施行する。

- 26 本学則は平成5年4月1日から施行する。
- 27 本学則は平成6年4月1日から施行する。
- 28 本学則は平成7年4月1日から施行する。
- 29 本学則は平成8年4月1日から施行する。
- 30 本学則は平成9年4月1日から施行する。
- 31 本学則は平成10年4月1日から施行する。

ただし、学則第3章第3条の規定にかかわらず、平成10年度から平成11年度までの入学定員は次のとおりとする。

文化交流学科 60名

32 本学則は平成11年4月1日から施行する。

ただし、学則第2章第2条の規定にかかわらず、平成12年度入学生から文学部キリスト教学科の募集を停止し、在学生の卒業を待って同学科を廃止する。

学則第3章第3条の規定にかかわらず、文学部キリスト教学科の編入学定員のうち2年次編入学については平成13年度から、3年次編入学については平成14年度からそれぞれ募集停止とする。

33 本学則は平成12年4月1日から施行する。

ただし、学則第3章第3条の規定にかかわらず、平成12年度の入学定員は次のとおりとする。

英語英米文学科 95名

- 34 本学則は平成13年4月1日から施行する。
- 35 本学則は平成14年4月1日から施行する。

- 36 本学則は平成15年4月1日から施行する。
- 37 本学則は平成16年4月1日から施行する。

ただし、文学部英語英米文学科に所属する平成15年度以前入学生については、従前の学則が適用される。また、編入学生の受け入れについては次のとおりとする。

平成16年度	平成1	7年度	平成18年度
2年次・3年次編入学	3年次編入学	2年次編入学	2年次・3年次編入学
英語英米文学科	英語英米文学科	現代英語学科	現代英語学科

生活科学部食物健康科学科の3年次編入学については、平成16年度および平成17年度は従前の学則を 適用して募集し、平成18年度から募集停止とする。

- 38 本学則は平成17年4月1日から施行する。
- 39 本学則は平成18年4月1日から施行する。
- 40 本学則は平成19年4月1日から施行する。
- 41 本学則は平成20年4月1日から施行する。
- 42 本学則は平成21年4月1日から施行する。
- 43 本学則は平成22年4月1日から施行する。
- 44 本学則は平成23年4月1日から施行する。
- 45 本学則は平成24年4月1日から施行する。
- 46 本学則は平成25年4月1日から施行する。

ただし、生活科学部人間福祉学科に所属する平成24年度以前入学生については、従前の学則が適用される。また、編入学生の受け入れについては次のとおりとする。

平成25年度	平成26年度	平成27年度
3年次編入学	3年次編入学	3年次編入学
人間福祉学科	人間福祉学科	心理福祉学科

- 47 本学則は平成26年4月1日から施行する。
- 48 本学則は2015 (平成27) 年4月1日から施行する。
- 49 本学則は2016 (平成28) 年4月1日から施行する。
- 50 本学則は2017 (平成29) 年 4 月 1 日から施行する。 ただし、第15条の規定は、2017 (平成29) 年度に在籍する全学生に適用する。
- 51 本学則は2018 (平成30) 年4月1日から施行する。
- 52 本学則は2019 (平成31) 年4月1日から施行する。
- 53 本学則は2020 (令和2) 年4月1日から施行する。

学則別表Ⅰ・Ⅱ

別表 I は省略する。別表 I の内容は履修要項 I $\sim IV$ で確認できる。

別表Ⅱ

学納金

		午妬	納入	方法	/tt. +v.			
			年額	前期	後期	備考		
入		学		金	250,000円			入学時のみ
授		業		料	740,000円	370,000円	370,000円	文学部、生活科学部、経営学部
		"			1,000,000円	500,000円	500,000円	看護学部
設	備	拡	充	費	300,000円	150,000円	150,000円	文学部、生活科学部、経営学部
		"			320,000円	160,000円	160,000円	看護学部
休	学	在	籍	料	120,000円	60,000円	60,000円	届出方法等については別に定める

実験実習費

大 叔天日月				
	年額	納入	方法	備考
	一 平領	前期	後期	川 与
情報教育費	20,000円	20,000円		入学時のみ、全学科。
管理栄養士養成· 実験実習費	200,000円	100,000円	100,000円	毎年度、 生活科学部食物健康科学科。
看護学科実験実習費	300,000円	150,000円	150,000円	毎年度、 看護学部看護学科。
児童教育学科 実験実習費	20,000円	20,000円		毎年度、 文学部児童教育学科。
		金額	納入年度	
保育実習費	保育実習費			文学部児童教育学科履修者のみ。 実習期間により実習費が異なる。
社会教育実習費		20,000円		履修者のみ
博物館実習費		20,000円		履修者のみ
心理福祉実習費		20,000円	履修登録年度	生活科学部心理福祉学科 履修者のみ
社会福祉援助技術現場実習費		40,000円 20,000円	の5月下旬	生活科学部心理福祉学科 履修者のみ
心理実験費	10,000円		生活科学部心理福祉学科「心理 学実験 I 」履修者のみ	
心理実習費	30,000円		生活科学部心理福祉学科 履修者のみ	

資格課程費

取得する資格の種類	金額	納入年度	備考
幼稚園教諭一種免許状(幼児保育専攻)	5,000円		
小学校教諭一種免許状	10,000円		履修者のみ。中学校教諭一種 免許状、高等学校教諭一種免
中学校教諭一種免許状	5,000円	2年次の	新状については、取得する免
高等学校教諭一種免許状	5,000円	5 月下旬	許教科の種類ごとに教職課程 費を納入する。 所定の時期に教職課程費を納 入しない場合、それ以降の教 ・職課程科目を履修できないの で注意する。
栄養教諭一種免許状	5,000円		
養護教諭一種免許状	5,000円		
幼稚園教諭一種免許状 (児童教育専攻)	5,000円	3年次の	
特別支援学校教諭一種免許状	5,000円	5月下旬	
保健師国家試験受験資格	50,000円	4 年次の 5 月下旬	保健師国家試験受験資格取得 希望者のみ。

手数料

種類	金額	納期	備考
入学検定料	32,000円		全学部共通
	16,000円		1 学科(専攻)
大学入学共通テスト利用入試検定料	25,000円		2 学科併願
	30,000円		3 学科併願
追試験料	1,000円		1科目につき
再試験料	5,000円		1科目につき
転科・転部審査料	10,000円		

履修について

1.	教育目標 ······	17
2.	学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)	18
3.	教育課程方針 (カリキュラム・ポリシー)	22
4.	授業、単位と卒業要件	30
5.	履修登録	32
6.	授業の履修	34
7.	試験規程	35
8.	科目ナンバリング	41

1. 教育目標

茨城キリスト教大学は、建学の精神である「隣人愛」に基づいた共生の精神を土台として、学問の探求の基盤となる教養と知識、技術を修得し、地域社会はもとより広く国際社会に貢献できる人材を育成することを教育目標としています。

2. 学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

茨城キリスト教大学は、キリスト教精神に基づき、さまざまな分野で人と社会に進んで奉仕し、人類の福祉と世界の平和に貢献できる「隣人愛」をもった人の育成を目的としています。そのため、謙虚に真理を追究して豊かな教養を身につけるとともに、各学部・研究科の専門課程における学修を通じ、以下の諸能力を備えたと認められる人に学位を授与します。

<建学理念>

キリスト教精神(隣人愛)に基づき、諸人生のいとなみに奉仕しようとする実践的ボランタリズム キリスト教精神に基づき、社会的倫理にもとる偏見、臆見、欺瞞、誤謬、差別意識等から「自由」であ り続けようとする公正性

<学力の3要素>

(学部) 基礎的・基本的な知識・技能

(大学院) 専門的かつ深遠な知識・技能

それらの知識・技能を活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力

学修に主体的に取り組む態度

文 学 部

文学部では、現代社会に対する独創的で堅実な視点から、「英語」「教育」「保育」「異文化交流」など多様な分野において地域と国際社会に奉仕できる人財の育成を目的として、全学教養課程の学修を通じ幅広く豊かな教養を身につけるとともに、各学科の専門課程において以下の専門的諸能力を備えたと認められる人に学士(文学)の学位を授与します。

現代英語学科

現代英語学科では、豊かな教養を身につけるとともに、現代英語に関わる以下の専門的諸能力を備えた 人に学位を授与します。

<建学理念>

キリスト教精神(隣人愛)に基づき、英語を用いて諸人生のいとなみに奉仕しようとする実践的ボラン タリズム

キリスト教精神と専門的・職業的倫理に基づく公正性

<学力の3要素>

国際交流語としての英語に関する基礎的・基本的な知識・技能

それらの知識・技能を活用して他者と英語でコミュニケーションを図りながら、社会的・国際的な諸課題を解決してゆく思考力・判断力・表現力

英語を用いたコミュニケーションや諸課題解決のための学修に主体的に取り組む態度

児童教育学科

児童教育学科では、豊かな教養を身につけるとともに、幼児・児童の教育・保育・福祉全般に関わる以下の専門的諸能力を備えた人に学位を授与します。

児童教育専攻

<建学理念>

キリスト教精神 (隣人愛) に基づき、児童教育・福祉を通じて諸人生のいとなみに奉仕しようとする実 践的ボランタリズム

キリスト教精神と専門的・職業的倫理に基づく公正性

<学力の3要素>

児童の心身の発達・成長や教育、保護者に対する支援についての基礎的・基本的な知識・技能 それらの知識・技能を活用して児童教育・福祉全般の社会的諸課題を解決してゆく思考力・判断力・表 現力

児童教育・福祉全般の社会的諸課題解決のための学修に主体的に取り組む態度

幼児保育専攻

<建学理念>

キリスト教精神 (隣人愛) に基づき、幼児保育・福祉を通じて諸人生のいとなみに奉仕しようとする実 践的ボランタリズム

キリスト教精神と専門的・職業的倫理に基づく公正性

<学力の3要素>

幼児の心身の発達・成長や幼児に対する教育・保育、保護者支援に関する基礎的・基本的な知識・技能 それらの知識・技能を活用して幼児教育・福祉全般の社会的諸課題を解決してゆく思考力・判断力・表 現力

幼児教育・福祉全般の社会的諸課題解決のための学修に主体的に取り組む態度

文化交流学科

文化交流学科では、豊かな教養を身につけるとともに、文化交流に関わる以下の専門的諸能力を備えた 人に学位を授与します。

<建学理念>

キリスト教精神 (隣人愛) に基づき、異文化間交流を通じて諸人生のいとなみに奉仕しようとする実践 的ボランタリズム

キリスト教精神と専門的・職業的倫理に基づく公正性

<学力の3要素>

アジア・欧米など諸地域の文化とその歴史的背景に関する基礎的・基本的な知識・技能 それらの知識・技能を活用して国際的・地域的な諸課題を解決してゆく思考力・判断力・表現力 国際的・地域的な諸課題解決のための学修に主体的に取り組む態度

生活科学部

生活科学部では、心と生命を持ち、共同体の中で自然と共生しながら生きる傷つきやすく精妙な人間を癒し、その良き生を守る「心理」「福祉」「食物」などの分野における人財の育成を目的として、全学教養課程の学修を通じ幅広く豊かな教養を身につけるとともに、各学科の専門課程において以下の専門的諸能力を備えたと認められる人に学士(生活科学)の学位を授与します。

心理福祉学科

心理福祉学科では、豊かな教養を身につけるとともに、心理と福祉に関わる以下の専門的諸能力を備えた人に学位を授与します。

<建学理念>

キリスト教精神 (隣人愛) に基づき、心理的ケアと福祉を通じて諸人生のいとなみに奉仕しようとする 実践的ボランタリズム

キリスト教精神と専門的・職業的倫理に基づく公正性

<学力の3要素>

人間の心理および現代社会における福祉のあり方やその歴史的・理念的背景に関する基礎的・基本的な 知識・技能

それらの知識・技能を活用して日常生活で直面する心理や福祉の個人的・社会的諸課題を解決してゆく 思考力・判断力・表現力

心理や福祉の個人的・社会的諸課題解決のための学修に主体的に取り組む態度

食物健康科学科

食物健康科学科では、豊かな教養を身につけるとともに、食物と健康に関わる以下の専門的諸能力を備えた人に学位を授与します。

<建学理念>

キリスト教精神 (隣人愛) に基づき、食と健康の専門職として諸人生のいとなみに奉仕しようとする実 践的ボランタリズム

キリスト教精神と専門的・職業的倫理に基づく公正性

<学力の3要素>

食と健康に関する基礎的・基本的な知識・技能

それらの知識・技能を活用して食と健康に関わる課題を解決してゆく思考力・判断力・表現力 食と健康に関わる課題解決のための学修に主体的に取り組む態度

看護学部

看護学部では、人々の「よき生」を支え育むことに寄与する「知恵」を持った看護人財の育成を目的として、全学教養課程の学修を通じ幅広く豊かな教養を身につけるとともに、看護学科の専門課程において以下の専門的諸能力を備えたと認められる人に学士(看護学)の学位を授与します。

看護学科

<建学理念>

キリスト教精神(隣人愛)に基づき、看護における人間愛を通じて諸人生のいとなみに奉仕しようとする実践的ボランタリズム

キリスト教精神と専門的・職業的倫理に基づく公正性

<学力の3要素>

看護全般の科学性やその歴史的・理念的背景に関する基礎的・基本的な知識・技能

それらの知識・技能を活用して看護に関わる個人的・社会的諸課題を解決してゆく思考力・判断力・表現力

看護に関わる個人的・社会的諸課題解決のための学修に主体的に取り組む態度

経営学部

経営学部では、経営学の専門知識、経営に関する倫理観と行動力(社会人基礎力)を持ち、それによって現実社会に適切に対応し、将来を見据える能力を備えた人財の育成を目的として、全学教養課程の学修を通じ幅広く豊かな教養を身につけるとともに、経営学科の専門課程において以下の専門的諸能力を備えたと認められる人に学士(経営学)の学位を授与します。

経営学科

<建学理念>

キリスト教精神(隣人愛)に基づき、経営におけるリーダーシップ、コミュニケーション能力、状況判 断能力等の行動力を通じて諸人生のいとなみに奉仕しようとする実践的ボランタリズム

キリスト教精神と専門的・職業的倫理に基づく公正性

<学力の3要素>

マネジメント、会計・ファイナンス、地域イノベーション分野のあり方やその歴史的・理念的背景に関する基礎的・基本的な知識・技能

それらの知識・技能を活用して経営に関わる社会的諸課題を解決してゆく思考力・判断力・表現力 経営に関わる社会的諸課題解決のための学修に主体的に取り組む態度

3. 教育課程方針 (カリキュラム・ポリシー)

茨城キリスト教大学は、別に定める学位授与方針に基づき、全学教養課程、各学科・専攻における専門 課程、ならびに大学院修士課程を次の方針により編成します。

全学教養課程

本学は、各学科・専攻において別に定める学位授与方針をふまえ、全学部学生が共通して学ぶ全学教養 課程を次の方針に従って編成します。

<方法と理念>

すべての学生の人間的成長を促し、もって次代の創造に参画するよき市民の育成をめざします。

キリスト教の精神に基づいた全人格的教育の展開を通して、現代社会において自立した個人として、またよき隣人として、自他を尊び「共に生きる」精神を育みます。

自然ならびに人間社会に対する畏敬をもって調和と共生を図るために自ら行動することができる人物の 育成をめざします。あわせて、心身の健康に関心を持ち、その促進のために科学的視点をもって行動する ことができる人物の育成をめざします。

充実したリテラシー教育の展開とともに、自然、歴史、地域社会、先人の知恵とあわせて現代科学におけるさまざまな知見に学ぶ機会を提供することにより、高度情報社会をしなやかに生きるバランス感覚と行動力に優れた人物を育みます。

世界の多様性の認識と異文化への理解を深めるとともに、自身の言語と文化を尊び継承し発展させることができる人物の育成をめざします。

言語や文化の異なる人々とのさまざまな交流や共同体験を通して、たがいの文化を尊重しつつ人類社会の成員として共生していくための開かれた精神と幅広い視野を備えた人物を育みます。

教養ある専門職従事者の育成に積極的に貢献します。教養ある人格こそがその専門性を高めるとの観点にたち、それぞれの学部・学科・専攻においてめざされている専門性を支え、それを広げ、活かすために不可欠なものとして教養教育を位置づけます。また優れた専門性は、教養ある人物から紡ぎだされるものであるとの観点にたち、すべての年次において教養教育と専門教育を有機的に配置し、相互の関連性と統合性を重視したカリキュラム展開を図ります。

全学に学ぶ学生同士の積極的な交流を通して、自らの専門性を相対化して捉える視点を養うとともに、 将来、他分野との協働を通して人類福祉のために積極的に貢献することができる人物を育みます。

<分野>

建学の精神、基礎演習、人文、社会、自然、外国語、健康スポーツ、留学、情報の計9分野(科目区分)で構成します。

<年次>

多様な興味・関心や履修希望時期の個人差、進度・編成の異なる各学科専門科目との適切な連携等に対応するため、大半の科目については1年次から履修可能となるよう編成します。

<評価>

学修成果の評価は、学位授与方針に掲げる各項目(知識・技能、思考力・判断力・表現力、学修に主体 的に取り組む態度、実践的ボランタリズム、公正性)をふまえた各科目の到達目標、評価方法、評価基準 に基づき適正に行います。その詳細については各科目の授業概要(シラバス)に記載します。

現代英語学科

現代英語学科は、別に定める学位授与方針に基づき、学科専門科目について次の方針に従って教育課程 を編成します。

<方法と理念>

習熟度別クラス編成により、実践的な英語の技能を身につけることのできるスキル科目群を編成し、履修者自身が予習や復習をもってその深化を図ることを同時に支援します。また特に演習科目や実技・実習科目では、グループ・ディスカッションやプレゼンテーション等のアクティブ・ラーニングをふんだんに取り入れて知識・技能の習熟を図るとともに、同世代の英語母語話者(インターン生)等の異なる文化背景を有する人々と英語を使って積極的に関わり、課題解決に主体的に向き合う態度や思考力・判断力・表現力の育成を図ります。また、そうした学修を補完しながら実践的ボランタリズムや公正性を身につけるための活動として、地域・国際交流センターのバディとして留学生を支援したり、日本語を教えたりするボランティア等を各授業を通じて推奨します。

<分野>

英語を専攻する者として必要な知識を学び、国際社会における英語の役割を理解し、英語圏以外の文化に対しても広い視野と公平さを身につけることを目的とした「現代英語基礎演習 I 」「現代英語基礎演習 II 」を設置します。

<年次>

1、2年次には、英語の「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能および非言語コミュニケーション技能の伸長をめざし、実用的なレベルの英語運用能力を身につけるための必修科目を配置します。3、4年次には、グローバル化社会を生き抜く職業人に必要なスキルと教養を身につけるための選択科目を「グローバル・コミュニケーション」「ホスピタリティ」「言語教育」「言語と文化」「演習」「アクティブ・ラーニング」の各分野に幅広く設置します。

<評価>

学修成果の評価は、学位授与方針に掲げる各項目(知識・技能、思考力・判断力・表現力、学修に主体的に取り組む態度、実践的ボランタリズム、公正性)をふまえた各科目の到達目標、評価方法、評価基準に基づき適正に行います。その詳細については各科目の授業概要(シラバス)に記載します。

<その他>

英語圏の文学・歴史・文化について研究し、「生きる意味とは」「幸福とは」など、人のもつ根本的な問いについての答えを探求し、その過程で人間としての成長を図ります。

児童教育学科

児童教育学科は、別に定める学位授与方針に基づき、学科専門科目について次の方針に従って教育課程 を編成します。

児童教育専攻

<方法と理念>

わかり易い資料に基づく解説等により基本的な知識・技能を身につけることのできる講義群を編成し、

履修者自身が予習や復習をもってその深化を図ることを同時に支援します。また特に演習科目や実技・実習科目では、グループ・ディスカッションやプレゼンテーション、模擬授業や場面指導等のアクティブ・ラーニングをふんだんに取り入れて知識・技能の習熟を図るとともに、課題解決に主体的に向き合う態度や思考力・判断力・表現力の育成を図ります。また、そうした学修を補完しながら実践的ボランタリズムや公正性を身につけるための活動として、こども達に実際に関わる教育ボランティア等を各授業を通じて推奨します。

<分野>

教育学・教育心理学・児童学に関わる科目群を知識修得の基礎分野として設定し、その周囲に学術的関連科目群や特別支援教育、音楽・美術・体育・労作体験などの実技科目群をふんだんに配置することで、知識・技能の拡大と深化、思考力・判断力・表現力の醸成、学修に主体的に取り組む態度の育成を図ります。特に3年次の初等教育実習や、3・4年次の児童教育演習(ゼミ)では、上記諸能力の総体を確認しながら更なる深化に務め、もって「頭と心と身体」をバランスよく鍛える教育課程を展開します。

<年次>

学科専門科目は教養科目との融合を図りつつ、1年次は基幹及び関連科目課程、2年次は初等教育(小学校)課程、3年次は初等教育(幼稚園)及び特別支援教育課程、4年次は専門領域研究・実践課程を置くことを基本として構成します。

<評価>

学修成果の評価は、学位授与方針に掲げる各項目(知識・技能、思考力・判断力・表現力、学修に主体的に取り組む態度、実践的ボランタリズム、公正性)をふまえた各科目の到達目標、評価方法、評価基準に基づき適正に行います。その詳細については各科目の授業概要(シラバス)に記載します。

<その他>

4年間を通して「IC教職履修カルテ」の各評価シートに基づき、具体的・効果的且つ実践的に学修成果を把握し、教職をめざして学修を重ねていくことで、何を学んだのかを振り返り、今後の課題を明らかにして行動化するための手がかりを得ることを支援します。

幼児保育専攻

<方法と理念>

わかり易い資料に基づく解説等により基本的な知識・技能を身につけることのできる講義群を編成し、 履修者自身が予習や復習をもってその深化を図ることを同時に支援します。また特に演習科目や実技・実 習科目では、グループディスカッションやロールプレイ、保育教材を用いたプレゼンテーション、指導案 に基づく場面指導等のアクティブ・ラーニングをふんだんに取り入れて知識・技能の習熟を図るとともに、 こども理解を深め、課題解決に主体的に向き合う態度や思考力・判断力・表現力の育成を図ります。また、 そうした学修を補完しながら実践の中で学ぶ力や公正性を身につけるため、こども達に関わる保育ボラン ティアや学園内附属こども園での研修等を推奨します。

<分野>

保育学・保育心理学・子育て支援に関わる科目群を知識修得の基礎分野として設定し、その周囲に学術的関連科目群や、音楽・美術・体育・労作体験などの実技科目群をふんだんに配置することで、知識・技能の拡大と深化、思考力・判断力・表現力の醸成、学修に主体的に取り組む態度の育成を図ります。特に2年次の初等教育実習(幼稚園)や3、4年で行う保育実習(保育所・施設)では、実習後の大学での振り返りを行いPDCAサイクルの中で上記諸能力の総体を確認しながら更なる深化に務めると同時に、自らのこども観を問い直し「頭と心と身体」をバランスよく鍛える教育課程を展開します。

<年次>

学科専門科目は教養科目との融合を図りつつ、1年次は基幹及び関連科目、2年次は保育内容研究科目、3年次は障害児保育や子育て支援科目、4年次は専門領域研究・実践科目を置くことを基本として構成します。

<評価>

学修成果の評価は、学位授与方針に掲げる各項目(知識・技能、思考力・判断力・表現力、学修に主体的に取り組む態度、実践的ボランタリズム、公正性)をふまえた各科目の到達目標、評価方法、評価基準に基づき適正に行います。その詳細については各科目の授業概要(シラバス)に記載します。

<その他>

4年間を通して「IC教職履修カルテ」の各評価シートに基づき、具体的・効果的且つ実践的に学修成果を把握し、教職や保育職をめざして学修を重ねていくことで、何を学んだのかを振り返り、自らの子ども観を構築し、人間理解を深め、今後の課題を明らかにして行動化するための手がかりを得ることを支援します。

文化交流学科

文化交流学科は、別に定める学位授与方針に基づき、学科専門科目について次の方針に従って教育課程 を編成します。

<方法と理念>

文化交流に関する基本知識やスキルを身につけることのできる講義群を編成し、履修者自身が予習や復習をもってその深化を図ることを同時に支援します。また、演習科目や実技・実習科目では、「文化交流体験」「海外ボランティア」「ジャーナリズム研究」「情報社会論」などのアクティブ・ラーニングをふんだんに取り入れて知識・技能の習熟を図るとともに、課題解決に主体的に向き合う態度や思考力・判断力・表現力の育成を図ります。また、そうした学修を補完しながら実践的ボランタリズムや公正性を身につけるための活動として、地域貢献や異文化交流等を各授業を通じて推奨します。

<分野>

文化交流を学習するために必要な基礎科目群を設定したうえで、応用科目として国際共生、観光、地域 貢献、日本語教育に関する一連の講義や演習科目を配置し、知識・技能の拡大と深化、思考力・判断力・ 表現力の醸成、学修に主体的に取り組む態度の育成を図ります。特に3~4年次の文化論演習(ゼミ)で は、上記諸能力の総体を確認しながら更なる深化に務め、もって「頭と心と身体」をバランスよく鍛える 教育課程を展開します。

<年次>

学科専門科目は教養科目との融合を図りつつ、 $1\sim2$ 年次では文化交流に関する基礎的科目、 $3\sim4$ 年次は専門領域研究・実践課程を置くことを基本として構成します。また、4年間を通して、アジア・欧米などの諸地域の文化に関する一連の知識・技能を習得します。

<評価>

学修成果の評価は、学位授与方針に掲げる各項目(知識・技能、思考力・判断力・表現力、学修に主体的に取り組む態度、実践的ボランタリズム、公正性)をふまえた各科目の到達目標、評価方法、評価基準に基づき適正に行います。その詳細については各科目の授業概要(シラバス)に記載します。

<その他>

学修成果の評価は、各科目のシラバスにおける授業の到達目標に照らし合わせ、成績評価の方法・基準

に合わせて適切に行います。また、国内外でのフィールドワークやアクティブ・ラーニングに関する評価 は、当該活動で課している報告書等で評価し、学科独自のニューズ・レターでその成果を学内外に発表し ていきます。

心理福祉学科

<方法と理念>

わかり易い資料に基づく解説等により基本的な知識・技能を身につけることのできる講義群を編成し、 履修者自身が予習や復習をもってその深化を図ることを同時に支援します。また特に演習や実習科目では、 グループ・ディスカッションやロールプレイ、プレゼンテーション等のアクティブ・ラーニングを取り入 れて知識・技能の習熟を図るとともに、課題解決に主体的に向き合う態度や思考力・判断力・表現力の育 成を図ります。また、そうした学修を補完しながら実践的ボランタリズムや公正性を身につけるための活 動として、心理・福祉に関わるフィールドワークやボランティアなどを各授業を通じて推奨します。

<分野>

心理学・社会福祉学に関わる科目群を知識修得の基礎分野として設定し、演習・実習・実験などの実技科目群を配置することで、知識・技能の拡大と深化、思考力・判断力・表現力の醸成、学修に主体的に取り組む態度の育成を図ります。特に3年次の心理実習・心理学実験や相談援助実習、3・4年次の心理福祉演習(ゼミ)では、上記諸能力の総体を確認しながら更なる深化に務め、もって「頭と心と身体」をバランスよく鍛える教育課程を展開します。

<年次>

1年次は教養科目・基幹科目を中心とした基礎課程、2年次は心理カウンセリング系科目・福祉系科目の専門科目の中でも基礎的な科目を中心とした専門基礎課程、3年次はより専門的科目や実習・実験を中心とした専門応用課程、4年次は専門領域研究・実践課程を置くことを基本として構成します。

<評価>

学修成果の評価は、学位授与方針に掲げる各項目(知識・技能、思考力・判断力・表現力、学修に主体的に取り組む態度、実践的ボランタリズム、公正性)をふまえた各科目の到達目標、評価方法、評価基準に基づき適正に行います。その詳細については各科目の授業概要(シラバス)に記載します。

<その他>

心理学系については、学部において公認心理師国家資格の取得に必要とされる講義・演習・実習科目を4年間にバランス良く配置し、心理学に関する専門的知識及び技術の習得を支援します。

社会福祉学系については、社会福祉士国家資格の取得に必要とされる講義・演習・実習科目を4年間に バランス良く配置し、少人数による指導によって社会福祉士として求められるソーシャルワークの知識・ 技術・価値観の修得を支援します。

食物健康科学科

食物健康科学科は、別に定める学位授与方針に基づき、学科専門科目について次の方針に従って教育課程を編成します。

<方法と理念>

食物健康科学に関連する幅広い知識と専門性ならびに管理栄養士、栄養士、食品衛生監視員、栄養教諭、 家庭科教諭等の専門職業人に必要な適性や知識・技能を身につけるための課程を講義、実験・実習、演習 により編成します。特に、講義科目においては、学生参加型学習、グループ学習など双方向型の教育方法を通して、主体的・能動的な学修態度を育みます。実験・実習科目においては、多様な形態のグループ学習を通して、コミュニケーション能力ならびに思考力・判断力・表現力の育成を図ります。また、そうした学修を補完しながら実践的ボランタリズムや公正性を身につけるための活動として、人々の健康づくりや食育に関わるボランティア等を各授業を通じて推奨します。

<分野>

食物健康科学への興味・関心の醸成ならびに専門性の土台となる食と健康にかかわる基礎知識修得のための科目群を専門基礎分野として設定します。専門基礎科目の学修をふまえ、さらに人々の健康づくりを担う専門職に必要な知識・技能の拡大と深化、思考力・判断力・表現力の醸成、主体的に学修に取り組む態度の育成を図るための科目群を専門分野として設定します。

また、科学的・論理的な思考および総合力を養うために、卒業研究を設定します。

<年次>

学科専門科目は初年次教育科目、教養科目との融合を図りつつ、1、2年次は専門基礎分野の関連科目課程、2~4年次は専門分野の関連科目課程、4年次は専門領域研究、管理栄養士国家試験対策の課程を置くことを基本として構成します。

<評価>

学修成果の評価は、学位授与方針に掲げる各項目(知識・技能、思考力・判断力・表現力、学修に主体的に取り組む態度、実践的ボランタリズム、公正性)をふまえた各科目の到達目標、評価方法、評価基準に基づき適正に行います。その詳細については各科目の授業概要(シラバス)に記載します。

<その他>

個人毎に履修系統図に基く学修計画を作成し、アセスメントテスト、学修ポートフォリオの結果等を踏まえて自己評価を行ない、課題の明確化や行動目標の設定・実施が円滑に進むよう支援します。

看 護 学 科

看護学科は、別に定める学位授与方針に基づき、学科専門科目について次の方針に従って教育課程を編成します。

<方法と理念>

看護専門職として社会に貢献できる看護実践者の育成をめざし、幅広い職業選択を可能にするために、 看護師国家試験受験資格に加えて、選択履修により保健師国家試験受験資格や養護教諭一種免許状を取得 できるカリキュラムを編成しています。

地域の特性を活かし、放射線利用や災害と看護に関する専門的知識を学ぶ科目を設置しています。

看護展開において必要な科学的思考と判断力を養うための演習科目を、 $1 \sim 4$ 年次を通し展開するとともに、シミュレーションモデルを用いた教育を実施し、看護技術の実践能力を強化します。

<分野>

豊かな人間性を育むために、建学の精神であるキリスト教の基礎知識や、人文・社会・自然のすべての側面から全学教養課程を学ぶ構成とし、また倫理的態度を身につけていくための科目を段階的に配置しています。

<年次>

学科専門科目は、教養科目との融合を図りつつ、科学的知識・技術、問題解決能力、コミュニケーション能力を含む専門職人としての確かな実践力を体系的に養うため、1年次では専門基礎科目、2年次では

看護学の基本と看護展開の基礎、3年次では実習を基本とする看護展開の応用、4年次では看護学の発展 に関する科目を配置しプロフェッショナルへの学びを積み重ねていく構成としています。

さらに、看護展開において必要な科学的思考と判断力を養うための演習科目を、1~4年次を通し展開するとともに、シミュレーションモデルを用いた教育を実施し、看護技術の実践能力を強化します。

<評価>

学修成果の評価は、学位授与方針に掲げる各項目 (知識・技能、思考力・判断力・表現力、学修に主体的に取り組む態度、実践的ボランタリズム、公正性)をふまえた各科目の到達目標、評価方法、評価基準に基づき適正に行います。その詳細については各科目の授業概要 (シラバス) に記載します。

<その他>

自らの関心を深め自律的・能動的に学習する態度を育成するとともに、生涯学習の動機づけを図るため、4年次に選択科目を配置しています。教育目標に基づく各教科の目的達成を確認しつつ、科学的思考基礎演習科目において実践能力確認試験の合格及び、最終学年に計画されている科学的思考基礎演習科目 VIIの客観的臨床能力試験、研究方法論演習、総合実習の学修過程と成果を持って、教育目標の達成を確認します。

経営学科

経営学科は、別に定める学位授与方針に基づき、学科専門科目について次の方針に従って教育課程を編成します。

<方法と理念>

経営学科では「豊かな教養と専門性を備えた人材の育成」を念頭に、学問的素養を高め、経営学の各々の専門分野での知識や技能を育む一方、広く社会のニーズに合致するため、対人能力や問題解決能力に優れた資質を持つ人材の育成を重視しています。そのため講義形式の授業に加えて、グループワークを多く取り入れた演習授業を初年度から行い、リーダーシップ力を養う参加型の実践教育を活用します。卒業後は民間企業や公的機関等で活躍し、将来、国際社会や地域社会に広く貢献できる質の高い人材の育成を目指しています。

社会で必要な知識・能力においては、

- ①一般教養と倫理性(基礎学力・社会常識、倫理観と豊かな人間性の醸成)
- ②専門的知識・スキル・分析能力
- ③意思決定、リーダーシップに関わる総合的能力(コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、 問題解決能力)

が重要であると考え、それらをバランスよく修得できる履修科目の編成を施しています。

<分野>

経営学における基幹科目のうち、経営学入門およびリーダーシップ演習を基本的な知識および社会人基礎力養成のための基礎分野として設定し、専門基礎科目における科目群を配置することで、知識・技能の拡大と深化、公正な判断力・豊かな表現力の醸成、学修に主体的に取り組む態度の育成を図ります。同時に、マネジメント、会計・ファイナンス、地域イノベーションの3分野の専門科目群が、専門知識と問題解決能力、行動力を備えた優れた専門性を備えた社会人としての能力を育成します。特に3・4年次からの必修科目である経営演習(ゼミ)では、上記諸能力を高めながら統合できる力を発揮できるように体験的学習にも努め、社会のビジネスリーダーとしてふさわしい能力を養う教育課程を展開します。

<年次>

 $1\sim 2$ 年次においては、基礎的な能力を高めるために、入門科目とともに演習科目を必修とし、上記②、③の能力を育成するとともに、専門科目では、マネジメント、会計・ファイナンス、地域イノベーションの 3 分野を中心に、学生の将来の進路に応じた必要科目を年度別、段階的に選択できるように配置しています。 3 、4 年次には経営演習ゼミナールによって、指導教員の下で更に自らの専門性を磨く密度の高い教育を行います。評価においてはGPA制度による公正かつ客観的な運用に努め、「学生が何を身に付けたか」を重視して学生の進級判定、卒業認定、学修支援を行います。

また、今日求められている地域社会に貢献する人材とグローバル社会で活躍する人材の育成を主眼として、専門科目に両系統(グローバルと地域)に関する充実した選択科目群(プログラム)を設置し、履修条件を満たした学生には修了認定を与えるグローバルビジネス・プログラムと地域マネジメント・プログラムを取り入れています。

<評価>

学修成果の評価は、学位授与方針に掲げる各項目(知識・技能、思考力・判断力・表現力、学修に主体的に取り組む態度、実践的ボランタリズム、公正性)をふまえた各科目の到達目標、評価方法、評価基準に基づき適正に行います。その詳細については各科目の授業概要(シラバス)に記載します。

<その他>

経営学科では、将来、地域社会や国際社会で活躍できる質の高い人材育成を目指しており、単なる知識や技能習得だけでなく、地域の連携の中で活動し、実践的ボランティアリズムをはじめとして学生が主体的かつ実践的に取り組めるような外部との交流、意見交換、実施体験のできる機会を授業に取り入れるように努める。

4. 授業、単位と卒業要件

(1) 授業、学期と時間割

本学では、1年を前期と後期の2期に分け、学期毎にどの曜日も15回(週1回の場合)を基準として授業を実施できるよう学事暦が定められている。

1日の授業時間は6つの時間帯に分けられ、それぞれ1時限~6時限と呼ばれる。1つの時限は単位計算上1コマ2時間と換算されるが、実際の時間は90分である(但し、授業形式が実習のものは除く)。

学期中の平日に限らず、土曜や休業期間を含めて、集中的に授業を行うものを集中講義と呼ぶ。

(2) 単位

授業科目ごとに単位が定められている。履修登録をし、試験に合格することで単位を修得することができる。ただし、出席時数が当該授業の全授業時数の3分の2に満たない場合は単位を修得することはできない。

各学科、入学年度で卒業や免許・資格に必要な修得単位が定められており、その条件を満たさないと卒業や免許・資格の取得ができないので注意してほしい。

(3) 単位の基準

1単位の授業時間は、原則として次の基準による。

授業種類	授業時間と単位数	半期コマ数と単位
講義科目	15時間(毎週1時間の15週)の授業をもって1単位とする。	半期1コマ2単位
演習科目	15時間または30時間(毎週1時間または2時間の15週)の 授業をもって1単位とする。	半期1コマ2単位または 1単位
実験·実習· 実技科目	30時間または45時間(毎週2時間または3時間の15週)の 授業をもって1単位とする。	半期1コマ1単位または 半期1.5コマ1単位

^{※「}卒業研究」については、学修の成果を評価して単位を与える。

(4) 卒業認定と学位

本学に4年以上在学し、所定の単位を修得した者には、教授会の議を経て学長が卒業を認定し、次の学 位が授与される。

学部	学位
文 学 部	学士(文学)
生活科学部	学士(生活科学)
看護学部	学士(看護学)
経営学部	学士(経営学)

(5) 本学入学前に修得した単位の認定

1) 本学1年次入学生

本学入学以前に他大学または短期大学等で修得した単位および特別科目等履修生として修得した単位がある場合、本学において修得した単位として認定することがある。単位認定希望者は、できるだけ授業開始前(履修相談日)に学務部まで相談すること。

2)編転入学生

編転入学を許可された者が入学前に修得した単位のうち、2年次編入生は30単位、3年次編入生は60単位を越えない範囲で、本学において修得したものとして単位を認定する。

基本的に、2年次編入生については1年次開講科目、3年次編入生については $1\sim2$ 年次開講科目の範囲で、科目の内容が共通と認められた場合、単位を認定する。学生本人が認定を希望しない科目については、認定しない。

資格関連科目に関しては3年次以上の配置科目についても認定する場合がある。

教職課程の科目に関して、本学に入学する前の大学が短期大学である場合は、二種免許状に係る科目の 単位数が上限となる。また、道徳教育に関する科目は再履修しなければならない。(教育職員免許法施行規 則第3条表備考4および10条の2)

5. 履修登録

(1) 履修登録について

履修登録とは、授業を受け単位を修得するために、年度毎にその年度の受講計画を立て、履修科目をあらかじめ登録する手続きのことである。登録は各年次に配置された必修科目を第一にし、つぎに選択科目、資格科目を考慮し、その年度の登録科目を決定する。その際、この冊子内容をよく参照すること。正当な理由なしに期間内に登録を終えない者、登録手続きに不備のある者は、授業の受講や単位も認められないので注意すること。

(2) 履修登録の注意

① 文学部、生活科学部、看護学部各学科の1年間に登録できる単位数は、卒業要件に関わる科目が<u>50</u> 単位未満で、総単位数は60単位以内とする。

経営学部経営学科の1年間に登録できる単位数は、卒業要件に関わる科目が47単位未満で、総単位数は56単位以内とする。ただし、前学年度のGPAが3.0以上の学生は、卒業要件科目については50単位未満、総単位数は60単位まで履修することができる。

- ② 該当年次より上位年次配置科目は履修できないが、下位年次配置科目は履修できる。
- ③ 他学科・他学部科目で履修可能科目があり、卒業要件となる場合がある。但し、履修できない科目 や制限がある科目もあるので、この冊子をよく読み担当教員に確認すること。
- ④ 履修制限(指定クラス等)については、履修登録の手引きで確認し、登録すること。
- ⑤ 履修登録確定後、登録した科目の変更は認めないので、十分注意すること。
- ⑥ 後期開講科目も原則として4月に登録すること。なお、後期開始時に別の科目を追加して登録することもできる。詳細は学務部の窓口で確認すること。

(3) 履修科目の取消

履修登録した学生は、下記の指定期間内に履修科目の取消ができる。

履修科目の取消をする場合は、<u>必ず自己の責任において、単位数の確認計算を行った後</u>に、履修科目取 消届を、決められた期間内に学務部に提出すること。

取消をした科目は、評価の対象から除外される。履修科目の取消をする場合は、<u>科目の重要性(必修科</u>目、卒業要件単位等)を考えて慎重に行うこと。

① 「履修科目取消届」受付期間

前期・通年科目

5月下旬 前期試験前

後期・通年科目 10月下旬

後期試験前

※具体的な取消届受付期日については「履修登録の手引き」で確認すること。

※学外実習科目、集中講義科目、前期または後期の途中で終了する科目、卒業研究については、別に取

消締切日を設ける。

② 追加登録については、(2) 履修登録の注意の⑥ (32ページ) を参照のこと。

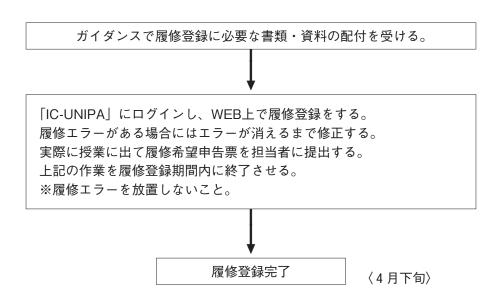
(4) 履修登録の方法および注意事項

履修登録は、WEBサービスシステムである「IC-UNIPA」のWEB履修の機能を使って行う。詳細については別途配付の「履修登録の手引き」等を参照すること。

履修登録は、定められた期間に必ず済ませ、登録漏れがないように注意すること。万一履修エラーがある場合はそのまま放置しないようにすること。

なお、履修登録した科目は、「IC-UNIPA」上で確認できる。

履修ガイダンスから履修登録の完了まで



6. 授業の履修

(1) 授業を受ける際のマナー

授業を受ける際には受講マナーを守り、他の学生の迷惑にならないよう注意すること。ごく当たり前の ことを一人一人が気を付けることが大切である。

① 私語

周りの学生の迷惑になるので、質問以外は発言しないようにすること。

② 授業中の入退室

遅刻をして入室することのないよう注意すること。万一、体調不良等止むを得ない事情で途中入退 室する場合は、挙手をして授業担当者の許可を得ること。

③ 携帯電話 (スマートフォンを含む)

授業中は電源を切るか、マナーモードにし、かばんの中にしまうこと。ただし、授業担当者の指示で授業中に使用する場合がある。その際は授業担当者の指示に従うこと。

④ その他、授業中に控えるべき事項

「居眠りをする」「ガムや飴を食べる」「飲食物を持ち込む」「化粧をする」「筆記用具やノートを持ってこない|「サングラスをかけたまま|「帽子をかぶったまま|等。

(2) 公欠制度

学校保健安全法施行規則第19条に規定されている感染症に感染したり、感染の疑いがある場合は「公欠」となるので、事由が判明した段階で速やかに学務部に連絡し、「公欠届」を提出すること。なお公欠となった場合の取り扱いは次のとおりとする。

- ① 当該欠席時数は「失格」(出席時数が全授業時数の3分の2に満たない場合)を決する算定に含まれない。
- ② 評価に際して減点材料とされない。ただし、授業担当者が評価上支障があると判断する場合は、別途レポート課題を課す等、評価のための追加措置を指示されることがある。
- ③ 定期試験が公欠となる場合は追試験を実施する。

なお、公欠とならないその他の事由による授業欠席は、いかなる事由であってもすべて「失格」判定に おける欠席回数に数えられるので注意すること。学外実習、忌引き、病欠、ケガ等についてもすべてその 対象となる。

また、授業時数3分の1以下の欠席を認める本学学則条項は、忌引きや病欠等の止むを得ない欠席を想定したものである。止むを得ず欠席しなければならない事態に備えるため、これに該当しない欠席は厳に慎むこと。

7. 試験規程

本学においては、年間2回の定期試験を実施している。即ち、前期終了時の前期試験と年度末の後期試験である。その他、授業によっては、随時試験が行われることがある。

いずれの場合も、学生の本分に従い厳正に受験しなければならない。もし不正行為があれば、学則第46 条に基づいて懲戒の対象とする。

(1) 試験規程

第1条 本規程は、本学学則第15条から第17条に基づき、本学において実施される定期試験等に関し、必要な事項を定めるものである。

第1章 定期試験

(定期試験)

第2条 定期試験とは、あらかじめ定められている期間に実施される試験で、前期末試験、後期末試験およびそれに準ずる試験を基本とする。

(受験資格)

第3条 出席時数が当該授業の全授業時数の3分の2に満たない者、および当該学期の学納金が未納の者は、受験資格を失う。仮に、これらの事実を確認せずに受験してしまった場合においても、その受験は無効となり、評価は「失格」となる。

(受験心得)

- 第4条 試験室においては、すべて担当教員の指示に従わなければならない。
 - 2 受験に際しては、有効な学生証(仮学生証を含む)を机上に呈示しておかなければならない。
 - 3 試験室への携帯品はカバンに入れるか、担当教員の指示する所定の位置に置くものとする。なお、 携帯電話等の機器類の電源は必ず切っておかなければならない。
 - 4 試験開始時刻に遅刻した場合は、担当教員の指示に従うこと。
 - 5 試験途中での退室を認められた場合を含み、試験室を退出する場合は、必ず答案用紙を提出して からでなければならない。
 - 6 試験室内においては、不正行為および不正行為を助ける行為をしてはならない。
 - 7 不正行為および不正行為を助ける行為を行った者の答案は無効とし、その科目の評価は「失格」 とする。それ以外の処置については、当該学生の所属する学部教授会において決定する。
 - 8 前項によって「失格」の評価を受けた学生が再び不正行為を行った場合には、当該学期において 登録している全科目の評価を「失格」とし、それ以外の処置については、当該学生の所属する学 部教授会において決定する。

(不正行為)

- 第5条 不正行為とは、次のような行為を言う。
 - ① 他人(自分以外の人)に代理受験を依頼して行わせた場合、および代理受験をした場合
 - ② 他人のために答案、メモを書いたり、他人に答案、メモ等を書いてもらったりしている場合
 - ③ 持ち込みを許可されていない教科書、参考書、ノート、メモ等を見ている場合

- ④ 他人の答案を見たと認められる場合
- ⑤ 他人に自己の答案を見せたと認められる場合
- ⑥ 口頭あるいは動作によって、試験の内容について互いに連絡している場合
- ⑦ 持ち込みを許可されている教科書、参考書、ノート等を互いに貸借している場合
- ⑧ その他監督者が不正行為と判断する場合
- 2 不正行為は試験室内で指摘された場合に限らず、採点の際に発見された場合も同様の扱いを受け る。

第2章 追試験

(追試験)

- 第6条 以下に挙げる正当な理由により定期試験を受けることができなかった者は、学則第17条に基づき、 本人の願い出により追試験を受けることができる。
 - ① 天災地変のため試験を欠席した者
 - ② 近親者(三親等以内)の死亡によって試験を欠席した者
 - ③ 交通事故のため試験を欠席した者
 - ④ 病気のため試験を欠席した者
 - ⑤ 公欠となる事由により試験を欠席した者
 - ⑥ 家庭の止むを得ない事情で試験を欠席した者
 - ⑦ 就職試験のため試験を欠席した者
 - ⑧ 派遣学生として他の大学等の科目を履修している学生のうち、定期試験日が本学で履修している科目の定期試験日と重なり、本学で定期試験を受けられなかった者
- ⑨ その他本人の責めに帰さない事情により試験を欠席した者で、学長から特別認められた者 (追試験の手続き)
- 第7条 追試験を希望する者は、試験欠席後速やかに学務部学務課に連絡して指示を受け、試験期間最終 日から3日以内に正式な追試験の手続きをしなければならない。
 - 2 追試験を希望する者は、1科目あたり1,000円の追試験料を納入しなければならない。ただし、 前条⑤、⑧の理由によって定期試験を欠席し、追試験を希望する場合は、追試験料を徴収しない。
 - 3 前条②に該当する場合は、会葬御礼等を提出しなければならない。
 - 4 前条③に該当する場合は、証明書を提出しなければならない。
 - 5 前条④に該当する場合は、病院の発行する診断書、領収書、処方箋等を提出しなければならない。 医療機関での受診がない場合は、原則として追試験を受けることはできない。
 - 6 前条⑤に該当する場合は、公欠届を提出しなければならない。
 - 7 前条⑥に該当する場合は、保証人による理由書を提出しなければならない。
 - 8 前条⑦に該当する場合は、当該企業等の発行する証明書を提出しなければならない。
 - 9 前条⑧に該当する場合は、証明書を提出しなければならない。
 - 10 前条⑨に該当する場合は、相当する理由書または証明書を提出しなければならない。
- 第8条 定期試験の日程に組み込まれていない科目については、原則として追試験は行われない。 (追試験の評価)
- 第9条 追試験の成績は、採点の80%とする。ただし、公欠となる理由に基づく追試験の成績については、 通常の定期試験受験者と同等に扱う。

第3章 レポート

(レポート)

- 第10条 定期試験に代わるもの、あるいは補うものとしてレポートの提出が求められる場合、そのレポートも成績評価の根拠となるものとして、定期試験に準じて扱われる。
- 第11条 レポートの提出先は原則として担当教員とする。
- 第12条 レポート提出に際しては、担当教員の指示に従い、授業科目名、担当教員名、レポート題、学籍番号、氏名等を明記するものとする。
- 第13条 レポートの作成に際しては、黒のペンまたはボールペンを使用することを原則とし、上部2個所を綴じて提出するものとする。
 - 2 パソコン等を使用して作成する場合等については、担当者の指示に従うものとする。
- 第14条 レポートは必ず本人が直接提出しなければならない。
- 第15条 レポート作成および提出に関する不正行為については、定期試験における不正行為に準じて取り 扱われる。

第4章 再試験

(再試験)

- 第16条 当該年度の卒業見込者で、以下の条件を満たしている場合は、学則第17条に基づき、再試験を受けることができる。
 - ① 定期試験および追試験の結果、不合格科目のうち2科目以内の単位を修得できれば卒業要件 を満たすことができる場合。
 - ② 前号の不合格科目の成績評価が「F」である場合。その成績評価が「失格」または「欠試」である場合は、再試験の対象とはならない。
 - ③ 前期末卒業に関しては、再試験は実施しない。
- 第17条 再試験の対象科目は、学務部より掲示される。
 - 2 「基礎演習および学科のゼミに相当する演習」、「卒業研究」、「実験・実習・実技にかかわる科目」、「外国語科目のうちのCIS」、「単位互換による科目」、「卒業要件外の科目」は再試験の対象とはならない。
 - 3 前項に挙げる科目のほか、再試験の対象とはならない科目を各学科が指定する場合がある。

(再試験の手続き)

- 第18条 再試験を希望する者は、指定された期日に学務部において正式な再試験の手続きをしなければな らない。
 - 2 再試験を希望する者は、1科目あたり5,000円の再試験料を納入しなければならない。

(再試験の評価および卒業)

- 第19条 再試験の結果、合格した科目の評価は「C とする。
- 2 再試験を受験して卒業要件単位を満たした者の卒業期日は、一般卒業者と同一期日とする。 (規程の改定)
- 第20条 本規程の改定は、教務委員会および合同教授会の議を経て、学長がこれを行う。

附 則

- 1 本規程は2017年4月1日より施行する。
- 2 本規程は2018年4月1日より施行する。
- 3 本規程は2019年4月1日より施行する。

(2) 成績評価に関する内規

- 第1条 本内規は、学則第7章に基づき、成績評価に関する事項を定めるものとする。 (成績評価)
- 第2条 学業成績は、定期試験および臨時試験(筆記・口述・実技等の試験を含む)、レポート等の成績を 総合して評価され、合格と判定された場合は所定の単位が与えられる。
 - 2 成績評価の基準は、以下の通りとし、AA、A、B、Cを合格とし、Fを不合格とする。
 - AA 90点以上
 - A 80点~89点
 - B 70点~79点
 - C 60点~69点
 - F 59点以下
 - 3 定期試験に欠席し、追試験の手続きをしない場合の評価は「欠試」となり、単位は認定されない。
 - 4 以下のいずれかに該当する場合の評価は「失格」となり、単位は認定されない。
 - ① 出席時数が当該授業科目の全授業時数の3分の2に満たない場合
 - ② 当該年度・学期の授業料等が未納の場合
 - ③ 定期試験またはレポート作成に際し、不正行為があったと認められたとき
 - ④ その他、担当教員が十分な根拠をもって評価に値しないと判断したとき

(評定平均值)

第3条 評定平均値(GPA:Grade Point Average)は下記の数式によって算出される。

評定平均値(GPA) = (科目の単位数×科目の成績点)の合計 総履修登録単位数

- ※1 「総履修登録単位数」には、次に該当する科目の単位は含まれない。
 - ①本学で修得したものとして単位が認定されたもの(記号「認」*のもの)
 - ②履修登録後、正規の手続きを経て取り消しを行ったもの
- ※2 「科目の成績点」は、各々の科目の評定を次の通りに点数化して計算式にあてはめる。

【合格】 AA=4.0 A=3.0 B=2.0 C=1.0

【不合格】 F=0 欠 (欠試) = 0 失 (失格) = 0

- ※3 不合格の評定を受けた科目を再履修して合格点を得た場合も、不合格評定と合格評定の 双方が計算式に反映される。
- ※4 科目履修中に自身の判断で取り消しを決意した場合は、正規の手続きを経て取り消しを 行うことができる。履修の取り消しは、学外実習等の一部科目を除き、定められた「履 修登録取消期間」で行うことができる。取消手続きを行わない場合は失格もしくは欠試 となり、評定平均値を下げることとなる。
- 2 評定平均値はIC-UNIPA上の個人成績画面、成績通知票、成績証明書に掲載され、優等賞、学業 優秀賞、各種奨学金事業、教育実習履修要件等、学内の関連諸施策の運用に共通して使用される。

(成績涌知)

第4条 成績評価の結果は、IC-UNIPAを通して、翌学期開始時に通知される。ただし、通年科目に関しては翌年度開始時に通知される。

- 2 前項の規定にも関わらず、卒業年次の成績通知に関しては、卒業生氏名発表と同時に行う。 (成績評価の変更)
- 第5条 科目担当者により、正式なものとして登録された成績は、原則として変更されない。 (成績評価に対する疑義)
- 第6条 成績評価に関して疑義が生じた場合は、学務部を通して調査等を依頼することができる。
 - 2 前項の調査等の受付期間は、成績通知後1週間以内とし、期間が過ぎた場合は受け付けられない。 ただし、実習等により成績調査依頼票を受付期間内に提出することができない場合については、 別途指示する。

(保証人への成績通知)

- 第7条 成績通知は、原則として保証人のIC-UNIPAアカウントへ開示する。
 - 2 前項の規定にもかかわらず、学生本人が保証人への成績開示を希望しない場合には、所定の期日までに申し出るものとする。
- 3 前項の申し出があった場合には、成績開示を本人が希望していない旨、保証人に通知する。 (内規の改定)
- 第8条 本内規の改定は、教務委員会および合同教授会の議を経て、学長がこれを行う。

附 則

- 1 本内規は2017年4月1日より施行する。
- 2 本内規は2020年4月1日より施行する。
- ※「認」とは、本学入学以前に他大学または短期大学等で、また入学後に海外研修(留学を含む)等で修 得した単位を表す記号である。

(3) 前期末卒業に関する内規

- 第1条 本内規は、学則第4条および第8章に基づき、前期末卒業に関して、必要な事項を定める
- 第2条 4年以上の在籍者のうち、前期完結科目の単位を修得することによって卒業要件単位数が満たされる場合、本人の願い出によって前期末卒業が認められることがある。
- 第3条 前条の該当者は、4月の履修登録締切日までに「前期末卒業申請書」を学務部に提出しなければ ならない。
- 第4条 前期末卒業に関しては、再試験は実施しない。
- 第5条 前期末卒業を申請し、卒業要件を満たした場合、年度末卒業への変更はできない。
- 第6条 前期末卒業に関わる学納金については、別に定める。
- 第7条 本内規の改定は、教務委員会、合同教授会の議を経て、学長がこれを行う。

附 則

1 本内規は2017年4月1日より施行する。

(4) 転科・転部試験規程

第1条 本規程は、学則第28条に基づき、転科・転部に関して必要な事項を定める。

(転科・転部試験)

- 第2条 転科・転部を希望する場合は、事前に学務部、アドヴァイザー教員、および受け入れ学科教務委員に申し出て、十分な指導を受けることとする。
- 第3条 転科・転部の受け入れ可能学科は、該当年次在籍者数等により年度毎に決定し、1月中旬に掲示 される。
 - 2 前項の規定にもかかわらず、文学部児童教育学科幼児保育専攻、生活科学部食物健康科学科、および看護学部看護学科においては転科・転部試験を実施しない。

(年次)

- 第4条 転科・転部を受け入れる年次は、原則として2年次とする。
 - 2 前項の規定にもかかわらず、3年次への転科・転部を認める場合がある。
- 第5条 転科・転部を許可された者の年次は、原則として転科・転部する以前に在籍していた年次の翌年 次とする。

(在籍期間)

第6条 転科・転部をした場合の在籍年限は、学則第4条に定められる期間を超えないものとする。

(出願および審査料)

第7条 転科・転部試験の受験を希望する者は、所定の願書により、指定された期日までに、審査料10,000 円を納入し、出願しなければならない。

(選考方法)

第8条 転科・転部試験の選考方法は、受け入れ予定学科の指定する試験・面接等による。

(合否判定および結果通知)

- 第9条 転科・転部試験の合否判定は、教務委員会の議を経て、受け入れ予定学科の所属する学部教授会 において審議・決定する。
 - 2 転科・転部の合否については、前項の学部教授会の決定を受けて、学務部より通知する。

(規程の改定)

第10条 本規程の改定は、教務委員会および合同教授会の議を経て、学長がこれを行う。

附 則

1 本規程は2017年4月1日より施行する。ただし、2017年度に転科·転部を希望する者については、 本規程を準用する。

8. 科目ナンバリング

本学では、2017(平成29)年度から、全ての学部・大学院において「科目ナンバリング」の制度を導入 しました。

(1) 科目ナンバリングとは

科目ナンバリングは、教育課程の体系が理解しやすくなるように、各授業科目に記号・番号を付し、各 科目の配置、相互関係、位置づけ、授業形式などを明示する仕組みです。

(2) 科目ナンバリングの構成

1 23 4 5 6

EN 11 A 01 E

- 例)English Communication I(現代英語学科 学科科目)
- ① アルファベット2文字:学科・専攻等を表す。
 - LA:全学教養科目
 - EN: 文学部 現代英語学科 学科科目
 - PE: 文学部 児童教育学科 児童教育専攻 学科科目
 - PC: 文学部 児童教育学科 幼児保育専攻 学科科目
 - CC: 文学部 文化交流学科 学科科目
 - WP: 生活科学部 心理福祉学科 学科科目
 - FS:生活科学部 食物健康科学科 学科科目
 - NU:看護学部 看護学科 学科科目
 - MA:経営学部 経営学科 学科科目
 - EX:卒業要件外科目
 - GE:大学院 文学研究科 英語英米文学専攻 学科科目
 - GP: 大学院 生活科学研究科 心理学専攻 学科科目
 - GF: 大学院 生活科学研究科 食物健康科学専攻 学科科目
 - GN: 大学院 看護学研究科 看護学専攻 学科科目
- ② 2桁の数字の十の位:年次レベルを表す。
 - 1:学部 1年次レベル(1年次生から履修可能)の科目
 - 2:学部 2年次レベル (2年次生から履修可能) の科目
 - 3:学部 3年次レベル (3年次生から履修可能) の科目
 - 4:学部 4年次レベル (4年次生が履修可能)の科目
 - 5:大学院 1年次レベル (1年次生から履修可能) の科目
 - 6:大学院 2年次レベル (2年次生から履修可能) の科目

③ 2桁の数字の一の位:科目(内容)の順位性を表す。

0 :特に順位性が設けられていない科目

1~:科目名のローマ数字(Ⅰ~Ⅷ)に対応し、順位性が示される科目

④ アルファベット1文字:必修・選択必修・選択の別を表す。

A: 当該科目が適用される全学生にとって卒業要件上「必修」となる科目

B: 当該科目が適用される全学生にとって卒業要件上「選択必修」となる科目

C: 当該科目が適用される全学生にとって卒業要件上「選択」となる科目

⑤ 2 桁の数字:上記①~④の記号・数字が同一である科目グループの中の順番(カリキュラム表に現れる順番)を表す。

01~

⑥ アルファベット1文字:授業形式を表す。

K:講義科目E:演習科目

J: 実験科目、実習科目、実技科目

S: その他 (卒業研究等)

履修要項 I 文学部

〔全学教養科目および学科科目の履修〕

1.	卒業に必要な最低修得単位	43
2.	授業科目、単位数および履修規程	
	現代英語学科	
	(1) 全学教養科目	46
	(2) 学科科目	50
	児童教育学科 児童教育専攻	
	(1) 全学教養科目	
	(2) 学科科目	56
	児童教育学科 幼児保育専攻	
	(1) 全学教養科目	58
	(2) 学科科目	62
	文化交流学科	
	(1) 全学教養科目	64
	(2) 学科科目	68

1. 卒業に必要な最低修得単位 文学部

<2020(令和2)年度入学生>

〔現代英語学科〕

2019年度~

			科目区分	最低修得	 	
		建学の精神		6 単位		
		基礎演習		2 単位		
		外国語	(英語)			
	至 学	76国前	(英語以外)	6 単位		
	全学教養科目	健康スポーツ		体育実技2単位	合計	
卒	養	留学			32単位	
卒業に	1/3* 目	人文				
(C		社会		14単位		
要		自然				
必要な単位および規程		情報		2 単位		
畳		英語技能科目		20単位		
お			グローバル・コミュニケーション			
よが			ホスピタリティ			
規	学科	専門科目	言語教育		合計	
程	科	41 NJ D	言語と文化		76単位	
	科目		演習	12単位	7047111	
			アクティブ・ラーニング			
		資格サポート科目				
		学科科目から		44単位		
	自自	自由選択※			16単位	
			合計		124単位以上	

[※]全学教養科目、学科科目、他学科科目、他学部科目の中から履修。

〔児童教育学科 児童教育専攻〕

2019年度~

					2010 /2
			科目区分	最低修復	导単位
		建学の精神		6 単位	
		基礎演習		2 単位	
		月五五	(英語)	4 単位	
卒	全	外国語	(英語以外)	6 単位	
業	教	健康スポーツ		体育実技2単位	合計
卒業に必要な単位お	全学教養科目	留学			36単位
岩	科日	人文			
な		社会		14単位	
単		自然			
おお		情報		2 単位	
よび規程		基幹科目		20単位	合計
月規	学科科	専門科目		54単位	74単位
程	科和	資格科目I			
	目	資格科目Ⅱ			
		資格科目Ⅲ			
	自自	由選択※			14単位
			合計		124単位以上

※全学教養科目、学科科目(基幹科目・専門科目)、他学科科目、他学部科目の中から履修。 ※学科科目の資格科目Ⅰ・資格科目Ⅱ・資格科目Ⅲは卒業に必要な単位に含まれない。

〔児童教育学科 幼児保育専攻〕

2019年度~

		j	科目区分		最低修行	导単位					
		建学の精神		4 1	単位						
		基礎演習		2 主	単位						
卒	_	外国語	(英語)	2 単位	2 単位						
卒業に必要な単位お	全学教養科目	21国前	(英語以外)	2 単位	2 毕业						
(C	教	健康スポーツ		体育実持	支2単位	合計					
要	養	留学				30単位					
な ***	朴 日	人文									
畳	"	社会		141	单位						
お							自然				
よび		情報		2 1	単位						
	学	基幹科目		201	单位	合計					
程	学科科	専門科目		60 <u>ì</u>	単位	80単位					
	目	資格科目									
	自自	由選択※				14単位					
			合計			124単位以上					

[※]全学教養科目、学科科目(基幹科目・専門科目)、他学科科目、他学部科目の中から履修。 ※学科科目の資格科目は卒業に必要な単位に含まれない。

〔文化交流学科〕

			科目区分		最低修行	具畄位
		建学の精神	11000		6 単位	
		基礎演習			2 単位	
		至贬供日	(英語)		8 単位	
	全	外国語	(英語以外)		6 単位	
	全学教養科目	 健康スポーツ	(大田以下)		体育実技2単位	合計
	教	留学			件月天1又 4 年世	40単位
卒	科	人文				40平位
業	目	社会			1.4 光 任:	
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		自然		14単位		
卒業に必要な単位および規程		情報			の景件	_
な					2 単位	
単		基幹科目	仕座へ上っ		30単位	_
おお		文化交流を 実践する	体験する			_
よ			表現する	트리(WY 11, 44,		
ひ	学			国際共生	4 単位 (いずれか	
	学科科		応用する	観光		合計
	相			地域貢献	1区分から)	70単位
		L //		日本語教育		
			文化を学ぶ			
		特別研究				
		キャリア教育				
	目目	由選択※				14単位
			合計		124単位以上	

[※]全学教養科目、学科科目、他学科科目、他学部科目の中から履修。

留意事項

1. 自由に選択できる単位について

卒業に必要な最低修得単位はどの学科も合計124単位となっているが、全学教養科目と学科科目の最低修得単位数を合計しても124単位にはならず、文学部各学科とも不足(現代英語学科16単位、児童教育学科14単位、文化交流学科14単位)が生じることになる。この不足は、全学教養科目・自分が所属する学科の学科科目・他学科及び他学部の学科科目(これらは全て卒業要件単位に含まれる科目群である)の中から自由に履修し、単位を修得して充足させることができる。ただし、他学科及び他学部の学科科目の履修に際しては、受講制限をする科目もあるので注意すること。

2. 科目の重複履修について

全学教養科目及び学科科目の一部について、科目の重複履修が可能である。ただし、同一担当者による 同一内容の場合、或いは同一時期に重複して履修することはできない。 下記科目以外は同じ科目を重複し て履修することができないので注意すること。

	重複履修回数		重複履修回数
キリスト教の精神と文化Ⅱ	2	コリアンⅢB	2
キリスト教の精神と文化Ⅲ	2	コリアンⅣB	2
体育実技A	4	外国語としての日本語ⅢB	2
体育実技B	4	外国語としての日本語IV B	2
総合英語V	2	その他の外国語A	3
総合英語VI	2	その他の外国語B	3
ドイツ語ⅢB	2	その他の外国語C	3
ドイツ語NB	2	その他の外国語D	3
フランス語ⅢB	2	文化交流体験	2
フランス語ⅣB	2	海外ボランティア	2
中国語ⅢB	2		
中国語IVB	2		

<この規程は2017(平成29)年度入学生から適用される。>

2. 授業科目、単位数および履修規程

〔文学部〕

履修に関しては次のことに注意すること。

- 1. ○印は必修科目を示す。
- 2. □印は選択必修科目を示す。
- 3. [] 印は[]内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。
- 4. 各授業科目は、それぞれ固有の科目コードを持つ。
- 5. 1年間に登録できる単位数は、卒業要件に関わる科目が50単位未満で、総単位数は60単位以内とする。

<現代英語学科>

(1) 全学教養科目

学科目	科目コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位
74 W 6	10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化 I	講義	30	2	1	
建学の 精神	10051	1	LA12A01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	2	1	6 単位必修
作用作	10052	1	LA33A01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	2	3	
基礎演習	10053	1	LA10A01E	大学基礎演習	演習	30	2	1	
	10062	1	LA31C01E	総合英語V	演習	30	1	3	
	10063	1	LA32C01E	総合英語VI	演習	30	1	3	
	10064	1	LA10B01E	多言語に触れる	演習	30	1	1	
	10065	1	LA11B01E	ドイツ語IA	演習	30	1	1	
	10066	1	LA12B01E	ドイツ語ⅡA	演習	30	1	1~2	
	10067	1	LA11B02E	ドイツ語IB	演習	30	1	1	
	10068	1	LA12B02E	ドイツ語ⅡB	演習	30	1	1~2	
	10069	1	LA23B01E	ドイツ語ⅢA	演習	30	1	2	
	10070	1	LA24B01E	ドイツ語IVA	演習	30	1	2~3	
	10071	1	LA23B02E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2	
	10072	1	LA24B02E	ドイツ語IVB	演習	30	1	2~3	
	10073	1	LA11B03E	フランス語IA	演習	30	1	1	
	10074	1	LA12B03E	フランス語ⅡA	演習	30	1	1~2	
	10075	1	LA11B04E	フランス語IB	演習	30	1	1	
	10076	1	LA12B04E	フランス語ⅡB	演習	30	1	1~2	
	10077	1	LA23B03E	フランス語ⅢA	演習	30	1	2	
	10078	1	LA24B03E	フランス語IVA	演習	30	1	2~3	
	10079	1	LA23B04E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	
	10080	1	LA24B04E	フランス語IVB	演習 30 1		2~3		
外国語	10081	1	LA11B05E	中国語IA	演習	30	1	1	
	10082	1	LA12B05E	中国語IIA	演習	30	1	1~2	同一言語 6 単位必修
	10083	1	LA11B06E	中国語IB	演習	30	1	1	0 年世紀16
	10084	1	LA12B06E	中国語IIB	演習	30	1	1~2	
	10085	1	LA23B05E	中国語ⅢA	演習	30	1	2	
	10086	1	LA24B05E	中国語IVA	演習	30	1	2~3	
	10087	1	LA23B06E	中国語ⅢB	演習	30	1	2	
	10088	1	LA24B06E	中国語IVB	演習	30	1	2~3	
	10089	1	LA11B07E	コリアンIA	演習	30	1	1	
	10090	1	LA12B07E	コリアンⅡA	演習	30	1	1~2	
	10091	1	LA11B08E	コリアンIB	演習	30	1	1	
	10092	1	LA12B08E	コリアンⅡB	演習	30	1	1~2	
	10093	1	LA23B07E	コリアンⅢA	演習	30	1	2	
	10094	1	LA24B07E	コリアンIVA	演習	30	1	2~3	
	10095	1	LA23B08E	コリアンⅢB	演習	30	1	2	
	10096	1	LA24B08E	コリアンIVB	演習	30	1	2~3	
	10097	1	LA10C02E	その他の外国語A	演習	30	1	1~4	
	10098	1	LA10C03E	その他の外国語B	演習	30	1	1~4	
	10099	1	LA10C04E	その他の外国語C	演習	30	1	1~4	
	10100	1	LA10C05E	その他の外国語D	演習	30	1	1~4	

学科目	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置年次	修得単位
	10101	1	LA11B09E	外国語としての日本語IA	演習	30	1	1	
	10102	1	LA12B09E	外国語としての日本語ⅡA	演習	30	1	1	
	10103	1	LA11B10E	外国語としての日本語IB	演習	30	1	1	り団において由
外国語	10104	1	LA12B10E	外国語としての日本語ⅡB	演習	30	1	1	外国において中 等教育を受けた
-	10105	1	LA23B09E	外国語としての日本語ⅢA	演習	30	1	2	学生にのみ適用
	10106	1	LA24B09E	外国語としての日本語NA	演習	30	1	2	
-	10107	1	LA23B10E	外国語としての日本語ⅢB	演習	30	1	2	
	10108	1 2	LA24B10E	外国語としての日本語IVB	演習	30	1	2	
/# es.	10028 10109	1	LA10A02J LA10A03J	体育実技A 体育実技B	実技 実技	30	1	1~4 1~4	
健康スポーツ	10029	1	LA10C06K	健康科学	講義	30	2	1~4	2 単位必修
	10023	1	LA10C00K	運動と健康	講義	30	2	1~4	
	10030	1	LA10C07K	海外語学研修A	実習	120	4	1	
	10032	1	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2	
	10033	1	LA10C09J	海外語学研修C	実習	60	2	1	
留学	10034	1	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2	
	10048	1	LA10C10J	海外文化研修	実習	60	2	1~4	
	10035	2	LA10C11J	異文化体験	実習	60	2	1~4	
	10049	1	LA10C12K	留学生のための日本学基礎	講義	30	2	1~4	
	10110	1	LA10A04K	人文科学の考え方	講義	30	2	1	
	10111	1	LA10C13K	哲学とは何か	講義	30	2	1~4	
	10112	1	LA10C14K	いのちを考える	講義	30	2	1~4	
	10113	1	LA10C15K	ライフステージの心理学	講義	30	2	1~4	
	10114	1	LA10C16K	人生と儀礼	講義	30	2	1~4	
	10115	1	LA10C17K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1~4	
人文	10116	1	LA10C18K	対人関係の心理学	講義	30	2	1~4	
	10117	1	LA10C19K	歴史に学ぶ	講義	30	2	1~4	
	10118	1	LA10C20K	日本社会の歴史 ことばと人間	講義	30	2	1~4	
	10119 10120	1	LA10C21K LA10C22K	文学を楽しむ	講義講義	30	2	1~4	
	10120	1	LA10C22K LA10C23K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1~4	
	10121	1	LA10C23K LA10C24K	ビジュアルアーツと現代	講義	30	2	1~4	
	10123	1	LA10C24K	本を読む(人文)	講義	30	2	1~4	
	10124	1	LA10A05K	社会科学の考え方	講義	30	(2)	1	
	10036	1	LA10C26K	日本国憲法	講義	30	2	1~4	
	10125	1	LA10C27K	法律と暮らし	講義	30	2	1~4	
	10126	1	LA10C28K	現代社会と政治学	講義	30	2	1~4	
	10127	1	LA10C29K	グローバリゼーションとは何か	講義	30	2	1~4	
	10128	1	LA10C30K	現代社会と経済学	講義	30	2	1~4	
	10129	1	LA10C31K	資本主義の現在	講義	30	2	1~4	
	10130	1	LA10C32K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1~4	りなっぷけょう
	10131	1	LA10C33K	人権から見た教育と労働	講義	30	2	1~4	必修 6 単位を含 め14単位以上選
社会	10132	1	LA10C34K	働くということ	講義	30	2	1~4	択
13.24	10133	1	LA10C35K	共に生きる	講義	30	2	1~4	
	10134	1	LA10C36K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1~4	
	10135	1	LA10C37K	家族を考える	講義	30	2	1~4	
-	10136	1	LA10C38K	お金と税金のはなし	講義	30	2	1~4	
	10137	1	LA10C39K	ICTと暮らし メディアとつきあう	講義	30	2	1~4	
	10138 10139	1	LA10C40K LA10C41K	・	講義講義	30	2	$\frac{1 \sim 4}{1 \sim 4}$	-
-	10139	1	LA10C41K LA10C42K	地域を学ぶ	講義	30	2	$\frac{1 \sim 4}{1 \sim 4}$	-
	10140	1	LA10C42K LA10C43J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1~4	
	10141	1	LA10C433 LA10C44K	本を読む(社会)	講義	30	2	1~4	
	10142	1	LA10A06K	自然科学の考え方	講義	30	2	1	
	10144	1	LA10C45K	生命科学の基礎知識	講義	30	2	1~4	
	10145	1	LA10C46K	生命倫理	講義	30	2	1~4	
	10146	1	LA10C47K	健康とは何か	講義	30	2	1~4	
	10147	1	LA10C48K	食といのち	講義	30	2	1~4	
4.6	10148	1	LA10C49K	地球環境と人間	講義	30	2	1~4	1
自然	10149	1	LA10C50K	資源エネルギーと人間	講義	30	2	1~4	
	10150	1	LA10C51K	災害と人間	講義	30	2	1~4	
	10151	1	LA10C52K	科学技術の現在	講義	30	2	1~4	
	10152	1	LA10C53K	はじめての統計学	講義	30	2	1~4	
	10153	1	LA10C54K	宇宙のはなし	講義	30	2	1~4	
	10154	1	LA10C55K	本を読む(自然)	講義	30	2	1~4	
	10044	1	LA11B11E	コンピュータ基礎 I	演習	30	2	1	
情報	10045	1	LA12B11E LA20B01E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	2	1	2 単位必修
····	10046	2		コンピュータ実習	演習	30	2	2	

≪ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する注意事項≫

原則

- 1) (A系列の科目) I Aの単位を修得していなければ II Aを履修することはできない。 II Aの単位を修得していれば III Aまたは III Aを履修することができる。
- 2) (B系列の科目) I Bの単位を修得していなければ II Bを履修することはできない。 II Aまたは II Bの単位を修得していれば II Bまたは II Bを履修することができる。
- 3) 検定試験等を利用した単位認定については別途定める(「履修登録の手引き」を参照のこと)。
- 4) ⅢBおよびIVBについては、授業の内容が異なり、かつ担当教員の了解を得ることを前提として重複履修を認める。重複の回数はそれぞれ2度を上限とする(初回を含めて合計3度)。重複履修によって修得した単位は自由科目の単位として認定される。
- 5) 外国において中等教育を受けた学生、編転入・再入学の学生、休学後に復学した学生、留学を予定する学生等、特殊な 事情のある学生は、学務部で相談すること。

≪ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する規程≫

A. 現代英語学科、文化交流学科、児童教育学科児童教育専攻の学生は、以下の履修方法によること。

ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの各言語からひとつを選択し、1年次前期においてIAとIBを、および1年次後期においてIIAとIIBを履修すること(以上1年次4単位)。2年次においては1年次に履修した外国語と同じ外国語を引き続き履修し、前期においてIIIAを、および後期においてIVAを履修すること(以上2年次2単位、合計6単位)。

<この規程は2020(令和2)年度入学生から適用される。>

(2) 学科科目〔現代英語学科〕

「英語技能科目」20単位以上と専門科目「演習」12単位以上を含み、学科科目合計76単位以上

		科目	科目	科目		授業	授業		配置				他学	料・	他学	部科	日履	修の	可否
学科	}目	コード	明細	ナンバリング	授業科目	形式	時間数	単位数	年次		修得単位	・備考	Pe		С	W	F	N	M
		12144	1	EN11A01E	English Communication I	演習	30	1	1	5	,	١	×	×	×	×	×	×	×
	İ	12145	1	EN12A01E	English Communication II	演習	30	1	1				×	×	×	×	×	×	×
	İ	12146	1	EN21A01E	English Communication III	演習	30	1	2					×	×	×	×	×	×
	Ī	12147	1	EN22A01E	English Communication IV	演習	30	1	2					×	×	×	×	×	×
	ł	12105	1	EN11A02E	Audio Visual English I	演習	30	1	1				×	×	×	×	X	×	X
	-	12106	1	EN12A02E	Audio Visual English II	演習	30	1	1				×	×	×	×	×	X	X
		12107	1	EN12A02E EN21C01E	Audio Visual English III	演習	30	1	2~4				0	0	0	0	0	0	0
		12108	1	EN22C01E	Audio Visual English IV	演習	30	1	2~4				0	0	0	0	0	0	0
		12148	1	EN11C01E	Conversation I	演習	30	1	1~4				×	×	×	×	×	×	×
		12149	1	EN11C01E EN12C01E	Conversation II	演習	30	1	1~4				×	×	×	×	×	×	×
		12150	1	EN20C01E	Advanced Conversation	演習	30	1	2~4				×	×	×	×	×	×	×
		12151	1	EN21C02E	Discussion I	演習	30	1	2~4				×	×	×	×	×	×	×
		12151	1	EN21C02E EN22C02E	Discussion II	演習	30	1	2~4				×	×	×	×	×	×	×
j	Ę	12152	1						3~4		No of the control of		-	×	×	×	×	_	×
打	支			EN30C01E	Advanced Discussion	演習	30	1			必修10単位 を含め20単		×			\vdash		X	\vdash
· 声 打 食 禾 目	1	12012	1	EN11A03E	Reading I	演習	30	1	1	-	位以上選択		×	×	X	×	×	×	×
1		12013	1	EN12A03E	Reading II	演習	30	1	1	-			×	×	X	X	×	×	×
	-	12014	2	EN20C02E	Advanced Reading	演習	30	1	2~4				0	0	0	0	0	0	0
	-	12004	1	EN11A04E	Listening I	演習	30	1	1				×	×	×	×	×	×	X
		12005	1	EN12A04E	Listening II	演習	30	1	1				×	×	×	×	×	×	×
	ļ	12006	2	EN20C03E	Advanced Listening	演習	30	1	2~4	-			0	0	0	0	0	0	0
		12008	2	EN11C02E	Pronunciation I	演習	30	1	1~4					0	0	0	0	0	0
		12009	2	EN12C02E	Pronunciation II	演習	30	1	1~4				0	0	0	0	0	0	0
		12010	3	EN20C04E	Presentation	演習	30	1	2~4				\triangle	X	X	X	×	×	×
		12016	2	EN11C03E	Grammar I	演習	30	1	1~4				0	0	0	0	0	0	0
		12017	2	EN12C03E	Grammar II	演習	30	1	1~4				0	0	0	0	0	0	0
		12018	2	EN21C03E	Writing I	演習	30	1	2~4				0	0	0	0	\circ	0	0
		12019	2	EN22C03E	Writing II	演習	30	1	2~4				0	0	0	0	\circ	0	0
		12178	1	EN10C01E	Controlled Independent Study I	演習	30	1	1~4	~4	V ⇒Fac ⊼ (+	×	×	×	×	×	×	×	
		12179	1	EN10C02E	Controlled Independent Study II	演習	30	1	1~4	ر [)	│ 合計76単位 │ 以上選択	×	×	×	×	\times	×	×
	グ	12158	1	EN10C03K	コミュニケーション概論	講義	30	2	1~4			31200	×	×	×	×	×	×	X
	日	12047	1	EN20C05K	異文化間コミュニケーション	講義	30	2	2~4				0	0	0	0	0	0	0
	バル	12180	1	EN20C08E	グローバルイングリッシュ	演習	30	2	2~4				×	×	X	X	×	×	×
	. 11	12159	1	EN20C09E	メディエーション入門	演習	30	2	2~4				×	×	×	×	×	×	×
	1 1 1	12160	1	EN20C10E	チームワーク演習	演習	30	2	2~4				×	×	×	×	×	×	×
	ケ	12161	1	EN20C11E	グループ・マネジメント	演習	30	2	2~4				×	X	X	X	×	×	X
	ショ	12162	1	EN20C12E	ソーシャル・ネットワーキング演習	演習	30	2	2~4	1			×	×	X	X	×	×	×
	シ	12063	3	EN20C13E	デジタル・コミュニケーション	演習	30	2	2~4				×	×	×	×	×	×	×
		12165	1	EN10C04K	ホスピタリティ論	講義	30	2	1~4				0	0	0	0	0	0	0
		12048	1	EN20C14K	国際観光論	講義	30	2	2~4	1			0	0	0	0	0	0	Ō
		12117	2	EN20C15E	日本文化発信演習	演習	30	2	2~4	1			×	×	×	×	×	×	×
		12169	1	EN20C16E	ホテル業界研究	演習	30	2	2~4	ĺ			0	0	0	-	0	0	0
車	ホフ	12043	1	EN20C17K	ホテル英語	講義	30	2	2~4	1			0	0	0	Ō	0	0	0
専門科1	スピ	12170	1	EN20C18E	ホテル演習	演習	30	2	2~4	1			×	×	×	-		×	X
目目	タリ	12171	1	EN20C19E	エアライン業界研究	演習	30	2	2~4	1			×	×	×	×		X	X
	テ	12042	1	EN20C20K	エアライン英語	講義	30	2	2~4				×	×	×	×		×	×
	1	12109	2	EN20C21E	エアライン演習 (国内)	演習	30	2	2~4				×	×	×	×		×	×
		12185	1	EN20C22E	エアライン演習(国外)	演習	30	2	2~4				×	×	0	-			×
		12172	1	EN20C23E	観光業界研究	演習	30	2	2~4				×	×	×	X	×	×	×
		12041	2	EN20C23E EN20C24K	観光英語	講義	30	2	2~4	1			0	0	0	0	0	0	0
		12041	2	EN10C05K	言語習得論	講義	30	2	1~4	1			6	0	0	0	0	0	0
		12173	1	EN20C25K	言語発達心理学	講義	30	2	2~4	-			×	×	×	-	×		×
	ایا		1				-	2	2~4				0	0	0	×	<u>^</u>	×	0
	言語教	12071		EN20C26K	異文化理解教育 公 国 新	講義	30			-			_	-		-		_	
	教	12174	2	EN20C27E	外国語指導技術	演習	30	2	2~4	-			×	X	X	X		×	×
	H	12069	1	EN20C28K	子供の英語教育	講義	30	2	2~4	-			0	0	0	0	0	0	0
		12119	2	EN10C29K	英語教材論(幼児)	講義	30	2	1~4	-			×	×	×	×		×	×
		12120	2	EN10C30K	英語教材論(児童)	講義	30	2	1~4			I	×	X	X	X	X	×	×

学科	н	科目	科目	科目	授業科目	授業	授業	単位数	配置	修得単位・備考	他学	科·	他学	部科	日履	修の下	否
-J-1/11	Н	コード	明細	ナンバリング	投来 督日	形式	時間数	毕业奴	年次	1877年世、湘考	Pe	Рс	С	W	F	N	Μ
		12121	1	EN31C01E	英語教育実践研究(幼児) I	演習	30	2	3~4		×	×	×	×	×	×	×
	Ī	12122	1	EN32C01E	英語教育実践研究(幼児) Ⅱ	演習	30	2	3~4		×	×	×	×	×	×	×
	Ī	12123	1	EN31C02E	英語教育実践研究(児童) I	演習	30	2	3~4		×	×	×	×	×	×	×
	Ī	12124	1	EN32C02E	英語教育実践研究(児童)Ⅱ	演習	30	2	3~4		×	×	×	×	×	×	×
	Ī	12125	1	EN30C02E	英語教育実践研究(中等)	演習	30	2	3~4		×	×	×	×	×	×	×
1 1	言語	12126	2	EN20C31E	英語教育演習	演習	30	2	2~4		×	×	×	×	×	×	X
144	聖教育	12127	1	EN30C03E	英語科教育法 I	演習	30	2	3~4			×	×	×	×	×	×
1	育 -	12128	1	EN30C04E	英語科教育法Ⅱ	演習	30	2	3~4		-	X	×	×	×	×	×
	ł	12129	1	EN30C05E	英語科教育法Ⅲ	演習	30	2	3~4		-	×	×	×	×	×	×
	ł	12130	1	EN30C06E	英語科教育法IV	演習	30	2	3~4		-	×	X	X	×	×	×
	ł	12175	3	EN20C32E	日本語教育演習A	演習	30	2	2~4		-	×	X	X	X	X	×
	ŀ	12176	3	EN20C33E	日本語教育演習B	演習	30	2	2~4		-	×	×	×	×	X	×
l			2	EN20C34E	通訳入門	演習		2	2~4		\rightarrow	ô		Ô	$\hat{}$		$\frac{}{0}$
	ŀ	12049				_	30				_	_	_	_	_	_	
	ŀ	12111	2	EN10C06E	翻訳入門	演習	30	2	1~4			의	9	9	0	0	0
	ŀ	12116	3	EN30C07K	地域研究 (英語圏)	講義	30	2	3~4		-	9	9	0	0	9	0
	-	12055	3	EN20C35E	政治・経済の英語	演習	30	2	2~4		_	0	0	0	0	9	0
	-	12058	3	EN20C36E	文化・社会の英語	演習	30	2	2~4		-	9	9	0	0	0	0
1	į.	12131	2	EN20C37K	英語学概論A	講義	30	2	2~4		-	0	0	0	0	0	0
1	語と文	12075	3	EN20C38K	英語学概論B	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	0	0
	文化	12132	2	EN20C06K	英語学概論C	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	0	0
1	IL	12078	3	EN20C39K	英語文学概論A	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	\circ	0	0
専		12136	2	EN20C40K	英語文学概論B	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	\circ	0	0
専門科		12115	3	EN20C41E	英語文学講読	演習	30	2	2~4		0	\circ	0	0	\circ	0	0
目目		12079	3	EN20C42K	児童文学 (英語圏)	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	0	0
		12135	2	EN20C43K	児童文化 (英語圏)	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	0	0
	Ī	12133	2	EN20C44K	人権と英語表現	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	0	0
		12138	1	EN10A01E	現代英語基礎演習 I	演習	30	2	1		×	×	×	×	×	×	X
	Ī	12139	3	EN20A01E	現代英語基礎演習Ⅱ	演習	30	2	2		×	×	×	×	×	×	X
	İ	12082	1	EN31A01E	現代英語演習 I	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	ı	12083	1	EN32A01E	現代英語演習Ⅱ	演習	30	2	3	▶12単位必修	×	×	×	×	×	×	×
3	演習	12084	1	EN43A01E	現代英語演習Ⅲ	演習	30	2	4		×	×	×	×	×	×	X
i i	ř	12085	1	EN44A01E	現代英語演習IV	演習	30	2	4	J	×	×	×	×	×	×	×
	ł	12140	3	EN20C45E	特殊演習	演習	30	2	2~4		-	×	×	×	×	×	×
	ŀ	12142	1	EN30C07E	論文作成法	演習	30	2	3~4		-	×	×	×	×	×	×
	ł	12143	1	EN40C01S	卒業研究	I DX EI	- 00	4	4		_	×	X	X	×	X	×
-		12020	1	EN40C01S EN10C07E	Activities I	演習	30	1	1~4		-	×	×	×	×	×	×
	ŀ	12020	1	EN10C07E EN10C08E	Activities II	演習	30	1	1~4		-	×	×	×	×	×	^ ×
	ア					_		_			\rightarrow	_	\rightarrow			\rightarrow	×
	クテ	12154	1	EN11C05E	Education Activities I	演習	60	2	1~4		-	×	×	×	×	X	×
	1	12155	1	EN12C05E	Education Activities II	演習	60	2	1~4			×	×	X	×	X	
	٠,	12156	1	EN23C03E	Education Activities III	演習	60	2	2~4					$\overline{}$		×	
	ラー	12157	1	EN24C03E	Education Activities IV	演習	60	2	2~4		-	X	-	X	_	X	
3	=	12186	1	EN20C46J	Internship A	実習	60	2	2~4		_	×	_	X		-	×
	ング	12187	1	EN20C47J	Internship B	実習	60	2	2~4		-	X	_	×	_	×	
	ļ	12189	1	EN20C48J	プロジェクト実習 I	実習	60	2	2~4		-	0	0	×	_	×	×
		12190	1	EN20C49J	プロジェクト実習Ⅱ	実習	60	2	2~4		0	0	0	×	×	×	
		12086	3	EN10C09E	英語検定試験対策講座A	演習	30	2	1~4		0	0	0	0	0	0	×
		12087	3	EN10C10E	英語検定試験対策講座B	演習	30	2	1~4		0	0	0	0	0	0	×
資格サ		12088	3	EN10C11E	英語検定試験対策講座C	演習	30	2	1~4		0	0	0	0	0	0	×
ササ		12091	2	EN20C50E	旅行業務資格講座	演習	30	2	2~4		0	0	×	0	0	0	0
ポール	Ī	12092	1	EN21C04E	秘書検定講座 I	演習	30	2	2~4		0	0	0	0	0	0	0
	İ	12093	1	EN22C04E	秘書検定講座Ⅱ	演習	30	2	2~4		0	0	0	0	0	0	0
科目	İ	12097	4	EN20C51E	英語教員採用試験対策講座A	演習	30	2	2~4			×	X	×		_	×
"	İ	12183	2	EN20C52E	英語教員採用試験対策講座B	演習	30	2	2~4			X	X	-		-	×
	t							_	-	J	-	-	\rightarrow	$\overline{}$		×	
		12188	1	EN20C53K	日本語教員試験対策講座	講義	30	2	2~4	J	×	Χ	×	×	×	X	1

他学科・他学部科目履修の可否は、各学科カリキュラム表に記載されている。○が付いているものは基本的に履修が可能であり、卒業要件単位となる。ただし、授業内容と授業形式によっては人数に制限があるため、担当教員の了解を受ける必要がある。△が付いている科目については、学務部に問い合わせ、事前の指導を受け必ず確認をすること。

なお、履修登録できない科目のほとんどは、①同種の科目が自学科用にある場合か、②学科必修の科目等で他学科学生を受け入れる余地がない場合に当てはまる。

<児童教育学科 児童教育専攻>

(1) 全学教養科目

学科目	科目	科目	科目	授業科目	授業	授業	単位数	配置	修得単位
* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	コード 10050	明細 1	ナンバリング LA11A01K	キリスト教の精神と文化 I	形式講義	時間数 30	(2)	年次	
建学の	10051	1	LA12A01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	2	1	6 単位必修
精神	10052	1	LA33A01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	(2)	3	
基礎演習	10053	1	LA10A01E	大学基礎演習	演習	30	2	1	
1,000	10054	1	LA11B02E	英語コミュニケーションI	演習	30	1	1	
	10058	1	LA11B01E	総合英語I	演習	30	1	1	1 単位必修
	10055	1	LA12B02E	英語コミュニケーションⅡ	演習	30	1	1	1 14 14 14 14
	10059	1	LA12B01E	総合英語Ⅱ	演習	30	1	1	1 単位必修
	10056	1	LA23B02E	英語コミュニケーションⅢ	演習	30	1	2	1 単位必修
	10060	1	LA23B01E	総合英語Ⅲ	演習	30	1	2	1 毕世纪修
	10057	1	LA24B02E	英語コミュニケーションⅣ	演習	30	1	2	1 単位必修
	10061	1	LA24B01E	総合英語IV	演習	30	1	2	1 + 15.2 19
	10062	1	LA35C01E	総合英語V	演習	30	1	3	
	10063	1	LA36C01E	総合英語VI	演習	30	1	3	
	10064	1	LA10B01E	多言語に触れる	演習	30	1	1	
	10065	1	LA11B03E	ドイツ語IA	演習	30	1	1	
-	10066	1	LA12B03E	ドイツ語 II A	演習	30	1	1~2	
	10067	1	LA11B04E	ドイツ語 I B ドイツ語 II B	演習 演習	30	1	1 1 2 2	
	10068 10069	1 1	LA12B04E LA23B03E	ドイツ語ⅡB ドイツ語ⅢA	演習	30	1	1~2 2	
	10069	1	LA23B03E LA24B03E	ドイツ語WA	演習	30	1	2~3	
	10070	1	LA23B04E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2	
	10071	1	LA24B04E	ドイツ語IVB	演習	30	1	2~3	
	10072	1	LA11B05E	フランス語IA	演習	30	1	1	
	10074	1	LA12B05E	フランス語 II A	演習	30	1	1~2	
	10075	1	LA11B06E	フランス語IB	演習	30	1	1	
	10076	1	LA12B06E	フランス語IIB	演習	30	1	1~2	
	10077	1	LA23B05E	フランス語ⅢA	演習	30	1	2	
	10078	1	LA24B05E	フランス語IVA	演習	30	1	2~3	
	10079	1	LA23B06E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	
	10080	1	LA24B06E	フランス語IVB	演習	30	1	2~3	
外国語	10081	1	LA11B07E	中国語 I A	演習	30	1	1	日 幸新
	10082	1	LA12B07E	中国語IIA	演習	30	1	1~2	同一言語 6 単位必修
	10083	1	LA11B08E	中国語IB	演習	30	1	1	
	10084	1	LA12B08E	中国語IIB	演習	30	1	1~2	
	10085	1	LA23B07E	中国語ⅢA	演習	30	1	2	
	10086	1	LA24B07E	中国語IVA	演習	30	1	2~3	
	10087	1	LA23B08E	中国語ⅢB	演習	30	1	2	
	10088	1	LA24B08E	中国語IVB	演習	30	1	2~3	
-	10089	1	LA11B09E	コリアンIA	演習	30	1	1	
	10090	1	LA11B10E	コリアンⅡA	演習	30	1	1~2	
	10091	1	LA11B10E LA12B10E	コリアンIB	演習	30	1	1 1~2	
-	10092 10093	1		コリアンⅡB	演習	30	1	2	
	10093	1	LA23B09E LA24B09E	コリアンⅢA コリアンⅣA	演習	30	1	2~3	
	10094	1	LA23B10E	コリアンⅢB	演習	30	1	2	
	10095	1	LA24B10E	コリアンNB	演習	30	1	2~3	
	10097	1	LA10C02E	その他の外国語A	演習	30	1	1~4	
	10098	1	LA10C03E	その他の外国語B	演習	30	1	1~4	
	10099	1	LA10C04E	その他の外国語C	演習	30	1	1~4	
	10100	1	LA10C05E	その他の外国語D	演習	30	1	1~4	
	10101	1	LA11B11E	外国語としての日本語IA	演習	30	1	1	
	10102	1	LA12B11E	外国語としての日本語ⅡA	演習	30	1	1	
	10103	1	LA11B12E	外国語としての日本語IB	演習	30	1	1	HEV.
	10104	1	LA12B12E	外国語としての日本語ⅡB	演習	30	1	1	外国において中 等教育を受けた
	10105	1	LA23B11E	外国語としての日本語ⅢA	演習	30	1	2	学生にのみ適用
	10106	1	LA24B11E	外国語としての日本語IVA	演習	30	1	2	, <u></u>
	10107	1	LA23B12E	外国語としての日本語ⅢB	演習	30	1	2	
	10108	1	LA24B12E	外国語としての日本語IVB	演習	30	1	2	
	10028	2	LA10A02J	体育実技A	実技	30	1	1~4	
健康	10109	1	LA10A03J	体育実技B	実技	30	1	1~4	2 単位必修
スポーツ	10029	1	LA10C06K	健康科学	講義	30	2	1~4	2 平世纪廖
Г	10030	1	LA10C07K	運動と健康	講義	30	2	1~4	

19051 1 LA10COS1 海外出空神像A 実営 120 4 1	学科目	科目 コード	科目明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位
日の23		10031	1	LA10C08J	海外語学研修A	実習	120	4	1	
日		10032	1	LA20C01J	海外語学研修B		120	4	2	
19948 1		10033	1	LA10C09J	海外語学研修C	実習	60	2		
19033 2 LAIOCILI 別文化体験 実物 60 2 1~4 10110 1 LAIOCISK 大学のための日本学基礎 講義 30 2 1~4 10111 1 LAIOCISK 大学を含える 講義 30 2 1~4 10112 1 LAIOCISK データンの企理学 講義 30 2 1~4 10113 1 LAIOCISK データンの企理学 講義 30 2 1~4 10114 1 LAIOCISK プイアンの企理学 講義 30 2 1~4 10115 1 LAIOCISK プイアングレングメンタルヘス 講義 30 2 1~4 10115 1 LAIOCISK プイアングレングメンタルヘス 講義 30 2 1~4 10116 1 LAIOCISK プイアングレングメンタルヘス 講義 30 2 1~4 10117 1 LAIOCISK プイアングレングメンタルヘルス 講義 30 2 1~4 10118 1 LAIOC20K 歴史に学ぶ 講義 30 2 1~4 10119 1 LAIOC21K ごとばと人間 講義 30 2 1~4 10119 1 LAIOC21K ごとばと人間 講義 30 2 1~4 10121 1 LAIOC21K ごとびと人間 講義 30 2 1~4 10122 1 LAIOC23K 美と素物が歴史 講義 30 2 1~4 10123 1 LAIOC23K 本を流む 人次 ボルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルル	留学	10034	1	LA20C02J			60	2	2	
10049		10048	1	LA10C10J			60		1~4	
10110		10035	2	LA10C11J	異文化体験	実習	60	2	1~4	
10111		10049	1	LA10C12K	留学生のための日本学基礎		30	2	1~4	
10112		10110	1	LA10A04K	人文科学の考え方		30	2	1	
10113		10111	1					2	1~4	
10114 1 LA10C18K 八生と廃礼 講義 30 2 1-4			1		-				1~4	
10115		10113	1	LA10C15K	-		30		1~4	
A文 10116			1	LA10C16K			30			
10117		10115	1	LA10C17K			30		1~4	
1011	人士	10116	1						1~4	
10119	//~	10117	1	LA10C19K			30			
10120			1				30			
10121		10119	1	LA10C21K				2	1~4	
10122 1			1	LA10C22K			30	2	1~4	
10123		10121	1	LA10C23K			30	2	1~4	
10124		10122	1	LA10C24K	ビジュアルアーツと現代		30	2	1~4	
10036 1		10123	1	LA10C25K	, =		30		1~4	
10125		10124	1	LA10A05K	社会科学の考え方	講義	30	2	1	
10126		10036	1	LA10C26K	日本国憲法		30	2	1~4	
10127		10125	1	LA10C27K	法律と暮らし	講義	30	2	1~4	
10128		10126	1	LA10C28K	現代社会と政治学	講義	30	2	1~4	
社会		10127	1	LA10C29K	グローバリゼーションとは何か	講義	30	2	1~4	
社会		10128	1	LA10C30K	現代社会と経済学	講義	30	2	1~4	
社会		10129	1	LA10C31K	資本主義の現在		30	2	1~4	
社会		10130	1	LA10C32K	国際経済と暮らし		30	2	1~4	WHY O WHY A
社会		10131	1	LA10C33K		講義	30	2	1~4	
10133	社会	10132	1	LA10C34K	働くということ	講義	30	2	1~4	
10135	化云	10133	1	LA10C35K	共に生きる	講義	30	2	1~4	1
10136		10134	1	LA10C36K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1~4	
10137		10135	1	LA10C37K	家族を考える	講義	30	2	1~4	
10138		10136	1	LA10C38K	お金と税金のはなし	講義	30	2	1~4	
10139 1 LA10C41K 時事問題研究 講義 30 2 1~4 10140 1 LA10C42K 地域を学ぶ 講義 30 2 1~4 10141 1 LA10C43J コミュニティで学ぶ 実習 60 2 1~4 10142 1 LA10C44K 本を読む (社会) 講義 30 2 1~4 10143 1 LA10A06K 自然科学の考え方 講義 30 2 1~4 10144 1 LA10C45K 生命科学の基礎知識 講義 30 2 1~4 10145 1 LA10C46K 生命倫理 講義 30 2 1~4 10146 1 LA10C47K 健康とは何か 講義 30 2 1~4 10147 1 LA10C48K 食といのち 講義 30 2 1~4 10148 1 LA10C49K 地球環境と人間 講義 30 2 1~4 10149 1 LA10C50K 資源エネルギーと人間 講義 30 2 1~4 10150 1 LA10C51K 災害と人間 講義 30 2 1~4 10151 1 LA10C53K はじめての統計学 講義 30 2 1~4 10153 1 LA10C54K 宇宙のはなし 講義 30 2 1~4 10154 1 LA10C55K 本を読む (自然) 講義 30 2 1~4 10154 1 LA10C55K 本を読む (自然) 講義 30 2 1~4 10044 1 LA11B13E コンピュータ基礎 1 演習 30 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1		10137	1	LA10C39K	ICTと暮らし		30	2	1~4	
10140		10138	1		メディアとつきあう	講義	30	2	1~4	
10141		10139	1	LA10C41K	時事問題研究	講義	30	2	1~4	
10142		10140	1	LA10C42K	地域を学ぶ	講義	30	2	1~4	
10143		10141	1	LA10C43J			60	2	1~4	
10144		10142	1	LA10C44K			30	2	1~4	
自然		10143	1	LA10A06K	自然科学の考え方		30	2	1	
自然		10144	1	LA10C45K	生命科学の基礎知識	講義	30	2	1~4	
自然		10145	1	LA10C46K	生命倫理	講義	30	2	1~4	
自然		10146	1	LA10C47K	健康とは何か	講義	30	2	1~4	
日然 10149 1 LA10C50K 資源エネルギーと人間 講義 30 2 1~4 10150 1 LA10C51K 災害と人間 講義 30 2 1~4 10151 1 LA10C52K 科学技術の現在 講義 30 2 1~4 10152 1 LA10C53K はじめての統計学 講義 30 2 1~4 10153 1 LA10C54K 宇宙のはなし 講義 30 2 1~4 10154 1 LA10C55K 本を読む(自然) 講義 30 2 1~4 10044 1 LA11B13E コンピュータ基礎I 演習 30 2 1 情報 10045 1 LA12B13E コンピュータ基礎II 演習 30 2 1		10147	1	LA10C48K	食といのち	講義	30	2	1~4	
10149 1	44 亡	10148	1	LA10C49K	地球環境と人間	講義	30	2	1~4	
10151 1 LA10C52K 科学技術の現在 講義 30 2 1~4 10152 1 LA10C53K はじめての統計学 講義 30 2 1~4 10153 1 LA10C54K 宇宙のはなし 講義 30 2 1~4 10154 1 LA10C55K 本を読む(自然) 講義 30 2 1~4 10044 1 LA11B13E コンピュータ基礎I 演習 30 2 1 情報 10045 1 LA12B13E コンピュータ基礎II 演習 30 2 1 2 単位必修	日然	10149	1	LA10C50K	資源エネルギーと人間	講義	30	2	1~4	
10151 1 LA10C52K 科学技術の現在 講義 30 2 1~4 10152 1 LA10C53K はじめての統計学 講義 30 2 1~4 10153 1 LA10C54K 宇宙のはなし 講義 30 2 1~4 10154 1 LA10C55K 本を読む(自然) 講義 30 2 1~4 10044 1 LA11B13E コンピュータ基礎I 演習 30 2 1 情報 10045 1 LA12B13E コンピュータ基礎II 演習 30 2 1 2 単位必修		10150	1	LA10C51K	災害と人間	講義	30	2	1~4	
10152 1 LA10C53K はじめての統計学 講義 30 2 1~4 10153 1 LA10C54K 宇宙のはなし 講義 30 2 1~4 10154 1 LA10C55K 本を読む(自然) 講義 30 2 1~4 10044 1 LA11B13E コンピュータ基礎I 演習 30 2 1 情報 10045 1 LA12B13E コンピュータ基礎II 演習 30 2 1 2単位必修		10151	1	LA10C52K	科学技術の現在		30	2	1~4	
10154 1 LA10C55K 本を読む (自然) 講義 30 2 1~4 10044 1 LA11B13E コンピュータ基礎 I 演習 30 2 1 情報 10045 1 LA12B13E コンピュータ基礎 II 演習 30 2 1 2 単位必修		10152	1	LA10C53K	はじめての統計学		30	2	1~4	
10154 1 LA10C55K 本を読む (自然) 講義 30 2 1~4 10044 1 LA11B13E コンピュータ基礎 I 演習 30 2 1 情報 10045 1 LA12B13E コンピュータ基礎 II 演習 30 2 1 2 単位必修			1				30	2	1~4	
情報 10044 1 LA11B13E コンピュータ基礎 I 演習 30 2 1 情報 10045 1 LA12B13E コンピュータ基礎 I 演習 30 2 1 2単位必修					本を読む(自然)		30		1~4	
情報 10045 1 LA12B13E コンピュータ基礎Ⅱ 演習 30 2 1 2単位必修										
	情報									2 単位必修
10040 4 LA40D01E コノレユニク天白 側白 30 4 4		10046	2	LA20B01E	コンピュータ実習	演習	30	2	2	

≪ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する注意事項≫

原則

- 1) (A系列の科目) I Aの単位を修得していなければ II Aを履修することはできない。 II Aの単位を修得していれば III Aまたは III Aを履修することができる。
- 2)(B系列の科目) I Bの単位を修得していなければ ${\rm II}$ Bを履修することはできない。 ${\rm II}$ Aまたは ${\rm II}$ Bの単位を修得していれば ${\rm III}$ Bまたは ${\rm III}$ Bを履修することができる。
- 3) 検定試験等を利用した単位認定については別途定める(「履修登録の手引き」を参照のこと)。
- 4) ⅢBおよびIVBについては、授業の内容が異なり、かつ担当教員の了解を得ることを前提として重複履修を認める。重複の回数はそれぞれ2度を上限とする(初回を含めて合計3度)。重複履修によって修得した単位は自由科目の単位として

認定される。

5) 外国において中等教育を受けた学生、編転入・再入学の学生、休学後に復学した学生、留学を予定する学生等、特殊な 事情のある学生は、学務部で相談すること。

≪ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する規程≫

A. 現代英語学科、文化交流学科、児童教育学科児童教育専攻の学生は、以下の履修方法によること。

ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの各言語からひとつを選択し、1年次前期において I Aと I Bを、および1年 次後期において II Aと II Bを履修すること(以上1年次4単位)。2年次においては1年次に履修した外国語と同じ外国語 を引き続き履修し、前期においてIII Aを、および後期においてIV Aを履修すること(以上2年次2単位、合計6単位)。

<この規程は2020(令和2)年度入学生から適用される。>

(2) 学科科目〔児童教育学科 児童教育専攻〕

基幹科目20単位、専門科目54単位、学科科目合計74単位以上

	*4 H	** H	44 H		Lett Min	Lott Min		ar'→ 1007		仙学	£1.			日履作		\neg
学科目	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考	\vdash						\rightarrow
				上月一月世也去入	-	_	(0)	-		_	Pc	_	W	F	_	M
	13000	2	PE10A01K	キリスト教教育論	講義	30	2	1			X	0	0	0	X	0
	13536	1	PE11A01E	音楽I	演習	30	1	1			X	0	0	0	X	0
	13537	1	PE12A01E	音楽Ⅱ	演習	30	1	1		0	×	0	0	0	X	0
	13538	1	PE11A02E	美術 I	演習	30	1	1		×	×	×	×	×	×	×
	13539	1	PE12A02E	美術 II	演習	30	1	1		×	×	×	×	×	×	×
±t.	13540	2	PE21A01E	労作体験 I	演習	30	1	3		×	×	×	×	×	×	×
基幹科目	13541	2	PE22A01E	労作体験Ⅱ	演習	30	1	3	基幹科目 20単位必修	×	×	×	×	×	×	×
科	13009	2	PE20A01E	基礎演習	演習	30	2	2	E11111 201 E.219	×	×	×	×	×	×	×
	13542	1	PE31A01J	児童体育 I	実技	30	1	3		0	×	0	0	0	×	\circ
	13543	1	PE32A01J	児童体育Ⅱ	実技	30	1	3		0	×	0	0	0	×	\circ
	13544	1	PE31A02E	児童教育演習 I	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13545	1	PE32A02E	児童教育演習Ⅱ	演習	30	2	3		×	×	\times	×	×	×	×
	13546	1	PE41A01E	児童教育演習Ⅲ	演習	30	2	4		×	×	×	×	×	×	×
	13547	1	PE42A01E	児童教育演習IV	演習	30	2	4		×	×	×	×	×	×	×
	13047	1	PE10C01K	教職論	講義	30	2	1)	×	×	×	×	×	×	×
	13002	2	PE10C02K	教育原理	講義	30	2	1		0	×	0	0	0	×	0
	13091	1	PE10C03K	教育課程論	講義	30	2	1		\triangle	×	×	×	×	×	×
	13004	1	PE11C01K	教育心理学 I	講義	30	2	1		×	×	X	X	×	X	×
	13005	1	PE12C01K	教育心理学Ⅱ	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
	13049	2	PE10C04K	道徳教育の理論と方法	講義	30	2	1			×	×	×	×	×	×
	13050	2	PE10C05K	特別活動の理論と方法	講義	30	2	1			×	X	×	×	×	×
	13051	4	PE10C06K	教育方法論	講義	30	2	1			×	X	×	×	×	×
	13559	1	PE30C21K	総合的な学習の時間の教育法	講義	30	2	3			0	×	×	×	×	×
	13015	2	PE30C21K PE20C01K			30	2	1		\vdash	-	-	×			
		-		教育行政学	講義	_		_		×	X	×	_	×	X	×
	13548	1	PE21C01E	音楽Ⅲ	演習	30	1	2			X	9	0	0	X	9
	13549	1	PE22C01E	音楽IV	演習	30	1	2		0	×	0	0	0	X	0
	13067	3	PE20C02K	小学校音楽科教育法	講義	30	2	2			×	×	×	×	×	×
	13550	1	PE21C02E	美術Ⅲ	演習	30	1	2		×	×	×	×	×	×	×
	13551	1	PE22C02E	美術IV	演習	30	1	2		×	×	×	×	×	×	×
	13068	3	PE20C03K	小学校図工科教育法	講義	30	2	2		\triangle	×	×	×	×	×	×
	13069	1	PE20C04K	小学校体育科研究	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	13070	2	PE20C05K	小学校体育科教育法	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	13057	2	PE20C06K	小学校国語科研究	講義	30	2	2		\triangle	×	×	×	×	×	×
#	13058	3	PE20C07K	小学校国語科教育法	講義	30	2	2		\triangle	×	×	×	×	×	×
専門科目	13560	1	PE10C12E	書写	演習	15	1	1	幸田村日	\triangle	×	\times	×	×	×	×
科目	13059	1	PE20C08K	小学校社会科研究	講義	30	2	2	↓専門科目 ← 54単位以上選択	\triangle	×	×	×	×	×	×
	13060	2	PE20C09K	小学校社会科教育法	講義	30	2	2	011 ESCENSE	\triangle	×	×	×	×	×	×
	13061	2	PE20C10K	小学校算数科研究	講義	30	2	2		\triangle	×	×	×	×	×	×
	13062	3	PE20C11K	小学校算数科教育法	講義	30	2	2		Δ	×	X	X	×	X	×
	13063	2	PE20C12K	小学校理科研究	講義	30	2	2		Δ	×	X	X	×	X	×
	13064	3	PE20C13K	小学校理科教育法	講義	30	2	2		\triangle	×	X	X	×	X	×
	13065	2	PE20C14K	小学校生活科研究	講義	30	2	2		×	×	_	X	×	X	×
	13066	3	PE20C15K	小学校生活科教育法	講義	30	2	2		×	×	_	X	×	X	×
	13071	2	PE20C16K	小学校家庭科研究	講義	30	2	2		×	X	-	X	×	X	×
	13072	3	PE20C17K	小学校家庭科教育法	講義	30	2	2		×	×	-	×	×	×	×
	13561	1	PE20C17K PE20C23K	外国語(英語)教育法	講義	30	2	2		×	×	_	_	×	×	×
	13052	2	PE20C23K PE20C18J	介護等体験 (事前事後指導含む)	講·実	45	2	2~3		×	×	_	×	×	×	×
		_		初等教育実習 I (事前事後指導1単位を含む)				-		\vdash					\rightarrow	\dashv
	13053	2	PE31C01J		実習	75	3	3			X	-	×	X	×	×
	13054	2	PE32C01J	初等教育実習Ⅱ	実習	60	2	3		×	×	X	X	X	X	×
	13552	2	PE31C02K	生徒・進路指導の理論と方法	講義	30	2	3			0	X		×	X	X
	13553	2	PE32C02K	教育相談の基礎	講義	30	2	3			0	_	X	×	X	X
	13027	3	PE40C01K	教育相談実践	講義	30	2	4		×	0		X	×	X	×
	13089	1	PE40C02E	教職実践演習(小学校・幼稚園)	演習	30	2	4		X	_	X	_	×	X	X
	13017	2	PE10C07K	教育統計学	講義	30	2	1~2		0	0	0	_	0	X	0
	13028	1	PE11C02K	児童文化 I	講義	30	2	1~4		0	0	0	0	0	×	\circ
	13029	1	PE12C02K	児童文化Ⅱ	講義	30	2	1~4		0	\circ	0	0	0	×	\circ

2010年	科目	科目	科目	極拳打口	授業	授業	25. L于 #P	配置	校 復兴	他学	料・	他学	部科	目履信	修の下	可否
学科目	コード	明細	ナンバリング	授業科目	形式	時間数	単位数	年次	修得単位・備考	Е	Pc	С	W	F	N	Μ
	13030	1	PE11C03K	言語教育 I	講義	30	2	1~4		0	0	0	0	0	×	0
	13031	1	PE12C03K	言語教育Ⅱ	講義	30	2	1~4		0	0	0	0	0	×	0
	13033	2	PE10C08K	数学教育	講義	30	2	1~4		0	0	0	0	0	×	0
	13035	2	PE10C09K	自然科学教育	講義	30	2	1~4		0	0	0	0	0	×	0
	13562	1	PE10C13K	特別支援教育	講義	30	2	1~4		×	×	×	×	×	×	×
	13554	1	PE11C04K	地域社会研究 I	講義	30	2	1~4		0	0	0	0	\circ	×	0
	13555	1	PE12C04K	地域社会研究Ⅱ	講義	30	2	1~4		0	0	0	0	0	×	0
l	13556	1	PE20C19E	野外活動	演習	60	2	2~3		0	0	0	0	0	×	0
専門科1	13012	2	PE20C20K	教育史	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	×	0
科	13019	2	PE20C21K	学習心理学	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	×	0
目	13041	2	PE31C03E	小学校英語教育 I	演習	30	2	2		X	0	×	×	×	×	×
	13042	2	PE32C03E	小学校英語教育Ⅱ	演習	30	2	2		X	0	×	×	×	×	×
	13508	1	PE30C08E	保育方法の研究	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13045	2	PE30C01K	児童教育特講A	講義	30	2	3~4		0	0	0	0	0	×	0
	13092	1	PE30C02K	児童教育特講B	講義	30	2	3~4		0	0	0	Ō	0	×	Ō
	13087	1	PE40C03J	教育実践研究A	実習	30	1	4		×	×	×	×	×	×	×
	13088	1	PE40C04J	教育実践研究B	実習	30	1	4		×	×	×	×	×	×	×
	13046	1	PE40C05S	卒業研究	XII		4	4	J	×	×	×	×	×	×	×
	13565	1	PE30C34K	保育内容総論	講義	30	2	3		1×	×	×	×	X	×	×
	13502	2	PE30C04E	保育内容教育法・健康	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13503	2	PE30C05E	保育内容教育法・人間関係	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	X	X
) de	13504	2	PE30C06E	保育内容教育法・環境	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	X	×
資 格 科	13505	2	PE30C07E	保育内容教育法・言葉	演習	30	2	3		×	×	×	×	X	X	×
科	13506	2	PE31C04E	保育内容教育法・表現I	演習	30	2	3		×	×	X	X	×	×	×
目 I	13507	2	PE32C04E	保育内容教育法・表現Ⅱ	演習	30	2	3		×	×	X	X	×	X	×
	13563	1	PE30C22E	幼児理解	演習	15	1	3		×	×	×	X	×	X	×
	13564	1	PE30C23E	教育相談	演習	15	1	3		×	×	×	×	×	×	×
	13510	1	PE40C06J	初等教育実習Ⅲ(事前事後指導1単位を含む)	実習	75	3	4		×	×	×	×	×	×	×
	13510	2	PE10C10K	特別支援教育総論	講義	30	2	3		1×	×	×	×	×	×	×
	13511	1	PE10C10K		講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
	13512	1	PE10C11K PE20C22K	特別支援教育原論 発達障害児教育論	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
							2	3		_	×		×			×
	13514	1	PE31C05K	知的障害児の教育 I 知的障害児の教育 II	講義	30	2	3		×	×	×		×	×	×
	13515 13557	1	PE32C05K		講義	30	2	3		×	×	X	X	X	X	×
		1	PE30C10K PE30C11K	知的障害児の心理・生理・病理	講義	30	2	_		×		X	X	×	X	\dashv
	13518	1	PE30C11K PE30C12K	肢体不自由児の教育	講義	30	2	3		×	×	X	×	×	X	×
資格	13519 13520	1	PE30C12K PE30C13K	肢体不自由児の心理・生理・病理 病弱児の教育	講義講義	30	2	3		×	×	X		×	×	×
科								_		×		X	X	×	-	-
I I	13521	1	PE30C14K	病弱児の心理・生理・病理	講義	30	2	3		×	×	X	X	X	X	X
-	13522	1	PE30C15K	重度重複障害児教育論	講義	30	2	3		×	×	X	×	×	×	×
	13558	1	PE30C17K	感覚障害児教育論	講義	30	2	3		-		X		×	×	_
	13524	1	PE30C17K	言語の発達と障害	講義	30	2	3		×	×	X	X	X	X	X
	13526	1	PE30C18K	発達障害児の心理検査法	講義	30	2	3		×	×	X	X	X	X	X
	13527	1	PE30C19K	障害児福祉論	講義	30	2	3		×	×	X			X	X
	13528	1	PE30C20K	世界の障害児教育	講義	30	2	3		×	X	X	X	X	X	X
	13529	1	PE40C07E	特別支援教育実地演習	演習	60	4	4		×	×	×		×	X	×
	13530	1	PE40C08J	特別支援教育実習(事前事後指導1単位を含む)	実習	30	3	4		×	X	×	×	×	×	X
终	13531	1	PE30C21K	学校経営と学校図書館	講義	30	2	3~4		×	X	×	×	×	X	X
格	13532	1	PE30C22K	学校図書館メディアの構成	講義	30	2	3~4		×	×	×	×	×	×	X
資 格 科 目	13533	1	PE30C23K	学習指導と学校図書館	講義	30	2	3~4		×	×	×	×	×	×	X
iii	13534	1	PE30C24K	読書と豊かな人間性	講義	30	2	3~4		×	×	×	×	×	×	×
	13535	1	PE30C25K	情報メディアの活用	講義	30	2	3~4		×	×	×	×	×	×	X

他学科・他学部科目履修の可否は、各学科カリキュラム表に記載されている。 \bigcirc が付いているものは基本的に履修が可能であり、卒業要件単位となる。ただし、授業内容と授業形式によっては人数に制限があるため、担当教員の了解を受ける必要がある。 \triangle が付いている科目については、学務部に問い合わせ、事前の指導を受け必ず確認をすること。

なお、履修登録できない科目のほとんどは、①同種の科目が自学科用にある場合か、②学科必修の科目等で他学科学生を 受け入れる余地がない場合に当てはまる。

<児童教育学科 幼児保育専攻>

(1) 全学教養科目

学科目	科目 コード	科目明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業形式	授業 時間数	単位数	配置年次	修得単位	備考
74.00 -	10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化 I	講義	30	2	1		
建学の 精神	10051	1	LA12C01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	2	1	4 単位必修	
相种	10052	1	LA33A01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	2	3		
基礎演習	10053	1	LA10A01E	大学基礎演習	演習	30	2	1		
	10054	1	LA11B02E	英語コミュニケーションI	演習	30	1	1	1 単位必修	
	10058	1	LA11B01E	総合英語 I	演習	30	1	1	1 平位2 19	
	10055	1	LA12B02E	英語コミュニケーションⅡ	演習	30	1	1	1 単位必修	
	10059	1	LA12B01E	総合英語Ⅱ	演習	30	1	1	- / 123-19	
	10056	1	LA23C02E	英語コミュニケーションⅢ	演習	30	1	2		
	10060	1	LA23C01E	総合英語Ⅲ	演習	30	1	2		
-	10057	1	LA24C02E	英語コミュニケーションIV	演習	30	1	2		
	10061 10062	1	LA24C01E LA35C01E	総合英語IV 総合英語 V	演習	30	1	3		
-	10062	1	LA36C01E	総合英語VI	演習	30	1	3		
-	10063	1	LA10B01E	多言語に触れる	演習	30	1	1		
	10065	1	LA11B02E	ドイツ語IA	演習	30	1	1		
-	10066	1	LA12B02E	ドイツ語ⅡA	演習	30	1	1~2		
-	10067	1	LA11B03E	ドイツ語IB	演習	30	1	1		
-	10068	1	LA12B03E	ドイツ語 II B	演習	30	1	1~2		
	10069	1	LA23B01E	ドイツ語ⅢA	演習	30	1	2		
	10070	1	LA24B01E	ドイツ語IVA	演習	30	1	2~3		
	10071	1	LA23B02E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2		
	10072	1	LA24B02E	ドイツ語IVB	演習	30	1	2~3		
	10073	1	LA11B04E	フランス語IA	演習	30	1	1		※選択必修4単
	10074	1	LA12B04E	フランス語ⅡA	演習	30	1	1~2		位を含め、外国
	10075	1	LA11B05E	フランス語IB	演習	30	1	1		語より6単位必
	10076	1	LA12B05E	フランス語ⅡB	演習	30	1	1~2		修
	10077	1	LA23B03E	フランス語ⅢA	演習	30	1	2		ただし「英語以
	10078	1	LA24B03E	フランス語IVA	演習	30	1	2~3		外の外国語」は
	10079	1	LA23B04E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2		同一言語2単位
	10080	1	LA24B04E	フランス語IVB	演習	30	1	2~3		または同一言語 4単位とする
外国語	10081	1	LA11B06E	中国語IA	演習	30	1	1	同一言語	4400090
-	10082	1	LA12B06E	中国語IIA	演習	30	1	1~2	2 単位必修	
-	10083	1	LA11B07E	中国語IB	演習	30	1	1		
-	10084	1	LA12B07E	中国語IIB	演習	30	1	1~2		
-	10085	1	LA23B05E	中国語IIA	演習	30	1	2		
-	10086	1	LA24B05E LA23B06E	中国語IVA 中国語ⅢB	演習 演習	30	1	2~3		
	10087	1	LA24B06E	中国語WB	演習	30	1	2~3		
	10089	1	LA11B08E	コリアン I A	演習	30	1	1		
	10000	1	LA12B08E	コリアンⅡA	演習	30	1	1~2		
	10091	1	LA11B09E	コリアンIB	演習	30	1	1		
	10092	1	LA12B09E	コリアンⅡB	演習	30	1	1~2		
	10093	1	LA23B07E	コリアンⅢA	演習	30	1	2		
	10094	1	LA24B07E	コリアンIVA	演習	30	1	2~3		
	10095	1	LA23B08E	コリアンⅢB	演習	30	1	2		
	10096	1	LA24B08E	コリアンIVB	演習	30	1	2~3		
	10097	1	LA10B01E	その他の外国語A	演習	30	1	1~4		
	10098	1	LA10B02E	その他の外国語B	演習	30	1	1~4		
	10099	1	LA10B03E	その他の外国語C	演習	30	1	1~4		
	10100	1	LA10B04E	その他の外国語D	演習	30	1	1~4	J	
	10101	1	LA11B10E	外国語としての日本語IA	演習	30	1	1		
	10102	1	LA12B10E	外国語としての日本語ⅡA	演習	30	1	1		
	10103	1	LA11B11E	外国語としての日本語IB	演習	30	1	1		
	10104	1	LA12B11E	外国語としての日本語ⅡB	演習	30	1	1		等教育を受けた学
	10105	1	LA23B09E	外国語としての日本語ⅢA	演習	30	1	2	生にのみ適用	
	10106	1	LA24B09E	外国語としての日本語IVA	演習	30	1	2		
	10107	1	LA23B10E	外国語としての日本語ⅢB	演習	30	1	2		
	10108	1	LA24B10E	外国語としての日本語IVB	演習	30	1	2		I
,,,,	10028	2	LA10A02J	体育実技A	実技	30	1	1~4		
健康 スポーツ	10109	1	LA10A03J	体育実技B	実技	30	1)	1~4	2 単位必修	
スポープ	10029 10030	1 1	LA10C01K	健康科学 運動と健康	講義講義	30	2 2	1~4		
	10030	1	LA10C02K	(年期) (世) (本)	神我	30		1~4		

学科目	科目 コード	科目明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位	備考
	10031	1	LA10C03J	海外語学研修A	実習	120	4	1		
	10032	1	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2		
	10033	1	LA10C04J	海外語学研修C	実習	60	2	1		
留学	10034	1	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2		
	10048	1	LA10C05J	海外文化研修	実習	60	2	1~4		
	10035	2	LA10C06J	異文化体験	実習	60	2	1~4		
	10049	1	LA10C07K	留学生のための日本学基礎	講義	30	2	1~4		
	10110	1	LA10A04K	人文科学の考え方	講義	30	2	1		
	10111	1	LA10C08K	哲学とは何か	講義	30	2	1~4		
	10112	1	LA10C09K	いのちを考える	講義	30	2	1~4		
	10113	1	LA10C10K	ライフステージの心理学	講義	30	2	1~4		
	10114	1	LA10C11K	人生と儀礼	講義	30	2	1~4		
	10115	1	LA10C12K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1~4		
人文	10116	1	LA10C13K	対人関係の心理学	講義	30	2	1~4		
	10117	1	LA10C14K	歴史に学ぶ	講義	30	2	1~4		
	10118	1	LA10C15K	日本社会の歴史	講義	30	2	1~4		
	10119	1	LA10C16K	ことばと人間	講義	30	2	1~4		
	10120	1	LA10C17K	文学を楽しむ	講義	30	2	1~4		
	10121	1	LA10C18K	美と芸術の歴史	講義	30	2	$1 \sim 4$		
	10122	1	LA10C19K	ビジュアルアーツと現代	講義	30	2	1~4		
	10123	1	LA10C20K	本を読む (人文)	講義	30	2	1~4		
	10124	1	LA10A05K	社会科学の考え方	講義	30	2	1		
	10036	1	LA10C21K	日本国憲法	講義	30	2	1~4		
	10125	1	LA10C22K	法律と暮らし	講義	30	2	1~4		
	10126	1	LA10C23K	現代社会と政治学	講義	30	2	1~4		
	10127	1	LA10C24K	グローバリゼーションとは何か	講義	30	2	1~4		
	10128	1	LA10C25K	現代社会と経済学	講義	30	2	1~4		
	10129	1	LA10C26K	資本主義の現在	講義	30	2	1~4		
	10130	1	LA10C27K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1~4		
	10131	1	LA10C28K	人権から見た教育と労働	講義	30	2	1~4	必修6単位を含	
41.0	10132	1	LA10C29K	働くということ	講義	30	2	1~4	め14単位以上選 択	
社会	10133	1	LA10C30K	共に生きる	講義	30	2	1~4	υ(
	10134	1	LA10C31K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1~4		
	10135	1	LA10C32K	家族を考える	講義	30	2	1~4		
	10136	1	LA10C33K	お金と税金のはなし	講義	30	2	1~4		
	10137	1	LA10C34K	ICTと暮らし	講義	30	2	1~4		
	10138	1	LA10C35K	メディアとつきあう	講義	30	2	1~4		
	10139	1	LA10C36K	時事問題研究	講義	30	2	1~4		
	10140	1	LA10C37K	地域を学ぶ	講義	30	2	1~4		
	10141	1	LA10C38J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1~4		
	10142	1	LA10C39K	本を読む (社会)	講義	30	2	1~4		
	10143	1	LA10A06K	自然科学の考え方	講義	30	2	1		
	10144	1	LA10C40K	生命科学の基礎知識	講義	30	2	1~4		
	10145	1	LA10C41K	生命倫理	講義	30	2	1~4		
	10146	1	LA10C42K	健康とは何か	講義	30	2	1~4		
	10147	1	LA10C43K	食といのち	講義	30	2	1~4		
	10148	1	LA10C44K	地球環境と人間	講義	30	2	1~4		
自然	10149	1	LA10C45K	資源エネルギーと人間	講義	30	2	1~4		
	10150	1	LA10C46K	災害と人間	講義	30	2	1~4		
	10151	1	LA10C47K	科学技術の現在	講義	30	2	1~4		
	10152	1	LA10C48K	はじめての統計学	講義	30	2	1~4		
	10153	1	LA10C49K	宇宙のはなし	講義	30	2	1~4		
	10154	1	LA10C50K	本を読む(自然)	講義	30	2	1~4		
	10044	1	LA11B12E	コンピュータ基礎 I	演習	30	2	1		
情報	10045	1	LA12B12E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	2	1	2 単位必修	
IFI TIX	10045	2	LA20B01E	コンピュータ実習	演習	30	2	2	- + 15.45 199	
	10040		LAZUDUIE	コイヒム ク大白	伊日	30		4		

≪ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する注意事項≫

原則

- 1) (A系列の科目) I Aの単位を修得していなければ II Aを履修することはできない。 II Aの単位を修得していれば III A または III A を履修することができる。
- 2)(B系列の科目) I Bの単位を修得していなければ ${\mathbb I}$ Bを履修することはできない。 ${\mathbb I}$ Aまたは ${\mathbb I}$ Bの単位を修得していれば ${\mathbb I}$ Bまたは ${\mathbb I}$ Bを履修することができる。
- 3) 検定試験等を利用した単位認定については別途定める(「履修登録の手引き」を参照のこと)。
- 4) Ⅲ BおよびIV Bについては、授業の内容が異なり、かつ担当教員の了解を得ることを前提として重複履修を認める。重複の回数はそれぞれ2度を上限とする(初回を含めて合計3度)。重複履修によって修得した単位は自由科目の単位とし

て認定される。

5) 外国において中等教育を受けた学生、編転入・再入学の学生、休学後に復学した学生、留学を予定する学生等、特殊な 事情のある学生は、学務部で相談すること。

≪ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する規程≫

- B. 児童教育学科幼児保育専攻の学生は、外国語科目6単位を次の1)または2)の方法で履修すること。
 - 1) 英語 2 単位 + 英語以外の同一外国語 4 単位。 英語以外の外国語については、ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの各言語からひとつを選択し、1 年次前期 において I Aと I Bを、および 1 年次後期において II Aと II Bを履修する。(以上 1 年次 4 単位)。
 - 2) 英語 4 単位 + 英語以外の同一外国語 2 単位。 英語以外の外国語については、ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの各言語からひとつを選択し、1 年次前期において($IA \ge IB$)を、または1 年次の通年にわたって($IA \ge IA$)もしくは($IB \ge IB$)を履修する。(以上1 年次 2 単位)。

<この規程は2020(令和2)年度入学生から適用される。>

(2) 学科科目〔児童教育学科 幼児保育専攻〕

基幹科目20単位、専門科目60単位、学科科目合計80単位以上

										/th/	5401			レジゴ		_
学科目	科目	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業形式	授業 時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	-				日履		
	· ·			No. of the state o		_				-	Ре		W	F	N	M
	13100	1	PC20A01K	キリスト教教育論	講義	30	2	2		X	×	×	×	×	×	×
	13192	1	PC11A01E	音楽I	演習	30	1	1		×	×	×	×	×	×	×
	13193	1	PC12A01E	音楽Ⅱ	演習	30	1	1		×	×	×	×	×	×	×
	13194	1	PC11A02E	美術 I	演習	30	1	1		×	×	×	×	×	×	×
	13195	1	PC12A02E	美術Ⅱ	演習	30	1	1		×	×	×	×	×	×	×
±t.	13196	2	PC31A02E	労作体験 I	演習	30	1	3		×	×	×	×	×	×	×
幹	13197	2	PC32A02E	労作体験 Ⅱ	演習	30	1)	3	20単位必修	X	×	×	×	×	×	×
基幹科目	13109	1	PC10A01E	基礎演習	演習	30	2	1	20-12.219	×	×	×	×	×	×	×
	13198	1	PC21A02J	幼児体育 I	実技	30	1	2		X	×	×	×	×	×	×
	13199	1	PC22A02J	幼児体育Ⅱ	実技	30	1	2		×	×	×	×	×	×	×
	13200	1	PC31A01E	幼児保育演習 I	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13201	1	PC32A01E	幼児保育演習Ⅱ	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13202	1	PC41A01E	幼児保育演習Ⅲ	演習	30	2	4		×	×	×	×	X	×	×
	13203	1	PC42A01E	幼児保育演習IV	演習	30	2	4		×	×	×	×	×	×	×
	13114	2	PC10C01K	保育原理	講義	30	2	1)	×	×	×	×	×	×	×
	13102	2	PC10C02K	教育原理	講義	30	2	1		×	×	X	×	×	×	×
	13115	3	PC10C03K	保育者論	講義	30	2	1	1	×	0	×	×	×	×	×
	13103	3	PC10C08K	保育の心理学	講義	30	2	1	1	×	×	X	×	×	×	×
	13213	1	PC20C23K	子ども家庭支援の心理学	講義	30	2	2	1	×	×	×	×	×	×	×
	13179	2	PC10C09E	子どもの理解と援助	演習	15	1	1	1	×	×	X	×	×	×	×
	13182	2	PC10C10K	保育の計画と評価	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
	13214	1	PC10C11K	幼児教育課程論	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
	13152	2	PC10C12E	保育内容教育法・人間関係	演習	30	2	1		×	×	×	X	×	×	×
	13154	2	PC10C13E	保育内容教育法・言葉	演習	30	2	1		×	×	×	X	×	×	×
	13151	2	PC20C24E	保育内容教育法・健康	演習	30	2	2		×	×	X	X	×	×	×
	13153	2	PC20C25E	保育内容教育法・環境	演習	30	2	2		×	×	X	X	×	×	×
	13221	1	PC20C32E	保育内容総論	演習	30	2	2		×	×	×	X	×	×	×
	13204	1	PC21C01E	音楽Ⅲ	演習	30	1	2		×	×	X	×	×	×	×
	13205	1	PC22C01E	音楽IV	演習	30	1	2		×	×	X	×	×	×	×
	13206	1	PC21C02E	美術Ⅲ	演習	30	1	2		×	×	X	×	×	×	×
	13207	1	PC22C02E	美術IV	演習	30	1	2		×	×	×	×	×	×	×
	13118	1	PC20C04K	社会福祉	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	13116	3	PC21C05K	社会的養護 I	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	13132	3	PC22C05E	社会的養護Ⅱ	演習	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
専	13132	3	PC20C26K	子ども家庭支援論	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
専門科目	13105	2	PC20C26K PC20C08K	子育て支援論	講義	30	2	2	│	×	^	×	×	×	×	×
目					_			2	00年世以上送扒	-	_					
	13215	1	PC20C27E	子育て支援演習	演習	15	1	2	_	×	X	X	×	×	X	X
	13216	-	PC20C28E	幼児理解	演習	15	1			×	×	X	×	×	×	X
	13217	1	PC20C29E	教育相談	演習	15	1	2		×	×	×	×	×	×	×
	13218	1	PC21C06K	乳児保育Ⅰ	講義	30	2	2		-						-
	13219	1	PC22C06E	乳児保育Ⅱ	演習	15	1	2		×	×	X	×	X	×	X
	13121	1	PC20C13K	子ども文化論	講義	30	2	2		×	X			×	X	×
	13208	2	PC20C30K	子どもの保健	講義	30	2	2		×	X	X	X	×	X	X
	13184	2	PC31C01E	保育実習指導I	演習	30	2	3		×	×			×	×	×
	13161	3	PC32C01J	保育実習 I (施設)	実習	90	2	3		×	×	X	X	×	×	×
	13120	1	PC20C14K	キリスト教保育	講義	30	2	2~4		×	×			×	×	×
	13125	1	PC20C15K	発達障害学	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	0	0
	13129	1	PC20C16K	言語発達心理学	講義	30	2	2~4		×	×	×		×	×	×
	13142	2	PC20C17E	身体表現	演習	30	2	2~4		×	0	×	×	×	×	×
	13220	1	PC20C31K	特別支援教育	講義	30	2	2~4		×	×	×		×	×	×
	13155	2	PC30C12E	保育内容教育法·表現I	演習	30	2	3		×	×	×	X	×	×	×
	13156	2	PC30C13E	保育内容教育法・表現Ⅱ	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13157	1	PC30C01E	保育方法の研究	演習	30	2	3		×	×	×		×	×	×
	13140	2	PC30C02E	子どもの食と栄養	演習	30	2	3		×	×			×	×	×
	13181	3	PC30C14E	子どもの健康と安全	演習	30	1	3		×	×	×	×	×	×	×
	13117	3	PC30C15K	子ども家庭福祉	講義	30	2	3		×	×	×	X	×	×	×

学科目	科目	科目	科目	授業科目	授業	授業	単位数	配置	修得単位・備考	他生	対科・	他学	部科	目履	修の	可否
1-1		明細	ナンバリング	12末行日	形式	時間数	平世奴	年次	10日本位,開名	Е	Pe	С	W	F	Ν	M
	13131	1	PC30C04E	障害児保育	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13160	2	PC32C03J	保育実習I(保育所)	実習	90	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13167	2	PC41C01E	保育実習指導Ⅱ	演習	15	1	4		×	×	×	×	×	×	×
	13162	3	PC42C01J	保育実習Ⅱ (保育所)	実習	90	2	4		×	×	×	×	×	×	×
	13163	3	PC42C02J	保育実習Ⅲ (施設)	実習	90	2	4		×	×	×	×	×	×	×
畫	13135	1	PC30C05K	地域発達臨床論	講義	30	2	3~4		0	0	0	0	0	0	0
専門	13134	3	PC30C16E	地域子育て支援実践演習	演習	30	2	3~4		×	0	×	×	×	×	×
科目	13189	2	PC30C17E	地域発達支援実践演習	演習	30	2	3~4		×	0	×	×	×	×	×
	13210	1	PC20C18E	幼児保育特殊演習A	演習	30	2	2~4		×	0	×	×	×	×	×
	13211	1	PC20C19E	幼児保育特殊演習B	演習	30	2	2~4		×	0	×	×	×	×	×
	13212	1	PC20C20E	幼児保育特殊演習C	演習	30	2	2~4		0	0	0	0	0	\circ	0
	13165	1	PC40C01J	保育実践研究A	実習	30	1	4		×	×	×	×	×	×	×
	13166	1	PC40C02J	保育実践研究B	実習	30	1	4		×	×	×	×	×	×	×
	13148	1	PC40C03S	卒業研究			4	4	J	×	×	×	×	×	×	×
	13168	1	PC10C07K	教職論	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
	13169	1	PC20C21K	教育行政学	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	13170	3	PC20C22K	教育方法論	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
750	13185	1	PC21C04J	初等教育実習Ⅲ(事前事後指導1単位を含む)	実習	45	2	2		×	×	×	×	×	×	×
資 格	13173	1	PC30C08K	小学校国語科研究	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
科目	13174	1	PC30C09K	小学校算数科研究	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13175	1	PC30C10K	小学校生活科研究	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13176	1	PC30C11K	小学校体育科研究	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13186	2	PC22C04J	初等教育実習IV	実習	90	3	2		×	×	×	×	×	×	×
	13177	1	PC40C04E	保育・教職実践演習(幼稚園)	演習	30	2	4		×	×	×	×	×	×	X

他学科・他学部科目履修の可否は、各学科カリキュラム表に記載されている。○が付いているものは基本的に履修が可能であり、卒業要件単位となる。ただし、授業内容と授業形式によっては人数に制限があるため、担当教員の了解を受ける必要がある。

なお、履修登録できない科目のほとんどは、①同種の科目が自学科用にある場合か、②学科必修の科目等で他学科学生を受け入れる余地がない場合に当てはまる。

<文化交流学科>

(1) 全学教養科目

学科目	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位
建学の	10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化 I	講義	30	2	1	
精神	10051	1	LA12A01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	2	1	6 単位必修
	10052	1	LA33A01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	2	3	
基礎演習	10053	1	LA10A01E	大学基礎演習	演習	30	2	1	
	10054	1	LA11A03E	英語コミュニケーションI	演習	30	1	1	
	10058	1	LA11A02E	総合英語I	演習	30	1	1	
	10055	1	LA12A03E	英語コミュニケーションⅡ	演習	30	1	1	
	10059	1	LA12A02E	総合英語Ⅱ	演習	30	1	1	8 単位必修
	10056	1	LA23A02E	英語コミュニケーションⅢ	演習	30	1	2	
	10060	1	LA23A01E	総合英語Ⅲ	演習	30	1	2	
	10057	1	LA24A02E	英語コミュニケーションⅣ	演習	30	1)	2	
	10061	1	LA24A01E	総合英語IV	演習	30	1)	2	
	10062	1	LA35C01E	総合英語V	演習	30	1	3	
	10063	1	LA36C02E	総合英語VI	演習	30	1	3	
	10064	1	LA10B01E	多言語に触れる	演習	30	1	1	
	10065	1	LA11B01E	ドイツ語 I A	演習	30	1	1	
-	10066	1	LA12B01E	ドイツ語 II A	演習	30	1	1~2	
	10067	1	LA11B02E	ドイツ語 I B	演習	30	1	1	1
	10068	1	LA12B02E	F 1 ∨ m I B	演習	30	1	1~2	
	10069	1	LA23B01E	ドイツ語 II A	演習	30	1	2	_
	10070	1	LA24B01E	ドイツ語IVA	演習	30	1	2~3	
	10071	1	LA23B02E	F A V B III B	演習	30	1	2	
	10072	1	LA24B02E	ドイツ語WB	演習	30	1	2~3	
	10073	1	LA11B03E	フランス語 I A	演習	30	1	1	
	10074	1	LA12B03E	フランス語 II A	演習	30	1	1~2	
	10075	1	LA11B04E	フランス語 I B	演習	30	1	1	
	10076	1	LA12B04E	フランス語IIB	演習	30	1	1~2	
-	10077	1	LA23B03E	フランス語ⅢA	演習	30	1	2	
-	10078	1	LA24B03E	フランス語IVA	演習	30	1	2~3	
-	10079	1	LA23B04E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	
씨 글 ·	10080	1	LA24B04E	フランス語IVB	演習	30	1	2~3	
外国語	10081	1	LA11B05E	中国語IA	演習	30	1	1	同一言語
-	10082	1	LA12B05E	中国語IIA	演習	30	1	1~2	6 単位必修
	10083	1	LA11B06E	中国語IB	演習	30	1	1 0	
	10084 10085	1	LA12B06E	中国語IIB	演習 演習	30	1	1~2 2	
			LA23B05E	中国語ⅢA 中国語ⅣA	演習	30	1	2~3	
	10086 10087	1	LA24B05E LA23B06E	中国語IIB	演習	30	1	2~3	
	10087	1	LA24B06E	中国語IVB	演習	30	1	2~3	
	10089	1	LA24B00E LA11B07E	コリアンIA	演習	30	1	1	
	10089	1	LA11B07E LA12B07E	コリアンⅡA	演習	30	1	1~2	
	10090	1	LA11B08E	コリアンIB	演習	30	1	1	
	10091	1	LA11B08E LA12B08E	コリアンⅡB	演習	30	1	1~2	
	10092	1	LA23B07E	コリアンⅢA	演習	30	1	2	
	10093	1	LA23B07E LA24B07E	コリアンIVA	演習	30	1	2~3	
	10094	1	LA23B08E	コリアンⅢB	演習	30	1	2	
	10095	1	LA23B08E LA24B08E	コリアンIVB	演習	30	1	2~3	
	10090	1	LA10B02E	その他の外国語A	演習	30	1	1~4	
	10098	1	LA10B02E	その他の外国語B	演習	30	1	1~4	
	10099	1	LA10B03E	その他の外国語C	演習	30	1	1~4	
	10100	1	LA10B04E	その他の外国語D	演習	30	1	1~4	
	10101	1	LA11B09E	外国語としての日本語 I A	演習	30	1	1	
	10102	1	LA12B09E	外国語としての日本語 II A	演習	30	1	1	-
	10102	1	LA11B10E	外国語としての日本語IB	演習	30	1	1	
	10104	1	LA12B10E	外国語としての日本語 II B	演習	30	1	1	外国において中
	10105	1	LA23B09E	外国語としての日本語ⅢA	演習	30	1	2	等教育を受けた
	10106	1	LA24B09E	外国語としての日本語IVA	演習	30	1	2	学生にのみ適用
	10107	1	LA23B10E	外国語としての日本語ⅢB	演習	30	1	2	
	10108	1	LA24B10E	外国語としての日本語IVB	演習	30	1	2	
	10028	2	LA10A02J	体育実技A	実技	30	(1)	1~4	
健康	10109	1	LA10A03J	体育実技B	実技	30	(1)	1~4	- 22.11
スポーツ	10029	1	LA10C01K	健康科学	講義	30	2	1~4	2 単位必修
	10023	1	LA10C02K	運動と健康	講義	30	2	1~4	
	10090	1	LAIUCU2K	圧ガし関係	四件寻奖	100		1 4	

学科目	科目コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位
	10031	1	LA10C03J	海外語学研修A	実習	120	4	1	
	10032	1	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2	
	10033	1	LA10C04J	海外語学研修C	実習	60	2	1	
留学	10034	1	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2	
	10048	1	LA10C05J	海外文化研修	実習	60	2	1~4	
	10035	2	LA10C06J	異文化体験	実習	60	2	1~4	
	10049	1	LA10C07K	留学生のための日本学基礎	講義	30	2	1~4	
	10110	1	LA10A04K	人文科学の考え方	講義	30	2	1	
	10111	1	LA10C08K	哲学とは何か	講義	30	2	1~4	
	10112	1	LA10C09K	いのちを考える	講義	30	2	1~4	
	10113	1	LA10C10K	ライフステージの心理学	講義	30	2	1~4	
	10114	1	LA10C11K	人生と儀礼	講義	30	2	1~4	
	10115	1	LA10C12K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1~4	
人文	10116	1	LA10C13K	対人関係の心理学	講義	30	2	1~4	
//~	10117	1	LA10C14K	歴史に学ぶ	講義	30	2	1~4	
	10118	1	LA10C15K	日本社会の歴史	講義	30	2	1~4	
	10119	1	LA10C16K	ことばと人間	講義	30	2	1~4	
	10120	1	LA10C17K	文学を楽しむ	講義	30	2	1~4	
	10121	1	LA10C18K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1~4	
	10122	1	LA10C19K	ビジュアルアーツと現代	講義	30	2	1~4	
	10123	1	LA10C20K	本を読む(人文)	講義	30	2	1~4	
	10124	1	LA10A05K	社会科学の考え方	講義	30	2	1	
	10036	1	LA10C21K	日本国憲法	講義	30	2	1~4	
	10125	1	LA10C22K	法律と暮らし	講義	30	2	1~4	
	10126	1	LA10C23K	現代社会と政治学	講義	30	2	1~4	
	10127	1	LA10C24K	グローバリゼーションとは何か	講義	30	2	1~4	
	10128	1	LA10C25K	現代社会と経済学	講義	30	2	1~4	
	10129	1	LA10C26K	資本主義の現在	講義	30	2	1~4	
	10130	1	LA10C27K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1~4	With a With & A
	10131	1	LA10C28K	人権から見た教育と労働	講義	30	2	1~4	必修 6 単位を含 め14単位以上選
社会	10132	1	LA10C29K	働くということ	講義	30	2	1~4	択
江云	10133	1	LA10C30K	共に生きる	講義	30	2	1~4	, ,
	10134	1	LA10C31K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1~4	
	10135	1	LA10C32K	家族を考える	講義	30	2	1~4	
	10136	1	LA10C33K	お金と税金のはなし	講義	30	2	1~4	
	10137	1	LA10C34K	ICTと暮らし	講義	30	2	1~4	
	10138	1	LA10C35K	メディアとつきあう	講義	30	2	1~4	
	10139	1	LA10C36K	時事問題研究	講義	30	2	1~4	
	10140	1	LA10C37K	地域を学ぶ	講義	30	2	1~4	
	10141	1	LA10C38J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1~4	
	10142	1	LA10C39K	本を読む (社会)	講義	30	2	1~4	
	10143	1	LA10A06K	自然科学の考え方	講義	30	2	1	
	10144	1	LA10C40K	生命科学の基礎知識	講義	30	2	1~4	
	10145	1	LA10C41K	生命倫理	講義	30	2	1~4	
	10146	1	LA10C42K	健康とは何か	講義	30	2	1~4	
	10147	1	LA10C43K	食といのち	講義	30	2	1~4	
自然	10148	1	LA10C44K	地球環境と人間	講義	30	2	1~4	
日然	10149	1	LA10C45K	資源エネルギーと人間	講義	30	2	1~4	
	10150	1	LA10C46K	災害と人間	講義	30	2	1~4	
	10151	1	LA10C47K	科学技術の現在	講義	30	2	1~4	
	10152	1	LA10C48K	はじめての統計学	講義	30	2	1~4	
	10153	1	LA10C49K	宇宙のはなし	講義	30	2	1~4	
	10154	1	LA10C50K	本を読む(自然)	講義	30	2	1~4	
	10044	1	LA11B11E	コンピュータ基礎 I	演習	30	2	1	
情報	10045	1	LA12B11E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	2	1	2 単位必修
	10046	2	LA20B01E	コンピュータ実習	演習	30	2	2	

≪ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する注意事項≫

原則

- 1) (A系列の科目) I Aの単位を修得していなければ II Aを履修することはできない。 II Aの単位を修得していれば III A または III A を履修することができる。
- 2)(B系列の科目) I Bの単位を修得していなければ ${\mathbb I}$ Bを履修することはできない。 ${\mathbb I}$ Aまたは ${\mathbb I}$ Bの単位を修得していれば ${\mathbb I}$ Bまたは ${\mathbb I}$ Bを履修することができる。
- 3) 検定試験等を利用した単位認定については別途定める(「履修登録の手引き」を参照のこと)。
- 4) Ⅲ BおよびIV Bについては、授業の内容が異なり、かつ担当教員の了解を得ることを前提として重複履修を認める。重複の回数はそれぞれ2度を上限とする(初回を含めて合計3度)。重複履修によって修得した単位は自由科目の単位とし

て認定される。

5) 外国において中等教育を受けた学生、編転入・再入学の学生、休学後に復学した学生、留学を予定する学生等、特殊な 事情のある学生は、学務部で相談すること。

≪ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する規程≫

A. 現代英語学科、文化交流学科、児童教育学科児童教育専攻の学生は、以下の履修方法によること。

ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの各言語からひとつを選択し、1年次前期において I Aと I Bを、および1年 次後期において II Aと II Bを履修すること (以上1年次4単位)。2年次においては1年次に履修した外国語と同じ外国語を 引き続き履修し、前期において III Aを、および後期において IV Aを履修すること(以上2年次2単位、合計6単位)。

<この規程は2020 (令和2) 年度入学生から適用される。>

(2)学科科目〔文化交流学科〕

基幹科目30単位、「文化交流を実践する」科目の中の「応用する」4単位を含み、学科科目合計70単位以上

2019年度~

			科目	科目	科目	tet illineer in	授業	授業		配置	11. 173\111 Mb b	他学	科・	他学	部科	日履	修の	可否
1	学科目		コード	明細	ナンバリング	授業科目	形式	時間数	単位数	年次	修得単位・備考	Е	Ре	Pc			N	M
			14245	1	CC10A01E	文化交流入門	演習	30	2	1)	×	×	×	×	×	×	×
			14101	2	CC30A01K	地球市民論	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
			14178	2	CC10A02E	基礎演習 I	演習	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
			14179	2	CC21A01E	基礎演習Ⅱ	演習	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
			14180	2	CC22A01E	基礎演習Ⅲ	演習	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
			14182	1	CC31A01E	文化論演習 I	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
			14183	1	CC32A01E	文化論演習Ⅱ	演習	30	2	3		×	×	×	X	X	×	×
			14184	1	CC41A01E	文化論演習Ⅲ	演習	30	2	4		×	×	×	X	×	×	×
	基		14185	1	CC42A01E	文化論演習IV	演習	30	2	4	合計30単位	×	×	×	×	×	×	×
	基幹科目		14186	2	CC10B01K	文化人類学A	講義	30	2	1~2	選択必修		0	0	X	0	0	0
	目		14187	2	CC10B02K	文化人類学B	講義	30	2	1~2			Ō	0	×	0	0	0
			14188	2	CC10B03K	社会学A	講義	30	2	1~2		0	Ō	0	X	×	×	×
			14189	2	CC10B04K	社会学B	講義	30	2	1~2	人型10米件	0	0	0	X	X	X	×
			14155	4	CC10B05K	歴史学A	講義	30	2	1~2	合計12単位 選択必修		0	0	0	0	×	0
			14190	3	CC10B06K	歴史学B	講義	30	2	1~2		6	0	0	0	0	×	0
			14191	1	CC10B07K	人文地理学 I	講義	30	2	1~2	-	6	0	0	X	0	×	X
			14192	1	CC10B07K	人文地理学Ⅱ	講義	30	2	1~2	lJ J		0	0	×	0	×	×
			14115	1	CC40C01S	卒業研究	HLL-4X	- 50	6	4		×	×	×	×	×	×	×
	н	k:	14231	1	CC10C01K	海外事情	講義	30	2	1~4		10	0	0	0	0	×	0
	体験す	r 矣	14116	1	CC10C01K	文化交流実習	実習	120	4	1~4		×	×	×	×	×	×	×
	3	5	14117	3	CC10C02J	文化交流体験	実習	60	2	1~4		×	×	×	X	×	×	×
			14232	1	CC10C04E	身体と表現	演習	30	2	1~4		×	×	×	X	×	×	×
	妻	EX.	14233	2	CC10C05E	編集技法	演習	30	2	1~4		×	×	×	×	×	×	X
	表現す	72 -	14127	2	CC30C01K	情報社会論	講義	30	2	3~4		0	0	0	0	0	×	0
	3	5	14122	2	CC20C01K	ジャーナリズム研究	講義	30	2	3~4		×	0	0	0	0	×	0
			14236	1	CC10C06J	海外ボランティア	実習	60	2	1~4		0	0	0	0	0	0	0
			14237	1	CC30C02J	海外フィールドワーク	実習	60	2	3~4	-	×	×	×	×	×	×	×
		围	14129	2	CC30C03K	異文化間コミュニケーション	講義	30	2	3~4		×	0	0	0	0	0	0
		際	14120	3	CC30C03K	国際協力A	講義	30	2	3~4		0	0	0	0	0	×	0
		際共生	14201	2	CC30C04K	国際協力B	講義	30	2	3~4			0	0	0	0	×	0
			14153	3	CC30C06K	国際関係論A	講義	30	2	3~4			0	0	0	0	×	0
-⊹			14154	3	CC30C07K	国際関係論B	講義	30	2	3~4			0	0	0	0	×	0
化			14118	1	CC30C07K	観光学	講義	30	2	3~4			0	0	0	0	×	0
文化交流を実践する			14172	2	CC30C09K	観光地理学	講義	30	2	3~4		×	×	×	×	×	×	×
を中		Acits	14173	3	CC30C10K	旅行業A (約款・法令)	講義	30	2	3~4		×	×	×	×	×	×	×
天 践		観り	14193	2	CC30C11K	旅行業B(ホテル経営)	講義	30	2	3~4		×	×	×	×	×	×	×
する	ا بي ا		14121	1	CC30C11R	観光英語	演習	30	2	3~4		×	0	0	0	0	×	0
	川		14194	1	CC30C12E	観光実務	演習	30	2	3~4	4 単位以上	6	0	0	0	0	×	0
	応用する		14238	2	CC10C07K	ボランティア論	講義	30	2	1~4	- (いずれか1区分から)		0	0	0	0	×	0
		地	14195	1	CC10C07K	ひたち学	講義	30	2	1~4	1		0	0	0	0	×	0
		地域貢	14196	1	CC10C00K	地域貢献研究	演習	30	2	1~4	1		0	0	0	0	×	0
		貢献	14239	1	CC30C14K	地方行政学	講義	30	2	3~4	1	6	0	0	0	0	×	0
			14200	2	CC30C14K CC30C15E	地域メディア研究	演習	30	2	3~4	1		0	0	0	_	×	0
			14133	3	CC20C02K	日本語学A	講義	30	2	2~4	1		0	0	0	_	×	0
			14134	3	CC20C02K	日本語学B	講義	30	2	2~4	1	6	0	0	0	0	×	0
		日	14134	3	CC20C03K CC20C04E	日本語教育演習A	演習	30	2	2~4	1	×	0	0	×	-	×	×
			14131	3	CC20C04E CC20C05E	日本語教育演習B	演習	30	2	2~4	1	×	0	0	×	_	×	_
		本語教育	14240	1	CC20C03E CC20C06E	外国語指導技術	演習	30	2	2~4	1	×	0	0	×		×	×
		育	14240	2	CC20C06E CC20C07K	言語学A	講義	30	2	2~4		6	0	0	0	0	×	0
			14202	2	CC20C07K	言語学B	講義	30	2	2~4	J		0	0	0	0	×	0
			14203	2	CC20C08K	民俗学	講義	30	2	2~4	-	6	0	0	0	0	×	0
	,		14204	1	CC20C09K CC21C01K	考古学 I	講義	30	2	2~4	-	6	0	0	0	_	×	0
	文化		14209	1	CC22C01K	考古学Ⅱ	講義	30	2	2~4	-	6	0	0	0	_	×	0
	文化を学ぶ		14246	1	CC22C01K CC21C02K	自然地理学 I	講義	30	2	2	-		0	0	×	_	×	
	ぶ		14247	1	CC21C02K CC22C02K	自然地理学Ⅱ	講義	30	2	2	-	6	0	0	×	_	×	×
1								_		_	1	_		_	_	_		×
			14248	1	CC20C10K	地誌	講義	30	2	2		0	0	0	×	0	X	LX

学科目	科目	科目	科目	授業科目	授業	授業	畄凸粉	配置	修得単位・備考	他学	科・	他学	部科	目履信	多ので	可否
子科日	コード	明細	ナンバリング	权来符日	形式	時間数	単位数	年次	修行単位・順考	Е	Ре	Рс	W	F	N	Μ
	14147	2	CC20C11K	西洋史	講義	30	2	2~4		0	0	0	×	0	×	×
	14142	2	CC20C12K	東洋史	講義	30	2	2~4		0	\circ	\circ	×	\circ	×	×
	14206	2	CC20C13K	日本史A	講義	30	2	2~4		0	0	\circ	×	\circ	×	×
	14207	2	CC20C14K	日本史B	講義	30	2	2~4		0	0	0	×	\circ	×	×
	14211	3	CC20C15K	日本の歴史と文化	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	\circ	×	\circ
	14212	2	CC20C16K	中国の歴史と文化A	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	×	\circ
	14213	2	CC20C17K	中国の歴史と文化B	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	\circ	×	\circ
	14214	1	CC20C18K	東南アジアの歴史と文化	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	\circ	×	\circ
	14215	1	CC20C19K	韓国の歴史と文化	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	×	\circ
	14216	1	CC20C20K	インドの歴史と文化	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	\circ	×	\circ
	14217	1	CC20C21K	イスラムの歴史と文化	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	\circ	×	\circ
	14218	2	CC20C22K	ヨーロッパの歴史と文化A	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	\circ	×	\circ
	14219	2	CC20C23K	ヨーロッパの歴史と文化B	講義	30	2	2~4		0	0	\circ	0	\circ	×	\circ
	14229	1	CC20C24K	フランスの歴史と文化	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	\circ	×	\circ
	14230	1	CC20C25K	ドイツの歴史と文化	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	\circ	×	\circ
	14146	2	CC20C26K	北アメリカの歴史と文化	講義	30	2	2~4		0	\circ	\circ	0	\circ	×	\circ
文	14164	2	CC20C27K	アジアの宗教	講義	30	2	2~4		0	0	\circ	0	\circ	×	\circ
文化を学ぶ	14220	2	CC20C28K	キリスト教思想A	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	\circ	×	\circ
学	14221	2	CC20C29K	キリスト教思想B	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	×	0
<i>š</i> i	14139	2	CC20C30K	日本文学	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	0	0
	14160	2	CC20C31K	アジアの文学	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	×	0
	14152	2	CC20C32K	欧米の文学	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	0	0
	14166	2	CC20C33K	アジアの映画	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	×	0
	14167	2	CC20C34K	欧米の映画	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	×	0
	14249	1	CC20C45K	法学	講義	30	2	2~4		×	×	×	×	×	×	×
	14250	1	CC20C46K	生活と政治	講義	30	2	2~4		×	×	×	×	×	×	×
	14251	1	CC20C47K	生活と国際経済	講義	30	2	2~4		×	×	×	×	×	×	×
Ī	14252	1	CC20C48K	女性学	講義	30	2	2~4		×	×	×	×	×	×	×
	14158	2	CC20C35K	比較文化論A	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	×	0
	14159	2	CC20C36K	比較文化論B	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	×	0
	14161	2	CC20C37K	比較社会論A	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	×	0
	14162	2	CC20C38K	比較社会論B	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	×	0
	14168	3	CC20C39K	比較教育論A	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	×	0
	14223	2	CC20C40K	比較教育論B	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	×	\circ
	14163	2	CC20C41K	比較宗教論	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	×	0
	14165	1	CC20C42K	比較言語論	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	×	0
	14224	2	CC10C10K	特殊講義A	講義	30	2	1~4		0	0	0	0	0	0	0
	14225	2	CC10C11K	特殊講義B	講義	30	2	1~4		0	0	0	0	0	0	0
特 別 研	14241	2	CC10C12E	特別演習A	演習	30	2	1~4		×	×	X	×	×	×	×
	14242	2	CC10C13E	特別演習B	演習	30	2	1~4		×	×	X	×	×	X	X
究	14243	2	CC10C14E	語学演習A	演習	30	2	1~4		×	×	X	×	×	X	X
	14244	2	CC10C15E	語学演習B	演習	30	2	1~4		×	×	X	×	×	X	X
,	14171	4	CC10C17J	インターンシップA	実習	60	2	1~3		×	×	X	×	×	X	X
キャ	14228	3	CC10C18J	インターンシップB	実習	60	2	1~3		×	×	X	×	×	X	X
リア	14174	2	CC20C43K	情報処理関連資格対策講座	講義	30	2	2~4		×	×	X	×	×	X	X
キャリア教育	14175	2	CC30C16K	日本語教員試験対策講座(実践)	講義	30	2	3~4		0	0	0	×	×	X	×
育	14176	3	CC20C44K	日本語教員試験対策講座(入門)	講義	30	2	2~4		×	0	0	×	×	X	×
									<u> </u>			-	_		_	_

他学科・他学部科目履修の可否は、各学科カリキュラム表に記載されている。○が付いているものは基本的に履修が可能であり、卒業要件単位となる。ただし、授業内容と授業形式によっては人数に制限があるため、担当教員の了解を受ける必要がある。

なお、履修登録できない科目のほとんどは、①同種の科目が自学科用にある場合か、②学科必修の科目等で他学科学生を受け入れる余地がない場合に当てはまる。

履修要項Ⅱ 生活科学部 〔全学教養科目および学科科目の履修〕

1.	卒業に必要な最低修得単位	71
2.	授業科目、単位数および履修規程 心理福祉学科	
	(1) 全学教養科目	73
	(2) 学科科目	76
	食物健康科学科	
	(1) 全学教養科目	80
	(2) 学科科目	84
3.	生活科学部食物健康科学科の進級要件に関する規程	86
4	生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる履修規程	87

1. 卒業に必要な最低修得単位 生活科学部

<2020(令和2)年度入学生>

[心理福祉学科]

2019年度~

		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	科目区分	最低修行	导単位			
		建学の精神		4 単位				
		基礎演習		2 単位				
		外国語	(英語)	4 単位				
-4-	全	7 国 印	(英語以外)					
卒業に必要な単位および規程	全		1 単位	合計				
12	養科	留学			27単位			
必要	目	人文						
な出		社会		14単位				
堂		自然						
おト		情報		2 単位				
び		基幹科目		18単位				
規 程	学	専門基礎科目		10単位以上				
1±	科科	心理カウンセリ	ング系科目	4 単位以上	合計 - 92単位			
	目	福祉系科目		4 単位以上	32 - 			
		心理福祉教育系		4 単位以上				
	自由選択※				5 単位			
	合計				124単位以上			

[※]全学教養科目、学科科目、他学科科目、他学部科目の中から履修。

〔食物健康科学科〕

							2017千尺
		į	科目区分			最低修得	 厚単位
		建学の精神			4 1	単位	
		基礎演習			2 1	単位	
		bl 모듈	(英語)		4 1	単位	
卒	全	外国語	(英語以外)				
業	子教	健康スポーツ			1 1	単位	合計
卒業に必要な単位および規程	養	留学					25単位
要な	全学教養科目	人文					
東		社会			121	单位	
位お		自然					
よ		情報			2 1	単位	
び 規		基幹科目			141	単位	
程	学	専門基礎分野			35単位		۱۵ ۸
	学科科	専門分野			47単位	00.班代	合計 103単位
	I	人間生活領域		2 単位	89単位	100-平位	
		応用専門分野			5 単位		
			合計				128単位以上

留意事項

1. 自由に選択できる単位について

卒業に必要な最低修得単位は心理福祉学科が124単位、食物健康科学科は128単位となっているが、全学教養科目と学科科目の最低修得単位数を合計しても心理福祉学科においては124単位にはならず、5単位の不足が生じることになる。この不足は、全学教養科目・自分が所属する学科の学科科目・他学科及び他学部の学科科目(これらは全て卒業要件単位に含まれる科目群である)の中から自由に履修し、単位を修得して充足させることができる。ただし、他学科及び他学部の学科科目の履修に際しては、受講制限をする科目もあるので注意すること。

2. 科目の重複履修について

全学教養科目について、科目の重複履修が可能である。ただし、同一担当者による同一内容の場合、或いは同一時期に重複して履修することはできない。<u>下記科目以外は同じ科目を重複して履修することがで</u>きないので注意すること。

	重複履修回数		重複履修回数
キリスト教の精神と文化Ⅱ	2	中国語ⅢB	2
キリスト教の精神と文化Ⅲ	2	中国語NB	2
体育実技A	4	コリアンⅢB	2
体育実技B	4	コリアンⅣB	2
総合英語V	2	外国語としての日本語ⅢB	2
総合英語VI	2	外国語としての日本語IV B	2
ドイツ語 Ⅲ B	2	その他の外国語A	3
ドイツ語IVB	2	その他の外国語B	3
フランス語ⅢB	2	その他の外国語C	3
フランス語 Ⅳ B	2	その他の外国語D	3
		海外ボランティア	2

<この規程は2017(平成29)年度入学生から適用される。>

2. 授業科目、単位数および履修規程

〔生活科学部〕

履修に関しては次のことに注意すること。

- 1. ○印は必修科目を示す。
- 2. □印は選択必修科目を示す。
- 3. [] 印は [] 内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。
- 4. 各授業科目は、それぞれ固有の科目コードを持つ。
- 5. 1年間に登録できる単位数は、卒業要件に関わる科目が50単位未満で、総単位数は60単位以内とする。

<心理福祉学科>

(1) 全学教養科目

学科目	科目 コード	科目明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置年次	修得単位
建学	10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化 I	講義	30	2	1	
の	10051	1	LA12A01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	2	1	4 単位必修
精神	10052	1	LA33C01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	2	3	
基礎演習	10053	1	LA10A01E	大学基礎演習	演習	30	2	1	
	10054	1	LA11B02E	英語コミュニケーションI	演習	30	1	1	1 2% (4) 21 (4)
	10058	1	LA11B01E	総合英語 I	演習	30	1	1	1 単位必修
	10055	1	LA12B02E	英語コミュニケーションⅡ	演習	30	1	1	1 24 14 24 14
	10059	1	LA12B01E	総合英語Ⅱ	演習	30	1	1	1 単位必修
	10056	1	LA23B02E	英語コミュニケーションⅢ	演習	30	1	2	1 単位必修
	10060	1	LA23B01E	総合英語Ⅲ	演習	30	1	2	1 単位必修
	10057	1	LA24B02E	英語コミュニケーションⅣ	演習	30	1	2	1 単位必修
	10061	1	LA24B01E	総合英語IV	演習	30	1	2	1 年世紀19
	10062	1	LA35C01E	総合英語V	演習	30	1	3	
	10063	1	LA36C01E	総合英語VI	演習	30	1	3	
	10064	1	LA10C01E	多言語に触れる	演習	30	1	1	
	10065	1	LA11C01E	ドイツ語IA	演習	30	1	1	
	10066	1	LA12C01E	ドイツ語ⅡA	演習	30	1	1~2	
	10067	1	LA11C02E	ドイツ語IB	演習	30	1	1	
	10068	1	LA12C02E	ドイツ語ⅡB	演習	30	1	1~2	
	10069	1	LA23C01E	ドイツ語ⅢA	演習	30	1	2	
	10070	1	LA24C01E	ドイツ語IVA	演習	30	1	2~3	
	10071	1	LA23C02E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2	
	10072	1	LA24C02E	ドイツ語IVB	演習	30	1	2~3	
外国語	10073	1	LA11C03E	フランス語 I A	演習	30	1	1	
	10074	1	LA12C03E	フランス語ⅡA	演習	30	1	1~2	
	10075	1	LA11C04E	フランス語IB	演習	30	1	1	
	10076	1	LA12C04E	フランス語ⅡB	演習	30	1	1~2	
	10077	1	LA23C03E	フランス語ⅢA	演習	30	1	2	
	10078	1	LA24C03E	フランス語ⅣA	演習	30	1	2~3	
	10079	1	LA23C04E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	
	10080	1	LA24C04E	フランス語IVB	演習	30	1	2~3	
	10081	1	LA11C05E	中国語IA	演習	30	1	1	
	10082	1	LA12C05E	中国語IIA	演習	30	1	1~2	
	10083	1	LA11C06E	中国語IB	演習	30	1	1	
	10084	1	LA12C06E	中国語IIB	演習	30	1	1~2	
	10085	1	LA23C05E	中国語ⅢA	演習	30	1	2	
	10086	1	LA24C05E	中国語IVA	演習	30	1	2~3	
	10087	1	LA23C06E	中国語ⅢB	演習	30	1	2	
	10088	1	LA24C06E	中国語IVB	演習	30	1	2~3	
	10089	1	LA11C07E	コリアンIA	演習	30	1	1	
	10090	1	LA12C07E	コリアンⅡA	演習	30	1	1~2	
	10091	1	LA11C08E	コリアンIB	演習	30	1	1	
	10092	1	LA12C08E	コリアンⅡB	演習	30	1	1~2	

社会	学科目	科目 コード	科目明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位
10095 1 L.42COSE フリアン旧 河南 河南 30 1 2-3 10097 1 L.14COSE フリアン旧 河南 30 1 1-4 10099 1 L.14COSE マクルのカイ田部 河南 30 1 1-4 10109 1 L.14COSE マクルのカイ田部 河南 30 1 1-4 10101 1 L.14COSE マクルのカイ田部 河南 30 1 1-4 10101 1 L.14COSE マクルのカイ田部 河南 30 1 1-4 10101 1 L.14COSE マクルのカイ田部 河南 30 1 1-4 10102 1 L.14COSE マクルのカイ田部 河南 30 1 1-4 10103 1 L.14COSE マクルのカイ田部 河南 30 1 1-4 10103 1 L.14COSE 対しましている マクルのカイ田部 河南 30 1 1 10103 1 L.14COSE 対しましている マクルのカイ田部 河南 30 1 1 10103 1 L.14COSE 対しましている マクルのカイ田部 河南 30 1 1 10103 1 L.14COSE 対しましている マクルのカイ田部 河南 30 1 1 10103 1 L.14COSE 対しましている マクルのカイ田部 河南 30 1 1 10103 1 L.14COSE 対しましている マクルのカイ田部 河南 30 1 1 10103 1 L.14COSE 対しましている マクルのカイ田部 河南 30 1 1 10103 1 L.14COSE 対しましている マクルのカイ田部 河南 30 1 1 10103 1 L.14COSE 対しましている マクルのカイ田部 マクルのカイ田 マクルのカイ田部 マクルのカイ田部 マクルのカイ田部 マクルのカイ田部 マクルのカイ田 マクルのカイ田 マクルのカイ田 マクルのカイ田部 マクルのカイ田 マ		10093	1	LA23C07E	コリアンⅢA			1		
1996 1 LA10CUE 20かの外田語 前間 30 1 2-3 1998 1 LA10CUE その他の外田語 前間 30 1 1-4 1998 1 LA10CUE その他の外田語 前間 30 1 1-4 1910 1 LA10CUE その他の外田語 前間 30 1 1-4 1910 1 LA10CUE その他の外田語 前間 30 1 1-4 1910 1 LA10CUE その他の外田語 前間 30 1 1-4 1910 1 LA10CUE その他の外田語 前間 30 1 1-4 1910 1 LA10CUE 外田語としての日本語 前間 30 1 1 1910 1 LA10CUE 外田語としての日本語 前間 30 1 1 1910 1 LA10CUE 外田語としての日本語 前間 30 1 1 1910 1 LA20CUE 外田語としての日本語 前間 30 1 1 1910 1 LA20CUE 外田語としての日本語 前間 30 1 2-3 1910 1 LA20CUE 外田語としての日本語 前間 30 1 2-3 1910 1 LA20CUE 外田語としての日本語 前間 30 1 2-3 1910 1 LA20CUE 外田語としての日本語 前間 30 1 2-3 1910 1 LA20CUE 外田語としての日本語 前間 30 1 2-3 1910 1 LA20CUE 外田語としての日本語 前間 30 1 2-3 1910 1 LA20CUE 外田語としての日本語 前間 30 1 2-3 1910 1 LA20CUE 外田語としての日本語 前間 30 1 2-3 1910 1 LA20CUE 外田語としての日本語 前間 30 1 2-3 1910 1 LA20CUE 外田語としての日本語 前間 30 1 2-3 1910 1 LA20CUE 外田語としての日本語 前間 30 1 2-3 1910 1 LA20CUE 外田語としての日本語 前間 30 1 2-3 1910 1 LA20CUE 外田語としての日本語 前間 30 1 2-3 1910 1 LA10CUE 外田語を除し 250 10 4 1 2-3 1910 1 LA10CUE 外田語を除し 250 10 4 1 2-3 1910 1 LA10CUE 外田語を除し 250 10 4 2 2 2 2 4 4 2 2 2										
Main										
1998 1 LAISCOSE										
1999년 1 LAISCOBE その他の外国語で 密密 30 1 1 1~4										
外国語							_			
10101 1 LAILCOPE 外国語としての日本部 1										
1919년 1	外国語									
10033 1										
1005 1 A24C005 外国形としての日本部 1007 1007 1 A24C005 外国形としての日本部 1007 1 A24C005 外国形としての日本部 1007 1 A24C005 外国形としての日本部 1007 1 A24C005 外国形としての日本部 1007 1 A24C005 外国形としての日本部 1008 1 2 2 2 1008 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2		10103	1				30	1	1	
10105 1		10104	1	LA12C10E	外国語としての日本語ⅡB	演習	30	1	1	
19106 1 LA24C09E 外国語としての日本部PB 終習 30 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1		10105	1	LA23C09E	2.00		30	1	2	
10108 1							_			
機康										
展集 10109 1 LA10H02J 作字実材B 実技 30 1 1-4 1甲位を移 10030 1 LA10H03K 健康行 講義 30 2 1-4 1 10030 1 LA10H03K 健康学 講義 30 2 1-4 1 10030 1 LA10C0BJ 特殊子所称					2.00					
10029										
10030									_	1 単位必修
10031 1 LA10C061 海外語字解係A 実習 120 4 1 10033 1 LA20C011 海外語字解係B 実習 120 4 2 10033 1 LA20C011 海外語字解係B 実習 120 4 2 10034 1 LA20C021 海外語字解修C 実習 60 2 2 1 10036 1 LA20C021 海外語字解修D 実習 60 2 2 1 10036 1 LA10C081 海外式管解 実習 60 2 2 1 10035 2 LA10C091 海外記字解修D 実習 60 2 1 7 10049 1 LA10C10K 保守のための日本学基礎 実習 60 2 1 7 10110 1 LA10C10K 大科学の多え方 講義 30 2 1 7 10111 1 LA10C11K 大科学の多え方 講義 30 2 1 7 10112 1 LA10C11K スチージのと考える 講義 30 2 1 7 10114 1 LA10C11K スチージのと見字 講義 30 2 1 7 10115 1 LA10C11K カーン・セリングとメタルヘルス 講義 30 2 1 7 10116 1 LA10C11K カーン・セリングとメタルヘルス 講義 30 2 1 7 10117 1 LA10C11K 歴史に学ぶ 講義 30 2 1 7 10118 1 LA10C11K 歴史に学ぶ 講義 30 2 1 7 10119 1 LA10C11K 歴史に学ぶ 講義 30 2 1 7 10119 1 LA10C11K 歴史に学ぶ 講義 30 2 1 7 10119 1 LA10C11K 歴史に学ぶ 講義 30 2 1 7 10121 1 LA10C21K 差と芸術の歴史 講義 30 2 1 7 10122 1 LA10C21K 差と芸術の歴史 講義 30 2 1 7 10123 1 LA10C21K 差と芸術の歴史 講義 30 2 1 7 10124 1 LA10C21K 差と芸術の歴史 講義 30 2 1 7 10125 1 LA10C21K 差と芸術の歴史 講義 30 2 1 7 10126 1 LA10C21K 差と芸術の歴史 講義 30 2 1 7 10127 1 LA10C21K 差と芸術の歴史 講義 30 2 1 7 10128 1 LA10C21K 差を表がしたいうき 講義 30 2 1 7 10129 1 LA10C21K 差と素がしたいうき 講義 30 2 1 7 10129 1 LA10C21K 差に持ているよき 近年 講義 30 2 1 7 10129 1 LA10C21K 対したいうき 講義 30 2 1 7 10121 1 LA10C21K 対したいを見を持ているよき 講義 30 2 1 7 10122 1 LA10C21K 対したいを見を持ているよき 第表 30 2 1 7 10131 1 LA10C21K 対したいを見を持ているよき 講義 30 2 1 7 10131 1 LA10C21K 対したいを見を持ているよき 講義 30 2 1 7 10131 1 LA10C21K 対したいを見を持ているよき 講義 30 2 1 7 10131 1 LA10C21K 対したいを見を持ているよき 講義 30 2 1 7 10131 1 LA10C31K 対したいを見を持ているよき 第表 30 2 1 7 10131 1 LA10C31K	スポーノ									
10032										
10033										
(日学) 10034 1 LA20C2以 海外混空網絡D 実費 60 2 2 1〜4 10035 1 LA10C08J 海外混空網絡D 実費 60 2 1〜4 10035 2 LA10C08J 海外文化解像 実費 60 2 1〜4 10040 1 LA10C10K 留学生のための日本学基礎 講義 30 2 1〜4 10110 1 LA10C10K 留学生のための日本学基礎 講義 30 2 1〜4 10111 1 LA10C11K 哲学とは何か 講義 30 2 1〜4 10111 1 LA10C11K 哲学とは何か 講義 30 2 1〜4 10112 1 LA10C13K ライフステージの心理字 講義 30 2 1〜4 10113 1 LA10C13K ウイフステージの心理字 講義 30 2 1〜4 10115 1 LA10C15K 力・ファージの心理字 講義 30 2 1〜4 10115 1 LA10C15K 力・ファージの心理字 講義 30 2 1〜4 10116 1 LA10C15K 力・ファージの心理字 講義 30 2 1〜4 10117 1 LA10C15K 力・ファージの必理字 講義 30 2 1〜4 10118 1 LA10C15K 力・ビージをよンタルヘルス 講義 30 2 1〜4 10119 1 LA10C15K 力・ビージをというが上がりままままままままままままままままままままままままままままままままままま										
10048	留学									
10055 2 LA10C094										
10110							60		1~4	
10111		10049	1	LA10C10K	留学生のための日本学基礎	講義	30	2	1~4	
10112		10110	1	LA10A02K		講義	30	2	1)
10113										
10114			1		-					
10115					-					
人文 10116 1 LA10C16K 対人関係の心理学 講義 30 2 1~4 10117 1 LA10C17K 歴史に学ぶ 講義 30 2 1~4 10118 1 LA10C18K 日本社会の歴史 講義 30 2 1~4 10119 1 LA10C20K 之どまでと楽しむ 講義 30 2 1~4 10120 1 LA10C20K どジュアルアーツと現代 講義 30 2 1~4 10121 1 LA10C23K 左を流む (人文) 講義 30 2 1~4 10122 1 LA10C23K 左を流む (人文) 講義 30 2 1~4 10123 1 LA10C23K 日本国憲法 講義 30 2 1~4 10125 1 LA10C25K 法律と暮らし 講義 30 2 1~4 10125 1 LA10C25K 送仕書谷 講義 30 2 1~4 10127 1 LA10C27K グローバリモーションとは何か 講義 30 2 1~4 10128 1 LA10C30K 現代社会と政済・ 講義 30 2 1~4 10129 1 LA10C30K								_		
10117										
10118	人文				***************************************					
10119										
10120										
10121										
10122										
10123										
10036		10123					1	2	1~4	
10125		10124	1	LA10A03K	社会科学の考え方	講義	30	2	1	
### 10126 1 LA10C26K 現代社会と政治学 講義 30 2 1~4 10127 1 LA10C27K グローバリゼーションとは何か 講義 30 2 1~4 10128 1 LA10C28K 現代社会と経済学 講義 30 2 1~4 10129 1 LA10C29K 現代社会と経済学 講義 30 2 1~4 10130 1 LA10C30K 国際経済と暮らし 講義 30 2 1~4 10131 1 LA10C31K 人権から見た教育と労働 講義 30 2 1~4 10132 1 LA10C31K 人権から見た教育と労働 講義 30 2 1~4 10133 1 LA10C33K 共に生きる 講義 30 2 1~4 10133 1 LA10C33K 共に生きる 講義 30 2 1~4 10134 1 LA10C34K ジェンダーの現在 講義 30 2 1~4 10135 1 LA10C35K 家族を考える 講義 30 2 1~4 10135 1 LA10C35K 家族を考える 講義 30 2 1~4 10135 1 LA10C35K 家族を考える 講義 30 2 1~4 10136 1 LA10C35K 家族を考える 講義 30 2 1~4 10137 1 LA10C37K ICTと暮らし 講義 30 2 1~4 10138 1 LA10C38K メディアとつきあう 講義 30 2 1~4 10139 1 LA10C37K は対してと考らし 講義 30 2 1~4 10141 1 LA10C40K 地域を学ぶ 講義 30 2 1~4 10141 1 LA10C41K 地域を学ぶ 講義 30 2 1~4 10141 1 LA10C41K 本を読む 社会) 講義 30 2 1~4 10142 1 LA10C42K 本を読む 社会) 講義 30 2 1~4 10144 1 LA10C43K 生命科学の考え方 講義 30 2 1~4 10145 1 LA10C45K 健康とは何か 講義 30 2 1~4 10146 1 LA10C45K 健康とは何か 講義 30 2 1~4 10147 1 LA10C47K 世球環境と同間 講義 30 2 1~4 10148 1 LA10C47K 地球環境と人間 講義 30 2 1~4 10148 1 LA10C47K 地球環境と人間 講義 30 2 1~4 10148 1 LA10C47K 地球環境と人間 講義 30 2 1~4 10148 1 LA10C47K 地球環境と人間 講義 30 2 1~4 10148 1 LA10C47K 地球環境と人間 講義 30 2 1~4 10148 1 LA10C47K 地球環境と人間 講義 30 2 1~4 10148 1 LA10C47K 地球環境と人間 講義 30 2 1~4 10149 1 LA10C47K 地球環境と人間 講義 30 2 1~4 10149 1 LA10C47K 資源エネルギーと人間 講義 30 2 1~4 10149 1 LA10C47K 資源エネルギーと人間 講義 30 2 1~4 10149 1 LA10C47K 資源など同か 講義 30 2 1~4 10148 1 LA10C47K 世球環境と人間 講義 30 2 1~4 10149 1 LA10C47K 資源エネルギーと人間 講義 30 2 1~4 10149 1 LA10C47K 資源環境と人間 講義 30 2 1~4 10149 1 LA10C47K 資源環境と人間 講義 30 2 1~4 10149 1 LA10C47K 資源環境と人間 講義 30 2 1~4 10149 1 LA10C47K 資源エネルギーと人間 講義 30 2 1~4 10149 1 LA10C47K 資源エネルギーと人間 講義 30 2 1~4 10149 1 LA10C47K 資源エネルギーと人間 講義 30 2 1~4 10149 1 LA10C47K 資源エネルギーと人間 講義 30 2 1~4 10149 1 LA10C47K 関源エネルギーと人間 ーエネルギーエネルギーエネルギーエネルギーエネルギーエネルギー		10036	1	LA10C24K			30	2	1~4	
社会		10125	1	LA10C25K	法律と暮らし		30	2	1~4	
10128			1							
社会										
10130										
社会										必修6単位を
社会 10132 1 LA10C32K 働くということ 講義 30 2 1~4 10133 1 LA10C33K 共に生きる 講義 30 2 1~4 10134 1 LA10C34K ジェンダーの現在 講義 30 2 1~4 10135 1 LA10C35K 家族を考える 講義 30 2 1~4 10136 1 LA10C36K お金と税金のはなし 講義 30 2 1~4 10137 1 LA10C37K ICTと暮らし 講義 30 2 1~4 10138 1 LA10C38K メディアとつきあう 講義 30 2 1~4 10139 1 LA10C40K 地域を学ぶ 講義 30 2 1~4 10140 1 LA10C40K 地域を学ぶ 実習 60 2 1~4 10141 1 LA10C41J コミュティで学ぶ 実習 60 2 1~4 10142 1 LA10C42K 本を読む (社会) 講義 30 2 1~4 10143 1 LA10C43K 生命科学の基礎知識 講義 30 2 1~4 10145 1 LA10C45K 健康とは何か 講義 30 2 1~4 </td <td> </td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>										
10133										工歴1八
自然 10134 1 LA10C34K ジェンダーの現在 講義 30 2 1~4 10135 1 LA10C35K 家族を考える 講義 30 2 1~4 10136 1 LA10C36K お金と税金のはなし 講義 30 2 1~4 10137 1 LA10C37K ICTと暮らし 講義 30 2 1~4 10138 1 LA10C38K メディアとつきあう 講義 30 2 1~4 10139 1 LA10C39K 時事問題研究 講義 30 2 1~4 10140 1 LA10C40K 地域を学ぶ 講義 30 2 1~4 10141 1 LA10C41J コミュニティで学ぶ 実習 60 2 1~4 10142 1 LA10C42K 本を読む(社会) 講義 30 2 1~4 10143 1 LA10C43K 生命科学の考え方 講義 30 2 1~4 10145 1 LA10C44K 生命倫理 講義 30 2 1~4 10147 1 LA10C46K 食といのち 講義 30 2 1~4 10148 1 LA10C47K 地球環境と同の 講義 30 2 1~4 <td>社会</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	社会									
10135 1 LA10C35K 家族を考える 講義 30 2 1~4 10136 1 LA10C36K お金と税金のはなし 講義 30 2 1~4 10137 1 LA10C37K ICTと暮らし 講義 30 2 1~4 10138 1 LA10C38K メディアとつきあう 講義 30 2 1~4 10139 1 LA10C39K 時事問題研究 講義 30 2 1~4 10140 1 LA10C40K 地域を学ぶ 講義 30 2 1~4 10141 1 LA10C41J コミュニティで学ぶ 実習 60 2 1~4 10142 1 LA10C42K 本を読む(社会) 講義 30 2 1~4 10143 1 LA10C43K 生命科学の基礎知識 講義 30 2 1~4 10144 1 LA10C44K 生命科学の基礎知識 講義 30 2 1~4 10145 1 LA10C46K 食といのち 講義 30 2 1~4 10147 1 LA210C46K 食といのち <td> </td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>										
10136 1 LA10C36K お金と税金のはなし 講義 30 2 1~4 10137 1 LA10C37K ICTと暮らし 講義 30 2 1~4 10138 1 LA10C38K メディアとつきあう 講義 30 2 1~4 10139 1 LA10C39K 時事問題研究 講義 30 2 1~4 10140 1 LA10C40K 地域を学ぶ 講義 30 2 1~4 10141 1 LA10C41J コミュニティで学ぶ 実習 60 2 1~4 10142 1 LA10C42K 本を読む(社会) 講義 30 2 1~4 10143 1 LA10A04K 自然科学の考え方 講義 30 2 1~4 10144 1 LA10C43K 生命科学の基礎知識 講義 30 2 1~4 10145 1 LA10C44K 生命倫理 講義 30 2 1~4 10147 1 LA10C46K 食といのち 講義 30 2 1~4 10148 1 LA10C47K 地球環境とは何か							_			
10137 1 LA10C37K ICTと暮らし 講義 30 2 1~4 10138 1 LA10C38K メディアとつきあう 講義 30 2 1~4 10139 1 LA10C39K 時事問題研究 講義 30 2 1~4 10140 1 LA10C40K 地域を学ぶ 講義 30 2 1~4 10141 1 LA10C41J コミュニティで学ぶ 実習 60 2 1~4 10142 1 LA10C42K 本を読む(社会) 講義 30 2 1~4 10143 1 LA10A04K 自然科学の考え方 講義 30 2 1~4 10144 1 LA10C43K 生命科学の基礎知識 講義 30 2 1~4 10145 1 LA10C44K 生命倫理 講義 30 2 1~4 10147 1 LA10C46K 食といのち 講義 30 2 1~4 10148 1 LA10C48K 資際といのち 講義 30 2 1~4 10149 1 LA10C48K 資際によいのち										
10138 1 LA10C38K メディアとつきあう 講義 30 2 1~4 10139 1 LA10C39K 時事問題研究 講義 30 2 1~4 10140 1 LA10C40K 地域を学ぶ 講義 30 2 1~4 10141 1 LA10C41J コミュニティで学ぶ 実習 60 2 1~4 10142 1 LA10C42K 本を読む(社会) 講義 30 2 1~4 10143 1 LA10A04K 自然科学の考え方 講義 30 2 1~4 10144 1 LA10C43K 生命科学の基礎知識 講義 30 2 1~4 10145 1 LA10C44K 生命倫理 講義 30 2 1~4 10146 1 LA10C46K 食といのち 講義 30 2 1~4 10148 1 LA10C47K 地球環境と人間 講義 30 2 1~4 10149 1 LA10C48K 資源エネルギーと人間 講義 30 2 1~4 10149 1 LA10C48K 資源エネルギーと人間 </td <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>										
10139 1 LA10C39K 時事問題研究 講義 30 2 1~4 10140 1 LA10C40K 地域を学ぶ 講義 30 2 1~4 10141 1 LA10C41J コミュニティで学ぶ 実習 60 2 1~4 10142 1 LA10C42K 本を読む(社会) 講義 30 2 1~4 10143 1 LA10A04K 自然科学の考え方 講義 30 2 1~4 10144 1 LA10C43K 生命科学の基礎知識 講義 30 2 1~4 10145 1 LA10C44K 生命倫理 講義 30 2 1~4 10146 1 LA10C45K 健康とは何か 講義 30 2 1~4 10147 1 LA10C46K 食といのち 講義 30 2 1~4 10148 1 LA10C47K 地球環境と人間 講義 30 2 1~4 10149 1 LA10C48K 資源エネルギーと人間 講義 30 2 1~4					**			2	1~4	
10141 1 LA10C41J コミュニティで学ぶ 実習 60 2 1~4 10142 1 LA10C42K 本を読む(社会) 講義 30 2 1~4 10143 1 LA10A04K 自然科学の考え方 講義 30 ② 1 10144 1 LA10C43K 生命科学の基礎知識 講義 30 2 1~4 10145 1 LA10C44K 生命倫理 講義 30 2 1~4 10146 1 LA10C45K 健康とは何か 講義 30 2 1~4 10147 1 LA10C46K 食といのち 講義 30 2 1~4 10148 1 LA10C47K 地球環境と人間 講義 30 2 1~4 10149 1 LA10C48K 資源エネルギーと人間 講義 30 2 1~4		10139	1	LA10C39K	時事問題研究		30	2	1~4	
自然 10142 1 LA10C42K 本を読む(社会) 講義 30 2 1~4 10143 1 LA10A04K 自然科学の考え方 講義 30 ② 1 10144 1 LA10C43K 生命科学の基礎知識 講義 30 2 1~4 10145 1 LA10C44K 生命倫理 講義 30 2 1~4 10146 1 LA10C45K 健康とは何か 講義 30 2 1~4 10147 1 LA10C46K 食といのち 講義 30 2 1~4 10148 1 LA10C47K 地球環境と人間 講義 30 2 1~4 10149 1 LA10C48K 資源エネルギーと人間 講義 30 2 1~4		10140	1	LA10C40K	地域を学ぶ	講義	30	2	1~4	
自然 10143 1 LA10A04K 自然科学の考え方 講義 30 ② 1 10144 1 LA10C43K 生命科学の基礎知識 講義 30 2 1~4 10145 1 LA10C44K 生命倫理 講義 30 2 1~4 10146 1 LA10C45K 健康とは何か 講義 30 2 1~4 10147 1 LA10C46K 食といのち 講義 30 2 1~4 10148 1 LA10C47K 地球環境と人間 講義 30 2 1~4 10149 1 LA10C48K 資源エネルギーと人間 講義 30 2 1~4			1	LA10C41J			_			
自然 10144 1 LA10C43K 生命科学の基礎知識 講義 30 2 1~4 10145 1 LA10C44K 生命倫理 講義 30 2 1~4 10146 1 LA10C45K 健康とは何か 講義 30 2 1~4 10147 1 LA10C46K 食といのち 講義 30 2 1~4 10148 1 LA10C47K 地球環境と人間 講義 30 2 1~4 10149 1 LA10C48K 資源エネルギーと人間 講義 30 2 1~4							_			
自然 10145 1 LA10C44K 生命倫理 講義 30 2 1~4 10146 1 LA10C45K 健康とは何か 講義 30 2 1~4 10147 1 LA10C46K 食といのち 講義 30 2 1~4 10148 1 LA10C47K 地球環境と人間 講義 30 2 1~4 10149 1 LA10C48K 資源エネルギーと人間 講義 30 2 1~4										
自然 10146 1 LA10C45K 健康とは何か 講義 30 2 1~4 10147 1 LA10C46K 食といのち 講義 30 2 1~4 10148 1 LA10C47K 地球環境と人間 講義 30 2 1~4 10149 1 LA10C48K 資源エネルギーと人間 講義 30 2 1~4										
目然 10147 1 LA10C46K 食といのち 講義 30 2 1~4 10148 1 LA10C47K 地球環境と人間 講義 30 2 1~4 10149 1 LA10C48K 資源エネルギーと人間 講義 30 2 1~4					1 11					
10147 1 LA10C46K 食どいのち 講義 30 2 1~4 10148 1 LA10C47K 地球環境と人間 講義 30 2 1~4 10149 1 LA10C48K 資源エネルギーと人間 講義 30 2 1~4	自然									
10149 1 LA10C48K 資源エネルギーと人間 講義 30 2 1~4										
HIDDL (LAHLAYK ル書と Net 「電電 3H 7 1~// 「		10149	1	LA10C48K LA10C49K	災害と人間	講義	30	2	1~4	

学科目	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位
	10151	1	LA10C50K	科学技術の現在	講義	30	2	1~4	
自然	10152	1	LA10C51K	はじめての統計学	講義	30	2	1~4	
	10153	1	LA10C52K	宇宙のはなし	講義	30	2	1~4	
	10154	1	LA10C53K	本を読む(自然)	講義	30	2	1~4)
	10044	1	LA11B03E	コンピュータ基礎 I	演習	30	2	1	
情報	10045	1	LA12B03E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	2	1	2 単位必修
	10046	2	LA20B01E	コンピュータ実習	演習	30	2	2	

≪ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する注意事項≫

原則

- 1) (A系列の科目) I Aの単位を修得していなければ Π Aを履修することはできない。 Π Aの単位を修得していれば Π Aまたは Π Aを履修することができる。
- 2) (B系列の科目) I Bの単位を修得していなければ II Bを履修することはできない。 II Aまたは II Bの単位を修得していれば II Bまたは IV Bを履修することができる。
- 3) 検定試験等を利用した単位認定については別途定める(「履修登録の手引き」を参照のこと)。
- 4) \blacksquare BおよびIVBについては、授業の内容が異なり、かつ担当教員の了解を得ることを前提として重複履修を認める。重複の回数はそれぞれ 2 度を上限とする(初回を含めて合計 3 度)。重複履修によって修得した単位は自由科目の単位として認定される。
- 5) 外国において中等教育を受けた学生、編転入・再入学の学生、休学後に復学した学生、留学を予定する学生等、特殊な 事情のある学生は、学務部で相談すること。

(2) 学科科目〔心理福祉学科〕

基幹科目18単位、専門基礎科目10単位以上、心理カウンセリング系科目4単位以上、福祉系科目4単位 以上、心理福祉教育系科目4単位以上、学科科目合計92単位以上

										_					F 及	_
学科目	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考	他学	_	他学 Pc			修の N	可否 M
	21000	1	WP10A01E	基礎演習	演習	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
	21099	1	WP11A01K	心理学概論 I	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	X
	21100	1	WP12A01K	心理学概論Ⅱ	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	X
基	21101	1	WP11A02K	現代社会と福祉 I	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	X
基幹科1	21102	1	WP12A02K	現代社会と福祉Ⅱ	講義	30	2	1	9 科目18単位必修	×	×	×	×	×	×	X
目	21103	1	WP31A02E	心理福祉演習 I	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	21104	1	WP32A01E	心理福祉演習Ⅱ	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×	X
	21105	1	WP43A01E	心理福祉演習Ⅲ	演習	30	2	4		×	×	×	×	×	×	×
	21106	1	WP44A01E	心理福祉演習IV	演習	30	2	4		×	×	×	×	×	X	×
	21107	1	WP10C27K	人間観と倫理A	講義	30	2	1~2		0	0	0	0	0	0	0
	21108	1	WP10C28K	人間観と倫理B	講義	30	2	1~2		0	0	0	0	0	0	0
	20008	1	WP10C14K	キリスト教福祉	講義	30	2	1~2		0	0	0	0	0	0	×
	21092	1	WP20C28K	愛と死の人間学	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	0	0
	21109	1	WP20C29K	人体の構造と機能及び疾病	講義	30	2	2~4		×	×	×	×	×	×	×
	21110	1	WP20C30K	神経・生理心理学	講義	30	2	2~4		×	×	×	×	×	×	X
	21097	2	WP20C31E	発展演習A	演習	30	2	2		×	×	×	×	×	×	X
	21098	2	WP20C32E	発展演習B	演習	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	21062	3	WP20C33K	心理福祉特講A	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	0	0
	21063	3	WP20C34K	心理福祉特講B	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	0	0
	21111	1	WP20C35K	心理福祉特講C	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	0	0
専門基礎科	21112	1	WP20C36K	心理福祉特講D	講義	30	2	2~4 1 1 1 1 2~4			0		0	0		0
基	21113	1	WP11C02K	相談援助技術総論 I	講義	30	2		10単位以上選択	×	×	×	×	×	×	×
デザー 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一	21114	1	WP12C01K	相談援助技術総論Ⅱ	講義	30	2			×	×	×	×	×	×	X
目	21115	1	WP20C37K	社会福祉発達史A	講義	30	2				0		0	0	0	×
	21116	1	WP20C38K	社会福祉発達史B	講義	30	2	2~4			0	0	0	0		X
	21046	2	WP10C08K	臨床心理学概論	講義	30	2	1~2		×	×	×	×	×	×	X
	21117	1	WP11C03K	社会·集団·家族心理学 I	講義	30	2	1~2		×	×	×	×	×	×	×
	21118	1	WP12C02K	社会・集団・家族心理学Ⅱ	講義	30	2	1~2		×	×	×	×	×	×	X
	21119	1	WP11C04E	心理福祉実習指導 I	演習	30	2	1~3		×	×	×	×	×	×	X
	21120	1	WP12C03E	心理福祉実習指導Ⅱ	演習	30	2	1~3		×	×	×	×	×	×	×
	21067	2	WP10C26J	心理福祉実習	実習	60	2	1~3		×	×	×	×	×	×	X
	21121	1	WP11C05K	心理福祉海外研修 I	講義	30	2	1~2		×	×	×	×	×	×	X
	21122	1	WP22C08J	心理福祉海外研修Ⅱ	実習	60	2	2~3		×	×	×	×	×	×	×
	21069	1	WP40C02S	卒業研究	XL		4	4		×	×	×	×	×	×	X
	21123	1	WP10C29K	福祉心理学	講義	30	2	1~2		×	×	×	×	×	×	X
	21124	1	WP10C30K	健康・医療心理学	講義	30	2	1~2		×	×	×	×	×	×	×
	21125	1	WP10C31K	発達心理学	講義	30	2	1~2		×	×	×	×	×	×	X
	21042	2	WP20C16K	感情・人格心理学	講義	30	2	2~3		×	×	×	X	×	×	×
	21042	2	WP10C32K	心理学的支援法	講義	30	2	1~4		×	×	X	X		×	×
	21048	1	WP20C18K	深層心理学	講義	30	2	2~4			0		0		0	
	21049	2	WP20C19K	障害者・障害児心理学	講義	30	2	2~4		×	×	×	×		×	
心理	21050	1	WP20C20K	老年心理学	講義	30	2	2~4			0	0	0		0	0
埋 カ	21083	3	WP20C21K	心理的アセスメント	講義	30	2	2~4		×	×	×	×	_	×	_
カウン	21005	1	WP20C21K	心理検査法実習	実習	30	1	2~4		×	×	×	×		×	×
セ	21035	1	WP21C04K	心理学研究法I	講義	30	2			×	×	×	×		×	×
リン	21086	1	WP22C05K	心理学研究法Ⅱ	講義	30	2	2~4	▶ 4 単位以上選択	×	×	X	X		×	×
グ系科	21126	1	WP31C03J	心理学実験I	実験	60	2			×	×	×	×		×	×
科	21127	1	WP32C01J	心理学実験Ⅱ	実験	30	1			X	×	X	X		×	×
目	21087	2	WP20C24E	心理演習	演習	30	2			×	×	×	X		×	×
	21057	2	WP20C24E WP20C25K	知覚・認知心理学	講義	30	2			×	×	×		×	×	
	21050	1	WP30C02K	トランスパーソナル心理学	講義	30	2	3~4		0	0	0	0		0	<u>^</u>
	21031	2	WP30C02K WP30C05K	産業・組織心理学	講義	30	2	3~4		×	×	×	×	_	-	×
	21128	1	WP30C03K WP30C09K	司法・犯罪心理学	講義	30	2	3~4		×	×	×	×		×	
	21128	1	WP30C09K WP20C39K	精神疾患とその治療	講義	30	2	2~4		×	×	×	×		×	
							_			-						
	21053	1	WP30C04K	癒しのセラピー	講義	30	2	3~4	1	0	0	0	0	0	0	0

学科目	科目 コード	科目明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他学 E					修のF N	可否 M
追	21167	1	WP10C33K	公認心理師の職責	講義	30	2	1~2		×	×	×	×	×	×	×
理カウ	21130	1	WP20C40K	心理学統計法	講義	30	2	2~4		×	×	×	×	×	×	×
ンセ	21131	1	WP20C41K	学習・言語心理学	講義	30	2	2~4		×	×	×	×	×	×	×
ンセリング系科	21132	1	WP20C42K	教育・学校心理学	講義	30	2	2~4		×	×	×	×	×	×	×
グ系	21133	1	WP20C43K	関係行政論	講義	30	2	2~4		×	×	×	×	×	×	×
目目	21134	1	WP30C10J	心理実習	実習	90	3	3~4]	×	×	×	×	×	×	×
	21135	1	WP21C07K	相談援助技術各論 I	講義	30	2	2~3		×	×	×	×	×	×	×
	21136	1	WP22C09K	相談援助技術各論Ⅱ	講義	30	2	2~3		×	×	×	×	×	×	×
	21137	1	WP23C02K	相談援助技術各論Ⅲ	講義	30	2	2~3		×	×	×	×	×	×	×
	21138	1	WP24C01K	相談援助技術各論Ⅳ	講義	30	2	2~3		×	×	×	×	×	×	×
	21139	1	WP11C06K	児童福祉論 I	講義	30	2	1~4		0	0	0	0	0	0	0
	21140	1	WP12C04K	児童福祉論Ⅱ	講義	30	2	1~4		0	0	0	0	0	0	0
	21141	1	WP11C07K	障害者福祉論 I	講義	30	2	1~4		0	0	0	0	0	0	0
	21142	1	WP12C05K	障害者福祉論Ⅱ	講義	30	2	1~4		0	0	0	0	0	0	0
	21143	1	WP11C08K	高齢者福祉論 I	講義	30	2	1~4		0	0	0	0	0	0	0
	21144	1	WP12C06K	高齢者福祉論Ⅱ	講義	30	2	1~4		0	0	0	0	0	0	0
	21037	1	WP20C13K	介護概論	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	0	0
	21078	1	WP20C14E	介護技術	演習	30	2	2		0	0	0	0	0	0	0
	21145	1	WP21C08K	地域福祉論 I	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	0	0
	21146	1	WP22C10K	地域福祉論Ⅱ	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	0	0
	21147	1	WP21C09K	社会保障論 I	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	0	0
	21148	1	WP22C11K	社会保障論Ⅱ	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	0	0
	21029	1	WP20C09K	公的扶助論	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	0	0
	21149	1	WP20C44K	福祉運営管理論A	講義	30	2	2~4		×	×	×	×	×	×	×
	21150	1	WP20C45K	福祉運営管理論B	講義	30	2	2~4		×	×	×	×	×	×	×
	21076	1	WP20C07K	社会福祉調査法	講義	30	2	2~4 2~4 2~4 2~4 4 単位以上選択 2~4		×	×	×	×	×	×	×
福加	21151	1	WP20C46K	就労支援サービス論	講義	30	2			×	×	×	×	×	×	×
福祉系科	21152	1	WP20C47K	権利擁護と成年後見	講義	30	2		4 単位以上選択	×	×	×	×	×	×	×
科目	21153	1	WP21C10K	医療福祉論 I	講義	30	2			×	×	×	×	×	×	×
	21154	1	WP22C12K	医療福祉論Ⅱ	講義	30	2	2~4		×	×	×	×	×	×	×
	21033	1	WP20C10K	ジェンダー福祉論	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	0	0
	21155	1	WP21C11K	ファミリーソーシャルワーク論Ⅰ	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	0	0
	21156	1	WP22C13K	ファミリーソーシャルワーク論Ⅱ	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	0	0
	21157	1	WP20C48K	司法福祉論A	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	×	0
	21158	1	WP20C49K	司法福祉論B	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	×	0
	21159	1	WP30C11K	福祉行財政論A	講義	30	2	3~4		×	×	×	×	×	×	×
	21160	1	WP30C12K	福祉行財政論B	講義	30	2	3~4		×	×	×	×	×	×	×
	21023	2	WP11C01E	相談援助技術演習 I	演習	30	2	1~2		×	×	×	×	×	×	×
	21024	2	WP22C02E	相談援助技術演習Ⅱ	演習	30	2	2~3		×	×	×	×	×	×	×
	21025	3	WP23C01E	相談援助技術演習Ⅲ	演習	30	2	2~3		×	×	×	×	×	×	×
	21027	2	WP34C01E	相談援助技術演習IV	演習	30	2	3~4		×	×	×	×	×	×	×
	21077	2	WP35C01E	相談援助技術演習V	演習	30	2	3~4		×	×	×	×	×	×	×
	21161	1	WP41C01K	社会福祉士試験対策講座 I	講義	30	2	4	1	×	×	×	×	×	×	×
	21162	1	WP42C03K	社会福祉士試験対策講座Ⅱ	講義	30	2	4		×	×	×	×	×	×	×
	21163	1	WP21C12E	相談援助実習指導 I	演習	30	2	2~4		×	×	×	×	×	×	×
	21164	1	WP22C14E	相談援助実習指導Ⅱ	演習	30	2	2~4		×	×	×	×	×	×	×
	21081	2	WP31C02J	相談援助実習I	実習	180	6	2~4		×	×	×	×	×	×	×
	21080	2	WP43C01E	相談援助実習指導Ⅲ	演習	30	2	4		×	×	×	×	×	×	×
	21082	2	WP42C02J	相談援助実習Ⅱ	実習	90	2	4		×	×	×	×	×	×	×
	20014	1	WP10C17K	法学	講義	30	2	1~2	<u> </u>	0	0	0	×	0	0	×
	20013	1	WP10C16K	社会学	講義	30	2	1~2		×	×	×	×	0	0	×
	21061	1	WP20C26K	社会病理学	講義	30	2	2~4		0	0	0	0	0	0	0
	20017	1	WP10C18K	高齢者生活論	講義	30	2	1~2]	0	0	0	0	0	0	0
业	20006	1	WP10C21K	人権と教育	講義	30	2	1~2		0	0	0	0	0	0	0
理福	20015	1	WP10C23K	生活と政治	講義	30	2	1~2		×	×	×	×	×	×	×
雑	20012	1	WP10C22K	生活と国際経済	講義	30	2	1~2		×	×	×	×	×	×	×
理福祉教育系科	20018	1	WP10C24K	女性学	講義	30	2	1~2 1~2 1~2 1~2 1~2 4 単位以上選択	▶ 4 単位以上選択	0	0	0	×	×	×	×
系科	20004	1	WP10C20K	人間と哲学	講義	30	2			×	×	×	×	×	×	×
冒	20003	2	WP10C19K	生命と倫理	講義	30	2		1	×	×	×	×	×	×	×
	21165	1	WP11C09K	福祉教育論 I	講義	30	2	1~2	1	×	×	×	×	×	×	×
. '		-		福祉教育論Ⅱ	講義	30	2	1~2 1~2	1	×	×	×	×	×	×	×
	21166	1	WP12C07K	1田111.4人日 1 1 1	HITTA					1 ' `	1	. ^ .	1 ^ 1	1 ' '		
	21166 21168	1	WP12C07K WP10C34K	日本史A	講義	30	2	1~2	-	X	×	X	$\overline{}$		-	×

学科目	科目	科目	科目	授業科目	授業	授業	単位数	配置	修得単位・備考	他学	科・	他学	部科	日履	修のi	可否
-7-47 H	コード	明細	ナンバリング	投 来符日	形式	時間数	毕业奴	年次		Е	Ре	Рс	С	F	Ν	M
	21170	1	WP10C36K	東洋史	講義	30	2	1~2		×	×	×	×	X	×	×
理	21171	1	WP10C37K	西洋史	講義	30	2	1~2		×	×	×	×	×	×	×
心理福祉教	21172	1	WP21C13K	人文地理学 I	講義	30	2	2~4		×	×	×	×	X	×	×
教	21173	1	WP22C15K	人文地理学Ⅱ	講義	30	2	2~4		×	×	×	×	×	×	×
育系科	21174	1	WP21C14K	自然地理学 I	講義	30	2	2~4		×	×	×	×	×	×	×
科目	21175	1	WP22C16K	自然地理学Ⅱ	講義	30	2	2~4		×	×	×	×	×	×	×
	21176	1	WP20C50K	地誌	講義	30	2	2~4]]	×	×	×	×	×	×	×

他学科・他学部科目履修の可否は、各学科カリキュラム表に記載されている。○が付いているものは基本的に履修が可能であり、卒業要件単位となる。ただし、授業内容と授業形式によっては人数に制限があるため、担当教員の了解を受ける必要がある。

なお、履修登録できない科目のほとんどは、①同種の科目が自学科用にある場合か、②学科必修の科目等で他学科学生を受け入れる余地がない場合に当てはまる。

<食物健康科学科>

(1) 全学教養科目

本学の	学科目	科目	科目	科目	授業科目	授業	授業	単位数	配置	修得単位
銀元会 10051 1	1 11111	コード	明細	ナンバリング		形式	時間数		年次	阿内中区
Top 10052 1	建学の									4. 単位以依
基礎演習	精神									4 串世纪修
10054 1	非 碑									
10058 1 LA11801E 総合金額 競子 30 ① 1 1 1 1 1 1 1 1 1	至贬供日							_		
10055 1 LA12B01E									_	1 単位必修
10059 1 LA12HOIE 総合係部目 読行 30 II 1 1 1 1 1 1 1 1										
10056 1										1 単位必修
10060 1 LA25Bolt 総合英語					1 111 111					
10057 1 LA2B01E		10060	1	LA23B01E	総合英語Ⅲ		30	1	2	1 単位必修
1906 1 LA24B01E 総合英語V 浴習 30 ① 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1		10057	1		英語コミュニケーションⅣ		30	1	2	1 W 14 N 14
10063 1 LA3COIE 総合英語U 演習 30 1 3 10064 1 LA1COIE 多言語に触れる 演習 30 1 1 10065 1 LA1COIE 「ドイマ語」A 演習 30 1 1 1 10065 1 LA1COIE 「ドイマ語」A 演習 30 1 1 1 1 1 1 1 1 1		10061	1	LA24B01E		演習	30	1	2	1 単位化修
10064 1 LA10COIE 子の音音を描える 消費 30 1 1 10066 1 LA12COIE 千つ落日 A 消費 30 1 1 10066 1 LA12COIE 千つ落日 A 消費 30 1 1 1 1 1 1 1 1 1		10062	1	LA35C01E	総合英語V	演習	30	1	3	
10065 1 LA11COLE ドイツ語1A 演習 30 1 1 10066 1 LA12COLE ドイツ語1B 演習 30 1 1-2 10067 1 LA11COLE ドイツ語1B 漢習 30 1 1-2 10068 1 LA12COLE ドイツ語1B 漢習 30 1 1-2 10068 1 LA12COLE ドイツ語1B 漢習 30 1 2-3 10070 1 LA2COLE ドイツ語1B 漢習 30 1 2-3 10070 1 LA2COLE ドイツ語1B 漢習 30 1 2-3 10071 1 LA2COLE ドイツ語1B 漢習 30 1 2-3 10071 1 LA2COLE ドイツ語1B 漢習 30 1 2-3 10072 1 LA11COLE ドイツ語1B 漢習 30 1 2-3 10073 1 LA11COLE ドイツ語1B 漢習 30 1 2-3 10073 1 LA11COLE ドイツ語1B 漢習 30 1 1-1 10074 1 LA12COLE アランス語1A 漢習 30 1 1-2 10075 1 LA11COLE アランス語1B 漢習 30 1 1-2 10075 1 LA11COLE アランス語1B 漢習 30 1 1-2 10076 1 LA12COLE アランス語1B 漢習 30 1 2-3 10078 1 LA2COLE アランス語1B 漢習 30 1 2-3 10079 1 LA2COLE アランス語1B 漢習 30 1 2-3 10079 1 LA2COLE アランス語1B 漢習 30 1 2-3 10081 1 LA11COLE 中国語1A 漢習 30 1 2-3 10081 1 LA11COLE 中国語1A 漢習 30 1 2-3 10081 1 LA11COLE 中国語1A 漢習 30 1 2-3 10081 1 LA12COLE 中国語1B 漢習 30 1 2-3 10084 1 LA12COLE 中国語1B 漢習 30 1 2-3 10085 1 LA2COLE 中国語1B 漢習 30 1 2-3 10085 1 LA2COLE 中国語1B 漢習 30 1 2-3 10087 1 LA2COLE 中国語1B 漢習 30 1 2-3 10088 1 LA2COLE 中国語1B 漢習 30 1 2-3 10088 1 LA2COLE 中国語1B 漢習 30 1 2-3 10089 1 LA12COLE 中国語1B 漢習 30 1 2-3 10089 1 LA12COLE 中国語1B 漢習 30 1 2-3 10089 1 LA12COLE 中国語1B 漢習 30 1 2-3 10085 1 LA2COLE PUBLIE PUBLIE PUBLIE PUBLIE PUBLIE PUB		10063	1	LA36C01E	総合英語VI	演習	30	1	3	
10066 1		10064	1	LA10C01E	多言語に触れる	演習	30	1	1	
10667		10065	1	LA11C01E			30	1	1	
10068									1~2	
10099 1										
10070	-									
10072										
10072										
10073										
10075										
10075										
10076										
10077										
10078										
10079										
外国語										
外国語										
10082	外国語									
10083	7111111									
10085 1										
10085 1		10084	1					1	1~2	
10087 1 LA23C06E 中国語田B 演習 30 1 2		10085	1				30	1	2	
10088 1 LA24C06E 中国語IVB 演習 30 1 2~3 10089 1 LA11C07E		10086	1	LA24C05E	中国語IVA		30	1	2~3	
10089		10087	1			演習	30	1	2	
10090		10088	1	LA24C06E	中国語IVB		30	1	2~3	
10091 1 LA11C08E コリアンIB 演習 30 1 1 10092 1 LA12C08E コリアンIB 演習 30 1 1~2 10093 1 LA23C07E コリアンIIA 演習 30 1 2 2 3 3 3 1 2 3 3 3 1 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3		10089	1		コリアンIA		30	1	1	
10092								1	1~2	
10093 1		10091	1		コリアンIB					
10094 1 LA24C07E コリアンIVA 演習 30 1 2~3 10095 1 LA23C08E コリアンIIB 演習 30 1 2 2 10096 1 LA24C08E コリアンIVB 演習 30 1 2~3 10097 1 LA10C02E その他の外国語A 演習 30 1 1~4 10098 1 LA10C03E その他の外国語B 演習 30 1 1~4 10099 1 LA10C04E その他の外国語C 演習 30 1 1~4 10100 1 LA10C05E その他の外国語D 演習 30 1 1~4 10101 1 LA11C09E 外国語としての日本語IIA 演習 30 1 1 1 10102 1 LA12C09E 外国語としての日本語IIA 演習 30 1 1 1 10103 1 LA11C10E 外国語としての日本語IIB 演習 30 1 1 1 10104 1 LA12C10E 外国語としての日本語IIB 演習 30 1 1 1 10105 1 LA23C09E 外国語としての日本語IIA 演習 30 1 2 10106 1 LA24C09E 外国語としての日本語IIA 演習 30 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2			1							
10095 1 LA23C08E コリアンⅢB 演習 30 1 2 10096 1 LA24C08E コリアンⅣB 演習 30 1 2~3 10097 1 LA10C02E その他の外国語A 演習 30 1 1~4 10098 1 LA10C03E その他の外国語B 演習 30 1 1~4 10099 1 LA10C04E その他の外国語C 演習 30 1 1~4 10100 1 LA10C05E その他の外国語D 演習 30 1 1~4 10101 1 LA11C09E 外国語としての日本語 I A 演習 30 1 1 1 10102 1 LA12C09E 外国語としての日本語 I B 演習 30 1 1 10103 1 LA11C10E 外国語としての日本語 I B 演習 30 1 1 10104 1 LA12C10E 外国語としての日本語 I B 演習 30 1 1 10105 1 LA23C09E 外国語としての日本語 II B 演習 30 1 2 10106 1 LA24C09E 外国語としての日本語 II B 演習 30 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2										
10096 1							_			
10097							_			
10098										
10099	-									
10100 1 LA10C05E その他の外国語D 演習 30 1 1~4 10101 1 LA11C09E 外国語としての日本語 I A 演習 30 1 1 10102 1 LA12C09E 外国語としての日本語 I A 演習 30 1 1 10103 1 LA11C10E 外国語としての日本語 I B 演習 30 1 1 10104 1 LA12C10E 外国語としての日本語 I B 演習 30 1 1 10105 1 LA23C09E 外国語としての日本語 II B 演習 30 1 2 10106 1 LA24C09E 外国語としての日本語 II B 演習 30 1 2 10107 1 LA23C10E 外国語としての日本語 II B 演習 30 1 2 10108 1 LA24C10E 外国語としての日本語 II B 演習 30 1 2 10108 2 LA10B01J 体育実技A 実技 30 1 1~4 (株庫	-									
10101 1	-									
10102 1 LA12C09E 外国語としての日本語II A 演習 30 1 1 1 10103 1 LA11C10E 外国語としての日本語 I B 演習 30 1 1 1 10104 1 LA12C10E 外国語としての日本語 I B 演習 30 1 1 1 10105 1 LA23C09E 外国語としての日本語II B 演習 30 1 2 10106 1 LA24C09E 外国語としての日本語II B 演習 30 1 2 9年にのみ 10107 1 LA23C10E 外国語としての日本語II B 演習 30 1 2 10108 1 LA24C10E 外国語としての日本語II B 演習 30 1 2 10108 1 LA24C10E 外国語としての日本語IV B 演習 30 1 2 10028 2 LA10B01J 体育実技A 実技 30 1 1~4 また 10109 1 LA10B02J 体育実技A 実技 30 1 1~4										
10103 1 LA11C10E 外国語としての日本語 I B 演習 30 1 1 1 10104 1 LA12C10E 外国語としての日本語 II B 演習 30 1 1 1 10105 1 LA23C09E 外国語としての日本語 II A 10106 1 LA24C09E 外国語としての日本語 II A 10107 1 LA23C10E 外国語としての日本語 II B 演習 30 1 2 10107 1 LA23C10E 外国語としての日本語 II B 演習 30 1 2 10108 1 LA24C10E 外国語としての日本語 II B 演習 30 1 2 10108 1 LA24C10E 外国語としての日本語 II B 演習 30 1 2 10028 2 LA10B01J 体育実技A 実技 30 1 1~4 2 2 10028 2 LA10B02J 体育実技A 実技 30 1 1~4					****					
10104 1										
10105 1 LA23C09E 外国語としての日本語ⅢA 演習 30 1 2 学生にのみ 10106 1 LA24C09E 外国語としての日本語ⅣA 演習 30 1 2 学生にのみ 10107 1 LA23C10E 外国語としての日本語ⅢB 演習 30 1 2 10108 1 LA24C10E 外国語としての日本語ⅣB 演習 30 1 2 10028 2 LA10B01J 体育実技A 実技 30 1 1~4 1009 1 LA10B02J 体育実技B 実技 30 1 1~4 1~										外国において中
10106 1 LA24C09E 外国語としての日本語IVA 演習 30 1 2 10107 1 LA23C10E 外国語としての日本語IIIB 演習 30 1 2 10108 1 LA24C10E 外国語としての日本語IVB 演習 30 1 2 10028 2 LA10B01J 体育実技A 実技 30 1 1~4 10109 1 LA10B02J 体育実技B 実技 30 1 1~4 1~4 10109 1 LA10B02J 体育実技B 10109 1 LA10B02J 体育実技B 10109 1 LA10B02J 体育実技B 10109 1 LA10B02J 体育実技B 10109 1 LA10B02J K育実技B 10109 1 LA10B02J K育宝技B 10109 1 LA10B02J 10109 1 LA10B02J 10109 1 LA10B02J 10109 1 LA10B02J 10109 1 LA10B02J 10109 1 LA10B02J 10109 1 LA10B02J 10109 1 LA10B02J 10109 1 LA10B02J 10109 1 LA10B02J 10109 1 LA10B02J 10109 1 LA10B02J 1 LA10B02J 10109 1 LA10B02J 10109 1 LA10B02J 10109 1 LA10B02J 10109 1 LA10B02J 10109 1 LA10B02J 10109 1 LA10B02J 10109 1 LA10B02J 10109 1 LA10B02J 10109 1 LA10B02J 1 LA10B02J 1 LA10B02J 1										等教育を受けた
10107 1 LA23C10E 外国語としての日本語ⅢB 演習 30 1 2 10108 1 LA24C10E 外国語としての日本語ⅣB 演習 30 1 2 10028 2 LA10B01J 体育実技A 実技 30 1 1~4 10109 1 LA10B02J 体育実技B 実技 30 1 1~4										学生にのみ適用
10108 1 LA24C10E 外国語としての日本語IVB 演習 30 1 2 10028 2 LA10B01J 体育実技A 実技 30 1 1~4 10109 1 LA10B02J 体育実技B 実技 30 1 1~4										
10028 2 LA10B01J 体育実技A 実技 30 1 1~4										
健康 10109 1 IA10B02J 体育室技B 室技 30 1 1~4							_			
NEDR 10100 1 DILLIODONO PERIODIAN TILLIODONO PERIODIAN TILLIODONO TILLIODONO PERIODIAN TILLIODONO TILLIODONO PERIODIAN TILLIODONO TILLIODONO PERIODIAN TILLIODONO TI	健康	10109	1	LA10B02J	体育実技B	実技	30	1	1~4	
スポーツ 10029 1 LA10B03K 健康科学 講義 30 2 1~4 1単位必修							_			1 単位必修
10030										

学科目	科目 コード	科目明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位
	10031	1	LA10C06J	海外語学研修A	実習	120	4	1	
	10032	1	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2	
	10033	1	LA10C07J	海外語学研修C	実習	60	2	1	
留学	10034	1	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2	
	10048	1	LA10C08J	海外文化研修	実習	60	2	1~4	
	10035	2	LA10C09J	異文化体験	実習	60	2	1~4	
	10049	1	LA10C10K	留学生のための日本学基礎	講義	30	2	1~4	
	10110	1	LA10A02K	人文科学の考え方	講義	30	2	1)
	10111	1	LA10C11K	哲学とは何か	講義	30	2	1~4	
	10112	1	LA10C12K	いのちを考える	講義	30	2	1~4	
	10113	1	LA10C13K	ライフステージの心理学	講義	30	2	1~4	
	10114	1	LA10C14K	人生と儀礼	講義	30	2	1~4	
	10115	1	LA10C15K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1~4	
1	10116	1	LA10C16K	対人関係の心理学	講義	30	2	1~4	
人文	10117	1	LA10C17K	歴史に学ぶ	講義	30	2	1~4	
	10118	1	LA10C18K	日本社会の歴史	講義	30	2	1~4	
	10119	1	LA10C19K	ことばと人間	講義	30	2	1~4	1
	10120	1	LA10C20K	文学を楽しむ	講義	30	2	1~4	
	10121	1	LA10C21K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1~4	
	10122	1	LA10C22K	ビジュアルアーツと現代	講義	30	2	1~4	
	10123	1	LA10C23K	本を読む (人文)	講義	30	2	1~4	
	10124	1	LA10A03K	社会科学の考え方	講義	30	2	1	
	10036	1	LA10C24K	日本国憲法	講義	30	2	1~4	-
	10125	1	LA10C25K	法律と暮らし	講義	30	2	1~4	
	10126	1	LA10C26K	現代社会と政治学	講義	30	2	1~4	-
	10127	1	LA10C27K	グローバリゼーションとは何か	講義	30	2	1~4	-
	10128	1	LA10C28K	現代社会と経済学	講義	30	2	1~4	1
	10129	1	LA10C29K	資本主義の現在	講義	30	2	1~4	1
	10123	1	LA10C30K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1~4	
	10130	1	LA10C30K	人権から見た教育と労働	講義	30	2	1~4	必修6単位を
	10131	1	LA10C31K LA10C32K	働くということ	講義	30	2	1~4	〉含め12単位以
社会	10132	1	LA10C32K LA10C33K	共に生きる	講義	30	2	1~4	上選択
	10133	1	LA10C33K LA10C34K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1~4	-
	10134	1	LA10C34K LA10C35K	家族を考える	講義	30	2	1~4	-
	10135	1	LA10C35K LA10C36K	お金と税金のはなし	講義	30	2	1~4	-
-	10130	1	LA10C30K LA10C37K	ICTと暮らし	講義	30	2	1~4	-
				**			2		-
	10138 10139	1	LA10C38K LA10C39K	メディアとつきあう 時事問題研究	講義講義	30	2	1~4	-
-		1		* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *		_			-
-	10140	1	LA10C40K	地域を学ぶ	講義	30	2 2	1~4	_
	10141	1	LA10C41J	コミュニティで学ぶ 本を読む (社会)	実習講義	60	2		1
	10142	1	LA10C42K			30	(2)	1~4	
		1	LA10A04K	自然科学の考え方	講義			1 1	
	10144	1	LA10C43K	生命科学の基礎知識	講義	30	2	1~4	
	10145	1	LA10C44K	生命倫理	講義	30	2	1~4	
	10146	1	LA10C45K	健康とは何か	講義	30	2	1~4	
	10147	1	LA10C46K	食といのち	講義	30	2	1~4	
自然	10148	1	LA10C47K	地球環境と人間	講義	30	2	1~4	
	10149	1	LA10C48K	資源エネルギーと人間	講義	30	2	1~4	
	10150	1	LA10C49K	災害と人間	講義	30	2	1~4	
	10151	1	LA10C50K	科学技術の現在	講義	30	2	1~4	
	10152	1	LA10C51K	はじめての統計学	講義	30	2	1~4	
	10153	1	LA10C52K	宇宙のはなし	講義	30	2	1~4	
	10154	1	LA10C53K	本を読む(自然)	講義	30	2	1~4	7
	10044	1	LA11B03E	コンピュータ基礎 I	演習	30	2	1	
情報	10045	1	LA12B03E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	2	1	2 単位必修
	10046	2	LA20B01E	コンピュータ実習	演習	30	2	2	

≪ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する注意事項≫

原則

- 1) (A系列の科目) I Aの単位を修得していなければ II Aを履修することはできない。 II Aの単位を修得していれば III Aまたは III Aを履修することができる。
- 2)(B系列の科目) I Bの単位を修得していなければ ${\mathbb I}$ Bを履修することはできない。 ${\mathbb I}$ Aまたは ${\mathbb I}$ Bの単位を修得していれば ${\mathbb I}$ Bまたは ${\mathbb I}$ Bを履修することができる。
- 3) 検定試験等を利用した単位認定については別途定める(「履修登録の手引き」を参照のこと)。
- 4) ⅢBおよびIVBについては、授業の内容が異なり、かつ担当教員の了解を得ることを前提として重複履修を認める。重複

の回数はそれぞれ 2 度を上限とする(初回を含めて合計 3 度)。重複履修によって修得した単位は自由科目の単位として認定される。

5) 外国において中等教育を受けた学生、編転入・再入学の学生、休学後に復学した学生、留学を予定する学生等、特殊な事情のある学生は、学務部で相談すること。

(2) 学科科目〔食物健康科学科〕

基幹科目14単位、学科科目89単位以上

	fy H	151 H	151 H		Trit alle	Alle Stat		3C-1 P98		仙兰			郊科	日屋	依の	而不
学科目	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考	E	Pe	Pc			N	M
	· ·			有機化学	-	30	2	-		X	_	X	×	×	×	-
	22100	1 2	FS10A01K		講義		_	1		\vdash	×		-	-		×
	22101		FS11A01K	生化学Ⅰ	講義	30	2	1		×	×	X	×	×	×	_
基	22102	1	FS11A02K	食品学Ⅰ	講義	30	2	1		×	×	X	X	X	×	×
基幹科目	22103	2	FS11A03K	基礎栄養学I	講義	30	2	1	8 科目14単位必修	×	×	X	X	X	×	×
冒	22104	1	FS21A01K	公衆衛生学 I	講義	30	2	2		×	×	X	X	×	×	×
	22195	1	FS31A01E	総合演習I	演習	30	1	3		×	×	×	×	X	×	×
	22196	1	FS32A01E	総合演習Ⅱ	演習	30	1	3		×	×	×	×	×	×	×
	22169	2	FS40A01E	卒業演習	演習	30	2	4		×	×	×	×	X	×	×
	22106	1	FS32A02K	公衆衛生学Ⅱ	講義	30	2	3		×	×	×	×	X	×	X
	22197	1	FS40A02J	公衆衛生学実験	実験	45	1	4		×	×	×	×	×	×	×
	22107	2	FS30A01K	社会福祉概論	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	X
	22108	2	FS11A04K	解剖生理学 I	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	X
	22109	2	FS12A01K	解剖生理学Ⅱ	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	X
	22110	2	FS10A02J	解剖生理学実験	実験	45	1	1		×	×	×	×	×	×	X
	22180	1	FS10A03K	運動生理学	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	22181	2	FS40A03J	運動栄養生理学実験	実験	45	1	4		×	×	×	×	×	×	×
	22111	2	FS22A01K	生化学Ⅱ	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	22198	1	FS30A02J	生化学実験	実験	45	1	3		×	×	×	×	×	×	×
由	22182	1	FS31A02K	医学一般 I	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
専門基礎分野	22183	1	FS32A03K	医学一般 Ⅱ	講義	30	2	4		×	×	×	X	×	×	×
基礎	22115	3	FS22A02K	食品学Ⅱ	講義	30	2	2	23科目35単位必修	×	×	×	×	×	×	X
分野	22184	1	FS10A04J	食品学実験	実験	45	1	1		×	×	×	×	×	×	X
到	22117	2	FS10A05J	分析化学実験	実験	45	1	1		×	×	×	×	×	×	X
	22118	1	FS10C01K	食品化学	講義	30	2) 3		×	×	×	×	×	×	X
	22119	2	FS30A03K	食品加工学	講義	30	2			×	×	×	×	×	×	×
	22120	2	FS30A04J	食品加工学実習	実習	45	1	3		×	×	×	×	×	×	X
	22121	1	FS10C02K	食文化論	講義	30	2	1~4		0	0	0	0	0	0	0
	22123	1	FS20A01K	食品衛生学	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	22124	1	FS20A02J	食品衛生学実験	実験	45	1	2		×	×	×	×	×	×	X
	22199	1	FS11A05J	調理学実習 I	実習	45	1	1		×	×	×	×	×	×	X
	22200	1	FS12A02J	調理学実習Ⅱ	実習	45	1	1		×	×	×	×	×	×	X
	22126	2	FS20A03K	調理学	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	X
	22127	2	FS20A04J	調理学実験	実験	45	1	2		×	×	×	×	×	×	X
	22185	1	FS11A06K	管理栄養士入門 I	講義	30	2	1)	×	×	×	×	×	×	X
	22173	1	FS12A03K	管理栄養士入門Ⅱ	講義	15	1	3		×	×	×	×	×	×	X
	22186	1	FS10A06K	食事摂取基準論	講義	15	1	1		×	×	×	×	×	×	×
	22122	4	FS32A04K	基礎栄養学Ⅱ	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	X
	22128	2	FS21A02K	ライフステージ栄養学 I	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	X
	22129	1	FS22A03K	ライフステージ栄養学Ⅱ	講義	30	2	2		×	×	×	X	×	×	×
	22130	1	FS40A04K	疾病予防のための栄養学	講義	30	2	4		×	×	×	×	×	×	×
	22201	1	FS20A05J	栄養学実験	実験	45	1	2		×	×	X	X	×	X	×
	22174	2	FS31A03J	応用栄養学実習 I	実習	45	1	3		×	×	×	×	×	×	×
	22188	1	FS32A05J	応用栄養学実習Ⅱ	実習	45	1	3		×	×	×	X	×	×	×
専	22133	3	FS21A03K	栄養教育論 I	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
専門分野	22136	2	FS22A04K	栄養教育論Ⅱ	講義	30	2	2	21到日47單片改修	×	×	×	X	×	×	×
野野	22135	2	FS33A01K	栄養教育論Ⅲ	講義	30	2	3	. ▶31科目47単位必修	×	×	×	×	×	×	×
	22134	2	FS30A05J	栄養教育論実習	実習	45	1			×	×	×	×	×	×	×
	22137	2	FS21A04K	臨床栄養学 I	講義	30	2			×	×	×	×	×	×	×
	22140	2	FS22A05K	臨床栄養学Ⅱ	講義	30	2			×	×	×	X	×	×	×
	22139	2	FS33A02K	臨床栄養学Ⅲ	講義	30	2			×	×	×	X	×	×	×
	22141	2	FS34A01K	臨床栄養学IV	講義	30	2			×	×	×	X	×	×	×
	22189	1	FS20A06J	臨床栄養学実習	実習	45	1	2		×	×	×	X	-	×	X
	22163	1	FS30A06J	応用臨床栄養学実習	実習	45	1	3		×	×	×	X		×	×
	22142	2	FS21A05K	公衆栄養学I	講義	30	2	_		×	×	×	×		×	×
	22142	2	FS32A06K	公衆栄養学Ⅱ	講義	30	2	3		×	×	×	×		×	×
	22190	1	FS30A07J	公衆栄養学実習	実習	45	1	3		×	×	×	×	×	×	×
	44190	1	LOSUAUIS	ム水不貫丁大日	大白	40	T)	٥	1	1^	_^	_^	_^	_^	_^	_^

学科日	学科目 科目 科目 コード 明細		科目	授業科目	授業	授業	単位数	配置	修得単位・備考	他当	科・	他学	部科	目履	修の	可否
于行日	コード	明細	ナンバリング	1又未行日	形式	時間数	平世奴	年次		Е	Ре	Рс	С	W	Ν	M
	22176	2	FS11A07K	給食経営管理論 I	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	X
	22164	3	FS22A06K	給食経営管理論Ⅱ	講義	15	1	2		×	×	×	×	×	×	×
#	22177	1	FS10A07E	給食実務演習	演習	30	1	1		×	×	×	×	×	×	×
専門	22191	1	FS21A06J	給食経営管理実習 I	実習	45	1	2		×	×	×	×	×	×	×
分野	22192	1	FS22A07J	給食経営管理実習Ⅱ	実習	45	1	2		×	×	×	×	×	×	×
	22150	3	FS31A02J	臨地実習 I (給食経営管理)	実習	45	1	3		×	×	×	×	×	×	×
	22152	3	FS32A07J	臨地実習Ⅱ(臨床栄養)	実習	90	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	22151	3	FS43A01J	臨地実習Ⅲ(公衆栄養)	実習	45	1	4	J	×	×	×	×	×	×	×
	22178	1	FS10C03K	人間と社会環境	講義	30	2	1~4		0	0	0	0	0	0	0
ا , ا	22154	1	FS10C04K	保育学	講義	30	2	1~4 1~4 1~4 1~4		0	0	0	0	0	0	0
間	22155	1	FS10C05K	児童臨床学	講義	30	2			0	0	0	0	0	0	0
人間生活領域	22156	1	FS10C06K	衣服環境論	講義	30	2	1~4	2 単位以上選択	0	0	0	0	0	0	0
領域	22157	1	FS10C07K	居住環境論	講義	30	2	1~4 2 単位以上選択 1~4		0	0	0	0	0	0	0
攻	22158	1	FS10C08K	家庭電気・機械及び情報処理	講義	30	2	1~4		0	0	0	0	0	0	0
	22179	1	FS20C01J	栄養統計処理	実習	30	2	2~4		0	0	0	0	0	0	0
	22170	1	FS40C01S	卒業研究			2	4		×	×	×	×	×	×	×
	22165	2	FS31C01K	学外実習事前事後指導 I	講義	15	1	3		×	×	×	×	×	×	×
	22193	1	FS32C01K	学外実習事前事後指導Ⅱ	講義	15	1	3		×	×	×	×	×	×	×
虚	22194	1	FS43C01K	学外実習事前事後指導Ⅲ	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×	×
用専	22171	2	FS41A01E	国家試験対策演習 I	演習	60	2	4	国家試験対策演習Ⅰを含めて	×	×	×	×	×	×	×
門分	22202	1	FS42A01E	国家試験対策演習Ⅱ	演習	60	2	国家試験対策演音1を含め 5単位以上選択 3	5 単位以上選択	×	×	×	×	×	×	×
分野	22167	1	FS31C02K	学校栄養指導論 I	講義	30	2			×	×	×	×	×	×	×
	22168	1	FS32C02K	学校栄養指導論Ⅱ	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	20010	1	FS10C09K	生活経営論	講義	30	2	1~2	0	0	0	0	0	0	0	
	20011	1	FS10C10K	生活経済学	講義	30	2	1~2		0	0	0	0	0	0	×

他学科・他学部科目履修の可否は、各学科カリキュラム表に記載されている。○が付いているものは基本的に履修が可能であり、卒業要件単位となる。ただし、授業内容と授業形式によっては人数に制限があるため、担当教員の了解を受ける必要がある。

なお、履修登録できない科目のほとんどは、①同種の科目が自学科用にある場合か、②学科必修の科目等で他学科学生を 受け入れる余地がない場合に当てはまる。

3. 生活科学部食物健康科学科の進級要件に関する規程

この規程は、生活科学部食物健康科学科の進級要件を定めるものである。

1. 進級要件の設定年次

2年次から3年次への進級について要件を設ける。

2. 進級要件の内容

3年次に進級するためには、2年以上在学し、学科科目(必修科目)について未修得の単位が10単位 未満でなければならない。未修得単位が10単位以上の者は留年者とし、2年次とする。

<履修単位数>

年次	全学教養科目	学科科目	総単位
1年次	16	21	
2 年次		33	
3年次	9	33	
4年次		11	
計	25	98+5	128

3. その他

この規程に定めるもののほか、必要な事項は生活科学部教授会が定める。

4. 規程の改定

この規程の改定は、生活科学部教授会の議を経て行なう。

附則

- 1. この規程は、2014年4月1日から施行する。
- 2. この規程は、2015年4月1日から施行する。
- 3. この規程は、2016年4月1日から施行する。 ただし、2014年度入学生から適用される。
- 4. この規程は、2017年4月1日から施行する。
- 5. この規程は、2020年4月1日から施行する。

4. 生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる履修規程

この規程は、生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる科目の履修要件を定めるものである。

1. 管理栄養士養成課程における臨地実習科目(必修)を履修するためには、各実習において関連科目 (下表)の単位を全て修得済みであることが条件となる。

	給食経営管理論 I	(1年次	2 単位)	
(trive she) \(\tau \)	給食実務演習	(1年次	1 単位)	
臨地実習 I (給食経営管理) (3年次)	給食経営管理論Ⅱ	(2年次	1 単位)	6 単位
(3-1-00)	給食経営管理実習 I	(2年次	1 単位)	
	給食経営管理実習Ⅱ	(2年次	1 単位)	
따라나 선정 표 (따라 火 茶)	臨床栄養学 I	(2年次	2 単位)	
臨地実習Ⅱ(臨床栄養) (3年次)	臨床栄養学Ⅱ	(2年次	2 単位)	5 単位
(0 1/1)	臨床栄養学実習	(2年次	1 単位)	
吃玩好到 (八坑火茶)	公衆栄養学 I	(2年次	2 単位)	
臨地実習Ⅲ(公衆栄養) (4年次)	公衆栄養学Ⅱ	(3年次	2 単位)	5 単位
	公衆栄養学実習	(3年次	1 単位)	

- 2. 臨地実習科目を履修するには、大学で実施する定期健康診断を受診していなければならない。やむを得ず検査ができなかった学生は、該当する項目を他の機関で受診し、大学に診断書を提出する。
- 3. 臨地実習科目を履修するには、大学で実施する感染症に対する指定の抗体検査を受けなければならない。やむを得ず検査ができなかった学生は、該当する項目を他の機関で実施し、指定された期日までに大学へ検査結果を報告する。検査の結果が陰性の場合、指示された項目のワクチンを指定された日までに必ず接種する。
- 4. 臨地実習科目を履修するには、大学で実施する腸内細菌検査を受けなければならない。やむを得ず検査ができなかった学生は、該当する項目を他の機関で実施し、指定された期日までに大学へ検査結果を報告する。検査結果が陽性の場合は実習取りやめとなり、陰性への改善を確認後、別日程で行う。
- 5. 臨地実習科目を履修するには、傷害・賠償等保険に加入しなければならない。
- 6. この規程に定めるもののほか、必要な事項は生活科学部教授会が定める。

附則

- 1. この規程は、2014年4月1日から施行する。
- 2. この規程は、2017年4月1日から施行する。

履修要項Ⅲ 看護学部 〔全学教養科目および学科科目の履修〕

1.	卒業に必要な最低修得単位	89
2.	授業科目、単位数および履修規程 看護学科 (1) 全学教養科目 ····································	
3.	看護学部看護学科科目の履修に関する規程	96

1. 卒業に必要な最低修得単位 看護学部

<2020(令和2)年度入学生>

[看護学科]

2018年度~

		į	科目区分	最低修行	 				
		建学の精神		4 単位					
.		基礎演習		2 単位					
卒 業 に		外国語	(英語)	4 単位					
に	全	外国韶	(英語以外)		1				
必要な単位お	全学教養科	健康スポーツ		1 単位	合計				
なが	養私	留学			25単位				
単位	目	人文							
おと		社会		12単位					
よび		自然							
規程		情報		2 単位					
工王	学科科目	専門基礎科目		27単位	合計				
	科目	専門科目		72単位 99単位					
			合計		124単位以上				

留意事項

1. 科目の重複履修について

	重複履修回数		重複履修回数
キリスト教の精神と文化Ⅱ	2	中国語ⅢB	2
キリスト教の精神と文化Ⅲ	2	中国語NB	2
体育実技A	4	コリアンⅢB	2
体育実技B	4	コリアンⅣB	2
総合英語V	2	外国語としての日本語ⅢB	2
総合英語VI	2	外国語としての日本語ⅣB	2
ドイツ語ⅢB	2	その他の外国語A	3
ドイツ語IVB	2	その他の外国語B	3
フランス語ⅢB	2	その他の外国語C	3
フランス語ⅣB	2	その他の外国語D	3
		海外ボランティア	2

<この規程は2017(平成29)年度入学生から適用される。>

2. 授業科目、単位数および履修規程

〔看護学部〕

履修に関しては次のことに注意すること。

- 1. ○印は必修科目を示す。
- 2. □印は選択必修科目を示す。
- 3. [] 印は [] 内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。
- 4. 各授業科目は、それぞれ固有の科目コードを持つ。
- 5. 1年間に登録できる単位数は、卒業要件に関わる科目が50単位未満で、総単位数は60単位以内とする。

<看護学科>

(1) 全学教養科目

学科目	科目 コード	科目明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位
7.th W. 60	10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化 I	講義	30	2	1	
建学の 精神	10051	1	LA12A01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	2	1	4 単位必修
相押	10052	1	LA33C01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	2	3	
基礎演習	10053	1	LA10A01E	大学基礎演習	演習	30	2	1	
	10054	1	LA11A03E	英語コミュニケーションI	演習	30	1	1	
	10058	1	LA11A02E	総合英語 I	演習	30	1	1	1. 景层 改修
	10055	1	LA12A03E	英語コミュニケーションⅡ	演習	30	1	1	4 単位必修
	10059	1	LA12A02E	総合英語Ⅱ	演習	30	1	1	
	10056	1	LA23C02E	英語コミュニケーションⅢ	演習	30	1	2	
	10060	1	LA23C01E	総合英語Ⅲ	演習	30	1	2	
	10057	1	LA24C02E	英語コミュニケーションⅣ	演習	30	1	2	
	10061	1	LA24C01E	総合英語IV	演習	30	1	2	
	10062	1	LA35C01E	総合英語V	演習	30	1	3	
	10063	1	LA36C01E	総合英語VI	演習	30	1	3	
	10064	1	LA10C01E	多言語に触れる	演習	30	1	1	
	10065	1	LA11C01E	ドイツ語IA	演習	30	1	1	
	10066	1	LA12C01E	ドイツ語ⅡA	演習	30	1	1~2	
	10067	1	LA11C02E	ドイツ語IB	演習	30	1	1	
	10068	1	LA12C02E	ドイツ語ⅡB	演習	30	1	1~2	
	10069	1	LA23C03E	ドイツ語ⅢA	演習	30	1	2	
	10070	1	LA24C03E	ドイツ語IVA	演習	30	1	2~3	
	10071	1	LA23C04E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2	
	10072	1	LA24C04E	ドイツ語IVB	演習	30	1	2~3	
外国語	10073	1	LA11C03E	フランス語IA	演習	30	1	1	
	10074	1	LA12C03E	フランス語ⅡA	演習	30	1	1~2	
	10075	1	LA11C04E	フランス語 I B	演習	30	1	1	
	10076	1	LA12C04E	フランス語ⅡB	演習	30	1	1~2	
	10077	1	LA23C05E	フランス語ⅢA	演習	30	1	2	
	10078	1	LA24C05E	フランス語ⅣA	演習	30	1	2~3	
	10079	1	LA23C06E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	
	10080	1	LA24C06E	フランス語IVB	演習	30	1	2~3	
	10081	1	LA11C05E	中国語IA	演習	30	1	1	
	10082	1	LA12C05E	中国語ⅡA	演習	30	1	1~2	
	10083	1	LA11C06E	中国語IB	演習	30	1	1	
[10084	1	LA12C06E	中国語IIB	演習	30	1	1~2	
	10085	1	LA23C07E	中国語ⅢA	演習	30	1	2	
	10086	1	LA24C07E	中国語IVA	演習	30	1	2~3	
	10087	1	LA23C08E	中国語ⅢB	演習	30	1	2	
	10088	1	LA24C08E	中国語IVB	演習	30	1	2~3	
	10089	1	LA11C07E	コリアンIA	演習	30	1	1	
	10090	1	LA12C07E	コリアンⅡA	演習	30	1	1~2	
	10091	1	LA11C08E	コリアンIB	演習	30	1	1	
	10092	1	LA12C08E	コリアンⅡB	演習	30	1	1~2	

学科目	科目コード	科目明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位
	10093	1	LA23C09E	コリアンⅢA	演習	30	1	2	
	10094	1	LA24C09E	コリアンNA	演習	30	1	2~3	
	10095	1	LA23C10E	コリアンIIB	演習	30	1	2	
	10096 10097	1	LA24C10E LA10C02E	コリアンIVB その他の外国語A	演習 演習	30	1	2~3 1~4	
	10097	1	LA10C02E LA10C03E	その他の外国語B	演習	30	1	1~4	
	10099	1	LA10C03E	その他の外国語C	演習	30	1	1~4	
	10100	1	LA10C05E	その他の外国語D	演習	30	1	1~4	
外国語	10101	1	LA11C09E	外国語としての日本語IA	演習	30	1	1	
	10102	1	LA12C09E	外国語としての日本語ⅡA	演習	30	1	1	
	10103	1	LA11C10E	外国語としての日本語IB	演習	30	1	1	Al Elva Anna de
	10104	1	LA12C10E	外国語としての日本語ⅡB	演習	30	1	1	外国において中 等教育を受けた
	10105	1	LA23C11E	外国語としての日本語ⅢA	演習	30	1	2	学生にのみ適用
	10106	1	LA24C11E	外国語としての日本語IVA	演習	30	1	2	
	10107	1	LA23C12E	外国語としての日本語ⅢB	演習	30	1	2	
	10108	1 2	LA24C12E	外国語としての日本語IVB	演習	30	1	2	
//#+ r=#s:	10028 10109	1	LA10B01J LA10B02J	体育実技A 体育実技B	実技 実技	30	1	1~4	
健康スポーツ	10109	1	LA10B025	健康科学	講義	30	2	1~4	1 単位必修
	10029	1	LA10B03K LA10B04K	運動と健康	講義	30	2	1~4	
	10030	1	LA10C06J	海外語学研修A	実習	120	4	1	
	10032	1	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2	
	10033	1	LA10C07J	海外語学研修C	実習	60	2	1	
留学	10034	1	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2	
	10048	1	LA10C08J	海外文化研修	実習	60	2	1~4	
	10035	2	LA10C09J	異文化体験	実習	60	2	1~4	
	10049	1	LA10C10K	留学生のための日本学基礎	講義	30	2	1~4	
	10110	1	LA10A02E	人文科学の考え方	講義	30	2	1)
	10111	1	LA10C11K	哲学とは何か	講義	30	2	1~4	
	10112	1	LA10C12K	いのちを考える	講義	30	2	1~4	
	10113	1	LA10C13K	ライフステージの心理学	講義	30	2	1~4	
	10114	1	LA10C14K	人生と儀礼	講義	30	2	1~4	
	10115	1	LA10C15K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1~4	
人文	10116 10117	1	LA10C16K LA10C17K	対人関係の心理学 歴史に学ぶ	講義講義	30	2 2	1~4	
	10117	1	LA10C17K LA10C18K	日本社会の歴史	講義	30	2	1~4	
	10110	1	LA10C19K	ことばと人間	講義	30	2	1~4	
	10120	1	LA10C20K	文学を楽しむ	講義	30	2	1~4	
	10121	1	LA10C21K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1~4	
	10122	1	LA10C22K	ビジュアルアーツと現代	講義	30	2	1~4	
	10123	1	LA10C23K	本を読む(人文)	講義	30	2	1~4	
	10124	1	LA10A03K	社会科学の考え方	講義	30	2	1	
	10036	1	LA10C24K	日本国憲法	講義	30	2	1~4	
	10125	1		法律と暮らし	講義	30	2	1~4	
	10126	1	LA10C26K	現代社会と政治学	講義	30	2	1~4	
	10127	1	LA10C27K	グローバリゼーションとは何か	講義	30	2	1~4	
	10128	1	LA10C28K LA10C29K	現代社会と経済学資本主義の現在	講義	30	2	1~4	Mar a Walland
	10129 10130	1 1	LA10C29K LA10C30K	国際経済と暮らし	講義講義	30	2 2	1~4	必修 6 単位を 含め12単位以
	10130	1	LA10C30K LA10C31K	人権から見た教育と労働	講義	30	2	1~4	上選択
,, ,	10131	1	LA10C31K	働くということ	講義	30	2	1~4	
社会	10133	1	LA10C33K	共に生きる	講義	30	2	1~4	
	10134	1	LA10C34K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1~4	
	10135	1	LA10C35K	家族を考える	講義	30	2	1~4	
	10136	1	LA10C36K	お金と税金のはなし	講義	30	2	1~4	
	10137	1	LA10C37K	ICTと暮らし	講義	30	2	1~4	
	10138	1	LA10C38K	メディアとつきあう	講義	30	2	1~4	
	10139	1	LA10C39K	時事問題研究	講義	30	2	1~4	
	10140	1	LA10C40K	地域を学ぶ	講義	30	2	1~4	
	10141	1	LA10C41J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1~4	
	10142	1	LA10C42K	本を読む(社会)	講義	30	2	1~4	
	10143	1	LA10A04K	自然科学の考え方	講義	30	2	1	
	10144	1	LA10C43K	生命科学の基礎知識 生命倫理	講義	30	2	1~4 1~4	
	10145 10146	1	LA10C44K LA10C45K	健康とは何か	講義講義	30	2 2	1~4	
-6-4-6	10146	1	LA10C45K LA10C46K	食といのち	講義	30	2	1~4	
自然		1 1	L110040IX	スー・マン					1
目然		1	LA10C47K	地球環境と人間	議義	30	2	1~4	
目然	10147 10148 10149	1 1	LA10C47K LA10C48K	地球環境と人間 資源エネルギーと人間	講義講義	30	2 2	1~4	

学科目	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位
	10151	1	LA10C50K	科学技術の現在	講義	30	2	1~4	
自然	10152	1	LA10C51K	はじめての統計学	講義	30	2	1~4	
日然	10153	1	LA10C52K	宇宙のはなし	講義	30	2	1~4	
	10154	1	LA10C53K	本を読む(自然)	講義	30	2	1~4)
	10044	1	LA11B01E	コンピュータ基礎 I	演習	30	2	1	
情報	10045	1	LA12B01E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	2	1	2 単位必修
	10046	2	LA20B01E	コンピュータ実習	演習	30	2	2	

≪ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する注意事項≫

原則

- 1) (A系列の科目) I Aの単位を修得していなければ II Aを履修することはできない。 II Aの単位を修得していれば III Aまたは III Aを履修することができる。
- 2) (B系列の科目) I Bの単位を修得していなければ II Bを履修することはできない。 II Aまたは II Bの単位を修得していれば II Bまたは IV Bを履修することができる。
- 3) 検定試験等を利用した単位認定については別途定める(「履修登録の手引き」を参照のこと)。
- 4) ⅢBおよびIVBについては、授業の内容が異なり、かつ担当教員の了解を得ることを前提として重複履修を認める。重複の回数はそれぞれ2度を上限とする(初回を含めて合計3度)。重複履修によって修得した単位は自由科目の単位として認定される。
- 5) 外国において中等教育を受けた学生、編転入・再入学の学生、休学後に復学した学生、留学を予定する学生等、特殊な 事情のある学生は、学務部で相談すること。

(2) 学科科目〔看護学科〕

専門基礎科目27単位、専門科目72単位以上

	*4 H	科目	科目	科目	ISS MATTER IN	授業	授業)// / I . W/	配置	/L-/EI \\/ / I . / / / / / / / / / / / / / / / /	他当	科・	他学	部科	日履	修の	可否
子	科目	コード	明細	ナンバリング	授業科目	形式	時間数	単位数	年次	修得単位・備考	Е	Ре	Pc	С	W	F	M
		31101	3	NU10A01K	人体構造機能学A	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
		31186	1	NU10A02K	人体構造機能学B	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
	成人り	31187	1	NU20A01E	人体構造機能学演習	演習	30	1	2		×	×	×	×	×	×	×
	40	31103	1	NU10A03K	生化学	講義	15	1	1		×	×	×	×	×	×	×
	ちと回復の構造と機能	31104	2	NU10A04K	栄養・代謝学	講義	15	1	1		×	×	×	×	×	×	×
	回と海幽	31105	2	NU20C01J	食物健康実習	実習	30	1	2		×	×	×	×	×	×	×
	の能	31106	2	NU10A05K	感染と防御 (微生物学)	講義	15	1	1		×	×	×	×	×	×	×
	促、 進疾	31107	1	NU20A02K	病理病態学	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
門門	病の	31108	1	NU20A03K	薬理学	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
専門基礎科		31109	2	NU20A04K	疾病治療論 A (成人·高齢者)	講義	45	3	2	27単位必修	×	×	×	×	×	×	×
科		31188	1	NU20A05K	疾病治療論B(小児・母性・精神)	講義	45	3	2		×	×	×	×	×	×	×
目		31189	1	NU10A06K	医療倫理	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
	倫健 理康	31111	2	NU10A07K	社会保障制度論	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
	理・社会 社会	31112	2	NU10A08K	保健医療福祉行政論	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
	社援会と	31113	1	NU10C01K	保健医療看護経済学	講義	15	1	1		×	×	×	×	×	×	×
		31212	1	NU20C02K	カウンセリング技術	講義	15	1	2		×	×	×	×	×	×	×
	疫健	31178	1	NU10A09K	公衆衛生学	講義	15	1	1		×	×	×	×	×	×	×
	学現	31115	2	NU20A06K	疫学	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	統象計の	31179	1	NU30C01K	保健統計	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
		31117	1	NU10A10K	看護学概論	講義	15	1	1		×	×	×	×	×	×	×
		31190	1	NU20A07K	看護倫理	講義	15	1	2		×	×	×	×	×	×	×
		31118	1	NU11A01E	科学的思考基礎演習 I (看護学へのアプローチ)	演習	30	1)	1		×	×	×	×	×	×	×
		31191	1	NU12A01E	科学的思考基礎演習Ⅱ (コミュニケーションと人間関係)	演習	30	1	1		×	×	×	×	×	×	×
	_	31119	2	NU13A01E	科学的思考基礎演習Ⅲ (ヘルスアセスメントの基礎)	演習	30	1	1		×	×	×	×	×	×	×
	看護	31120	2	NU24A01E	科学的思考基礎演習IV (ヘルスアセスメントの応用)	演習	30	(1)	2		×	×	×	×	×	×	×
	看護学の	31123	2	NU10A11E	援助技術論 A (日常生活の援助技術)	演習	60	2	1	18単位必修	×	×	×	×	×	×	×
	基本	31124	2	NU20A08E	援助技術論B(診療に伴う援助技術)	演習	60	(2)	2	. , ,	×	×	×	×	×	×	×
	本	31125	2	NU10A12K	看護関係法規	講義	15	1)	1		×	×	×	×	×	×	×
		31126	2	NU20A09E	精神保健 (発達段階と場に応じたメンタルヘルス)	演習	30	1)	2		×	×	×	×	×	×	×
		31192	1	NU20A10E	健康教育論(理論・実践)	演習	60	2	2		×	×	×	×	×	×	×
		31129	1	NU10A13J	早期看護体験実習	実習	45	1)	1		×	×	×	×	×	×	×
		31130	1	NU20A11J	基礎看護学実習	実習	135	3	2		×	×	×	×	×	×	×
		31122	2	NU25A01E	科学的思考基礎演習 V (看護実践力の基礎)	演習	30	1	2		×	×	×	×	×	×	×
		31135	2	NU20A12K	成人看護学概論	講義	15	1	2		×	×	×	×	×	×	×
	看	31136	2	NU20A13K	高齢者看護学A(高齢者の健康と障害)	講義	15	1	2		×	×	×	×	×	×	×
	看護展開	31193	1	NU20A14K	小児看護学 A (健康な小児の生活支援)	講義	15	1	2		×	×	×	×	×	×	×
車	開の	31194	1	NU20A15K	母性看護学A (リプロダクティブヘルスケア)	講義	15	1	2	9 単位必修	×	×	×	×	×	×	×
専門科目	基礎	31195	1	NU20A16K	精神看護学A(心の基本理解と健康)	講義	15	1)	2		×	×	×	×	×	×	×
目	1000	31140	2	NU20A17K	公衆衛生看護学概論	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
		31196	1	NU20A18K	在宅看護学A (在宅療養者・家族の理解)	講義	15	1	2		×	X	×	X	×	×	X
		31197	1	NU26A01E	科学的思考基礎演習VI (看護実践力の応用)	演習	30	1	3	7	×	×	×	X	X	X	×
		31142	2	NU20A19E	成人看護学A(セルフケア)	演習	60	2	2	1	×	×	×	×	_	×	×
		31198	1	NU30A01E	成人看護学B (ペリオペレイティブケア・クリティカルケア)	演習	30	1	3	1	×	X	×	_	×	×	X
		31144	2	NU30A02E	高齢者看護学B(高齢者の健康障害と看護)	演習	60	2	3	1 [×	×	×	X	-	X	×
		31199	1	NU30A03E	小児看護学B (小児の健康障害と看護)	演習	60	2	3		×	×	×		×	×	×
		31146	2	NU30A04E	母性看護学B (ペリネイタルケア)	演習	60	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	看	31200	1	NU30A05E	精神看護学B (心を病む人の理解とセルフマネジメント)	演習	60	(2)	3		×	×	×	×	×	×	×
	看護展開	31201	1	NU30A06E	在宅看護学B (在宅療養を支える看護)	演習	60	2	3		×	×	×	X		×	
	開の	31202	1	NU20A20K	公衆衛生看護活動展開論 A (発達・健康課題と看護)	講義	15	1	2	>32単位必修	\vdash		×	_	X	X	X
	応	31180	2	NU30C02E	公衆衛生看護活動展開論B (公衆衛生看護技術)	演習	60	2	3	1	×	X	×	X	_	×	X
	用	31203	1	NU30C03K	公衆衛生看護活動展開論 C (組織活動・社会資源)	講義	15	1	3	3	×	×	×	X		×	×
		31181	2	NU40C01K	公衆衛生看護管理論(健康危機管理を含む)	講義	15	1	4		×	×	×	X	_	×	×
		31204	1	NU20A21E	学校保健	演習	30	1	2		×	×	×	-	×	×	×
		31204	1	NU40C02K	学校健康相談	講義	15	1	4	 		-	×	×	_	×	
		31182	1	NU40C02K NU40C03K	産業保健	講義	15	1	4	1 1	×	×	X	-	×	×	
		31155	1	NU30A07J	成人看護学実習	実習		4	3	1 1	×	_	×	-	×		×
\Box		91199	1	NO 20 A 0 / J	八八百哎丁大日	犬百	100	(4)	3	1	1^	_^	_^	_^	_^	_^	_^

24	:科目	科目	科目	科目	授業科目	授業	授業	単位数	配置	修得単位・備考	他学	科・	他学	部科	目履修	多の可	否
1	717 11	コード	明細	ナンバリング	投耒村日	形式	時間数	平凹奴	年次	1000年世 1 開与	Е	Ре	Pc	С	W	F	M
		31156	2	NU30A08J	高齢者看護学実習 実		135	3	3		×	×	×	×	×	×	×
	看	31157	1	NU30A09J	小児看護学実習	実習	90	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	看護展開	31158	1	NU30A10J	母性看護学実習	実習	90	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	開	31159	1	NU30A11J	精神看護学実習	実習	90	2	3		×	×	×	×	×	×	\times
	の応用	31160	1	NU 30 A 12 J	在宅看護学実習	実習	90	2	3		×	×	×	×	×	×	\times
	用	31183	2	NU 20 A 22 J	公衆衛生看護学実習 A (活動展開の基礎)	実習	45	1	2		×	×	×	×	×	×	×
		31206	1	NU40C04J	公衆衛生看護学実習B (活動展開の応用)	実習	180	4	4	ノ	×	×	×	×	×	×	×
		31163	1	NU40A01K	国際看護論	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×	\times
		31207	1	NU10C02E	国際看護論演習	演習	60	2	1~4		×	×	×	×	×	×	\times
		31164	1	NU40A02K	看護マネジメント (医療安全含む)	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×	×
専		31165	1	NU40C05K	看護教育学	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×	×
専門科		31167	1	NU40A03K	研究方法論	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×	\times
Ħ		31208	1	NU41A01E	研究方法論演習 I	演習	30	1	4		×	×	×	×	×	×	\times
	看	31209	1	NU42A01E	研究方法論演習Ⅱ	演習	30	1	4		×	×	×	×	×	×	×
	看護学	31169	1	NU40C06K	看護生体情報論	講義	15	1	4	11単位必修を 含めて13単位	×	×	×	×	×	×	\times
	の発展	31170	1	NU40C07K	リハビリテーション看護	講義	15	1	4	選択	×	×	×	×	×	×	×
	展	31171	1	NU40C08K	がん看護	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×	×
		31210	1	NU40A04E	災害看護 (放射線災害を含む)	演習	30	1	4		×	×	×	×	×	×	×
		31154	1	NU40A05K	ターミナルケア論	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×	×
		31173	1	NU40C09E	代替療法と看護	演習	30	1	4		×	×	×	×	×	×	\times
		31211	1	NU40C10K	生と死の倫理	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×	×
		31176	2	NU47A01E	科学的思考基礎演習VII(看護プロフェッショナルへの学び)	演習	30	1	4		×	×	×	×	×	×	×
		31185	1	NU40A06J	総合実習	実習	135	3	4		×	×	×	×	×	×	×

他学科・他学部科目履修の可否は、各学科カリキュラム表に記載されている。 \bigcirc が付いているものは基本的に履修が可能であり、卒業要件単位となる。ただし、授業内容と授業形式によっては人数に制限があるため、担当教員の了解を受ける必要がある。

なお、履修登録できない科目のほとんどは、①同種の科目が自学科用にある場合か、②学科必修の科目等で他学科学生を受け入れる余地がない場合に当てはまる。

3. 看護学部看護学科科目の履修に関する規程

この規程は、看護学部看護学科の臨地実習および研究方法論演習、科学的思考基礎演習VIIに関わる科目の履修要件を定めるものである。

- 1. 看護師養成課程における臨地実習科目(必修)および研究方法論演習 I、科学的思考基礎演習 VIを履修するためには、履修年次前年までの学科必修科目を修得済みであることが条件となる(ただし、下表に記載されている科目以外の未修得科目が 2 科目以内までは履修可とする)。
- 2. 保健師養成課程における公衆衛生看護学実習Bを履修するためには、1年次から3年次までの学科必修科目を全て修得済みであることが条件となる。

3C-1 PSP4			履修要件科目
配置 年次	科目		学科科目
T-00		修得済み科目	定期試験の受験資格が必要条件となる科目
2 年次	基礎看護学実習	人体構造機能学 A 人体構造機能学 B 科学的思考基礎演習Ⅲ 科学的思考基礎演習Ⅲ 援助技術論A	科学的思考基礎演習Ⅳ 援助技術論B
	公衆衛生看護学実習A	公衆衛生学	公衆衛生看護学概論
	成人看護学実習	成人看護学A	成人看護学B 科学的思考基礎演習VI
	高齢者看護学実習		高齢者看護学B 科学的思考基礎演習VI
3年次	小児看護学実習	17 22 45 대 첫 단 1학 1학 7억 11 1	小児看護学B 科学的思考基礎演習VI
3 年次	母性看護学実習	一 科学的思考基礎演習Ⅳ 科学的思考基礎演習 V 基礎看護学実習	母性看護学 B 科学的思考基礎演習 VI
	精神看護学実習	- 坐视有成于天日	精神看護学B 科学的思考基礎演習VI
	在宅看護学実習		在宅看護学B 科学的思考基礎演習VI
	総合実習		
	科学的思考基礎演習Ⅵ	3年次のすべての実習	
	研究方法論演習 I		
4年次	研究方法論演習Ⅱ	研究方法論演習 I	
	公衆衛生看護学実習B	保健統計 公衆衛生看護活動展開論 B 公衆衛生看護活動展開論 C	

- 3. 臨地実習科目を履修するには、大学で実施する定期健康診断を受診していなければならない。やむを 得ず受診できなかった学生は、該当する項目を他の機関で受診し、大学に診断書を提出する。
- 4. 臨地実習科目を履修するには、大学で実施する感染症に対する指定の抗体検査を受けなければならない。やむを得ず検査ができなかった学生は、該当する項目を他の機関で実施し、指定された期日までに大学へ検査結果を報告する。検査の結果で陰性の場合、指示された項目のワクチンを指定された期日までに必ず接種し、大学に証明書を提出する。
- 5. 臨地実習科目を履修するには、傷害・賠償等保険に加入しなければならない。
- 6. この規程に定めるもののほか、必要な事項は看護学部教授会が定める。

附則

- 1. この規程は、2009年4月1日から施行する。
- 2. この規程は、2010年4月1日から施行する。
- 3. この規程は、2011年4月1日から施行する。
- 4. この規程は、2012年4月1日から施行する。
- 5. この規程は、2013年4月1日から施行する。
- 6. この規程は、2014年4月1日から施行する。ただし、2013年度入学生から適用する。
- 7. この規程は、2018年4月1日から施行する。
- 8. この規程は、2020年4月1日から施行する。

履修要項IV 経営学部 〔全学教養科目および学科科目の履修〕

1.	卒業に必要な最低修得単位・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	97
2.	授業科目、単位数および履修規程 経営学科	
	(1) 全学教養科目	
	(2) 学科科目	102

1. 卒業に必要な最低修得単位 経営学部

<2020(令和2)年度入学生>

[経営学科]

2019年度~

					2013 12	
		科	目区分	最低修得单位	Î.	
		建学の精神		4 単位		
		基礎演習		2 単位		
卒		从日報	(英語)	8 単位のうち		
卒業に	至	外国語	(英語以外)	英語を4単位以上		
以以	全学教養科目	健康スポーツ		1 単位	合計	
要	養	留学			35単位	
なり	科目	人文				
単		社会		16単位		
お		自然				
必要な単位および規程		情報		4 単位		
	学	基幹科目		18単位	\	
2	学科科	専門基礎科目		60単位のうち専門基礎科目6単位以上	合計 78単位	
-	Ħ	専門科目		専門科目52単位以上	(0年)丛	
		白選択※			11単位	
			合計	124単位以上		

※全学教養科目、学科科目、他学部科目の中から履修。

留意事項

1. 自由に選択できる単位について

卒業に必要な最低修得単位は経営学科124単位となっているが、全学教養科目と学科科目の最低修得単位数を合計しても124単位にはならず、11単位の不足が生じることになる。この不足は、全学教養科目・自分が所属する学科の学科科目・他学科及び他学部の学科科目(これらは全て卒業要件単位に含まれる科目群である)の中から自由に履修し、単位を修得して充足させることができる。ただし、他学科及び他学部の学科科目の履修に際しては、受講制限をする科目もあるので注意すること。

2. 科目の重複履修について

全学教養科目について、科目の重複履修が可能である。ただし、同一担当者による同一内容の場合、或いは同一時期に重複して履修することはできない。<a href="\frac{\tau}{2} = \frac{\tau}{2}	重複履修回数		重複履修回数
キリスト教の精神と文化Ⅱ	2	中国語ⅢB	2
キリスト教の精神と文化Ⅲ	2	中国語IV B	2
体育実技A	4	コリアンⅢB	2
体育実技B	4	コリアンⅣB	2
総合英語V	2	外国語としての日本語ⅢB	2
総合英語VI	2	外国語としての日本語IVB	2
ドイツ語ⅢB	2	その他の外国語A	3
ドイツ語IVB	2	その他の外国語B	3
フランス語ⅢB	2	その他の外国語C	3
フランス語ⅣB	2	その他の外国語D	3
		海外ボランティア	2

<この規程は2017(平成29)年度入学生から適用される。>

2. 授業科目、単位数および履修規程

[経営学部]

履修に関しては次のことに注意すること。

- 1. ○印は必修科目を示す。
- 2. □印は選択必修科目を示す。
- 3. [] 印は [] 内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。
- 4. 各授業科目は、それぞれ固有の科目コードを持つ。
- 5. 1年間に登録できる単位数は、卒業要件に関わる科目が47単位未満で、総単位数は56単位以内とする。 ただし、前学年度のGPAが3.0以上の学生は、卒業要件科目については50単位未満、総単位数は60 単位以内とする。

<経営学科>

(1) 全学教養科目

2015年度~

学科目	科目コード	科目明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位
7# 24 0	10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化 I	講義	30	2	1	
建学の 精神	10051	1	LA12A01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	2	1	4 単位必修
41111	10052	1	LA33C01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	2	3	
基礎演習	10053	1	LA10A01E	大学基礎演習	演習	30	2	1	
	10054	1	LA11B02E	英語コミュニケーションI	演習	30	1	1)
	10058	1	LA11B01E	総合英語I	演習	30	1	1	
	10055	1	LA12B02E	英語コミュニケーションⅡ	演習	30	1	1	
	10059	1	LA12B01E	総合英語Ⅱ	演習	30	1	1	
	10056	1	LA23B02E	英語コミュニケーションⅢ	演習	30	1	2	
	10060	1	LA23B01E	総合英語Ⅲ	演習	30	1	2	
	10057	1	LA24B02E	英語コミュニケーションⅣ	演習	30	1	2	
	10061	1	LA24B01E	総合英語IV	演習	30	1	2	
	10062	1	LA35B01E	総合英語V	演習	30	1	3	
	10063	1	LA36B01E	総合英語VI	演習	30	1	3	
	10064	1	LA10B01E	多言語に触れる	演習	30	1	1	
	10065	1	LA11B03E	ドイツ語IA	演習	30	1	1	
	10066	1	LA12B03E	ドイツ語ⅡA	演習	30	1	1~2	
	10067	1	LA11B04E	ドイツ語IB	演習	30	1	1	
	10068	1	LA12B04E	ドイツ語ⅡB	演習	30	1	1~2	
	10069	1	LA23B03E	ドイツ語ⅢA	演習	30	1	2	8 単位必修
	10070	1	LA24B03E	ドイツ語IVA	演習	30	1	2~3	(うち英語 4 単位以上)
外国語	10071	1	LA23B04E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2	英語以外の外の
71国前	10072	1	LA24B04E	ドイツ語IVB	演習	30	1	2~3	>国語を含める
	10073	1	LA11B05E	フランス語IA	演習	30	1	1	場合は同一言
	10074	1	LA12B05E	フランス語ⅡA	演習	30	1	1~2	語2単位また は同一言語。
	10075	1	LA11B06E	フランス語IB	演習	30	1	1	単位とする
	10076	1	LA12B06E	フランス語ⅡB	演習	30	1	1~2	1 1 1 2 7 3
	10077	1	LA23B05E	フランス語ⅢA	演習	30	1	2	
	10078	1	LA24B05E	フランス語ⅣA	演習	30	1	2~3	
	10079	1	LA23B06E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	
	10080	1	LA24B06E	フランス語IVB	演習	30	1	2~3	
	10081	1	LA11B07E	中国語IA	演習	30	1	1	
	10082	1	LA12B07E	中国語IIA	演習	30	1	1~2	
	10083	1	LA11B08E	中国語IB	演習	30	1	1	
	10084	1	LA12B08E	中国語IIB	演習	30	1	1~2	
	10085	1	LA23B07E	中国語ⅢA	演習	30	1	2	
	10086	1	LA24B07E	中国語IVA	演習	30	1	2~3	
	10087	1	LA23B08E	中国語ⅢB	演習	30	1	2	
	10088	1	LA24B08E	中国語IVB	演習	30	1	2~3	
	10089	1	LA11B09E	コリアンIA	演習	30	1	1	

学科目	科目コード	科目明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位
	10090	1	LA12B09E	コリアンⅡA	演習	30	1	1~2	
	10091	1	LA11B10E	コリアンIB	演習	30	1	1	
	10092	1	LA12B10E	コリアンⅡB	演習	30	1	1~2	
	10093 10094	1	LA23B09E LA24B09E	コリアンⅢA コリアンⅣA	演習 演習	30	1	2 2~3	
	10094	1	LA23B10E	コリアンⅢB	演習	30	1	2~3	
	10096	1	LA24B10E	コリアンIVB	演習	30	1	2~3	
	10097	1	LA10B02E	その他の外国語A	演習	30	1	1~4	
	10098	1	LA10B03E	その他の外国語B	演習	30	1	1~4	
外国語	10099	1	LA10B04E	その他の外国語C	演習	30	1	1~4	
	10100	1	LA10B05E	その他の外国語D	演習	30	1	1~4	
	10101	1	LA11B11E	外国語としての日本語 I A	演習	30	1	1	
	10102	1	LA12B11E	外国語としての日本語 II A	演習	30	1	1	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	10103	1	LA11B12E	外国語としての日本語IB	演習	30	1	1	外国におい て中等教育
	10104	1	LA12B12E	外国語としての日本語 II B	演習	30	1	1	を受けた学
	10105	1	LA23B11E	外国語としての日本語ⅢA	演習	30	1	2	生にのみ適
	10106	1	LA24B11E	外国語としての日本語IVA	演習	30	1	2	用用
	10107 10108	1	LA23B12E LA24B12E	外国語としての日本語ⅢB 外国語としての日本語ⅣB	演習 演習	30	1	2 2	J
	10108	1 2	LA24B12E LA10B06J	体育実技A	実技	30	1	1~4	
健康	10109	1	LA10B003	体育実技B	実技	30	1	1~4	
スポーツ	10109	1	LA10B075 LA10B08K	健康科学	講義	30	2	1~4	1 単位必修
	10023	1	LA10B09K	運動と健康	講義	30	2	1~4	
	10030	1	LA10C01J	海外語学研修A	実習	120	4	1	
	10032	1	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2	
	10033	1	LA10C02J	海外語学研修C	実習	60	2	1	
留学	10034	1	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2	
	10048	1	LA10C03J	海外文化研修	実習	60	2	1~4	
	10035	2	LA10C04J	異文化体験	実習	60	2	1~4	
	10049	1	LA10C05K	留学生のための日本学基礎	講義	30	2	1~4	
	10110	1	LA10A02K	人文科学の考え方	講義	30	2	1	
	10111	1	LA10C06K	哲学とは何か	講義	30	2	1~4	
	10112	1	LA10C07K	いのちを考える	講義	30	2	1~4	
	10113	1	LA10C08K	ライフステージの心理学	講義	30	2	1~4	
	10114 10115	1 1	LA10C09K LA10C10K	人生と儀礼 カウンセリングとメンタルヘルス	講義講義	30	2 2	1~4	
	10115	1	LA10C10K LA10C11K	対人関係の心理学	講義	30	2	1~4	
人文	10117	1	LA10C11K	歴史に学ぶ	講義	30	2	1~4	
	10118	1	LA10C13K	日本社会の歴史	講義	30	2	1~4	
	10119	1	LA10C14K	ことばと人間	講義	30	2	1~4	
	10120	1	LA10C15K	文学を楽しむ	講義	30	2	1~4	
	10121	1	LA10C16K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1~4	
	10122	1	LA10C17K	ビジュアルアーツと現代	講義	30	2	1~4	
	10123	1	LA10C18K	本を読む (人文)	講義	30	2	1~4	
	10124	1	LA10A03K	社会科学の考え方	講義	30	2	1	
	10036	1	LA10C19K	日本国憲法	講義	30	2	1~4	
	10125	1	LA10C20K	法律と暮らし	講義	30	2	1~4	
	10126	1	LA10C21K	現代社会と政治学	講義	30	2	1~4	
	10127 10128	1	LA10C22K	グローバリゼーションとは何か 現代社会と経済学	講義	30	2 2	1~4	必修6単位を
	10128	1 1	LA10C23K LA10C24K	現代任会と経済子 資本主義の現在	講義講義	30	2	1~4	〉含め16単位以
	10129	1	LA10C24K LA10C25K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1~4	上選択
	10130	1	LA10C25K LA10C26K	人権から見た教育と労働	講義	30	2	1~4	
,	10131	1	LA10C20K LA10C27K	働くということ	講義	30	2	1~4	
社会	10133	1	LA10C28K	共に生きる	講義	30	2	1~4	
	10134	1	LA10C29K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1~4	
	10135	1	LA10C30K	家族を考える	講義	30	2	1~4	
	10136	1	LA10C31K	お金と税金のはなし	講義	30	2	1~4	
	10137	1	LA10C32K	ICTと暮らし	講義	30	2	1~4	
	10138	1	LA10C33K	メディアとつきあう	講義	30	2	1~4	
[10139	1	LA10C34K	時事問題研究	講義	30	2	1~4	
	10140	1	LA10C35K	地域を学ぶ	講義	30	2	1~4	
	10141	1	LA10C36J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1~4	
	10142	1	LA10C37K	本を読む(社会)	講義	30	2	1~4	
	10143	1	LA10A04K	自然科学の考え方	講義	30	2	1 1	
44 🖰	10144	1	LA10C38K	生命科学の基礎知識	講義	30	2	1~4	
自然	10145	1	LA10C39K	生命倫理健康とは何か	講義講義	30	2 2	1~4	
	10146 10147	1 1	LA10C40K LA10C41K	食といのち	講義	30	2	1~4	
	10147	1	LAIUC41K	良しいりり	冊我	JU		1.04	1

学科目	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位
	10148	1	LA10C42K	地球環境と人間	講義	30	2	1~4	
	10149	1	LA10C43K	資源エネルギーと人間	講義	30	2	1~4	
	10150	1	LA10C44K	災害と人間	講義	30	2	1~4	
自然	10151	1	LA10C45K	科学技術の現在	講義	30	2	$1 \sim 4$	
	10152	1	LA10C46K	はじめての統計学	講義	30	2	$1 \sim 4$	
	10153	1	LA10C47K	宇宙のはなし	講義	30	2	$1 \sim 4$	
	10154	1	LA10C48K	本を読む(自然)	講義	30	2	$1\sim4$	J
	10044	1	LA11B13E	コンピュータ基礎 I	演習	30	2	1	
情報	10045	1	LA12B13E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	2	1	4 単位必修
	10046	2	LA20B01E	コンピュータ実習	演習	30	2	2	

≪ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する注意事項≫

原則

- 1) (A系列の科目) I Aの単位を修得していなければ II Aを履修することはできない。 II Aの単位を修得していれば III Aまたは III Aを 履修することができる。
- 2) (B系列の科目) I Bの単位を修得していなければ II Bを履修することはできない。 II Aまたは II Bの単位を修得していれば III Bまたは II Bを履修することができる。
- 3) 検定試験等を利用した単位認定については別途定める(「履修登録の手引き」を参照のこと)。
- 4) ⅢBおよびIVBについては、授業の内容が異なり、かつ担当教員の了解を得ることを前提として重複履修を認める。重複の回数はそれぞれ2度を上限とする(初回を含めて合計3度)。重複履修によって修得した単位は自由科目の単位として認定される。
- 5) 外国において中等教育を受けた学生、編転入・再入学の学生、休学後に復学した学生、留学を予定する学生等、特殊な 事情のある学生は、学務部で相談すること。

≪ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する規程≫

経営学部経営学科の学生は、外国語科目8単位を次の1)または2)または3)の方法で履修すること。

1) 英語4単位+英語以外の同一外国語4単位。

英語以外の外国語については、ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの各言語からひとつを選択し、1年次前期においてIAとIBを、および1年次後期においてⅡAとⅢBを履修する。(以上1年次4単位)。

2) 英語6単位+英語以外の同一外国語2単位。

英語以外の外国語については、ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの各言語からひとつを選択し、1年次前期において(IAとIB)を、または1年次の通年にわたって(IAとIIA)もしくは(IBとIIB)を履修する。(以上1年次2単位)。

3) 英語を8単位修得し、それ以外の外国語については上記の「原則」にしたがって自由に履修すること。

<この規程は2020(令和2)年度入学生から適用される。>

(2)学科科目〔経営学科〕

基幹科目18単位、専門科目60単位のうち、専門基礎科目6単位以上、専門科目52単位以上、学科科目合計78単位以上

2019年度~

			±4 1-1	₹4 H	201 F1		松子市	110 Mr		3C+PE		Ah è	2科.	他学	部科	日居	修の	可丕
7	2科目		科目コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業形式	授業 時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	E	Pe	_		W	F	N
		_	41001		MAIIAOIK	経営学入門 I	講義	30	2	1		0	0	0	0	0	0	0
		H		1	MA11A01K							+-	+-	-	<u> </u>	⊢	+-	+
		-	41002	1	MA12A01K	経営学入門Ⅱ	講義	30	2	1		0	0	0	0	0	0	0
		-	41009	1	MA11A02E	リーダーシップ演習Ⅰ	演習	30	2	1		×	×	×	×	×	×	X
	基於		41012	2	MA22A01E	リーダーシップ演習Ⅱ	演習	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	基幹科目		41010	2	MA23A01E	リーダーシップ演習Ⅲ	演習	30	2	2	9 科目18単位必修	×	×	×	×	×	×	×
	目		41110	1	MA31A01E	経営演習 I	演習	30	2	3		X	×	×	×	×	×	×
			41111	1	MA32A01E	経営演習Ⅱ	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
			41112	1	MA43A01E	経営演習Ⅲ	演習	30	2	4		×	×	×	×	×	×	×
			41113	1	${\rm MA44A01E}$	経営演習IV	演習	30	2	4		×	×	×	×	×	×	×
			40001	2	${ m MA10B01K}$	公共哲学	講義	30	2	1~2		0	\circ	0	0	0	\circ	0
			40006	2	MA10B02K	政治学	講義	30	2	1~2		×	×	×	×	×	×	×
			41114	1	MA10B03K	行政学	講義	30	2	1~2		0	0	0	0	0	0	0
		Ī	40008	1	MA10B04K	コミュニケーションと言語学	講義	30	2	1~2		0	0	0	0	0	0	0
		ı	40011	2	MA10B05K	倫理学	講義	30	2	1~2		×	×	×	×	×	×	×
		f	40017	1	MA10B06K	法学	講義	30	2	1~2		×	×	×	×	×	×	×
		ŀ	40018	1	MA10B07K	社会学	講義	30	2	1~2		×	×	×	X	×	×	X
		ŀ	40020	2	MA10B08K	哲学の歴史	講義	30	2	1~2			0	0	0	0	0	0
		ŀ	40023	2	MA10B09K	宗教学	講義	30	2	1~2			0	0	0	0	0	0
	直	ŀ	41084	2	MA10B10K	社会経済史	講義	30	2	1~2		6	0	0	0	0	0	0
	専門基礎科目	H	41072	2	MA10B11K	会社法I	講義	30	2	1~2	6 単位以上選択	6	0	0	0	0	0	0
	基礎	ŀ	41072	2	MA10B11K MA10B12K	会社法Ⅱ	講義	30	2	1~2			1	0	-	0	1	0
	科	H					_	_	2	_		0	0	-	0	-	0	+
	Н	-	41121	1	MA10B13K	日本史A	講義	30		1~2		×	×	×	X	X	×	×
		ŀ	41122	1	MA10B14K	日本史B	講義	30	2	1~2		×	×	×	X	X	×	X
		41123	1	MA10B15K	西洋史	講義	30	2	1~2		×	×	×	X	×	×	×	
		-	41124	1	MA10B16K	東洋史	講義	30	2	1~2	_	×	×	×	×	×	×	X
		-	41115	1	MA11C01K	人文地理学 I	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
			41116	1	MA12C01K	人文地理学Ⅱ	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
			41117	1	MA21C01K	自然地理学 I	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
			41118	1	MA22C01K	自然地理学Ⅱ	講義	30	2	2			×	×	×	×	×	×
			41119	1	MA20C01K	地誌	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
			41125	1	$\rm MA20C02K$	発達心理学	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
			41005	2	${ m MA21B01K}$	経営学総論 I *	講義	30	2	2		0	0	0	0	0	0	0
			41006	2	$\rm MA22C02K$	経営学総論 Ⅱ	講義	30	2	2		0	0	0	0	0	0	0
			41016	1	MA31C01K	経営戦略論 I	講義	30	2	3		0	0	0	0	0	0	0
			41017	1	MA32C01K	経営戦略論 Ⅱ	講義	30	2	3		0	0	0	0	0	0	0
			41018	2	MA30C01K	経営組織論	講義	30	2	3		0	0	0	0	0	0	0
		Ī	41020	2	MA20C02K	経営管理論	講義	30	2	2		0	0	0	0	0	0	0
		戦	41019	3	MA30C02K	経営情報論	講義	30	2	3		0	0	0	0	0	0	0
		略	41087	2	MA20C03K	情報システム論	講義	30	2	2		0	0	0	0	0	0	0
		7	41088	2	MA20C04K	ITビジネス論	講義	30	2	2		0	0	0	0		0	
		ネジ	41008	1	MA20C05K	ビジネスリサーチ	講義	30	2	2		×	1	×		×	+	_
	マネ	メ	41026	3	MA30C03K	イノベーションマネジメント	講義	30	2	3			0	0	_	_	_	0
専	ネジ	ント	41027	2	MA30C04K	ビジネスプラニング	講義	30	2	3		0	0	0		0	+	0
門科	メン	系	41031	2	MA30C05K	ベンチャービジネス論	講義	30	2	3		6	0	0	0	_	+	0
科 目	<u> </u>	+	41022	1	MA21C02K	人材マネジメント論 I	講義	30	2	2	▶52単位以上選択	6	0	0	_	0	_	-
	コー	ŀ	41022	1	MA21C02K MA22C03K	人材マネジメント論Ⅱ	講義	30	2	2		0	0	0	0	0	0	0
	ス	H	41023	1				30	2	3		-	+ -	0	-	_	_	+-
		ŀ			MA30C06K	国際経営論	講義					10	0	+_	-	-		_
		+	41028	3	MA20C06K	経営史 英語本語 28200000000000000000000000000000000000	講義	30	2	2		0	0	0	0	0	0	0
		-	41071	2	MA20C07K	英語で学ぶ経営学入門	講義	30	2	2		0	0	0	_	_	_	-
		_	41007	1	MA10C01K	キャリアデザイン	講義	30	2	1		×	-	×		×	_	×
		マ	41041	1	MA21B02K	マーケティング論 [*	講義	30	2	2		0	0	0		 	+ -	_
		<u> </u> ケ	41042	1	MA22C03K	マーケティング論Ⅱ	講義	30	2	2		10	0	0	_	0	0	-
		テ	41043	2	MA20C08K	流通システム論	講義	30	2	2		0	0	0		0	+	0
		ン	41044	2	MA20C09K	サプライチェーン・マネジメント論	講義	30	2	2		0	0	0	0	0	0	0
		グ	41045	1	MA30C07K	マーケティング戦略論	講義	30	2	3		0	0	0	0	0	0	0
1	1	系	41094	1	MA31C02K	消費者行動論 I	講義	30	2	3	<u> </u>	0	0	0	0	0	0	

	944 b	,	科目	科目	科目	極拳利口	授業	授業	京任新	配置	极知识片 胜老	他当	料・	他学	:部科	日履	修の	可否
	学科目	=	コード	明細	ナンバリング	授業科目	形式	時間数	単位数	年次	修得単位・備考	Е	Ре	Pc	С	W	F	N
	マネ	マー	41095	1	MA32C02K	消費者行動論Ⅱ	講義	30	2	3		0	0	0	0	0	0	0
	×	ケテ	41097	1	MA30C08K	グローバル・マーケティング論	講義	30	2	3		0	\circ	0	0	0	\circ	0
	マネジメントコース	ィング系	41046	1	MA30C09K	サービス・マーケティング論	講義	30	2	3		0	0	0	0	0	0	0
	l ス	系	41100	1	MA30C10K	マーケティング調査	講義	30	2	3		0	0	0	0	0	0	0
			41047	3	MA10C02K	入門簿記論	講義	30	2	1		0	0	0	0	0	0	0
			41048	3	MA10C03K	基礎簿記論	講義	30	2	1		0	\circ	0	0	0	0	0
			41049	3	MA20C10K	応用簿記論	講義	30	2	2		0	0	0	0	0	\circ	0
			41050	3	MA20C11K	会社簿記論	講義	30	2	2		0	0	0	0	0	0	0
			41003	1	MA11B01K	会計学入門 I *	講義	30	2	1		0	0	0	0	0	0	0
			41004	1	MA12C02K	会計学入門Ⅱ	講義	30	2	1		0	0	0	0	0	\circ	0
	会計	会	41051	1	MA21C03K	財務会計論 I	講義	30	2	2		0	0	0	0	0	0	0
	フ	会計	41052	1	MA22C04K	財務会計論Ⅱ	講義	30	2	2		0	\circ	0	0	0	0	0
	ア	フ	41059	3	MA30C11K	経営分析論	講義	30	2	3		0	\circ	0		0	\circ	0
	イナ	アイ	41055	3	MA20C12K	原価計算論	講義	30	2	2		0	0	0	0	0	0	0
	シス	ナン	41056	3	MA20C13K	工業簿記論	講義	30	2	2]	0	0	0	0	0	0	0
	コ	ノス系	41057	2	MA30C12K	管理会計論	講義	30	2	3		0	\circ	0		0	\circ	0
	ス	糸	41066	2	MA31C03K	租税論 I	講義	30	2	3		0	\circ	0	0	0	\circ	0
			41067	2	MA32C03K	租税論Ⅱ	講義	30	2	3		0	\circ	0	0	0	0	0
			41061	1	MA21C04K	ファイナンスI	講義	30	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0
			41062	1	MA22C05K	ファイナンスⅡ	講義	30	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0
			41063	2	MA20C14K	金融論	講義	30	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0
			41064	2	MA20C15K	国際金融論	講義	30	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0
			41065	1	MA20C16K	証券市場論	講義	30	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0
		ビジ	40016	1	MA10C04K	マクロ経済学入門	講義	30	2	1		0	0	0	0	0	0	0
١		ジネ	40015	1	MA10C05K	ミクロ経済学入門	講義	30	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0
専門		· ス エ	41038	2	MA20B01K	ビジネスエコノミクス入門*	講義	30	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0
科	地	コ	41039	2	MA21C05K	ビジネスエコノミクスI	講義	30	2	2	1	0	0	0	0	0	×	0
目	域	ノミク	41101	1	MA32C04K	ビジネスエコノミクスⅡ	講義	30	2	3	1	0	0	0	0	0	×	0
	イノ	クラ	41102	1	MA30C13K	国際貿易論	講義	30	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0
	ベル	ス系	41103	1	MA20C17K	医療経済学	講義	30	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0
	<u>ن</u>		41034	1	MA31C04K	地域産業経営論 I	講義	30	2	3		0	0	0	0	0	0	0
	ョン	地域	41035	1	MA32C05K	地域産業経営論Ⅱ	講義	30	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0
	コー	マ	41120	1	MA30C14K	観光ビジネス論	講義	30	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0
	ż	ネジ	41098	2	MA30C15K	地域ブランド論	講義	30	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0
		メン	41036	3	MA20C18K	公共経済論	講義	30	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0
		h	41030	2	MA30C16K	ソーシャルビジネス論	講義	30	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0
		系	41085	2	MA20C19K	公共経営特講	講義	30	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0
		1.0"	41068	1	MA11C02K	ビジネスコミュニケーションI	講義	30	2	1		0	0	0	0	0	0	0
	1	ビジ	41069	1	MA12C03K	ビジネスコミュニケーションⅡ	講義	30	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0
		ネス	41070	2	MA20C20K	外書講読	講義	30	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0
	レン	コ	41104	1	MA20C21K	ビジネス英語	講義	30	2	2	1	Ō	0	Ō		0	0	0
	糸	ミュ	41105	1	MA30C17K	時事英語	講義	30	2	3	1	×	×		×	×	×	×
		_	41076	2	MA10C06K	TOEFL/TOEIC集中講座	講義	30	2	1	1	×	×	×	×	×	×	×
			41106	1	MA20C22E	グローバルビジネス演習	演習	30	2	2		×	×		×	×	×	×
		7	41107	1	MA30C18E	地域マネジメント演習	演習	30	2	3	1	×	_		×	×	×	×
		イ 	41108	1	MA30C19E	地域インターンシップ	演習	30	2	3	1	×	×		×	×	×	×
		ド	41079	1	MA21C05K	経営特講I	講義	30	2	2	1	0	0	0	\vdash	0	0	0
	5	ス	41080	1	MA22C06K	経営特講Ⅱ	講義	30	2	2	1	Ō	Ō	_	Ō	0		0
	3	タ デ	41081	1	MA23C01K	経営特講Ⅲ	講義	30	2	2	1	0	Ō	0	0	0	0	0
		イ 系	41082	1	MA24C01K	経営特講N	講義	30	2	2	1	Ō	0	-	0	0	0	0
		TN .	41083	1	MA25C01K	経営特講V	講義	30	2	2	1	Ō	0		- 1		0	0
			41109	1	MA40C01S	卒業研究			4	4	 	×	_	-	×	-	×	
_											1					_	_	_

^{*}は選択必修科目。指定4科目(8単位)から2科目(4単位)以上を選択。

他学科・他学部科目履修の可否は、各学科カリキュラム表に記載されている。○が付いているものは基本的に履修が可能であり、卒業要件単位となる。ただし、授業内容と授業形式によっては人数に制限があるため、担当教員の了解を受ける必要がある。

なお、履修登録できない科目のほとんどは、①同種の科目が自学科用にある場合か、②学科必修の科目等で他学科学生を受け入れる余地がない場合に当てはまる。

履修要項V

〔資格科目の履修(文学部・生活科学部・看護学部・経営学部)〕

資格	}取得にあたって	105
1.	教育職員免許状取得に関する科目の履修	106
2.	学校図書館司書教諭資格に関する科目の履修	144
3.	社会福祉主事任用資格に関する科目の履修	146
4.	社会教育主事任用資格に関する科目の履修(文学部)	148
5.	学芸員資格に関する科目の履修 (文学部)	150
6.	日本語教育施設の教員資格に関する科目の履修······(文学部)	152
7.	小学校英語指導者認定協会資格認定に関する科目の履修·········· (文学部現代英語学科)	156
8.	保育士資格に関する科目の履修····································	158
9.	社会福祉士国家試験受験資格に関する科目の履修······ (生活科学部心理福祉学科)	164
10.	公認心理師国家試験受験資格に関する科目の履修······ (生活科学部心理福祉学科)	168
11.	認定心理士資格に関する科目の履修	172
12.	福祉心理士資格に関する科目の履修 (生活科学部心理福祉学科)	174
13.	管理栄養士国家試験受験資格・栄養士資格に関する科目の履修… (生活科学部食物健康科学科)	178
14.	食品衛生監視員任用資格·食品衛生管理者資格に関する科目の履修… (生活科学部食物健康科学科)	184
15.	看護師国家試験受験資格に関する科目の履修 (看護学部看護学科)	187
16.	保健師国家試験受験資格に関する科目の履修	191

資格取得にあたって

本学には、文学部・生活科学部・看護学部・経営学部の各学科を卒業する課程と併せて、下記の資格を取得する課程がある。資格取得のためには、卒業要件に係る科目以外に履修しなければならない科目もある。資格取得にあたっては、自分の将来設計を十分考慮の上、履修計画を立ててほしい。資格の多くは学外実習を伴っており、かなり質的に高度なものが要求され、対社会的な問題となることも十分認識すべきである。

学生諸君は、<u>まず第一に卒業を確実にすべき</u>であり、次に取得しようとする資格に<u>優先順位をつけて履修すべき</u>である。時間割の重複などで資格に必要な科目が履修できない場合もある。将来の可能性を広げる資格に対して、強い目的意識と自覚をもちながら履修することを心がけてほしい。

なお、資格取得を希望する場合は、必ずIC-UNIPAで資格登録をすること。

取得可能な資格 <2020(令和2)年度入学生>

学部名	学科名	取得可能資格
	現代英語学科	・小学校英語指導者資格 ・中学校教諭一種免許状(英語) ・高等学校教諭一種免許状(英語)
1.34.15	児童教育学科 児童教育専攻	· 小学校教諭一種免許状· 幼稚園教諭一種免許状· 特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者)(肢体不自由者)(病弱者)
文学部	児童教育学科 幼児保育専攻	・保育士資格 ・幼稚園教諭一種免許状
	文化交流学科	・中学校教諭一種免許状(社会) ・高等学校教諭一種免許状(地理歴史)
	全学科	・社会教育主事任用資格・学芸員資格・日本語教育施設の教員資格
生活科学部	心理福祉学科	 ・社会福祉士国家試験受験資格 ・公認心理師国家試験受験資格 ※卒業後、大学院での学び、または実務経験が必要 ・日本心理学会認定心理士資格 ・福祉心理士資格 ・中学校教諭一種免許状(社会) ・高等学校教諭一種免許状(公民) ・高等学校教諭一種免許状(福祉)
	食物健康科学科	・管理栄養士国家試験受験資格 ・栄養士資格 ・食品衛生監視員任用資格 ・食品衛生管理者資格 ・中学校教諭一種免許状(家庭) ・高等学校教諭一種免許状(家庭) ・栄養教諭一種免許状
文学部 生活科学部 経営学部	全学科 (幼児保育専攻を除く)	・学校図書館司書教諭 (小中高の教員免許状を取得する場合)
経営学部	経営学科	・中学校教諭一種免許状(社会) ・高等学校教諭一種免許状(公民)
看護学部	看護学科	・看護師国家試験受験資格 ・保健師国家試験受験資格 ・養護教諭一種免許状
全学部	全学科	·社会福祉主事任用資格

1. 教育職員免許状取得に関する科目の履修

(1) 教育職員免許状取得の要件

本学で取得できる教育職員免許状は、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、「知的障害者」 「肢体不自由者」「病弱者」の特別支援学校教諭一種免許状、「英語」「社会」「家庭」の中学校教諭一種免 許状、「英語」「地理歴史」「公民」「福祉」「家庭」の高等学校教諭一種免許状、養護教諭一種免許状、栄 養教諭一種免許状である。これを取得するためには、次の要件を満たさなくてはならない。(教育職員免 許法、同施行規則による。)

1. 教育職員免許状取得の要件

[2019(平成31)年度以降入学生]

〔施行規則第66条の6〕

免許状の				大学における最	最低修得単位数		合計
種類	免許教科	基礎資格	日本国憲法	体育	外国語 コミュニケーション	情報機器の操作	
幼科	推園一種	学士	2	2	2	2	8
小牛	学校一種	学土	2	2	2	2	8
特別支援 学校 一種	知的障害者 肢体不自由者 病弱者	学士 小学校・中学校・ 高等学校又は幼稚 園の普通免許状					
中学校 一種	英語 社会 家庭	学士	2	2	2	2	8
高等学校 一種	英語 地理歷史 公民 福祉 家庭	学士	2	2	2	2	8
養護	教諭一種	学士	2	2	2	2	8
栄養	教諭一種	学士 管理栄養士 養成課程修了	2	2	2	2	8

〔施行規則第2~5、7、9、10条〕

						大学における	る最低修得	単位数				
					教科及	び教職に関する科目等						
免許状の	免許教科	基礎資格	領域及び	教科及び	教育	Fの基礎的理解に関する科	目等		養護に関	栄養に係	特別支援	合計
種類			保育内容 の指導法 に関する 科目	教科の指	礎的理解	道徳、総合的な学習の時 間等の指導法 (内容) 及 び生徒指導、教育相談等 に関する科目	教育実践 に関する 科目		する科目	る教育に 関する科 目	教育に関する科目	
幼科		学士	16		10	4	7	14				51
小当	学校一種	学土		30	10	10	7	2				59
特別支援 学校 一種	知的障害者 肢体不自由者 病弱者	学士 小学校・中学校・ 高等学校又は幼稚 園の普通免許状									26	26
中学校 一種	英語 社会 家庭	学士		28	10	10	7	4				59
高等学校 一種	英語 地理歷史 公民 福祉 家庭	学士		24	10	8	5	12				59
養護	教諭一種	学士			8	6	7	7	28			56
栄養	教諭一種	学士 管理栄養士 養成課程修了			8	6	4			4		22

[参考] 二種免許状取得に必要な単位数

免許状の種類				科目の区分と最低	修得単位数				
W-14-15-1917/sh	領域及び保	教科及び教		教育の基礎的理解に関する科目等		1.24.134444	養護に関す	栄養に係る	特別支援教
学校種別等	育内容の指 導法に関す る科目	科の指導法 に関する科 目	教育の基礎 的理解に関 する科目	道徳、総合的な学習の時間等の 指導法(内容)及び生徒指導、 教育相談等に関する科目	教育実践に 関する科目	大学が独自 に設定する 科目	る科目	教育に関する科目	育に関する 科目
幼稚園	12		6	4	7	2			
小学校		16	6	6	7	2			
特別支援									16
中学校		12	6	6	7	4			
養護			5	3	6	4	24		
栄養			5	3	4			2	

小一種:児童教育専攻

(2) 小学校教諭一種(児童教育学科児童教育専攻)

1. 免許法施行規則第66条の6に定める科目の履修

免許法施行規則に定める科	目区分		-	左記に対応する授業科目及び単位	数				
科目	単位数	科目 コード	科目明細	該当授業科目	1年次	配置2年次	年次3年次	4年次	備考
日本国憲法	2	10036	1	○日本国憲法	[2)	
		10028	2	体育実技A	(()	1))	
体育	2	10109	1	体育実技B	[(1	D)	
		10030	1	運動と健康	(2	2)	
		10054	1	英語コミュニケーションI	1				
		10055	1	英語コミュニケーションⅡ	1				
		10058	1	総合英語 I	1				
		10059	1	総合英語Ⅱ	1				
		10067	1	ドイツ語IB	1				
外国語コミュニケーション	2	10068	1	ドイツ語ⅡB	1				2 科目選択必修
)		10075	1	フランス語 I B	1				
		10076	1	フランス語ⅡB	1				
		10083	1	中国語IB	1				
		10084	1	中国語IIB	1				
		10091	1	コリアンIB	1				
		10092	1	コリアンⅡB	1				
		10044	1	コンピュータ基礎 I	2				
情報機器の操作	2	10045	1	コンピュータ基礎Ⅱ	2				1 科目選択必修
		10046	2	コンピュータ実習		2			

[※]科目ナンバリングは、学科の全学教養科目を参照すること。

[※]授業科目の前の○印は教職必修科目。

[※]単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。

^{※[]}印は[]内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

2. 教科及び教科の指導法に関する科目

免	許法施行規則上の 科目区分等	最低修得	 身単位数			本学開	設科目	配置		次お。 位数	kび	/++ -tv
	各科目に含める ことが必要な事項	小学校 一種	小学校 二種	科目 コード	科目明細	科目 ナンバリング	該当授業科目	1 年次	2年次	3 年次	4 年次	備考
				13057	2	PE20C06K	○小学校国語科研究		2			
	国語(書写を含む。)			13560	1	PE10C08E	○書写	1				
	四明(百分で百0。)			13030	1	PE11C03K	言語教育 I	[2)	
				13031	1	PE12C03K	言語教育Ⅱ	[2)	
				13059	1	PE20C08K	○小学校社会科研究		2			
	社会			13554	1	PE11C04K	地域社会研究 I	[2)	
				13555	1	PE12C04K	地域社会研究Ⅱ	[2)	
	算数			13061	2	PE20C10K	○小学校算数科研究		2			
	异奴			13033	2	PE10C08K	数学教育	[2)	
	THEY			13063	2	PE20C12K	○小学校理科研究		2			
	理科			13035	2	PE10C09K	自然科学教育	[2)	
教				13065	2	PE20C14K	○小学校生活科研究		2			
科に	生活			13540	2	PE21A01E	○労作体験 I			1		
教科に関する専門的				13541	2	PE22A01E	○労作体験Ⅱ			1		
る				13536	1	PE11A01E	○音楽 I	1				
専門	李承			13537	1	PE12A01E	○音楽 Ⅱ	1				
的事	音楽			13548	1	PE21C01E	○音楽Ⅲ		1			
項				13549	1	PE22C01E	○音楽IV		1			
				13538	1	PE11A02E	○美術 I	1				
	阿斯 工作	30	16	13539	1	PE12A02E	○美術 Ⅱ	1				
	図画工作			13550	1	PE21C02E	○美術Ⅲ		1			
				13551	1	PE22C02E	○美術Ⅳ		1			
	家庭			13071	2	PE20C16K	○小学校家庭科研究		2			
				13069	1	PE20C04K	○小学校体育科研究		2			
	<i>4.≠</i>			13542	1	PE31A01J	○児童体育 I			1		
	体育			13543	1	PE32A01J	○児童体育Ⅱ			1		
				13556	1	PE20C19E	野外活動		(2]		
	外国語			13041	2	PE31C03E	○小学校英語教育 I		2			
	外国語			13042	2	PE32C03E	○小学校英語教育Ⅱ		2			
(H)	国語 (書写を含む。)			13058	3	PE20C07K	○小学校国語科教育法		2			
情 報	社会			13060	2	PE20C09K	○小学校社会科教育法		2			
機器	算数			13062	3	PE20C11K	○小学校算数科教育法		2			
股各 が	理科			13064	3	PE20C13K	○小学校理科教育法		2			
5教	生活			13066	3	PE20C15K	○小学校生活科教育法		2			
材が	音楽			13067	3	PE20C02K	○小学校音楽科教育法		2			
活導用法	図画工作			13068	3	PE20C03K	○小学校図工科教育法		2			
用を	家庭			13072	3	PE20C17K	○小学校家庭科教育法		2			
(情報機器及び教材の活用を含む。) 各教科の指導法	体育			13070	2	PE20C05K	○小学校体育科教育法		2			
°	外国語			13561	1	PE20C23K	○外国語(英語)教育法		2			

[※]授業科目の前の○印は教職必修科目。

[※]単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。

^{※[]}印は[]内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

[※]規則上は、「教科に関する専門的事項」について、小学校10教科から1以上の科目について修得する。

[※]規則上は、「各教科の指導法」について、小学校一種では10教科各1単位以上、小学校二種では10教科のうち6 教科以上(音楽、図画工作、体育のうち2教科以上を含む)をそれぞれ1単位以上、となっている。

小一種:児童教育専攻

3. 教育の基礎的理解に関する科目等

免言	午法施行規則上の科目区分等	最低 単位	修得 立数			本学開設	数科 目	配置		欠お。 立数	よび	備考
	各科目に含める ことが必要な事項	小学校 一種	小学校 二種	科目コード	科目明細	科目 ナンバリング	授業科目	1 年次	2年次	3年次	4 年次	
tel.	教育の理念並びに教育に関する歴 史及び思想			13002	2	PE10C02K	○教育原理	2				
教育の基	教職の意義及び教員の役割・職務 内容 (チーム学校運営への対応を 含む。)			13047	1	PE10C01K	○教職論	2				
基礎的理解	教育に関する社会的、制度的又は 経営的事項(学校と地域との連携 及び学校安全への対応を含む。)	10	6	13015	2	PE20C01K	○教育行政学	2				
関	・幼児、児童及び生徒の心身の発達 及び学習の過程			13004	1	PE11C01K	○教育心理学 I	2				
する科	・特別の支援を必要とする幼児、児 童及び生徒に対する理解			13562	1	PE10C13K	○特別支援教育	(2)	
117	・教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)			13091	1	PE10C03K	○教育課程論	2				
及道	・道徳の理論及び指導法			13049	2	PE10C04K	○道徳教育の理論と方法	2				
及び生徒指導、教育知道徳、総合的な学習の	・総合的な学習の時間の指導法			13559	1	PE30C21K	○総合的な学習の時間の 教育法			2		
領的な	・特別活動の指導法			13050	2	PE10C05K	○特別活動の理論と方法	2				
教育和	・教育の方法及び技術 (情報機器及 び教材の活用を含む。)	10	6	13051	4	PE10C06K	○教育方法論	2				
談時	・生徒指導の理論及び方法						○生徒・進路指導の理論					
相談等に関する科目の時間等の指導法	・進路指導及びキャリア教育の理論 及び方法			13552	2	PE31C02K	と方法			2		
る導科法	・教育相談(カウンセリングに関す る基礎的な知識を含む。)の理論及			13553	2	PE32C02K	○教育相談の基礎			2		
i iii	る差疑的な知識を含む。)の生調及 び方法			13027	3	PE40C01K	教育相談実践				2	
教育宝				13053	2	PE31C01J	○初等教育実習 I (事前事後指導 1 単位 を含む)			3		
選	· 教育実習	5	5	13054	2	PE32C01J	○初等教育実習Ⅱ			2		
教育実践に関する科				13510	1	PE40C06J	初等教育実習Ⅲ (事前事後指導1単位 を含む)				3	
目	·教職実践演習	2	2	13089	1	PE40C02E	○教職実践演習 (小学校・幼稚園)				2	

[※]授業科目の前の○印は教職必修科目。

4. 大学が独自に設定する科目

大学が独自に設定する科目	最低修得 単位数	科目コード	科目明細	科目 ナンバリング	該当授業科目	1年次	置年次お 単位数 2 2 4 2 4 2 4 次 次	び 4年次	備考
	2	13052	1	PE20C18J	○介護等体験 (事前事後指導含む)		[2]		

^{※[]}印は[]内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

^{※「}教職実践演習(小学校・幼稚園)」は、履修する年度の当初(通常は4年次4月)までに、初等教育実習Ⅰ・Ⅱの単位修得した者のみ受講可能。なお、3年次において留学のため初等教育実習Ⅰ・Ⅱを履修できない者は、4年次に教育実習を行い受講可能。

(3) 幼稚園教諭一種(児童教育学科児童教育専攻)

1. 免許法施行規則第66条の6に定める科目の履修

免許法施行規則に定める科	目区分		7	左記に対応する授業科目及び単位	数				
科目	単位数	科目 コード	科目明細	該当授業科目	1年次	配置2年次	年次3年次	4 年次	備考
日本国憲法	2	10036	1	○日本国憲法	[2	2)	
		10028	2	体育実技A	[(1))	
体育	2	10109	1	体育実技B	[(1))	
		10030	1	運動と健康	[2	2)	
		10054	1	英語コミュニケーションI	1				
		10055	1	英語コミュニケーションⅡ	1				
		10058	1	総合英語 I	1				
		10059	1	総合英語Ⅱ	1				
		10067	1	ドイツ語 I B	1				
 外国語コミュニケーション	2	10068	1	ドイツ語ⅡB	1				2 科目選択必修
// Eme (200)		10075	1	フランス語 I B	1				
		10076	1	フランス語ⅡB	1				
		10083	1	中国語IB	1				
		10084	1	中国語IIB	1				
		10091	1	コリアンIB	1				
		10092	1	コリアンIB	1				
		10044	1	コンピュータ基礎 I	2				
情報機器の操作	2	10045	1	コンピュータ基礎Ⅱ	2				1 科目選択必修
		10046	2	コンピュータ実習		2			

[※]科目ナンバリングは、学科の全学教養科目を参照すること。

児童教育学科児童教育専攻学生の幼稚園免許の取得について

- 1) 児童教育学科児童教育専攻学生の教員免許取得の基本は、小学校一種免許状である。
- 2) 幼稚園免許取得のためには、小学校免許取得のための条件に加え、「保育内容総論」、「保育内容教育法・健康」、「保育内容教育法・人間関係」、「保育内容教育法・言葉」、「幼児理解」、「教育相談」を修得すれば、免許申請の基準を満たす。教育実習は、「初等教育実習Ⅰ・Ⅱ」(小学校)を当てることができる。
- 3) そのため、「初等教育実習Ⅲ」(幼稚園) を履修しようとする者は、幼稚園での教育に強い関心を持ち、 幼稚園に就職することを強く希望する者に限る。Ⅲに関しては学生自身が事前に実習可能な幼稚園を 探し、受け入れの了承を得る必要がある。

[※]授業科目の前の○印は教職必修科目。

[※]単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。

^{※[]} 印は[] 内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

幼一種:児童教育専攻

2. 領域及び保育内容の指導法に関する科目

免	色許法施行規則上の 科目区分等	最低修得	导単位数			本学問	開設科目	配置		欠お。 立数	k び	this doe
	各科目に含める ことが必要な事項	幼稚園 一種	幼稚園 二種	科目 コード	科目明細	科目 ナンバリング	該当授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	備考
				13057	2	PE20C06K	○小学校国語科研究		2			
	国語			13030	1	PE11C03K	言語教育 I	[2)	
				13031	1	PE12C03K	言語教育Ⅱ	[2)	
	算数			13061	2	PE20C10K	○小学校算数科研究		2			
	异奴			13033	2	PE10C08K	数学教育	[2)	
				13065	2	PE20C14K	○小学校生活科研究		2			
加	生活			13540	2	PE21A01E	○労作体験 I			1		
領域に関する専門的事				13541	2	PE22A01E	○労作体験 Ⅱ			1		
に関				13536	1	PE11A01E	○音楽 I	1				
する	音楽			13537	1	PE12A01E	○音楽Ⅱ	1				
専	日本			13548	1	PE21C01E	○音楽Ⅲ		1			
門的				13549	1	PE22C01E	○音楽IV		1			
事項				13538	1	PE11A02E	○美術 I	1				
- 54	 図画工作	16	12	13539	1	PE12A02E	○美術 Ⅱ	1				
				13550	1	PE21C02E	○美術Ⅲ		1			
				13551	1	PE22C02E	○美術Ⅳ		1			
				13069	1	PE20C04K	○小学校体育科研究		2			
	 体育			13542	1	PE31A01J	○児童体育 I			1		
				13543	1	PE32A01J	○児童体育Ⅱ			1		
				13556	1	PE20C19E	野外活動		[2]		
				13565	1	PE30C34K	○保育内容総論			2		
				13502	2	PE30C04E	○保育内容教育法・健康			2		
保電	育内容の指導法			13503	2	PE30C05E	○保育内容教育法・人間関係			2		
(情	報機器及び教材の活			13504	2	PE30C06E	○保育内容教育法・環境			2		※ 1
用を	と含む。)			13505	2	PE30C07E	○保育内容教育法・言葉			2		
				13506	2	PE31C04E	○保育内容教育法・表現 I			2		* 1
				13507	2	PE32C04E	○保育内容教育法・表現Ⅱ			2		* 1

- ※1 施行規則第2条第1項付表備考第13号による。
- ※授業科目の前の○印は教職必修科目。
- ※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。
- ※〔〕印は〔〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。
- ※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。
- ※規則上の修得単位数

「領域に関する専門的事項」:小学校の教科に関する専門的事項、国語、算数、生活、音楽、図画工作及び体育から1以上の科目について修得する。

3. 教育の基礎的理解に関する科目等

免言	件法施行規則上の科目区分等		修得 立数			本学開設	数科目	配置		欠お。 立数	はび	備考
	各科目に含める ことが必要な事項	幼稚園 一種	幼稚園 二種	科目 コード	科目明細	科目 ナンバリング	授業科目	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
÷r).	・教育の理念並びに教育に関する歴 史及び思想			13002	2	PE10C02K	○教育原理	2				
教育の基	・教職の意義及び教員の役割・職務 内容(チーム学校運営への対応を 含む。)			13047	1	PE10C01K	○教職論	2				
基礎的理解	教育に関する社会的、制度的又は 経営的事項(学校と地域との連携 及び学校安全への対応を含む。)	10	6	13015	2	PE20C01K	○教育行政学	2				
関	・幼児、児童及び生徒の心身の発達 及び学習の過程			13004	1	PE11C01K	○教育心理学 I	2				
する科	・特別の支援を必要とする幼児、児 童及び生徒に対する理解			13562	1	PE10C13K	○特別支援教育	(2)	
目	・教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)			13091	1	PE10C03K	○教育課程論	2				
及び生徒指導、教育相談等に関する科道徳、総合的な学習の時間等の指導法	・教育の方法及び技術(情報機器及 び教材の活用を含む。)			13051	4	PE10C06C	○教育方法論	2				
な学習の時間	・幼児理解の理論及び方法	4	4	13563	1	PE30C22E	○幼児理解			1		
等に関する科目 間等の指導法	・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法			13564	1	PE30C23E	○教育相談			1		
教育実践				13053	2	PE31C01J	○初等教育実習 I (事前事後指導 1 単位 を含む)			3		
一践に	・教育実習	5	5	13054	2	PE32C01J	○初等教育実習Ⅱ			2		
に関する科				13510	1	PE40C06J	初等教育実習Ⅲ (事前事後指導1単位 を含む)				3	
目目	· 教職実践演習	2	2	13089	1	PE40C02E	○教職実践演習 (小学校・幼稚園)				2	

[※]授業科目の前の○印は教職必修科目。

4. 大学が独自に設定する科目

	最低修得	科目	科目	科目		配置	重年次 単位		kΰ	Mb. In
大学が独自に設定する科目	単位数	コード	明細	ナンバリング	該当授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	備考
	14	13052	1	PE20C18J	○介護等体験 (事前事後指導含む)		(2	2)		

^{※「}領域及び保育内容の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」の修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

^{※[]}印は[]内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

[※]修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

特支一種:児童教育専攻

(4) 特別支援教育〔特別支援学校教諭一種(知的障害者)(肢体不自由者)(病弱者)〕

1. 特別支援教育に関する科目

ク ラ ニ トン ト	**		修得 立数				本学開設科目			配置			よび	
	施行規則に る科目区分	特別支援一種	特別支援二種	科目 コード	科目明細	科目 ナンバリング	授業科目	中心となる領域	含む領域	1年次		3年次	4年次	備考
				13512	1	PE10C11K	○特別支援教育原論			2				
特別支援	数育の			13528	1	PE30C20K	世界の障害児教育					2		
基礎理論は	に関する科目	2	2	13527	1	PE30C19K	障害児福祉論					2		
				13511	2	PE10C10K	特別支援教育総論					2		
	心身に障害の ある幼児、児			13557	1	PE30C10K	○知的障害児の心理・生理・病理	知的障害者				2		
	童又は生徒の 心理、生理及			13519	1	PE30C12K	○肢体不自由児の心理・生理・病理	肢体不自由者				2		
diam'r tires	び病理に関す る科目	1.0	8	13521	1	PE30C14K	○病弱児の心理・生理・病理	病弱者				2		
特別支援 教育領域 に関する		16	0	13514	1	PE31C05K	○知的障害児の教育 I	知的障害者				2		
科目	心身に障害のある幼児、児			13515	1	PE32C05K	○知的障害児の教育 Ⅱ	知的障害者				2		
	童又は生徒の 教育課程及び 指導法に関す			13518	1	PE30C11K	○肢体不自由児の教育	肢体不自由者	知的障害者			2		
	る科目			13520	1	PE30C13K	○病弱児の教育	病弱者	知的障害者			2		
				13529	1	PE40C07E	○特別支援教育実地演習	知的障害者	肢体不自由者 病弱者				4	
免許状に 定められ ることと	心身に障害の ある幼児、児 童又は生徒の 心理、生理及 び病理に関す る科目			13526	1	PE30C18K	発達障害児の心理検査法	重複·LD等 領域	知的障害者			2		情緒・LD・ ADHD
なる特別 支援教育	・心身に障害のあ る幼児、児童又	5	5	13522	1	PE30C15K	○重度重複障害児教育論	重複·LD等 領域				2		重複
領域以外の領域に	は生徒の心理、 生理及び病理に 関する科目			13513	1	PE20C22K	○発達障害児教育論	重複·LD等			2			情緒・LD・ ADHD
関する科目	・心身に障害のあ る幼児、児童又			13524	1	PE30C17K	○言語の発達と障害	重複·LD等 領域	知的障害者 聴覚障害者			2		言語・情緒
	は生徒の教育課 程及び指導法に 関する科目			13558	1	PE30C16K	○感覚障害児教育論		視覚障害者 聴覚障害者			2		
心身に障害 のある幼児、 児童又は生 徒について の教育実習		3	3	13530	1	PE40C08J	○特別支援教育実習(事前 事後指導 1 単位を含む)						3	

[※]授業科目の前の○印は特別支援教育に関する科目の必修科目

重複:重複障害 言語:言語障害 情緒:情緒障害 LD:学習障害 ADHD:注意欠陥多動性障害

[※]備考欄に、重複、言語、情緒、LD、ADHDという記載がある授業科目では、その内容も学ぶ。

(5) 幼稚園教諭一種(児童教育学科幼児保育専攻)

1. 免許法施行規則第66条の6に定める科目の履修

免許法施行規則に定める科	目区分		7	左記に対応する授業科目及び単位	数				
科目	単位数	科目 コード	科目明細	該当授業科目	1年次	配置2年次	年次3年次	4 年次	備考
日本国憲法	2	10036	1	○日本国憲法	[2	2)	
		10028	2	体育実技A	[(1))	
体育	2	10109	1	体育実技B	[(1))	
		10030	1	運動と健康	[2	2)	
		10054	1	英語コミュニケーションI	1				
		10055	1	英語コミュニケーションⅡ	1				
		10058	1	総合英語 I	1				
		10059	1	総合英語Ⅱ	1				
		10067	1	ドイツ語 I B	1				
 外国語コミュニケーション	2	10068	1	ドイツ語ⅡB	1				2 科目選択必修
// Eme (200)		10075	1	フランス語 I B	1				
		10076	1	フランス語ⅡB	1				
		10083	1	中国語IB	1				
		10084	1	中国語IIB	1				
		10091	1	コリアンIB	1				
		10092	1	コリアンIB	1				
		10044	1	コンピュータ基礎 I	2				
情報機器の操作	2	10045	1	コンピュータ基礎Ⅱ	2				1 科目選択必修
		10046	2	コンピュータ実習		2			

[※]科目ナンバリングは、学科の全学教養科目を参照すること。

[※]授業科目の前の○印は教職必修科目。

[※]単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。

^{※[]}印は[]内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

幼一種:幼児保育専攻

2. 領域及び保育内容の指導法に関する科目

免	色許法施行規則上の 科目区分等	最低修得	导単位数			本学界	界設科目	配置	置年2 単位		はび	744 -447
	各科目に含める ことが必要な事項	幼稚園 一種	幼稚園 二種	科目 コード	科目明細	科目 ナンバリング	該当授業科目	1 年次	2 年次	3年次	4 年次	備考
	国語			13173	1	PC30C08K	○小学校国語科研究			2		
	算数			13174	1	PC30C09K	○小学校算数科研究			2		
	生活			13175	1	PC30C10K	○小学校生活科研究			2		
اجرا				13192	1	PC11A01E	○音楽 I	1				
領域に関する専門的事項	音楽			13193	1	PC12A01E	○音楽Ⅱ	1				
に	日末			13204	1	PC21C01E	音楽Ⅲ		1			
する				13205	1	PC22C01E	音楽IV		1			
専				13194	1	PC11A02E	○美術 I	1				
門	図画工作			13195	1	PC12A02E	○美術Ⅱ	1				
事項				13206	1	PC21C02E	美術Ⅲ		1			
		16	12	13207	1	PC22C02E	美術IV		1			
				13176	1	PC30C11K	○小学校体育科研究			2		
	体育			13198	1	PC21A02J	幼児体育 I		1			
				13199	1	PC22A02J	幼児体育Ⅱ		1			
				13221	1	PC20C32E	○保育内容総論		2			
				13151	2	PC20C24E	○保育内容教育法・健康		2			
保育	育内容の指導法			13152	2	PC10C12E	○保育内容教育法・人間関係	2				
(情	報機器及び教材の活			13153	2	PC20C25E	○保育内容教育法・環境		2			
用を	と含む。)			13154	2	PC10C13E	○保育内容教育法・言葉	2				
				13155	2	PC30C12E	○保育内容教育法・表現 I			2		
				13156	2	PC30C13E	○保育内容教育法・表現Ⅱ			2		

- ※授業科目の前の○印は教職必修科目。
- ※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。
- ※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。
- ※規則上の修得単位数

「領域に関する専門的事項」:小学校の教科に関する専門的事項、国語、算数、生活、音楽、図画工作及び体育から1以上の科目について修得する。

3. 教育の基礎的理解に関する科目等

免記	件法施行規則上の科目区分等	最低 単位	修得 立数			本学開設	科目	配置		欠お。 立数	k び	備考
	各科目に含める ことが必要な事項	幼稚園 一種	幼稚園 二種	科目 コード	科目明細	科目 ナンバリング	授業科目	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
Jet .	・教育の理念並びに教育に関する歴 史及び思想			13102	2	PC10C02K	○教育原理	2				
教育の基	・教職の意義及び教員の役割・職務 内容(チーム学校運営への対応を 含む。)			13168	1	PC10C07K	○教職論	2				
基礎的理解に関する科	・教育に関する社会的、制度的又は 経営的事項(学校と地域との連携 及び学校安全への対応を含む。)	10	6	13169	1	PC20C21K	○教育行政学		2			
牌に 関	・幼児、児童及び生徒の心身の発達 及び学習の過程			13103	3	PC10C08K	○保育の心理学	2				
する 科	・特別の支援を必要とする幼児、児 童及び生徒に対する理解			13220	1	PC20C31K	○特別支援教育		(2)	
目	・教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)			13214	1	PC10C11K	○幼児教育課程論	2				
及び生徒指導、教育相談等に道徳、総合的な学習の時間等	・教育の方法及び技術(情報機器及 び教材の活用を含む。)			13170	3	PC20C22K	○教育方法論		2			
、教育相談	・幼児理解の理論及び方法	4	4	13216	1	PC20C28E	○幼児理解		1			
等に関する科目	・教育相談(カウンセリングに関す る基礎的な知識を含む。)の理論及 び方法			13217	1	PC20C29E	○教育相談		1			
教育実践に関する科	· 教育実習	5	5	13185	1	PC21C04J	○初等教育実習Ⅲ (事前事後指導1単位 を含む)		2			
に関す				13186	2	PC22C04J	○初等教育実習Ⅳ		3			
る 科 目	· 教職実践演習	2	2	13177	1	PC40C04E	○保育・教職実践演習 (幼稚園)				2	

※授業科目の前の○印は教職必修科目。

- ※〔〕印は〔〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。
- ※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。
- ※「保育・教職実践演習(幼稚園)」は、教育実習が終了した者のみ受講可能。

4. 大学が独自に設定する科目

「領域及び保育内容の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」の修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

中一種・高一種:現代英語、文化交流、心理福祉、食物健康科、経営

(6) 中学校教諭一種、高等学校一種(現代英語学科、文化交流学科、心理福祉学科、食物健康科学科、経営学科)

1. 免許法施行規則第66条の6に定める科目の履修

免許法施行規則に定める	る科目区分	}			左記に対応する授業科目及び単位数	ζ				
							配置	年次	:	備考
科目	単位数	該当学科	科目 コード	科目明細	該当授業科目	1 年次	2年次	3 年次	4 年次) 拥 与
日本国憲法	2	全学科	10036	1	○日本国憲法	[2)	
			10028	2	体育実技A	[(1))	
		現代英語 文化交流	10109	1	体育実技B	[(1))	
		710,700	10030	1	運動と健康	[2)	
			10028	2	体育実技A	[1)	
体育	2	心理福祉 食物健康科	10109	1	体育実技B	[1)	選択必修
		20,770,7711	10030	1	運動と健康	[:	2)	
			10028	2	体育実技A	[1)	
		経営	10109	1	体育実技B	[1)	体育実技は、Aまた はB、1単位必修
			10030	1	○運動と健康	[:	2)	
		現代英語	12144	1	English Communication I	1				
		- 現代共品	12145	1	English Communication II	1				
			10054	1	英語コミュニケーションI	1				
		文化交流	10055	1	英語コミュニケーションⅡ	1				
		又几次流	10056	1	英語コミュニケーションⅢ		1			
			10057	1	英語コミュニケーションⅣ		1			
			10054	1	英語コミュニケーションⅠ	1				
			10055	1	英語コミュニケーションⅡ	1				
 外国語コミュニケーション	2		10058	1	総合英語 I	1				
外国語コミューケーション	2	心理福祉	10059	1	総合英語Ⅱ	1				2 科目選択必修
		食物健康科	10056	1	英語コミュニケーションⅢ		1			2 村日 選扒 必 廖
			10057	1	英語コミュニケーションⅣ		1			
			10060	1	総合英語Ⅲ		1			
			10061	1	総合英語IV		1			
			10054	1	英語コミュニケーションⅠ	1				
		経営	10055	1	英語コミュニケーションⅡ	1				2 科目選択必修
		程呂	10058	1	総合英語 I	1				2 村日選扒必修
			10059	1	総合英語Ⅱ	1				
		現代英語	10044	1	コンピュータ基礎 I	2				
		文化交流	10045	1	コンピュータ基礎Ⅱ	2				1 科目選択必修
情報機器の操作	2	心理福祉	10046	2	コンピュータ実習		2			
		食物健康科	10044	1	コンピュータ基礎 I	2				1科目選択必修
		経営	10045	1	コンピュータ基礎Ⅱ	2				1 竹日思扒坐修

[※]科目ナンバリングは、学科の全学教養科目を参照すること。

[※]授業科目の前の○印は教職必修科目。

[※]単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。

^{※□}印は選択必修科目を示す。

^{※[〕}印は[〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

2. 教科及び教科の指導法に関する科目

[現代英語学科] 中学校教諭一種 (英語)、高等学校教諭一種 (英語)

免言	午法施行規則上の 科目区分等	最低	氐修得单位	立数			本学開	司設科目	配	置年次; 単位		All to
	各科目に含める ことが必要な事項	中学校 一種	中学校 二種	高等学校 一種	科目コード	科目明細	科目 ナンバリング	該当授業科目	1年次	2年次	3 4 年次	備考
					12131	2	EN20C37K	○英語学概論A		(:	2)	
					12075	3	EN20C38K	○英語学概論B		(:	2)	
	英語学				12132	2	EN20C06K	○英語学概論C		(:	2]	
	火 茄子				12016	2	EN11C03E	○Grammar I	(1)	
					12017	2	EN12C03E	○Grammar II	(1)	
					12072	2	EN10C05K	言語習得論	[2)	
					12078	3	EN20C39K	○英語文学概論A		(:	2)	
	英語文学				12136	2	EN20C40K	○英語文学概論B		(:	2)	
教	大阳入于				12115	3	EN20C41E	英語文学講読		(:	2]	
教科に関する専門的事					12079	3	EN20C42K	児童文学 (英語圏)		(2]	
関す					12146	1	EN21A01E	○English Communication III		1		最低修得単位
る寅					12147	1	EN22A01E	○English CommunicationIV		1		中一種20単位以上 高一種20単位以上
門					12018	2	EN21C03E	○Writing I		[1)	(中二種10単位以上)
事		28	12	24	12019	2	EN22C03E	○Writing II		[1)	
項	英語コミュニ				12055	3	EN20C35E	政治・経済の英語		(:	2)	
	ケーション				12058	3	EN20C36E	文化・社会の英語		(:	2)	
					12006	2	EN20C03E	Advanced Listening		[1)	
					12014	2	EN20C02E	Advanced Reading		[1)	
					12150	1	EN20C01E	Advanced Conversation		[1)	
					12153	1	EN30C01E	Advanced Discussion			[1]	
					12071	1	EN20C26K	○異文化理解教育		(:	2)	
	異文化理解				12116	3	EN30C07K	地域研究 (英語圏)			[2]	
					12135	2	EN20C43K	児童文化 (英語圏)		(:	2)	
					12127	1	EN30C03E	○英語科教育法 I			(2)	具瓜佐須畄台
	各教科の指導法 (情報機器及び教材の 活用を含む。)				12128	1	EN30C04E	○英語科教育法 Ⅱ			[2]	最低修得単位 中一種8単位以上、
					12129	1	EN30C05E	○英語科教育法Ⅲ			[2]	高一種 4 単位以上 (中二種 2 単位以上)
					12130	1	EN30C06E	○英語科教育法Ⅳ			[2]	

[※]授業科目の前の○印は教職必修科目。

中学校一種免許・高等学校一種免許の取得について

[※]単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。

^{※[]}印は[]内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

[※]修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

中一種:文化交流

教科及び教科の指導法に関する科目 〔文化交流学科〕中学校教諭一種(社会)

	免許法施行規則上の 科目区分等	最低修得	 导単位数			本学開	 司設科目	配		欠およ 立数	び	
	各科目に含める ことが必要な事項	中学校 一種	中学校 二種	科目コード	科目明細	科目 ナンバリング	該当授業科目	1 年次	2年次	3年次	4 年次	備考
				14206	2	CC20C13K	○日本史A		[2)	
				14207	2	CC20C14K	○日本史B		(2)	
				14147	2	CC20C11K	○西洋史		[2)	
				14142	2	CC20C12K	○東洋史		(2)	
				14211	3	CC20C15K	日本の歴史と文化		[2)	
	日本史・外国史			14208	1	CC21C01K	考古学 [[2)	
	口本文: 外国文			14209	1	CC22C01K	考古学Ⅱ		[2)	
				14218	2	CC20C22K	ヨーロッパの歴史と文化A		(2)	
				14219	2	CC20C23K	ヨーロッパの歴史と文化B		(2)	
				14212	2	CC20C16K	中国の歴史と文化A		[2)	
				14213	2	CC20C17K	中国の歴史と文化B		(2)	
教				14217	1	CC20C21K	イスラムの歴史と文化		(2)	
教科に関する専門的				14191	1	CC10B07K	○人文地理学 I	([2)			
関す				14192	1	CC10B08K	○人文地理学Ⅱ	([2)			最低修得単位
りる書	地理学 (地誌を含む。)			14246	1	CC21C02K	○自然地理学 I		2			中一種20単位以上
専門				14247	1	CC22C02K	○自然地理学Ⅱ		2			(中二種10単位以上)
事		28	12	14248	1	CC20C10K	○地誌		2			
項				14249	1	CC20C45K	○法学		[2)	
	「法律学、政治学			14250	1	CC20C46K	○生活と政治		[2)	
	「法律子、以石子」			14153	3	CC30C06K	国際関係論A			[2	?)	
				14154	3	CC30C07K	国際関係論B			〔2	?)	
				14188	2	CC10B03K	○社会学A	([2)			
	「社会学、経済学			14189	2	CC10B04K	○社会学B	([2)			
	14.云子、柱湃子]			14251	1	CC20C47K	○生活と国際経済		[2)	
				14252	1	CC20C48K	女性学		[2)	
				14163	2	CC20C41K	○比較宗教論		[2)	
	「哲学、倫理学、宗教学			14164	2	CC20C27K	アジアの宗教		[2)	
	「智子、冊理子、示教子」			14220	2	CC20C28K	キリスト教思想A		(2)	
				14221	2	CC20C29K	キリスト教思想B		[2)	
				50093	1	EX31C02K	○社会科教育法 I			2		
	5教科の指導法 情報機器及び教材の活用を含 か。)			50094	1	EX32C02K	○社会科教育法Ⅱ			2		最低修得単位
(情: む。)				50095	1	EX31C03K	○社会科・地理歴史科教育法 I			2		中一種 8 単位以上 (中二種 2 単位以上)
				50096	1	EX32C03K	○社会科・地理歴史科教育法 II			2		

[※]授業科目の前の○印は教職必修科目。

中学校一種免許・高等学校一種免許の取得について

^{※〔〕}印は〔〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

[※]単位数の□印は卒業要件の選択必修。

[※]修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

高一種:文化交流

2. 教科及び教科の指導法に関する科目

〔文化交流学科〕高等学校教諭一種(地理歴史)

	免許法施行規則上の 科目区分等	最低修得 単位数			本学界	朝設科目	配	置年/	欠お。 立数	よび	NA FO
	各科目に含める ことが必要な事項	高等学校 一種	科目 コード	科目明細	科目 ナンバリング	該当授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	備考
			14206	2	CC20C13K	○日本史A		[2)	
			14207	2	CC20C14K	○日本史B		[2)	
	日本史		14208	1	CC21C01K	考古学 I		[2)	
			14209	1	CC22C01K	考古学Ⅱ		[2)	
			14211	3	CC20C15K	日本の歴史と文化		[2)	
教			14147	2	CC20C11K	○西洋史		[2)	
教科に関する専門的事項			14142	2	CC20C12K	○東洋史		[2)	
関す			14218	2	CC20C22K	ヨーロッパの歴史と文化A		[2)	
りる声	外国史		14219	2	CC20C23K	ヨーロッパの歴史と文化B		[2)	最低修得単位 20単位以上
門門		24	14212	2	CC20C16K	中国の歴史と文化A		[2)	
自事			14213	2	CC20C17K	中国の歴史と文化B		[2)	
項			14217	1	CC20C21K	イスラムの歴史と文化		[2)	
			14191	1	CC10B07K	○人文地理学 I	([2)			
	人文地理学・自然地理学		14192	1	CC10B08K	○人文地理学Ⅱ	([2)			
	八文地垤子・日然地垤子 		14246	1	CC21C02K	○自然地理学 I		2			
			14247	1	CC22C02K	○自然地理学Ⅱ		2			
	地誌		14248	1	CC20C10K	○地誌		2			
各教	対科の指導法		50095	1	EX31C03K	○社会科・地理歴史科教育法 I			2		最低修得単位
(情	報機器及び教材の活用を含む。)		50096	1	EX32C03K	○社会科・地理歴史科教育法Ⅱ			2		4 単位以上

[※]授業科目の前の○印は教職必修科目。

中学校一種免許・高等学校一種免許の取得について

^{※〔〕}印は〔〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

[※]単位数の□印は卒業要件の選択必修。

[※]修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

中一種:心理福祉

2. 教科及び教科の指導法に関する科目

〔心理福祉学科〕中学校教諭一種(社会)

	免許法施行規則上の 科目区分等	最低修得	导単位数			本学開	 	配	置年2 単作	欠お。 立数		
	各科目に含める ことが必要な事項	中学校 一種	中学校 二種	科目コード	科目明細	科目 ナンバリング	該当授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	備考
				21168	1	WP10C34K	○日本史A	[2]			
				21169	1	WP10C35K	○日本史B	(2)			
	日本史・外国史			21171	1	WP10C37K	○西洋史	(2]			
	日本文 77国文			21170	1	WP10C36K	○東洋史	(2]			
				21115	1	WP20C37K	社会福祉発達史A		[2)	
				21116	1	WP20C38K	社会福祉発達史B		[2)	
				21172	1	WP21C13K	○人文地理学 I		[2)	
				21173	1	WP22C15K	○人文地理学Ⅱ		[2)	
	地理学 (地誌を含む。)			21174	1	WP21C14K	○自然地理学 I		[2)	
				21175	1	WP22C16K	○自然地理学Ⅱ		[2)	
教				21176	1	WP20C50K	○地誌		[2)	
教科に関する専門的				20014	1	WP10C17K	○法学	(2)			
関す				20015	1	WP10C23K	○生活と政治	(2]			最低修得単位
うる声	「法律学、政治学			20006	1	WP10C21K	人権と教育	(2]			中一種20単位以上
門	「伝祥子、以石子」			21157	1	WP20C48K	司法福祉論A		[2)	(中二性10年世以工)
事		28	12	21158	1	WP20C49K	司法福祉論B		[2)	
項				21159	1	WP30C11K	福祉行財政論A			(2]	
				20013	1	WP10C16K	○社会学	(2)			
				20012	1	WP10C22K	○生活と国際経済	(2]			
	「狂人冷 - 奴汝冷」			20018	1	WP10C24K	女性学	(2]			
	「社会学、経済学」			21118	1	WP12C02K	社会・集団・家族心理学Ⅱ	(2]			
				21061	1	WP20C26K	社会病理学		[2)	
				21149	1	WP20C44K	福祉運営管理論A		[2)	
				20004	1	WP10C20K	○人間と哲学	(2]			
	「托冯			20003	2	WP10C19K	○生命と倫理	(2]			
	「哲学、倫理学、宗教学」			21107	1	WP10C27K	人間観と倫理A	(2]			
				21108	1	WP10C28K	人間観と倫理B	(2]			
				50093	1	EX31C02K	○社会科教育法 I			2		
	各教科の指導法 情報機器及び教材の活用を含 む。)			50094	1	EX32C02K	○社会科教育法Ⅱ			2		最低修得単位
む。				50097	1	EX31C04K	○社会科・公民科教育法 I			2		中一種8単位以上 (中二種2単位以上)
				50098	1	EX32C04K	○社会科・公民科教育法Ⅱ			2		

[※]授業科目の前の○印は教職必修科目。

中学校一種免許・高等学校一種免許の取得について

^{※〔〕}印は〔〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

[※]修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

高一種:心理福祉

2. 教科及び教科の指導法に関する科目

[心理福祉学科] 高等学校教諭一種(公民)

免許法施行規則上の 科目区分等		最低修得 単位数	本学開設科目			配置年次および 単位数			よび	H+ 14	
	各科目に含める ことが必要な事項	高等学校 一種	科目 コード	科目明細	科目 ナンバリング	該当授業科目	1年次	2 年次	3 年次	4 年次	備考
			20014	1	WP10C17K	○法学	(:	2]			
			20015	1	WP10C23K	○生活と政治	(:	2]			
	 「法律学 (国際法を含む。)、政治		20006	1	WP10C21K	人権と教育	(:	2]			
	学(国際政治を含む。)		21157	1	WP20C48K	司法福祉論A		[2)	
			21158	1	WP20C49K	司法福祉論B		[2)	
教			21159	1	WP30C11K	福祉行財政論A			(2)	
教科に関する専門的事項	「社会学、経済学 (国際経済を含む。)」	24	20013	1	WP10C16K	○社会学	(:	2]			
関す			20012	1	WP10C22K	○生活と国際経済	(:	2)			
うる声			20018	1	WP10C24K	女性学	(:	2)			最低修得単位 20単位以上
門			21118	1	WP12C02K	社会・集団・家族心理学Ⅱ	(:	2)			
事			21061	1	WP20C26K	社会病理学		[2)	
項			21149	1	WP20C44K	福祉運営管理論A		[2)	
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」		20004	1	WP10C20K	○人間と哲学	(:	2]			
			20003	2	WP10C19K	○生命と倫理	[2]				
			21107	1	WP10C27K	人間観と倫理A	(2)				
			21108	1	WP10C28K	人間観と倫理B	[2]				
			21125	1	WP10C31K	発達心理学	(:	2]			
各教	対科の指導法		50097	1	EX31C04K	○社会科・公民科教育法 I			2		最低修得単位
	(情報機器及び教材の活用を含む。)		50098	1	EX32C04K	○社会科・公民科教育法 II			2		4 単位以上

[※]授業科目の前の○印は教職必修科目。

中学校一種免許・高等学校一種免許の取得について

^{※〔〕}印は〔〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

[※]修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

高一種:心理福祉

2. 教科及び教科の指導法に関する科目

〔心理福祉学科〕高等学校教諭一種(福祉)

免許法施行規則上の 科目区分等		最低修得 単位数	本学開設科目				配置年次および 単位数				備考
	各科目に含める ことが必要な事項	高等学校 一種	科目 コード	科目明細	科目 ナンバリング	該当授業科目	1 年 次	2 年次	3 年次	4 年次	() () () () () () () () () ()
			21165	1	WP11C09K	○福祉教育論 I	[2)			
	社会福祉学 (職業指導を含む。)		21166	1	WP12C07K	○福祉教育論Ⅱ	(2]			
			21160	1	WP30C12K	○福祉行財政論B			(2)	
			21147	1	WP21C09K	社会保障論 I		[2)	
			21148	1	WP22C11K	社会保障論Ⅱ		[2)	
			21029	1	WP20C09K	公的扶助論		[2)	
			21150	1	WP20C45K	福祉運営管理論B		[2)	
	高齢者福祉・児童福祉・障害者福祉		21139	1	WP11C06K	○児童福祉論 I	[2)	
			21140	1	WP12C04K	○児童福祉論Ⅱ	[2)	
			21141	1	WP11C07K	○障害者福祉論 I	[2)	
			21142	1	WP12C05K	○障害者福祉論 Ⅱ	[2)	
			21143	1	WP11C08K	○高齢者福祉論 I	[2)	
			21144	1	WP12C06K	○高齢者福祉論Ⅱ	[2)	
	社会福祉援助技術		21113	1	WP11C02K	○相談援助技術総論 I	2				
教		24	21114	1	WP12C01K	○相談援助技術総論Ⅱ	2				
教科に関			21135	1	WP21C07K	相談援助技術各論 I		()	2)		
関す			21136	1	WP22C09K	相談援助技術各論Ⅱ		(2)		最低修得単位
る専			21137	1	WP23C02K	相談援助技術各論Ⅲ		(2)		20単位以上
する専門的			21138	1	WP24C01K	相談援助技術各論IV		(:	2)		
事項	介護理論・介護技術		21037	1	WP20C13K	○介護概論		[2)	
垻			21078	1	WP20C14E	○介護技術		2			
	社会福祉総合実習(社会福祉援助 実習及び社会福祉施設等における 介護実習を含む。)		21023	2	WP11C01E	○相談援助技術演習 I	[2]			
			21024	2	WP22C02E	○相談援助技術演習Ⅱ		(2)		
			21119	1	WP11C04E	○心理福祉実習指導 I	[2)		
			21120	1	WP12C03E	○心理福祉実習指導Ⅱ	[2)		
			21067	2	WP10C26J	○心理福祉実習	[2)		
			21025	3	WP23C01E	相談援助技術演習Ⅲ		[2]		
			21027	2	WP34C01E	相談援助技術演習IV			(2]	
			21163	1	WP21C12E	相談援助実習指導I		(2)	
			21164	1	WP22C14E	相談援助実習指導Ⅱ		(2)	
			21081	2	WP31C02J	相談援助実習 I		(6)	
	人体構造に関する理解・日常生活 行動に関する理解		20017	1	WP10C18K	○高齢者生活論	(2]			
	加齢に関する理解・障害に関する		21049	2	WP20C19K	○障害者・障害児心理学		[2)	
	理解		21050	1	WP20C20K	○老年心理学		(2)	
	対科の指導法		50099	1	EX31C05K	○福祉科教育法 I			2		最低修得単位
(情	報機器及び教材の活用を含む。)		50100	1	EX32C05K	○福祉科教育法Ⅱ			2		4 単位以上

[※]授業科目の前の○印は教職必修科目。

中学校一種免許・高等学校一種免許の取得について

高一種免(福祉)単独で取得希望することは認めないので注意すること。

中一種免(社会)と高一種免(公民)を合わせて取得希望すること。

^{※[]}印は[]内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

[※]修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

中一種:食物健康科

2. 教科及び教科の指導法に関する科目

〔食物健康科学科〕中学校教諭一種(家庭)

免許法施行規則上の 科目区分等		最低修得単位数		本学開設科目				配置年次および 単位数			k び		
	各科目に含める ことが必要な事項	中学校 一種	中学校 二種	科目コード	科目明細	科目 ナンバリング	該当授業科目	1 年次	2 年次	3年次	4 年次	備考	
	家庭経営学(家族関係学 及び家庭経済学を含む。)			20010	1	FS10C09K	○生活経営論	(2]				
				20011	1	FS10C10K	○生活経済学	(2)				
				22107	2	FS30A01K	○社会福祉概論			2			
	被服学(被服製作実習を 含む。)			22156	1	FS10C06K	○衣服環境論	(2	2)]	
				22128	2	FS21A02K	○ライフステージ栄養学 I		2			最低修得単位 中一種20単位以上 (中二種10単位以上)	
				22103	2	FS11A03K	○基礎栄養学 I	2					
				22201	1	FS20A05J	○栄養学実験		1				
教			12	22102	1	FS11A02K	○食品学 I	2					
教科に関する専門的	食物学(栄養学、食品学 及び調理実習を含む。)	28		22115	3	FS22A02K	○食品学Ⅱ		2				
関力				22119	2	FS30A03K	○食品加工学			2			
3				22120	2	FS30A04J	○食品加工学実習			1			
専門				22122	4	FS32A04K	○基礎栄養学Ⅱ			2			
的事				22184	1	FS10A04J	○食品学実験	1					
項				22199	1	FS11A05J	○調理学実習 I	1					
				22200	1	FS12A02J	○調理学実習Ⅱ	1					
				22126	2	FS20A03K	○調理学		2				
				22127	2	FS20A04J	○調理学実験		1				
				22121	1	FS10C02K	食文化論	[2	2)		
				22118	1	FS10C01K	食品化学	2					
	住居学			22157	1	FS10C07K	○居住環境論	[2	2)		
	保育学(実習を含む。)			22154	1	FS10C04K	○保育学	[2	2)		
				22155	1	FS10C05K	児童臨床学	[2	2)		
				50011	1	EX21C01K	○家庭科教育法 I		2				
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含 む。)				50012	1	EX22C01K	○家庭科教育法Ⅱ		2			最低修得単位 中一種8単位以上	
				50013	1	EX33C01K	○家庭科教育法Ⅲ			2		(中二種2単位以上)	
				50014	1	EX34C01K	○家庭科教育法Ⅳ			2			

[※]授業科目の前の○印は教職必修科目。

中学校一種免許・高等学校一種免許の取得について

[※]単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。

^{※[]} 印は[] 内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

[※]修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

高一種:食物健康科

2. 教科及び教科の指導法に関する科目

〔食物健康科学科〕 高等学校教諭一種(家庭)

	免許法施行規則上の 科目区分等	最低修得 単位数			本学問	昇設科目	配置	置年次 単位		k び	
	各科目に含める ことが必要な事項	高等学校 一種	科目コード	科目明細	科目 ナンバリング	該当授業科目	1 年次	2年次	3年次	4年次	備考
			20010	1	FS10C09K	○生活経営論	(:	2)			
	家庭経営学(家族関係学及び家庭 経済学を含む。)		20011	1	FS10C10K	○生活経済学	(:	2)			
	жит те д 5 %		22107	2	FS30A01K	○社会福祉概論			2		
	被服学(被服製作実習を含む。)		22156	1	FS10C06K	○衣服環境論	[2	2)	
			22128	2	FS21A02K	○ライフステージ栄養学 I		2			
			22103	2	FS11A03K	○基礎栄養学 I	2				
			22201	1	FS20A05J	○栄養学実験		1			
			22102	1	FS11A02K	○食品学 I	2				
			22115	3	FS22A02K	○食品学Ⅱ		2			
教科			22119	2	FS30A03K	○食品加工学			2		
に関			22120	2	FS30A04J	○食品加工学実習			1		
教科に関する専門的	食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。)		22122	4	FS32A04K	○基礎栄養学Ⅱ			2		最低修得単位
専	71H C H = 07	24	22184	1	FS10A04J	○食品学実験	1				20単位以上
的		24	22199	1	FS11A05J	○調理学実習 I	1				
事項			22200	1	FS12A02J	○調理学実習Ⅱ	1				
			22126	2	FS20A03K	○調理学		2			
			22127	2	FS20A04J	○調理学実験		1			
			22121	1	FS10C02K	食文化論	[2	2)	
			22118	1	FS10C01K	食品化学	2				
	住居学		22157	1	FS10C07K	○居住環境論	[2	2)	
	保育学		22154	1	FS10C04K	○保育学	[2	2)	
	(実習及び家庭看護を含む。)		22155	1	FS10C05K	児童臨床学	[2	2)	
	家庭電気・家庭機械・情報処理		22158	1	FS10C08K	○家庭電気・機械及び情報処理	[2	2)	
	かたせん		10046	2	LA20B01E	コンピュータ実習		2			
	は科の指導法		50013	1	EX33C01K	○家庭科教育法Ⅲ			2		最低修得単位
(情:	報機器及び教材の活用を含む。)		50014	1	EX34C01K	○家庭科教育法Ⅳ			2		4 単位以上

※授業科目の前の○印は教職必修科目。

- ※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。
- ※〔〕印は〔〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。
- ※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

中学校一種免許・高等学校一種免許の取得について

中一種免・高一種免のいずれか一方のみを取得希望することは認めないので注意すること。

中一種:経営

2. 教科及び教科の指導法に関する科目

〔経営学科〕中学校教諭一種(社会)

	免許法施行規則上の 科目区分等	最低修得	导単位数			本学開	用設科目	配	置年2 単位	欠お。 立数	よび	Alle de
	各科目に含める ことが必要な事項	中学校 一種	中学校 二種	科目コード	科目明細	科目 ナンバリング	該当授業科目	1年次	2 年次	3 年次	4 年次	備考
				41121	1	MA10B13K	○日本史A	(2]			
	日本史・外国史			41122	1	MA10B14K	○日本史B	[2)			
	日本文 77国文			41123	1	MA10B15K	○西洋史	[2]			
				41124	1	MA10B16K	○東洋史	(2]			
				41115	1	MA11C01K	○人文地理学 I	2				
				41116	1	MA12C01K	○人文地理学Ⅱ	2				
	地理学 (地誌を含む。)			41117	1	MA21C01K	○自然地理学 I		2			
				41118	1	MA22C01K	○自然地理学Ⅱ		2			
				41119	1	MA20C01K	○地誌		2			
				40017	1	MA10B06K	○法学	[2]			
教	「法律学、政治学			40006	2	MA10B02K	○政治学	[2)			
科に	「伝祥子、以石子」			41072	2	MA10B11K	会社法 I	[2]			
教科に関する専門的				41073	2	MA10B12K	会社法Ⅱ	[2]			最低修得単位
る声				40018	1	MA10B07K	○社会学	[2)			中一種20単位以上 (中二種10単位以上)
門				40015	1	MA10C05K	○ミクロ経済学入門	2				(中二性10年世以上)
事		28	12	40016	1	MA10C04K	○マクロ経済学入門	2				
項				41001	1	MA11A01K	経営学入門 I	2				
				41002	1	MA12A01K	経営学入門 Ⅱ	2				
	「社会学、経済学」			41003	1	MA11B01K	会計学入門 I	2				
				41004	1	MA12C02K	会計学入門Ⅱ	2				
				41005	2	MA21B01K	経営学総論 I		2			
				41006	2	MA22C02K	経営学総論 Ⅱ		2			
				41041	1	MA21B02K	マーケティング論Ⅰ		2			
				41042	1	MA22C03K	マーケティング論Ⅱ		2			
				40020	2	MA10B08K	○哲学の歴史	(2)			
	「哲学、倫理学、宗教学」			40011	2	MA10B05K	倫理学	[2]			
				40023	2	MA10B09K	宗教学	[2]			
				50093	1	EX31C02K	○社会科教育法 I			2		
	(科の指導法 知識男及び教材の活用も含			50094	1	EX32C02K	○社会科教育法Ⅱ			2		最低修得単位
む。	報機器及び教材の活用を含 			50097	1	EX31C04K	○社会科·公民科教育法 I			2		中一種8単位以上 (中二種2単位以上)
				50098	1	EX32C04K	○社会科·公民科教育法 II			2		

[※]授業科目の前の○印は教職必修科目。

- ※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。
- ※〔〕印は〔〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。
- ※単位数の□印は卒業要件の選択必修科目。
- ※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

中学校一種免許・高等学校一種免許の取得について

中一種免・高一種免のいずれか一方のみを取得希望することは認めないので注意すること。

2. 教科及び教科の指導法に関する科目

[経営学科] 高等学校教諭一種(公民)

	免許法施行規則上の 科目区分等	最低修得 単位数			本学問	昇設科目	配	置年2 単位		よび	Alfa Ira
	各科目に含める ことが必要な事項	高等学校 一種	科目 コード	科目明細	科目 ナンバリング	該当授業科目	1 年次	2 年次	3年次	4 年次	備考
			40017	1	MA10B06K	○法学	(2]			
	「法律学(国際法を含む。)、政治		40006	2	MA10B02K	○政治学	[2]			
	学(国際政治を含む。)」		41072	2	MA10B11K	会社法 I	(2]			
			41073	2	MA10B12K	会社法Ⅱ	(2)			
			40018	1	MA10B07K	○社会学	[2]			
			40015	1	MA10C05K	○ミクロ経済学入門	2				
教科			40016	1	MA10C04K	○マクロ経済学入門	2				
科			41001	1	MA11A01K	経営学入門 I	2				
に関する専門的事項			41002	1	MA12A01K	経営学入門Ⅱ	2				
りる声	「社会学、経済学(国際経済を含む。)		41003	1	MA11B01K	会計学入門 I	2				最低修得単位 20単位以上
門,	- 3/3	24	41004	1	MA12C02K	会計学入門Ⅱ	2				
的			41005	2	MA21B01K	経営学総論 I		2			
項			41006	2	MA22C02K	経営学総論Ⅱ		2			
			41041	1	MA21B02K	マーケティング論Ⅰ		2			
			41042	1	MA22C03K	マーケティング論Ⅱ		2			
			40020	2	MA10B08K	○哲学の歴史	[2]			
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」		40011	2	MA10B05K	倫理学	[2]			
	「日子、卌柱子、亦叙子、心枉子」		40023	2	MA10B09K	宗教学	[2]			
			41125	1	MA20C02K	発達心理学		2			
	(科の指導法		50097	1	EX31C04K	○社会科·公民科教育法 I			2		最低修得単位
(情	報機器及び教材の活用を含む。)		50098	1	EX32C04K	○社会科·公民科教育法 II			2		4 単位以上

- ※授業科目の前の○印は教職必修科目。
- ※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。
- ※〔〕印は〔〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。
- ※単位数の□印は卒業要件の選択必修科目。
- ※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

中学校一種免許・高等学校一種免許の取得について

中一種免・高一種免のいずれか一方のみを取得希望することは認めないので注意すること。

中一種・高一種:現代英語、文化交流、心理福祉、食物健康科、経営

3. 教育の基礎的理解に関する科目等

Á	色許法施行規則上の 科目区分等		最低修得 単位数	į			本学開設	 X科目	配置		欠お。 立数	よび	備考
	各科目に含める ことが必要な事項	中学校 一種	中学校 二種	高等学校 一種	科目 コード	科目明細	科目 ナンバリング	授業科目	1 年次	2 年次	3年次	4 年次	
	教育の理念並びに教育に 関する歴史及び思想				50001	1	EX20C01K	○教育原理		2			
教育の	・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)				50000	1	EX10C01K	○教職論	2				
基礎的理解に関する科	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	10	6	10	50003	1	EX20C03K	○教育行政学		2			
歴 関	・幼児、児童及び生徒の心 身の発達及び学習の過程				50002	1	EX20C02K	○教育心理学		2			
 する 科 	・特別の支援を必要とする 幼児、児童及び生徒に対 する理解				50089	1	EX20C20K	○特別支援教育		2			
	・教育課程の意義及び編成 の方法 (カリキュラム・ マネジメントを含む。)				50055	1	EX30C01K	○教育課程論			2		
及道	・道徳の理論及び指導法				50015	2	EX20C04K	○道徳教育の理論と方法		2			中免のみ
及び生徒指導、過徳、総合的・	・総合的な学習の時間の指 導法				50090	1	EX30C18K	○総合的な学習の時間の 教育法			2		
指令 導、	・特別活動の指導法				50016	2	EX20C05K	○特別活動の理論と方法		2			
な学習の	・教育の方法及び技術(情 報機器及び教材の活用を 含む。)	10	6	8	50017	4	EX20C06K	○教育方法論		2			
相談等間	・生徒指導の理論及び方法				50091	1	EX30C19K	○生徒指導論			1		
に等 関の	・教育相談(カウンセリン グに関する基礎的な知識				50018	2	EX30C07K	○教育相談の基礎			2		
す指	を含む。)の理論及び方法				50020	2	EX40C01K	学校カウンセリング実践				2	
科法目	・進路指導及びキャリア教 育の理論及び方法				50092	2	EX30C20K	○進路指導論			1		
関する科目	· 教育実習	5	5	3	50025	1	EX41C01J	○中等教育実習 I (事前事後指導 1 単位 を含む)				3	
る実科践					50026	1	EX42C01J	中等教育実習 Ⅱ				2	中一種免必修
目に	・教職実践演習	2	2	2	50070	1	EX40C02E	○教職実践演習 (中学校・高等学校)				2	

^{※「}教職実践演習(中学校・高等学校)」は、教育実習が終了した者のみ受講可能。

4. 大学が独自に設定する科目

	1	最低修得 単位数	ŀ	科目	科目	科目		配詞	置年7 単位	欠お。 立数	はび	ALL . La
大学が独自に 設定する科目	中学校 一種	中学校 二種	高等学校 一種	コード	明細	ナンバリング	該当授業科目	1 年次	2年次	3年次	4年次	備考
	4	4	12	50031	2	EX20C08J	介護等体験 (事前事後指導含む)		(:	2)		中一種免必修

^{※「}教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」の修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

[※]授業科目の前の○印は教職必修科目。

[※]修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

養教一種:看護

(7) 養護教諭

1. 免許法施行規則第66条の6に定める科目の履修

免許法施行規則に定める科	目区分		- 4	左記に対応する授業科目及び単位	数				
		4	4			配置	年次		£±: ± x .
科目	単位数	科目コード	科目 明細	該当授業科目	1 年 次	2 年 次	3 年次	4 年 次	備考
日本国憲法	2	10036	1	○日本国憲法	[2	2)	
		10028	2	体育実技A	(1	l)	
体育	2	10109	1	体育実技B	(1			
		10030	1	○運動と健康	(2	2)	
		10054	1	英語コミュニケーションI	1				
外国語コミュニケーション	2	10055	1	英語コミュニケーションⅡ	1				
外国語コミューケーション	2	10058	1	総合英語 I	1				
		10059	1	総合英語Ⅱ	1				
情報機器の操作	2	10044	1	コンピュータ基礎 I	2				1 科目選担以依
旧形成命の北下		10045	1	コンピュータ基礎Ⅱ	2				1 科目選択必修

- ※科目ナンバリングは、学科の全学教養科目を参照すること。
- ※授業科目の前の○印は教職必修科目。
- ※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。
- ※[〕印は[〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

2. 教育の基礎的理解に関する科目等

	免許法施行規則上の科目区分等				本学開	設科目	配置		欠お。 立数	はび	備考
	各科目に含める ことが必要な事項	最低修得 単位	科目コード	科目明細	科目 ナンバリング	授業科目	1年次	2年次	3 年次	4年次	
教育	・教育の理念並びに教育に関する歴史及 び思想		50001	1	EX20C01K	○教育原理		2			
\mathcal{O}	・教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		50000	1	EX10C01K	○教職論	2				
基礎的理解	・教育に関する社会的、制度的又は経営 的事項(学校と地域との連携及び学校 安全への対応を含む。)	8	50003	1	EX20C03K	○教育行政学		2			
に	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び 学習の過程		50002	1	EX20C02K	○教育心理学		2			
関する科	・特別の支援を必要とする幼児、児童及 び生徒に対する理解		50089	1	EX20C20K	○特別支援教育		2			
	・教育課程の意義及び編成の方法 (カリ キュラム・マネジメントを含む。)		50055	1	EX30C01K	○教育課程論			2		
生道徒徳			50015	2	EX20C04K	○道徳教育の理論と方法		2			
指総合	・道徳、総合的な学習の時間及び特別活 動に関する内容		50090	1	EX30C18K	○総合的な学習の時間の教育法			2		
教育は 相学			50016	2	EX20C05K	○特別活動の理論と方法		2			
生徒指導、教育相談等に関する科目道徳、総合的な学習の時間等の内容及び	・教育の方法及び技術(情報機器及び教 材の活用を含む。)	6	50017	4	EX20C06K	○教育方法論		2			
す等るの	・生徒指導の理論及び方法		50091	1	EX30C19K	○生徒指導論			1		
容及び	・教育相談(カウンセリングに関する基 礎的な知識を含む。)の理論及び方法		50018	2	EX30C07K	○教育相談の基礎			2		
関する 科 科	· 養護実習	5	50069	1	EX40C05J	○養護実習 (事前事後指導1単位を含む)				5	
科践	・教職実践演習	2	50072	1	EX40C06E	○教職実践演習 (養護)				2	

- ※授業科目の前の○印は教職必修科目。
- ※修得した単位のあふれは、大学が独自に設定する科目に算入する。
- ※「教職実践演習(養護)」は、教育実習が終了した者のみ受講可能。
- ※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

3. 養護に関する科目

免許法施行規則上の科目区グ	分等			本:	学開設科目	配置		欠お。 立数	k び	備考
各科目に含める ことが必要な事項	最低修得 単位	科目コード	科目明細	科目 ナンバリング	授業科目	1年次	2年次	3年次	4 年次	
		31115	1	NU10A09K	○疫学		2			予防医学を含む
衛生学・公衆衛生学 (予防医学を含む。)	4	31179	1	NU30C01K	保健統計			2		
(1),12,12,130)		31112	2	NU10A08K	○保健医療福祉行政論	2				
		31140	2	NU20A17K	○公衆衛生看護学概論		2			
学校保健	2	31204	1	NU20A21E	○学校保健		1			
, period		31193	1	NU20A14K	○小児看護学A (健康な小児の生活支援)		1			
養護概説	2	50073	1	EX30C17K	○養護概説			2		
		31202	1	NU20A20K	○公衆衛生看護活動展開論A (発達・健康課題と看護)		1			
健康相談活動の理論・健康相談	2	31180	2	NU30C02E	公衆衛生看護活動展開論B (公衆衛生看護技術)			2		
活動の方法		31205	1	NU40C02K	○学校健康相談				1	
		31191	1	NU12A01E	○科学的思考基礎演習 II (コミュニケーションと人間関係)	1)				
		31104	2	NU10A04K	○栄養·代謝学	1				食品学を含む
栄養学 (食品学を含む。)	2	31103	1	NU10A03K	○生化学	1				
(及加子で百む。)		31105	2	NU20C01J	食物健康実習		1			
htt der Mr th. TH Mr.		31101	3	NU10A01K	○人体構造機能学A	2				
解剖学・生理学	2	31186	1	NU10A02K	○人体構造機能学B	2				
		31108	1	NU20A03K	○薬理学		2			
「微生物学、免疫学、薬理概論」	2	31106	2	NU10A05K	○感染と防御 (微生物学)	1				
		31126	2	NU20A09E	○精神保健 (発達段階と場に応じたメンタル ヘルス)		1			
精神保健	2	31195	1	NU20A16K	○精神看護学A (心の基本理解と健康)		1			
		31200	1	NU30A05E	○精神看護学B (心を病む人の理解とセルフマネ ジメント)			2		
		31117	1	NU10A10K	○看護学概論	1				
		31199	1	NU30A03E	○小児看護学B (小児の健康障害と看護)			2		
		31188	1	NU20A05K	○疾病治療論B (小児・母性・精神)		3			
看護学 (臨床実習及び救急処置を含む。)	10	31198	1	NU30A01E	○成人看護学B (ペリオペレイティブケア・クリティカルケア)			1		救急処置を含む
		31157	1	NU30A09J	○小児看護学実習			2		臨床実習
		31155	1	NU30A07J	○成人看護学実習			4		臨床実習
		31206	1	NU40C04J	公衆衛生看護学実習B (活動展開の応用)				4	臨床実習

[※]授業科目の前の○印は教職必修科目。

4. 大学が独自に設定する科目

「養護に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」の修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

[※]単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。

[※]修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

栄教一種:食物健康科

(8) 栄養教諭

1. 免許法施行規則第66条の6に定める科目の履修

免許法施行規則に定める科	目区分		-	左記に対応する授業科目及び単位	数				
		科目	科目		配置		欠お。 立数	はび	備考
科目	単位数	コード	明細	該当授業科目	1 年次	2 年次	3 年次	4年次	
日本国憲法	2	10036	1	○日本国憲法	[:	2)	
		10028	2	体育実技A	[1)	
体育	2	10109	1	体育実技B	[1)	選択必修
		10030	1	運動と健康	[2	2)	
		10054	1	英語コミュニケーションI	1				
外国語コミュニケーション	2	10055	1	英語コミュニケーションⅡ	1				
77国品コミューケーション	2	10058	1	総合英語 I	1				
		10059	1	総合英語Ⅱ	1				
情報機器の操作	2	10044	1	コンピュータ基礎 I	2				1 科目選択必修
旧刊収録がソポト	2	10045	1	コンピュータ基礎Ⅱ	2				1 竹日 迭扒化修

[※]科目ナンバリングは、学科の全学教養科目を参照すること。

2. 栄養に係る教育に関する科目

各科目に含める	最低修得	科目	科目	科目		配置	置年と 単位	欠お。 立数	k び	備考
ことが必要な事項	単位	コード	明細		授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	
・栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項										
・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する 事項	4	22167	1	FS31C02K	○学校栄養指導論 I			2		
・食生活に関する歴史的及び文化的事項		22168	1	FS32C02K	○学校栄養指導論Ⅱ			9		
・食に関する指導の方法に関する事項		22108	1	F 532C02K	○子权木食钼导調Ⅱ					

[※]授業科目の前の○印は教職必修科目。

[※]授業科目の前の○印は教職必修科目。

[※]単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。

^{※〔〕}印は〔〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

3. 教育の基礎的理解に関する科目等

	免許法施行規則上の科目区分等				本学開	設科目	配置		欠お。 立数	よび	備考
	各科目に含める ことが必要な事項	最低修得 単位	科目コード	科目明細	科目 ナンバリング	授業科目	1 年次	2年次	3年次	4年次	
教	・教育の理念並びに教育に関する歴史及 び思想		50001	1	EX20C01K	○教育原理		2			
育の基	・教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		50000	1	EX10C01K	○教職論	2				
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	・教育に関する社会的、制度的又は経営 的事項(学校と地域との連携及び学校 安全への対応を含む。)	8	50003	1	EX20C03K	○教育行政学		2			
関	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び 学習の過程		50002	1	EX20C02K	○教育心理学		2			
する科	・特別の支援を必要とする幼児、児童及 び生徒に対する理解		50089	1	EX20C20K	○特別支援教育		2			
冒	・教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		50055	1	EX30C01K	○教育課程論			2		
生徒指導、総			50015	2	EX20C04K	○道徳教育の理論と方法		2			
導、 製 約 合 的	・道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容		50090	1	EX30C18K	○総合的な学習の時間の教育法			2		
、教育相談等に合的な学習の時		6	50016	2	EX20C05K	○特別活動の理論と方法		2			
関間	・教育の方法及び技術(情報機器及び教 材の活用を含む。)		50017	4	EX20C06K	○教育方法論		2			
する内容	・生徒指導の理論及び方法		50091	1	EX30C19K	○生徒指導論			1		
冒容及び	・教育相談(カウンセリングに関する基 礎的な知識を含む。)の理論及び方法		50018	2	EX30C07K	○教育相談の基礎			2		
製する科	· 栄養教育実習	2	50056	1	EX40C03J	○栄養教育実習 (事前事後指導1単位を含む)				2	
科践目に	· 教職実践演習	2	50071	1	EX40C04E	○教職実践演習(栄養)				2	

[※]授業科目の前の○印は教職必修科目

^{※「}教職実践演習(栄養)」は、教育実習が終了した者のみ受講可能。

(9)「介護等体験」について

中学校・小学校教諭の免許状を取得する場合、介護等の体験を義務づける法律、いわゆる「介護等体験特例法」が1997(平成9)年に公布された。それにより、1998(平成10)年4月以降の大学入学者等から、7日間以上の介護等体験が義務づけられている。

この体験をとおして、①人間の尊さや人権を理解する ②一人一人が違った個性と能力を有することを 実感し、様々な価値観があることを理解する ③諸施設やそこで働いている人々を理解する、ことを学ぶ ことになっている。

本学の位置する茨城県でも、介護等体験について関係各機関が協議を重ね、該当者は福祉施設で5日間(以上)、特別支援学校で2日間の介護、介助、交流等の体験を行うことになっている。近年一部の学生の心構えや態度に問題があるとの指摘が全国的に受入れ施設側からなされており、本学では事前指導の徹底をはかっている。なお、介護等体験中の学生の態度に著しい問題があり、施設利用者に不利益をあたえるおそれがある場合には、該当学生の介護等体験を中止することもあり得る。

本学では、2000年度入学生より上記のとおり「介護等体験」は授業(半期科目、2単位)として開講している。中学校及び小学校一種免許状取得希望の学生は、必ず履修すること。

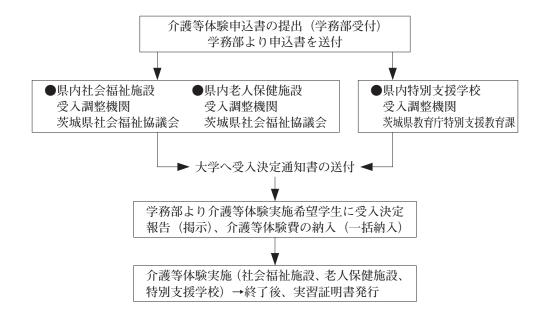
介護等体験を実施するにあたって、様々な調整や準備が必要となるので、学生諸君は以下の留意事項 (手続きの流れ)を十分理解してもらいたい。

1) 事前指導

介護等体験実施にあたっては、授業での事前指導を必ず受けること。事前指導を欠席した場合は、介護 等体験の実施ができなくなる。

2) 介護等体験実施のための手続き

申込み用紙に必要事項(実施月日、施設種別、地域等)を記入し、学務部が一括して実習先に申し込み 手続を行う。申込みから、介護等体験実施までの手順は以下のとおり。



3) 実施期間及び費用

実施期間(日数)は以下のとおりだが、実施日は各受入れ施設が決定するので、必ずしも希望どおりになるとは限らない。費用は、大学でまとめて、社会福祉協議会へ振り込む。

- ・県内社会福祉施設 5日間(申込みは年2回、実施時期は10~12月、1~2月)
- · 県内老人保健施設 介護等体験費、8,000円(一人1日 1,000円×5日、調整費用 3,000円)
- ・県内特別支援学校 2日間(申込みは年2回、実施時期は6月~翌年2月)

手数料(証明書代)400円

※その他、実習施設等への交通費、昼食代は自己負担となる。

4) 介護等体験の証明書発行とその保管について

介護等体験を実施した施設(学校)では、終了後介護等体験証明書を発行する。その証明書は、教員免許状申請時(卒業年次)に使用するので、介護等体験実施後ただちに学務部に提出し、コピーを本人が保管しておくこと。証明書を紛失すると再発行されない場合もあるので注意すること。

(10) 教育実習に関わる履修規程

教育実習は、大学が実習校(園)に対してお願いし、実施可能となる特殊な科目である。実習の受講について学生の希望は尊重されるが、権利ではない。

したがって、たとえ、下記の履修条件を満たしている場合でも、学科会および本学教職課程委員会が、 実習生として適正に欠けると判断する場合は、実習を許可しない場合や実習途中でも実習を中止させる場 合がある。

なお、初等教育実習Ⅰ・Ⅱ、中等教育実習Ⅰ・Ⅱを履修しようとする者は、下記の履修条件に加え、教 職課程委員会が実施する「教職課程一般教養試験」を受験し、これに合格しておくこと。

また、教育実習を行う年度の前年度までに履修登録した科目について、GPAが2.0以上であることが求められる。

教職課程一般教養試験について

- ※1 この試験は毎年度末(2月上旬~中旬)に実施する。
- ※2 試験の内容(範囲)や試験日等の詳細については、毎年6月上旬に学務部掲示版に掲示する。
- ※3 この試験は1年次末に受験し、合格しておくことが望ましい。不合格となり、さらに教員免許状の取得を目指す者は、次年度以降に再受験することができる。

<初等教育実習(小学校)を行うための履修条件>

「初等教育実習 $I \cdot II$ 」 (小学校) を履修しようとする者は、卒業後、教職に就くことを強く希望する者であること。実習を行う年度の当初(通常は 3 年次 4 月)までに、下記の科目を修得していなければならない。

- ① 卒業に必要な単位のうち2分の1 (62単位) 以上。
- ② 教育原理、教職論、教育行政学、教育心理学 I、特別支援教育、教育課程論、道徳教育の理論と方法、特別活動の理論と方法、教育方法論、計18単位のうち14単位以上。
- ③ 小学校各教科研究(小学校英語教育 I 及び II 及び書写を含む)及び、各科教育法(外国語(英語)教育法を含む)、計39単位のうち30単位以上。
- ④ 音楽 I、音楽 I、美術 I、美術 I、体育実技 A (水泳)、計 5 単位。
- ※教育実習を行う年度の前年度までに履修登録した科目について、GPAが2.0以上であること。

く特別支援学校教諭一種免許状取得課程の履修要件>

特支一種免取得課程を履修する場合、特支免課程が開始される年度の当初(通常は3年次の4月)まで に、下記の要件を満たしていなければならない。

- ① 「初等教育実習Ⅰ・Ⅱ」(小学校)の履修条件を満たしていること。
- ② 「特別支援教育原論」を修得すること。なお、「特別支援教育」及び「発達障害児教育論」も修得していることが望ましい。また、特支免課程の履修は、一定の人数制限を設けるため、上記要件を満たしている場合であっても、課程の履修が認められない場合がある。

<特別支援教育実習を行うための履修条件>

「特別支援教育実習」を履修しようとする者は、当該年度に卒業見込みが確実で、卒業後、教職に就くことを強く希望する者であること。実習を行う年度の当初(通常は4年次4月)までに、下記の科目を修得していなければならない。

- ① 卒業に必要な単位のうち4分の3 (93単位)以上。
- ② 初等教育実習Ⅰ・Ⅱ、計5単位。
- ③ 発達障害児教育論、知的障害児の教育 I 、知的障害児の教育 II 、知的障害児の心理・生理・病理、 肢体不自由児の教育、肢体不自由児の心理・生理・病理、病弱児の教育、病弱児の心理・生理・病 理、重度重複障害児教育論、言語の発達と障害、感覚障害児教育論、計22単位のうち14単位以上。
- ※教育実習を行う年度の前年度までに履修登録した科目について、GPAが2.0以上であること。

<初等教育実習Ⅲ(幼稚園)を行うための履修条件 (児童教育学科児童教育専攻)>

児童教育学科児童教育専攻で「初等教育実習Ⅲ」(幼稚園)を履修しようとする者は、当該年度に卒業見込みが確実で、卒業後、教職に就くことを強く希望する者であること。実習を行う年度の当初(通常は4年次4月)までに、下記の科目を修得していなければならない。

- ① 卒業に必要な単位のうち4分の3 (93単位)以上。
- ② 初等教育実習 I · II 、計 5 単位。
- ③ 音楽Ⅲ、音楽Ⅳ、美術Ⅲ、美術Ⅳ、計4単位。
- ④ 保育内容総論、保育内容教育法・健康、保育内容教育法・人間関係、保育内容教育法・言葉、幼児理解、教育相談、計10単位のうち8単位以上。
- ※教育実習を行う年度の前年度までに履修登録した科目について、GPAが2.0以上であること。

<初等教育実習Ⅲ(幼稚園)を行うための履修条件 (児童教育学科幼児保育専攻)>

児童教育学科幼児保育専攻で「初等教育実習Ⅲ」(幼稚園)を履修しようとする者は、実習を行う年度の 当初(通常は2年次4月)までに、下記の科目を修得していなければならない。

教育原理、教職論、保育の心理学、幼児教育課程論、保育原理、子どもの理解と援助、保育者論、保育の計画と評価、保育内容教育法・人間関係、保育内容教育法・言葉、音楽 I 、音楽 II 、美術 I 、美術 I 、合計23単位のうち14単位以上。

※GPAは問わない。

<初等教育実習N(幼稚園)を行うための履修条件 (児童教育学科幼児保育専攻)>

教育実習を行う前年度までに履修登録した科目について、GPAが2.0以上であること。

く中等教育実習を行うための履修条件>

「中等教育実習 $I \cdot II$ 」を履修しようとする者は、当該年度に卒業見込みが確実で、卒業後、教職に就くことを強く希望する者であること。実習を行う年度の当初(通常は 4 年次 4 月)までに、下記の科目を修得していなければならない。

【免許状の教科(領域)が英語以外の場合】

- ① 卒業に必要な単位のうち4分の3 (93単位。食物健康科学科は96単位)以上。
- ② 教育原理、教職論、教育行政学、教育心理学、特別支援教育、教育課程論、道徳教育の理論と方法、総合的な学習の時間の教育法、特別活動の理論と方法、教育方法論、生徒指導論、進路指導論、教育相談の基礎、計24単位のうち18単位以上。
- ③ 各科教育法
- ④ 教科及び教科の指導法に関する科目20単位以上(各科教育法は含めない)。

【免許状の教科(領域)が英語の場合】

- ① 卒業に必要な単位のうち4分の3 (93単位)以上。
- ② 教育原理、教職論、教育行政学、教育心理学、特別支援教育、教育課程論、道徳教育の理論と方法、総合的な学習の時間の教育法、特別活動の理論と方法、教育方法論、生徒指導論、進路指導論、教育相談の基礎、計24単位のうち18単位以上。
- ③ 英語科教育法Ⅰ、英語科教育法Ⅱ、英語科教育法Ⅲ、英語科教育法Ⅳ、計8単位。
- ④ ③の4科目と英語学概論A、英語学概論B、英語学概論C、Grammar I、Grammar I、英語文学概論A、英語文学概論B、English CommunicationⅢ、English CommunicationⅣ、Writing I、Writing I、異文化理解教育、計16科目中12科目以上。
- ※留学等の理由により、履修することができなかった科目がある場合は、10科目以上の単位を修得していれば、『中等教育実習』の履修を認める場合がある。
- さらに下記の条件を満たしていなければならない。
 - [③および④の16科目のうち、履修した科目のGPAが2.5以上であること。]

「中等教育実習を行うために必要な英語力を有していること。教育実習を行う前年度末の定められた期日までに、下記の条件のうちいずれかを必ず満たすこと。」

- (1) 英語力診断テスト (520点以上)
- (2) TOEIC Listening & Reading Test (470点以上)
- (3) TOEFL ITP(455点以上)
- ※いずれも大学入学後に受験した結果のみ有効とする。
- ※教育実習を行う年度の前年度末に履修登録した科目について、GPAが2.0以上であること。(免許状の教 科に関わらず共通の条件)

<養護実習を行うための履修条件>

「養護実習」を履修しようとする者は、当該年度に卒業見込みが確実で、卒業後、教職に就くことを強く 希望する者であること。実習を行う年度の当初(通常は4年次4月)までに、下記の科目を修得していな ければならない。

- ① 卒業に必要な単位のうち4分の3 (93単位)以上。
- ② 教育原理、教職論、教育行政学、教育心理学、特別支援教育、教育課程論、道徳教育の理論と方法、総合的な学習の時間の教育法、特別活動の理論と方法、教育方法論、生徒指導論、教育相談の基礎、計23単位のうち18単位以上。

③ 公衆衛生看護学概論、学校保健、小児看護学A (健康な小児の生活支援)、養護概説、計<u>6単位</u>。 ※教育実習を行う年度の前年度までに履修登録した科目について、GPAが2.0以上であること。

<栄養教育実習を行うための履修条件>

「栄養教育実習」を履修しようとする者は、当該年度に卒業見込みが確実で、卒業後、教職に就くことを強く希望する者であること。実習を行う年度の当初(通常は4年次4月)までに、下記の科目を修得していなければならない。

- ① 卒業に必要な単位のうち4分の3 (96単位)以上。
- ② 教育原理、教職論、教育行政学、教育心理学、特別支援教育、教育課程論、道徳教育の理論と方法、総合的な学習の時間の教育法、特別活動の理論と方法、教育方法論、生徒指導論、教育相談の基礎、計23単位のうち18単位以上。
- ③ 学校栄養指導論Ⅰ、学校栄養指導論Ⅱ、計4単位。
- ※教育実習を行う年度の前年度までに履修登録した科目について、GPAが2.0以上であること。

○教育実習の実習年次、期間と場所

「初等教育実習 I・Ⅱ」は、3年次に、日立市近辺の小学校(実習協力校)において、4週間にわたって行う。実習 I には、事前・事後指導1単位分が含まれ、一日観察実習も行う。

児童教育専攻の「初等教育実習Ⅲ」は、原則として、学生自身が探した幼稚園で4年次9月に2週間にわたって行う。幼児保育専攻の「初等教育実習Ⅲ」は、2年次前期に大学附属認定こども園で計1週間にわたって行う。「初等教育実習Ⅳ」は、2年次2月に大学附属認定こども園や実習協力園で計3週間にわたって行う。実習園を学生自身が探すこともできる。両専攻とも実習Ⅲには、事前事後指導1単位分が含まれ、一日観察実習も行われる。

「特別支援教育実習」は、4年次に特別支援学校において2週間にわたって行う。実習には事前事後指導1単位分が含まれる。

「中等教育実習 $I \cdot II$ 」は、4年次に、原則として出身中学校・高等学校において、15日間にわたって行う。実習 I には事前・事後指導 I 単位分が含まれる。

「養護実習」は4年次に、原則として日立市内の小学校(実習協力校)または出身小学校・中学校において、15日間にわたって行う。実習には事前事後指導1単位分が含まれる。

「栄養教育実習」は4年次に、小・中学校において5日間にわたって行う。なお、4年次6月に事前準備として一日観察実習を行う。

(11) その他

<1> 教職課程費および教育実習費

教育職員免許状を取得しようとする者は教育実習の履修登録をする際、以下の表の通り、教職課程費 および教育実習費を納入しなければならない。

教職課程費

学科	取得予定の免許	金額	納入者	納入年次	納期
現代英語学科	中一種免 (英語)	5, 000	履修者		
· 九八天前子科	高一種免 (英語)	5, 000	履修者	2 年次	
日本机大公	小一種免	10,000	履修者		
児童教育学科 (児童教育専攻)	幼一種免	5, 000	履修者	3 年次	
()[重权日 (1-次)	特支一種免	5, 000	履修者	3 平伏	
児童教育学科 (幼児保育専攻)	幼一種免	5, 000	履修者	2 年次	
立	中一種免(社会)	5, 000	履修者		5 月下旬
文化交流学科	高一種免(地歴)	5, 000	履修者		
	中一種免(社会)	5, 000	履修者		3月1月
心理福祉学科	高一種免 (公民)	5, 000	履修者		
	高一種免(福祉)	5, 000	履修者		
	中一種免 (家庭)	5, 000	履修者	2 年次	
食物健康科学科	高一種免 (家庭)	5, 000	履修者		
	栄教一種免	5, 000	履修者		
看護学科	養教一種免	5, 000	履修者		
経営学科 -	中一種免(社会)	5, 000	履修者		
	高一種免 (公民)	5, 000	履修者		

[・]教職課程費は、取得予定の<u>免許状の種類ごと</u>に納入することになる。たとえば、中一種免(社会)と高一種免(公民)および高一種免(福祉)を取得予定の学生は、15,000円を納入することになる。

教育実習費

種別	金額(予定)	納入者	納入年度	納期
初等教育実習Ⅲ (Pe)	8,000	履修者	履修登録年度	7月上旬
特別支援教育実習	10,000	履修者	履修登録年度	別途指示
初等教育実習Ⅲ (Pc)	4,000	履修者	履修登録年度	5月下旬
初等教育実習IV (Pc)	12,000	履修者	履修登録年度	別途指示
中等教育実習 I · Ⅱ	15, 000	履修者	履修登録年度	実 習 時
栄養教育実習	5, 000	履修者	履修登録年度	7月中旬
養護実習	15, 000	履修者	履修登録年度	別途指示

・上記教育実習費は予定額である。詳細については実習前に指示する。

²年次以降に受講可となる教職課程科目は、教職課程費を納入しなければ履修できないので注意すること。

なお、「初等教育実習Ⅰ・Ⅱ」を除く教育実習には教育実習費(下表参照)が必要となる。

<2> 免許状授与申請の手続

A. 幼一種免、小一種免、特支一種免、中一種免、高一種免、養教一種免

- 1) 本学から茨城県教育委員会への教員免許状一括申請(所属学科課程認定教科免許状)は、教職課程 認定上の必修科目を含めた単位を修得した場合に限られる。
- 2) 教育職員免許状授与申請にあたっては、次の手続きを必要とする。

〔提出すべき書類〕

- ① 教育職員免許状授与願(茨城県の指定様式)
- ② 個人事項証明書 (戸籍抄本)
- ③ 履歴書 (茨城県の指定様式)
- ④ 宣誓書 (茨城県の指定様式)
- ⑤ 介護等体験証明書(社会福祉施設及び特別支援学校による証明)
- ⑥ 学力に関する証明書

以上のうち①・③・④(茨城県の指定様式)は、説明会時に学務部より配付する。②は各自入手する。 ⑤は介護等体験後学務部へ提出する。(申請書類作成時一度本人に返却される)⑥は、本学所定の証明書 交付願により申し込むこと。(⑥は、本学より直接県に提出)

書類は①・②・③・④・⑤の順に綴じて、決められた期日までに学務部に提出する。高等学校(一種)、中学校(一種)の両方の免許状を申請する場合は各1部ずつ提出する。

※授与手数料は、高等学校・中学校・小学校各々茨城県収入証紙3,400円を教育職員免許状授与願の表面 に貼付すること。証紙には捺印しないこと。

※提出書類については、異なる可能性があるため説明会に出席すること。

B. 栄教一種免

- 1) 栄養教諭一種免許状申請のための要件
 - ① 卒業見込みである者。
 - ② 「免許法施行規則第66条の6に定める科目」、「栄養に係る教育に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位修得が確実な者。
 - ③ 卒業後、「栄養士」の免許状が取得できる者。
- 2) 教育職員免許状授与申請にあたっては、次の手続きを必要とする。

〔提出すべき書類〕

- ① 教育職員免許状授与願(茨城県の指定様式)
- ② 個人事項証明書 (戸籍抄本)
- ③ 履歴書 (茨城県の指定様式)
- ④ 宣誓書 (茨城県の指定様式)
- ⑤ 学力に関する証明書
- ⑥ 栄養士免許状の写し

以上のうち①・③・④(茨城県の指定様式)は、説明会時に学務部より配付する。②は各自入手する。 ⑤は、本学所定の証明書交付願により申し込むこと。(⑤は、本学より直接県に提出)⑥は卒業後に、写しを大学へ郵送。書類は、⑤・⑥を除く全てを順に綴じて、決められた期日までに学務部に提出する。 ※免許状は卒業後に受取ることになる。

- ※授与手数料は、茨城県収入証紙3,400円を教育職員免許状授与願の表面に貼付すること。証紙には捺印しないこと。
- ※提出書類については、年度によって異なる可能性があるため、説明会に出席すること。
- ※卒業の翌年度に栄養教諭として働くことが確定した場合、速やかに学務部に申し出ること。

2. 学校図書館司書教諭資格に関する科目の履修

司書教諭は、学校図書館の専門的職務を担当する者であり、学校図書館法によって小学校、中学校及び 高等学校に置くように規定されている。学校図書館法には、司書教諭になるためには学校図書館司書教諭 講習を修了する必要があると定められている。本学の児童教育学科児童教育専攻には、資格の取得を希望 する者のために、学校図書館司書教諭講習規程に定められた科目が開設されている。

<1>資格取得の要件

- 1) 教育職員免許状(幼稚園教諭、栄養教諭、養護教諭は除く) を有する者であること。 したがって教職課程科目と併せて履修しなければならない。
- 2) 大学において、この資格を取得するに必要な科目の単位を修得していること。 この単位は司書教諭講習会を受講することによって修得するものであるが、本学に開講されている 科目の単位の修得により、この要件をみたすことができる。
- 3) 必修科目とその単位数 必修科目は5科目10単位である。
 - ① 児童教育学科児童教育専攻学生の場合、児童教育学科児童教育専攻資格科目Ⅲにある以下の科目を履修すること。

科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	1年次	2年次	3 年次	۲ 4	年次
13531	1	PE30C21K	学校経営と学校図書館			[2)
13532	1	PE30C22K	学校図書館メディアの構成			[2)
13533	1	PE30C23K	学習指導と学校図書館			[2)
13534	1	PE30C24K	読書と豊かな人間性			[2)
13535	1	PE30C25K	情報メディアの活用			[2)

② 中等教職課程履修者の場合

原則として3年次からの履修となる。

このため、児童教育学科児童教育専攻資格科目と同様の科目が、「卒業要件外の科目」に配置されているので、その科目コードで登録すること。

科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	1年次	2年次	3 年次	۲ 4	年次
50050	1	EX30C13K	学校経営と学校図書館				2)
50051	1	EX30C14K	学校図書館メディアの構成				2)
50052	1	EX30C15K	学習指導と学校図書館			[2)
50053	1	EX30C16K	読書と豊かな人間性			[2)
50054	1	EX20C17K	情報メディアの活用		(2)

<2> 学校図書館司書教諭資格申請

申請は以下のとおり行う。単位の修得状況により申請時期が異なるので注意すること。

1) 対象

<前年度終了(3年次修了)までに、以下の条件を全て満たしている者>

- ① 3年次修了までに、学校図書館司書教諭に関する科目全てを修得済の者
- ② 児童教育学科児童教育専攻の学生は初等教育実習 I · II の単位を修得済の者、もしくは 4 年次で教育実習参加が確実な者。中等教職課程履修者の場合は 4 年次での教育実習参加が確実な者
- ③ 3年次修了までに、卒業に必要な単位のうち62単位以上を修得済の者
- ※上記の条件を一つでも満たせない場合には学校図書館司書教諭資格申請を取り消すものとする。
- ※申請は4年次の前期に行う。修了証書は卒業した年の3月頃までに郵送される。ただし、教育職員 免許状を取得できなかった場合には資格として認められない。

<4年次修了までに、以下の条件を全て満たす者>

- ① 4年次修了までに、学校図書館司書教諭に関する科目全てを修得見込みの者
- ② 4年次修了までに、教育職員免許状取得が可能な者で、教育職員免許状一括申請者(または、教育職員免許状を既に取得している者)。
- ※上記の条件を一つでも満たせない場合には学校図書館司書教諭資格申請を取り消すものとする。
- ※4年次後期に申請についての説明会を行い、申請は卒業後に行う。修了証書は卒業後司書教諭資格 および教育職員免許状を取得した翌年の3月頃までに郵送される。

2) 学校図書館司書教諭資格申請ガイダンス

申請手続きに関するガイダンスを実施する。具体的な手続き方法や提出すべき書類についてはガイダンス時に指示する。日時・場所については掲示で告知する。

3. 社会福祉主事任用資格に関する科目の履修

〔文学部・生活科学部・看護学部・経営学部〕

社会福祉主事任用資格に関する科目

社会福祉主事任用資格は公務員試験に合格し、市町村の福祉サービス担当課や福祉事務所に配属になり、福祉職として仕事をする際に名乗ることのできる資格である。

しかし、実際には民間の社会福祉法人等で就職の採用条件とされる場合もあり、福祉の職場に就職したいと考えている人は取得しておいた方がよい。

この資格は右記の科目の単位を3科目以上(ただし、福祉に関わる専門科目を1科目以上選択するようにしてほしい)修得し、本学を卒業すると取得できる。なお、社会福祉主事任用資格は、社会福祉士試験受験資格と異なる。混同しないよう注意すること。

<文学部・生活科学部・看護学部・経営学部 2019年度以降入学生>

科目	科目	科目	₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩	配	置年単位	次及 立数	び			履何	多可	能学	科			供多	
コード	明細	ナンバリング	指定授業科目	1 年 次	2 年次	3 年次	4 年次	Е	Ре	Рс	С	W	F	N	M	備考	
20013	1	WP10C16K	社会学	[2	2)			X	×	×	X	0	0	0	X		
40018	1	MA10B07K	社会学	[2	2)			×	×	X	×	×	X	×	0		
14249	1	CC 20C45 K	法学		2			×	×	×	0	×	×	×	×		
20014	1	WP10C17K	法学	[2	2)			0	0	0	×	\circ	0	0	×		
40017	1	MA10B06K	法学	[2	2)			×	×	×	×	×	×	×	0		
21099	1	WP11A01K	心理学概論 I ※	2				×	×	X	×	0	X	×	×	2科目修得して	
21100	1	WP12A01K	心理学概論Ⅱ※	2				×	×	X	×	0	X	×	×	1科目とみなす	
21101	1	WP11A02K	現代社会と福祉 I ※	2				×	×	X	×	\bigcirc	X	×	×	2科目修得して	
21102	1	WP12A02K	現代社会と福祉Ⅱ※	2				×	×	X	×	\bigcirc	X	×	×	1科目とみなす	
21159	1	WP30C11K	福祉行財政論A※			(:	2]	×	×	X	×	\bigcirc	X	×	X	2科目修得して	
21160	1	WP30C12K	福祉行財政論B※			(:	2]	×	×	X	×	\bigcirc	X	×	×	1科目とみなす	
21113	1	WP11C02K	相談援助技術総論 I ※	2				×	×	X	×	\bigcirc	X	×	×		
21114	1	WP12C01K	相談援助技術総論Ⅱ※	2				×	×	×	×	0	×	×	×		
21135	1	WP21C07K	相談援助技術各論 I ※		(2	2)		×	×	X	×	\bigcirc	X	×	X	6科目修得して	
21136	1	WP22C09K	相談援助技術各論Ⅱ※		[2	2)		×	×	×	×	0	×	×	X	1科目とみなす	
21137	1	WP23C02K	相談援助技術各論Ⅲ※	[2		2)		×	×	X	×	0	X	×	×		
21138	1	WP24C01K	相談援助技術各論Ⅳ※	[2		2)		×	×	×	×	0	×	×	×		
21145	1	WP21C08K	地域福祉論 I ※		(2)	0	0	0	0	0	0	0	0	2科目修得して	
21146	1	WP22C10K	地域福祉論Ⅱ※		(2)	0	0	0	0	0	0	0	0	1科目とみなす	
21153	1	WP21C10K	医療福祉論 I ※		(2)	×	×	×	×	0	×	×	×	2科目修得して	
21154	1	WP22C12K	医療福祉論Ⅱ※		(2)	×	×	X	×	0	X	×	×	1科目とみなす	
21076	1	WP20C07K	社会福祉調査法		(2)	×	×	×	×	0	X	×	×		
21147	1	WP21C09K	社会保障論Ⅰ※		(2)	0	0	0	0	0	0	0	0	2 科目修得して	
21148	1	WP22C11K	社会保障論Ⅱ※		(2)	0	0	0	0	0	0	0	0	1科目とみなす	
21029	1	WP20C09K	公的扶助論		(2)	0	0	0	0	0	0	0	0		
21139	1	WP11C06K	児童福祉論Ⅰ※	[2)	0	0	0	0	0	0	0	0	2科目修得して	
21140	1	WP12C04K	児童福祉論Ⅱ※	[4	2)	0	0	0	0	0	0	0	0	1科目とみなす	
21143	1	WP11C08K	高齢者福祉論 I ※	[6	2)	0	0	0	0	0	0	0	0	2 科目修得して	
21144	1	WP12C06K	高齢者福祉論Ⅱ※	[4	2)	0	0	0	0	0	0	0	0	1科目とみなす	
21037	1	WP20C13K	介護概論		(2)	0	0	0	0	0	0	0	0		
21109	1	WP20C29K	人体の構造と機能及び疾病		(2)	×	X	×	X	0	X	X	X		
22107	2	FS30A01K	社会福祉概論			2		×	X	×	X	×	0	×	X		
22182	1	FS31A02K	医学一般 [※			2		×	X	×	X	×	0	×	X	2 科目修得して	
22183	1	FS32A03K	医学一般Ⅱ※				2	×	×	X	X	X	0	X	×	1科目とみなす	
31117	1	NU10A08K	看護学概論	1				×	X	×	X	×	×	0	X		
13118	1	PC20C04K	社会福祉		2			×	X	0	×	×	×	×	X		

科目については、福祉の内容に関する科目を1つは履修することが望ましい。

[※]科目が複数の科目に区分される場合(「I、II」「A、B」など)は、社会福祉主事任用資格に関する科目上、当該区分された科目の全てを修得して 1 科目とみなす。

例)「心理学概論 I 」と「心理学概論 I 」を修得して、1 科目とみなす。

^{※「}相談援助技術総論 I 」「相談援助技術総論 II 」「相談援助技術各論 I 」「相談援助技術各論 II 」「相談援助技術各論 II 」「相談援助技術各論 II 」「相談援助技術各論 II 」「相談援助技術各論 II 」「相談援助技術各論 II 」「相談援助技術各論 II 」「相談援助技術各論 II 」「相談援助技術各論 II 」「相談援助技術各論 II 」「相談援助技術各論 II 」「相談援助技術各論 II 」「相談援助技術各論 II 」「相談援助技術各論 II 」「相談援助技術各論 II 」「相談援助技術各論 II 」「相談援助技術各論 II 」「相談援助技術各論 II 」「相談援助技術名論 II 」「相談規則 II

4. 社会教育主事任用資格に関する科目の履修 (文学部)

(1) 社会教育主事任用資格及び社会教育士(養成課程)

1. 概要

社会教育主事は、都道府県及び市町村の教育委員会の事務局に置かれる専門的職員で社会教育を行う者に対する専門的技術的な助言・指導に当たる役割を担う。また、2018年度の文部科学省法改正により、2020年度から「社会教育主事任用資格」を得た者は、「社会教育士(養成課程)」と称することができるようになった。

従来社会教育主事は任用資格(≒教育委員会や公民館等、必要な部署に就いた時のみ有効)だったが、この改正では「学習成果を活かし、NPOや企業等の多様な主体と連携・協働し、社会教育施設における活動のみならず、環境や福祉、まちづくり等の社会の多様な分野における学習活動の支援を通じて、人づくりや地域づくりに携わる役割」が求められた。地域において、子供のみならず大人、高齢者をも対象とした多様な学習活動を計画、実施、支援し、住民の生きがいを生み出し、地域を活性化するような活動が期待されている。

そのため社会教育主事任用資格と同様の単位取得証明書をもって「社会教育士」という称号を付与できるようになった。

2. 資格取得に関する規程

下記の要件及び次ページの科目群における所定の単位を修得することによって、社会教育主事任用資格及び社会教育士(養成課程)を同時に取得することができる。

- 1. 社会教育実習 $I \cdot II$ または社会教育演習を履修しようとするものは、実習を行う年度の当初までに生涯学習概論 $I \cdot II$ 及び社会教育経営論 $I \cdot II$ を履修し、単位を修得していなければならない。
- 2. 社会教育実習Ⅰ・Ⅱの履修を予定している者は、社会教育実習費20,000円を納入すること。
- 3. 省令科目における各分野(科目名)から、必要な単位数を修得すること。
 - ・生涯学習概論から4単位を修得すること。
 - ・生涯学習支援論から4単位を修得すること。
 - ・社会教育経営論から4単位を修得すること。
 - ・社会教育特講から8単位を修得すること。
 - ・社会教育実習から1単位を修得すること。
 - ・社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究から3単位を修得すること。(大学開設科目の社会教育実習IIの単位を含み3単位修得のこと)

(2) 社会教育主事任用資格に関する科目

<文学部 2019(令和元)年度以降入学生>

省令科目				大学	開設科目				
科目名	単位数	科目 コード	科目明細	科目 ナンバリング	科目名		立数 選択	配置 年次	備考
生涯学習概論	4	50081 50082	2 2	EX21C03K EX22C03K	生涯学習概論 I 生涯学習概論 Ⅱ	2 2		$\begin{array}{c} 1 \sim 2 \\ 1 \sim 2 \end{array}$	
生涯学習支援論	4	50102 50103	1 1	EX21C06K EX22C06K	生涯学習支援論 I 生涯学習支援論 Ⅱ	2 2		$2 \sim 3$ $2 \sim 3$	
社会教育経営論	4	50104 50105	1 1	EX21C07K EX22C07K	社会教育経営論 I 社会教育経営論 Ⅱ	2 2		$2 \sim 3$ $2 \sim 3$	
社会教育特講	8	13554 13555 14161 14162 14252 20018 20017 50037 50075 50076 50079 13015 13169 50003 50040 13002 13102 13028 13028 13029 13556 13542 13543 14158 14158 14211 50001	1 1 2 2 1 1 1 2 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 1 2 1 1 1 1 2 1	PE11C04K PE12C04K CC20C37K CC20C38K CC20C48K WP10C24K WP10C18K EX10C02K EX20C10K EX20C10K EX20C11K PE20C01K PC20C21K EX20C12K PE10C02K PC10C02K PE11C02K PE12C02K PE12C02K PE20C19E PE31A01J PE32A01J CC20C35K CC20C36K CC20C15K EX20C01K	地地比比女女高博博博 教 教 教 体工 教 教 児児野 児 児 比比日 教 教 体工 教 教 児児野 児 児 比比日 教 教 体工 教 教 児児野 児 児 比比日 教 の 政 の 原 原 文活 体 体 文の 原 の で っ 理 理 化化動 育 育 化化歴 理 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	$ \begin{array}{ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	文文化他 見見 見幼 現文 見見 見幼 見幼 見幼 見幼 見次 社 化交流学履 育育 育育 語流 育育 育尊 学專 学專 学專 学專 学專 学專 学專 学專 学專 学專 学專 学專 学專
社会教育実習	1	50106	1	EX31C06K	社会教育実習 I	1		3~4	社会教育実習Ⅱ 同時履修
社会教育演習 社会教育実習 社会教育課題研究	選択必修3	50085 50035 50036	2 2 1	EX30C22E EX32C06K EX30C10K	社会教育演習 社会教育実習Ⅱ 社会教育課題研究	2 1 2		$3 \sim 4$ $3 \sim 4$ $3 \sim 4$	社会教育実習Ⅱ を含め3単位以 上修得

5. 学芸員資格に関する科目の履修 (文学部)

学芸員資格に関する科目

学芸員となるには、大学において法定の単位を修得するか、または文部科学大臣による資格認定を受ける必要がある。本課程は前者に相当するが、これによってその資格を取得するには博物館法、博物館法施行規則によって定められた必修科目と選択科目(考古学含む)を修得し、併せて学士の学位を取得しなければならない。

また、資格取得に必要な博物館実習の履修にあたっては、博物館の機能に関する相当な専門知識と研究 心が必要とされる。

<文学部 2017(平成29)年度以降入学生>

省令科目				大学	開設科目				
科目名	単位数	科目 コード	科目明細	科目 ナンバリング	科目名	単心必修	数選択	配置 年次	備考
生涯学習概論	2	50081 50082	2 2	EX21C03K EX22C03K	生涯学習概論 I 生涯学習概論 Ⅱ	2 2		$\begin{array}{c} 1 \sim 2 \\ 1 \sim 2 \end{array}$	
博物館概論	2	50037	2	EX10C02K	博物館概論	2		1	
博物館経営論	2	50075	1	EX20C09K	博物館経営論	2		2~3	
博物館資料論	2	50076	1	EX20C10K	博物館資料論	2		2~3	
博物館資料保存論	2	50077	1	EX20C13K	博物館資料保存論	2		2~3	
博物館展示論	2	50078	1	EX20C14K	博物館展示論	2		2~3	
博物館情報・メディア論	2	50079	1	EX20C11K	博物館情報・メディア論	2		2~3	
博物館教育論	2	50080	1	EX10C03K	博物館教育論	2		1	
博物館実習	3	50041	1	EX30C11J	博物館実習	3		3	(事前事後指導1単位含む)
その他関連科目		14211 14218 14219 14212 14213 14217 14208 14209 14204 14186 14187	3 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2	CC20C15K CC20C22K CC20C23K CC20C16K CC20C17K CC20C21K CC21C01K CC22C01K CC22C01K CC10B01K CC10B02K	日本の歴史と文化 ヨーロッパの歴史と文化A ヨーロッパの歴史と文化B 中国の歴史と文化A 中国の歴史と文化B イスラムの歴史と文化 考古学 I 考古学 I 民俗学 文化人類学 A 文化人類学 B	2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2	$ 2 \sim 4 2 \sim 4 2 \sim 4 2 \sim 4 2 \sim 4 2 \sim 4 2 \sim 4 2 \sim 4 2 \sim 4 1 \sim 2 1 \sim 2 $	

その他関連科目は考古学Ⅰ・Ⅱ4単位を含めて8単位以上修得すること。

<1>博物館実習

学芸員資格に関する科目のうち、博物館実習は、茨城県内の博物館等において行っている。その他、 県外における博物館見学も実施しているので、日程等に留意してほしい。

尚、履修者は原則として3年次生以上とし、博物館実習費を納入しなければならない。実習の登録は、 実習する年の前年度12月中に実施する説明会に出席し、希望届けを学務部に提出すること。

<2> 実習の履修に関する規程

博物館実習を履修しようとする場合は、前年度終了までに、下記の科目を修得していなければ、その 履修は認められない。

- ① 卒業に必要な単位のうち、2分の1以上。
- ② 「博物館概論」「博物館資料論」「博物館資料保存論」「博物館展示論」「博物館教育論」及び「考古学 II 」の7科目、計14単位。
- ③ 「生涯学習概論 I 」及び「生涯学習概論 II 」の 2 科目、もしくは「博物館経営論」「博物館情報・メディア論」のうち 1 科目以上。
- ④ その他関連科目のうち、「考古学Ⅰ」、「考古学Ⅱ」を除いて4単位以上。

6. 日本語教育施設の教員資格に関する科目の履修 「文学部」

日本語教育施設の教員資格に関する科目

2000年3月の文化庁「日本語教育のための教員養成について」で示された基準に基づき「日本語教育施設の教員資格に関する科目」が定められている。修得科目・単位数に従って「主専攻コース」「副専攻コース」のいずれかの修了を認定する。

主専攻コース

「日本語教育施設の教員資格に関する科目」から、必修科目12単位および選択必修科目16単位を含め、合計48単位以上を修得した場合、「主専攻コース」の修了を認定する。

主専攻コースの「日本語教育実習 A」(必修科目)は、主に学外の日本語教育施設で実施される。実習履修者は、学外の日本語教育施設において責任ある行動をとれる者に限られるため、複数の教員による面接・審査を経て選抜される。審査結果によっては「修得単位上の条件」を満たしていても履修不可とすることがある。

「日本語教育実習A」履修上の条件

日本語教育実習Aを行うためには、実習を行う年度の当初までに以下の条件を満たすこと。

- ① 必修科目「日本語教育概論」を修得していること。
- ② 必修科目「日本語と社会」「日本語と心理」「異文化間コミュニケーション」「日本語の構造A」のうち、少なくとも1科目を修得していること。
- ③ 以上を含んで、日本語教員資格科目を合計20単位以上修得していること。
- ④ 実習を行う年度の前年度までに履修登録した科目について、GPAが2.0以上であること。

副専攻コース

「日本語教育施設の教員資格に関する科目」から、必修科目11単位および選択必修科目16単位を含め、合計27単位以上を修得した場合、「副専攻」コースの修了を認定する。

2017年8月に施行された法務省「日本語教育機関の告示基準」に基づき、2017年度以降の入学者は副専攻においても「日本語教育実習」が必修となった。副専攻コースの「日本語教育実習B」は、主に学内の授業等で実施される。実習履修者の選抜を行わないが、副専攻コースの実習履修者にも主専攻コース同様、責任ある行動をとることを強く求める。

「日本語教育実習B」履修上の条件

日本語教育実習Bを行うためには、実習を行う年度の当初までに以下の条件を満たすこと。

・必修科目「日本語教育概論」を修得していること。

<文学部 2017(平成29)年度以降入学生>

	~1 D	₹1 □	~1 F		配置	年次お	よび単	位数	主車内	副専攻	
分	科目コード	科目明細	科目 ナンバリング	科目名	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	エ マ ス コース ※1	画 サス コース ※ 2	備考
	50059	1	EX10C04K	日本語教育概論	[2)	0	0	
	14101	2	CC30A01K	地球市民論			[2]	0	0	文化交流学科のみ
	14211	3	CC20C15K	日本の歴史と文化		(2)	0	0	
	14212	2	CC20C16K	中国の歴史と文化A		(2)			
	14213	2	CC20C17K	中国の歴史と文化B		[2)			
	14214	1	CC20C18K	東南アジアの歴史と文化		[2)			
社会	14215	1	CC20C19K	韓国の歴史と文化		(2)			
	14120	3	CC30C04K	国際協力A			[2]			
文化	14201	2	CC30C05K	国際協力B				2]			
地	14153	3	CC30C06K	国際関係論A			(2]			
域	14154	3	CC30C07K	国際関係論B			(2]			
	14155	4	CC10B05K	歴史学 A	[:	2]					
	14190	3	CC10B06K	歴史学B	[2]					
	14158	2	CC20C35K	比較文化論A		(2)	0	0	
	14159	2	CC20C36K	比較文化論B		(2)	0	0	
	14160	2	CC20C31K	アジアの文学		(2)			
	14139	2	CC20C30K	日本文学		(2)			
	50060	1	EX10C05K	日本語と社会	[2)	0	0	
	12175	3	EN20C32E	日本語教育演習A		(2)	0	0	現代英語学科のみ
言新	14131	3	CC20C04E	日本語教育演習 A		(2)	0	0	現代英語学科を除く
言語と社	14186	2	CC10B01K	文化人類学A	[2]					
会	14187	2	CC10B02K	文化人類学B	[:	2]					
	14188	2	CC10B03K	社会学A	[:	2]					
	14189	2	CC10B04K	社会学B	[:	2]					
	50061	1	EX20C15K	日本語と心理		(2)	0	0	
	12072	2	EN10C05K	言語習得論	[2)	0	0	
言新	13019	2	PE20C21K	学習心理学		(2)	0	0	
言語と心	12173	1	EN20C25K	言語発達心理学		(2)		0	現代英語学科のみ
理	13129	1	PC20C16K	言語発達心理学		(2)		0	児童教育学科幼児保育専攻のみ
	12176	3	EN20C33E	日本語教育演習B		(2)		0	現代英語学科のみ
	14132	3	CC20C05E	日本語教育演習B		(2)	0	0	現代英語学科を除く

	~1 H	~1 D	₹1 □		配置	年次お	よび単	位数	主専攻	副専攻	
区分	科目 コード	科目明細	科目 ナンバリング	科目名		2 年 次	3 年 次	4 年次	エ号以 コース ※1	画号以 コース ※2	備考
	12047	1	EN20C05K	異文化間コミュニケーション		(2)	0	0	現代英語学科のみ
	14129	2	CC30C03K	異文化間コミュニケーション			[2]		0	0	現代英語学科を除く
	50062	2	EX30C12J	日本語教育実習A			[:	2)	0		
	50101	1	EX30C21J	日本語教育実習B			[1)		0	
	12071	1	EN20C26K	異文化理解教育		(2)		0	
 =	13030	1	PE11C03K	言語教育Ⅰ		2	2)		0	
言語と教育	13031	1	PE12C03K	言語教育Ⅱ		2	2)			
教育	12174	2	EN20C27E	外国語指導技術		(2)	0	0	現代英語学科のみ
月月	14240	1	CC20C06E	外国語指導技術		(2)		0	現代英語学科を除く
	14168	3	CC20C39K	比較教育論A		[2)	0	0	
	14223	2	CC20C40K	比較教育論B		[2)	0	0	
	12188	1	EN20C53K	日本語教員試験対策講座		[2)	0		現代英語学科のみ
	14175	2	CC30C16K	日本語教員試験対策講座(実践)			[:	2]	0		
	14176	3	CC20C44K	日本語教員試験対策講座(入門)		[2)	0		現代英語学科を除く
	50065	2	EX21C05K	日本語の構造 A		[2)	0	0	
	14202	2	CC20C07K	言語学A		[2)			
	14203	2	CC20C08K	言語学B		[2)			
	50067	1	EX20C16K	日本語の歴史		[2)	0	0	
	12049	2	EN20C34E	通訳入門		[2)			
言語	14133	3	CC20C02K	日本語学A		(2)			主専攻コースは履修が望ましい
	14134	3	CC20C03K	日本語学B		(2)			主専攻コースは履修が望ましい
	14165	1	CC20C42K	比較言語論		(2)		0	
	50063	2	EX11C02K	日本語学各論A(音声)		2	2)			
	50064	2	EX12C02K	日本語学各論B(文字)	[2	2)			
	50066	2	EX22C05K	日本語の構造 B		(2)			

^{※1} 主専攻コースをめざす者は、◎必修科目12単位および○選択必修科目から16単位を含め、合計48単位以上を 修得すること。

^{※2} 副専攻コースをめざす者は、©必修科目11単位および○選択必修科目から16単位を含め、合計27単位以上を 修得すること。

7. 小学校英語指導者認定協会資格認定に関する科目の履修 (文学部現代英語学科)

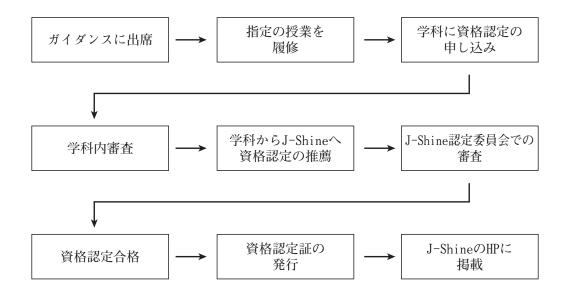
1. 小学校英語指導者認定協会とは

小学校英語指導者認定協会(略称: J-Shine)とは2002年に設立したNPO法人で、小学校における英語活動指導者を育成し、高水準の指導者を小学校に供給するために活動している団体である。指導者に統一資格を付与し、資格者の情報を協議会のホームページ上(http://www.j-shine.org/)で公開することによって各地の教育委員会などに有資格者の採用を働きかけている。J-Shineの指導者資格は、現在日本の小学校英語活動の専門家に与えられる唯一の資格となっている。

2. J-Shineの小学校英語指導者資格の取得方法

現代英語学科は、J-Shineの認定教育機関となっており、必要な科目(下記)を履修し、その単位を修得した学生を学科からJ-Shineに推薦することができる。J-Shineが指導者として認めた学生には認定証が発行され、「小学校英語指導者」として活動する資格が与えられる。

◆資格取得までの流れ



3. J-Shineの小学校英語指導者資格取得に関する科目

現代英語学科の学生で、J-Shineの資格取得を希望する者は、卒業までに次表の「本学設置科目」を修得することが必要となる。

<文学部現代英語学科 2019(平成31)年度以降入学生>

小学校英語指導者認定協			本学設	置科目		配置	
会資格認定科目の履修方 法	科目コード	科目 明細	科目 ナンバリング	科目名	単位数	年次	
	12008	2	EN11C02E	Pronunciation I	1	1~4	
	12009	2	EN12C02E	Pronunciation II	1	1~4	
	12069	1	EN20C28K	子供の英語教育	2	2~4	
(1) 必修科目	12127	1	EN30C03E	英語科教育法 I	2	3~4	
	12072	2	EN10C05K	言語習得論	2	1~4	
	12123	1	EN31C02E	英語教育実践研究(児童) I	2	3~4	
	12124	1	EN32C02E	英語教育実践研究(児童) Ⅱ	2	3~4	
(2) 選択必修科目	12119	2	EN20C29K	英語教材論(幼児)	2	1~4	
※2科目中1科目以 上選択	12120	2	EN20C30K	英語教材論(児童)	2	1~4	

4. 学科推薦の基準

- ①推薦基準:卒業要件科目のGPAが2.5以上であること。
- ②上記の資格取得に関する科目のGPAが2.75以上であること。

8. 保育士資格に関する科目の履修

[文学部児童教育学科幼児保育専攻]

学則第37条第6項に定められている保育士の資格を取得するためには、以下の要件を満たさなければならない。

○児童福祉法施行規則 (第6条の2第1項第三号) による授業科目の最低修得単位数

	教科目の	の種類		設置単位数	本学開設科目の単位数	本学における最低修得単位数
教	養	科	目	10単位以上	22	12
告示別	別表第1に	こよる教	科目	51単位以上	62	62
告示別	別表第20	こよる教	科目	18単位以上	29	19
		小	計		113	93

<1> 保育士資格取得の要件(細則)

- 1) 本学を卒業し、学士の学位を有すること。
- 2) 児童福祉法施行規則(第6条の2第1項第三号)に基づく保育士養成のための本学所定の授業科目の単位を、以下の1~3に従い修得すること。

1. 全学教養科目(教養科目) 開設科目22単位中12単位必修

- ・「キリスト教の精神と文化 I」(2単位) および「キリスト教の精神と文化Ⅲ」(2単位)、計 4単位必 修(卒業要件上必修)
- ・「英語コミュニケーション I 」または「総合英語 I 」 (1 単位)、「英語コミュニケーション II 」または「総合英語 II 」 (1 単位)、計 2 単位選択必修(卒業要件上必修)
- ・「コンピュータ基礎 I 」(2 単位)、「コンピュータ基礎 II 」(2 単位)、「コンピュータ実習」(2 単位) より 2 単位選択必修(卒業要件上必修)
- ・「運動と健康」(2単位)必修
- ·「体育実技A」(1単位)、「体育実技B」(1単位)、計2単位必修(卒業要件上必修)

2. 必修科目(「告示別表第1による教科目」) 開設科目62単位すべて必修

「音楽 I 」 (1 単位)、「音楽 II 」 (1 単位)、「美術 II 」 (1 単位)、「幼児体育 I 」 (1 単位)、「幼児体育 II 」 (1 単位)、「幼児体育 II 」 (1 単位) は卒業要件上必修

3. 選択科目(「告示別表第2による教科目」) 開設科目29単位中19単位以上選択必修

「保育実習 II (保育所)」または「保育実習 III (施設)」(2 単位)はいずれかを必ず修得しなければならない。

また、「保育実習指導Ⅱ」(1単位) は、「保育実習Ⅱ (保育所)」または「保育実習Ⅲ (施設)」のために必修である。

したがって、上記3単位のほかに16単位以上を選択し修得する必要がある。

1. 教養科目

告示による教科目					前學	生を							
系	教	授業	単		左に	二対応して開設	されている教科目	授業	1 配直	年次お	備考		
列			科目 コード	科目 科目 科目 形態		1年次	2年次	3年次	4年次				
	外国			10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化I	講義	2				
	国語、			10052	1	LA33A01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義			2		
	体育以外	不問	6以上	10044	1	LA11B12J	コンピュータ基礎 I	演習	2				
	0			10045	1	LA12B12J	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	2				2 単位 選択必修
	科目			10046	2	LA20B01J	コンピュータ実習	演習		2			
		演習		10054	1	LA11B02E	英語コミュニケーションI	演習	1)
				10055	1	LA12B02E	英語コミュニケーションⅡ	演習	1				総合英語 I
教養				10056	1	LA23C02E	英語コミュニケーションⅢ	演習		1			または英語コミュニケーション
教養科目	外		2 以	10057	1	LA24C02E	英語コミュニケーションⅣ	演習		1			から1単位 選択必修
	外国語		上上	10058	1	LA11B01E	総合英語 I	演習	1				総合英語Ⅱ または英語
				10059	1	LA12B01E	総合英語Ⅱ	演習	1				コミュニケーション』 から1単位
				10060	1	LA23C01E	総合英語Ⅲ	演習		1			選択必修
				10061	1	LA24C01E	総合英語IV	演習		1]
		講義	1	10030	1	LA10C02K	運動と健康	講義	[4	2)	保育士資格必修
	体育	実技	1	10028	2	LA10A02J	体育実技A	実技	[(1	D)	
			1	10109	1	LA10A03J	体育実技B	実技	[(1	D)	
合計 10単位 以上 22単位開設								本学は	こおいて				

[○]印は卒業要件上の必修科目を意味する。

2. 必修科目

	告示別表第による教科				配								
至			単	左に対応して開設されている教科目				授業	単位数				備考
系列	教科目	授業	位数	科目コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	日本学 日本	4年次				
保育	保育原理	講義	2	13114	2	PC10C01K	保育原理	講義	2			2	
の本質	教育原理	講義	2	13102	2	PC10C02K	教育原理	講義	2				
	子ども家庭福祉	講義	2	13117	3	PC30C15K	子ども家庭福祉	講義			2		
的	社会福祉	講義	2	13118	1	PC20C04K	社会福祉	講義		2			
に関	子ども家庭支援論	講義	2	13133	3	PC20C26K	子ども家庭支援論	講義		2			
するが	社会的養護 I	講義	2	13116	3	PC21C05K	社会的養護 I	講義		2			
目	保育者論	講義	2	13115	3	PC10C03K	保育者論	講義	2				
解保	保育の心理学	講義	2	13103	3	PC10C08K	保育の心理学	講義	2			4年次	
に育	子ども家庭支援の心理学	講義	2	13213	1	PC20C23K	子ども家庭支援の心理学	講義		2			
対対の対象	子どもの理解と援助	演習	1	13179	2	PC10C09E	子どもの理解と援助	演習	1				
る家科の	子どもの保健	講義	2	13208	2	PC20C30K	子どもの保健	講義		2			
目埋	子どもの食と栄養	演習	2	13140	2	PC30C02E	子どもの食と栄養	演習			2	数 年次 4年次 2	
	保育の計画と評価	講義	2	13182	2	PC10C10K	保育の計画と評価	講義	2				
	保育内容総論	演習	1	13221	1	PC20C32E	保育内容総論	演習		2			
				13151	2	PC20C24E	保育内容教育法・健康	演習		2			
				13152	2	PC10C12E	保育内容教育法·人間関係	演習	2				
	/ロナムより	<i>)</i> ਤੇ ਹਰ	_	13153	2	PC20C25E	保育内容教育法・環境	演習		2			
	保育内容演習	演習	5	13154	2	PC10C13E	保育内容教育法・言葉	演習	2				
保				13155	2	PC30C12E	保育内容教育法・表現 I	演習			2		
0				13156	2	PC30C13E	保育内容教育法・表現Ⅱ	演習			2		
内 容				13192	1	PC11A01E	音楽 I	演習	1				
				13193	1	PC12A01E	音楽Ⅱ	演習	1				
法に	四大小皮の理想) 土込	冷정되	4	13194	1	PC11A02E	美術 I	演習	1				
関す	保育内容の理解と方法	演習	4	13195	1	PC12A02E	美術Ⅱ	演習	1				
				13198	1	PC21A02J	幼児体育 I	実技		1			
17				13199	1	PC22A02J	幼児体育Ⅱ	実技		1			
	乳児保育 I	講義	2	13218	1	PC21C06K	乳児保育 I	講義		2			
	乳児保育Ⅱ	演習	1	13219	1	PC22C06E	乳児保育Ⅱ	演習		1			
	子どもの健康と安全	演習	1	13181	3	PC30C14E	子どもの健康と安全	演習			1		
	障害児保育	演習	2	13131	1	PC30C04E	障害児保育	演習			2		
	社会的養護Ⅱ	演習	1	13132	3	PC22C05E	社会的養護Ⅱ	演習		2			
	子育て支援演習	演習	1	13215	1	PC20C27E	子育て支援演習	演習		1			
保	保育実習 I	実習	হা 4	13161	3	PC32C01J	保育実習 I (施設)	実習			2		
育実		大百	4	13160	2	PC32C03J	保育実習 I (保育所)	実習			2		
・目的に関する科目 解に関する科目 保育の対象の理 保育の内容・方法に関する科目 保育の対象の理	保育実習指導I	演習	2	13184	2	PC31C01E	保育実習指導I	演習			2		
総合 演習	保育実践演習	演習	2	13177	1	PC40C04E	保育·教職実践演習 (幼稚園)	演習				2	
	合計	51単	i位			62単位	拉開設	本学	におい	いて62	単位	開設	

[○]印は卒業要件上の必修科目を意味する。

3. 選択必修科目

告	示別表第によ	る教科	·目		指定值	呆育士養成施	設における教科の開設		酉	置年次	欠およ	び										
系	せないロ	授業)\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	左に対応して開設されている教科目						単位			備考									
系 列	教科目	形態	単位数	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	形態	1年次	2年次	3年次	4年次										
保育の				13105	2	PC20C08K	子育て支援論	講義		2												
の本質				13120	1	PC20C14K	キリスト教保育	講義		(2)										
・目的に				13134	3	PC30C16E	地域子育て支援実践演習	演習			['2	2]										
に関する				13189	2	PC30C17E	地域発達支援実践演習	演習			['2	2]										
する科目				13135	1	PC30C05K	地域発達臨床論	講義			[2	2]										
に保	各指定保育士養成施設にお			13125	1	PC20C15K	発達障害学	講義		(2)										
関育の対	育 士義		15	13129	1	PC20C16K	言語発達心理学	講義		(2)										
科目理解	成施加	不問	単位以上	13216	1	PC20C28E	幼児理解	演習		1												
解	設におい		上	13217	1	PC20C29E	教育相談	演習		1												
保	いて設定			13157	1	PC30C01E	保育方法の研究	演習			2											
育の内				13204	1	PC21C01E	音楽Ⅲ	演習		1												
容・方				13205	1	PC22C01E	音楽IV	演習		1												
方法に関														13206	1	PC21C02E	美術Ⅲ	演習		1		
関する科目				13207	1	PC22C02E	美術IV	演習		1												
	J			13142	2	PC20C17E	身体表現	演習		(2)										
	保育実習 II 又は			4433	2	13162	3	PC42C01J	保育実習Ⅱ(保育所)	実習				2								
保育実習	保育実習Ⅲ	大白	2	13163	3	PC42C02J	保育実習Ⅲ (施設)	実習				2										
習	保育実習指導Ⅱ 又は 保育実習指導Ⅲ	演習	1	13167	2	PC41C01E	保育実習指導Ⅱ	演習				1										
	合計		立以上			29単	单位開設		本学において 19単位以上修得													

<2> 保育実習を行うための履修条件

1)「保育実習指導Ⅰ | の履修

「保育実習指導 I」(演習 2 単位 3 年次)は保育実習 I (保育所)・保育実習 I (施設)のための 実習事前事後指導なので必ず受講しなければならない。

2) 保育実習 I (保育所) (2 単位 3 年次 5 月)

保育実習 I (保育所) を履修するためには、実習を行う年度の当初(通常は 3 年次 4 月) までに、次の①②の単位を修得していなければならない。

- ① 全学教養科目の<u>1年次配置</u>のうちキリスト教の精神と文化 I 2単位、コンピュータ基礎 I 2単位、 運動と健康 2単位、体育実技 A 1単位、体育実技 B 1単位の計 8単位中 4単位以上。
- ② 必修科目(「告知別表第1による教科目」)<u>1年次配置</u>(保育原理、教育原理、保育者論、保育の心理学、子どもの理解と援助、保育の計画と評価、保育内容教育法・人間関係、保育内容教育法・言葉、音楽 I、音楽 II、美術 II)の19単位中13単位以上。
- 3) 保育実習 I (施設) (2単位 3年次9月)

保育実習 I (施設) を履修するためには、実習を行う年度の当初 (通常は 3 年次 4 月) までに、次の①~③の単位を修得していなければならない。

- ① 卒業に必要な単位のうち二分の一(62単位)以上を修得していること。
- ② 全学教養科目の $1\cdot 2$ 年次配置 (上記1年次科目に英語コミュニケーション I または総合英語 I 、 英語コミュニケーション II または総合英語 II のうち 2 単位が加わる)の10単位のうち 6 単位以上。
- ③ <u>2 年次配置</u>までの必修科目(「告知別表第 1 による教科目」)<u>計43単位中33単位以上。</u>〔1 年次科目に加わる 2 年次配置の科目=社会福祉、子育て支援演習、社会的養護 I、子ども家庭支援の心理学、子どもの保健、子ども家庭支援論、保育内容総論、保育内容教育法・健康、保育内容教育法・環境、乳児保育 I、乳児保育 II、社会的養護 II、幼児体育 I、幼児体育 II 24単位。〕

4)「保育実習指導Ⅱ | の履修

「保育実習指導Ⅱ」(演習1単位 4年次)は保育実習Ⅲ(保育所)・保育実習Ⅲ(施設)のための 実習事前事後指導なので必ず受講しなければならない。

5) 保育実習Ⅱ(保育所)(4年次5月 2単位)

保育実習Ⅲ (施設) (4年次9月 2単位)

保育実習Ⅱ(保育所)または保育実習Ⅲ(施設)を履修するためには、実習を行う年度の当初(通常は4年次4月)までに保育実習Ⅰ(施設)と同じ履修条件を満たしていなければならない。

※なお、保育実習Ⅱまたは保育実習Ⅲを履修するためには3年次終了までに保育実習Ⅰ(保育所)・保育実習Ⅰ(施設)の所定の実習期間を終えなければならない。

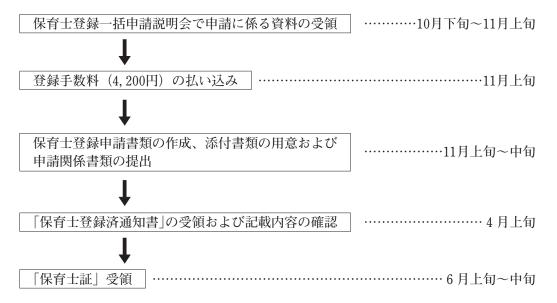
なお、保育実習履修の最終的な可否は、児童教育学科幼児保育専攻会議の合議により決定する。上記の 履修条件すべて満たしている場合であっても専攻会議が実習生としての適正に欠けると判断する場合は実 習の履修を許可しない場合がある。

<3>保育士登録申請(2020年3月現在)

保育士登録申請は、都道府県知事委託保育士登録機関である登録事務処理センター発行の『保育士登録の手引き』に則って申請を行う。具体的な申請手続きについては説明会で指示する。

なお、①登録申請書類に添付する証明書(2種)の発行手数料として800円、②登録手数料として登録 事務処理センターに4,200円の払い込みが必要となるので留意すること。

保育士登録申請から「保育士証」の交付までの流れ



9. 社会福祉士国家試験受験資格に関する科目の履修 「生活科学部心理福祉学科〕

(1) 社会福祉士とは

社会福祉士とは、国家資格である「社会福祉士」の名称を用いて、社会で生活するにあたって様々な困難を感じ、サポートを必要とする人々に対し、その人権を尊重し、社会福祉の専門知識・技術を駆使して支援するソーシャルワーク専門職をいう。

社会福祉の仕事は、大きく相談援助業務と介護業務にわけることができる。具体的には社会福祉士は、地域や施設で福祉サービスを利用する人たち(日常生活の支援を必要とする高齢者や障害児・者、親と生活することのできない児童、経済的な課題のある人など)やその家族の相談に応じたり、必要な交渉や手続きを手伝ったり、仕事や住まいを探したりすることを仕事としている。

したがって、福祉の知識や技術はもちろんのこと、法律や医学など関連領域の専門知識のほか、一人の 社会人として生活する際の常識や日常の知識が併せて必要となる。

社会福祉士は、「全ての人の人権を尊重しその生活を支えること」を専門職として守ることを旨とし、本学では、社会福祉の専門職としての知識と技術を学ぶとともに、この人権尊重の価値観を育むことを目指す。

なお、社会福祉の仕事に関する国家資格には、上記介護業務を担う介護福祉士がある。

(2) 社会福祉士の資格の取得方法は

社会福祉士の資格は、『社会福祉士及び介護福祉士法』によって定められた課程を経て社会福祉士国家試験受験資格を取得し、年一回実施される国家試験に合格した後、資格登録をすることによって得られる。

(3) 社会福祉士国家試験受験資格に関する科目

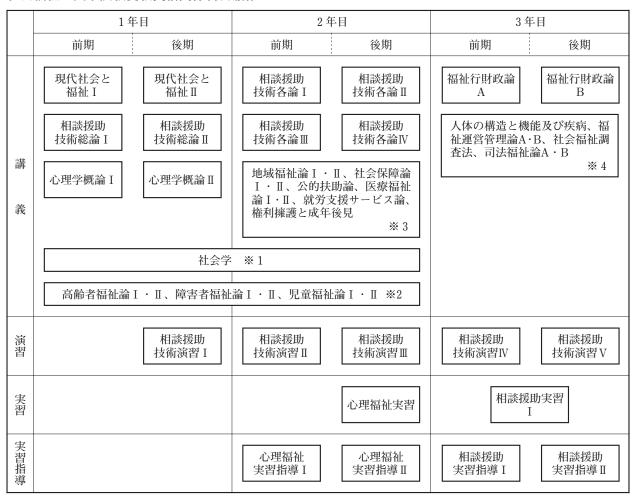
心理福祉学科の学生で社会福祉士国家試験受験資格取得を希望する者は、卒業までに次表の「大学開設 科目」を順次取得することが必要となる。

なお、相談援助実習等の科目の履修については、それぞれ以下に定める科目について修得・履修を条件とする。

- 1) 心理福祉実習、心理福祉実習指導Ⅰ・Ⅱおよび相談援助技術演習Ⅱ・Ⅲを履修しようとする者は、以下の科目を修得していることが必要である。
 - ①現代社会と福祉Ⅰ・Ⅱ ②相談援助技術総論Ⅰ・Ⅱ ③相談援助技術演習Ⅰ ④心理学概論Ⅰ・Ⅱ
- 2) 相談援助実習 I および相談援助実習指導 I · II を履修しようとする者は、 1)に示した科目に加えて、以下の科目のうち 1 2 3 が修得済みであること。なお、 4 5 6 については、同時履修が条件となる。
 - ①心理福祉実習、心理福祉実習指導Ⅰ・Ⅱおよび相談援助技術演習Ⅱ・Ⅲ
 - ②相談援助技術各論 I ~ IV
 - ③高齢者福祉論 I ・ II 、障害者福祉論 I ・ II 、児童福祉論 I ・ II 、公的扶助論、医療福祉論 I ・ II の うち、自分の実習希望配属先に関連する科目

- ④福祉行財政論A·B
- ⑤相談援助技術演習IV
- ⑥相談援助技術演習 V
- 3) その他の科目については、以下の条件となる。
 - ①相談援助技術総論Ⅰの科目を修得していなければ、相談援助技術総論Ⅱを履修することはできない。
 - ②相談援助技術演習Ⅲの科目を修得していなければ、相談援助技術演習Ⅲを履修することはできない。
 - ③相談援助技術演習Ⅲの科目を修得していなければ、相談援助技術演習Ⅳを履修することはできない。
 - ④相談援助技術演習IVの科目を修得していなければ、相談援助技術演習 Vを履修することはできない。
 - ⑤心理福祉実習指導Ⅰの科目を修得していなければ、心理福祉実習指導Ⅱを履修することはできない。
 - ⑥相談援助実習指導 I の科目を修得していなければ、相談援助実習指導 II を履修することはできない。

社会福祉士国家試験受験資格関係科目履修モデル



- ※1「社会学」は1年次または2年次のうちに履修することが望ましい。
- ※ 2 「高齢者福祉論 $I \cdot II$ 」 「障害者福祉論 $I \cdot II$ 」 「児童福祉論 $I \cdot II$ 」 のうち、いずれかは 1 年次に履修することが望ましい。残りの科目も 2 年次までに履修することが望ましい。
- ※3「地域福祉論 I・Ⅱ」「社会保障論 I・Ⅱ」「公的扶助論」「医療福祉論 I・Ⅱ」「就労支援サービス論」「権利擁護と成年後見」は、可能な限り2年次に履修することが望ましい。
- ※ 4 「人体の構造と機能及び疾病」「福祉運営管理論A・B」「社会福祉調査法」「司法福祉論A・B」は3年次で 履修することが望ましい。

〔社会福祉士資格科目〕

社会福祉士及び介護福祉法領	第 7 久 第二早			本学指定	定授業科目	配置	置年》 単作	欠お。 立数	よび
和	関する科目	科目コード	科目明細	科目 ナンバリング	科目名	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
人体の構造と機能及び疾病)		21109	1	WP20C29K	人体の構造と機能及び疾病		(2)
之理宗理李上之理的士 校	のさと1利日	21099	1	WP11A01K	心理学概論 I	2			
心理学理論と心理的支援	のうち1科目	21100	1	WP12A01K	心理学概論Ⅱ	2			
社会理論と社会システム		20013	1	WP10C16K	社会学	[2	2)		
77 (N. L. A.)		21101	1	WP11A02K	現代社会と福祉 I	2			
現代社会と福祉		21102	1	WP12A02K	現代社会と福祉Ⅱ	2			
社会調査の基礎		21076	1	WP20C07K	社会福祉調査法		(2)
		21113	1	WP11C02K	相談援助技術総論 I	2			
相談援助の基盤と専門職		21114	1	WP12C01K	相談援助技術総論Ⅱ	2			
		21135	1	WP21C07K	相談援助技術各論 I		(:	2)	
Letak katalog antak) 401.		21136	1	WP22C09K	相談援助技術各論Ⅱ		(:	2)	
相談援助の理論と方法		21137	1	WP23C02K	相談援助技術各論Ⅲ		(:	2]	
		21138	1	WP24C01K	相談援助技術各論IV		(:	2)	
		21145	1	WP21C08K	地域福祉論 I		(2)
地域福祉の理論と方法		21146	1	WP22C10K	地域福祉論Ⅱ		(2)
		21159	1	WP30C11K	福祉行財政論A			[2)
福祉行財政と福祉計画		21160	1	WP30C12K	福祉行財政論B			(2)
		21149	1	WP20C44K	福祉運営管理論A		(2)
福祉サービスの組織と経営		21150	1	WP20C45K	福祉運営管理論B		(2	
		21147	1	WP21C09K	社会保障論 I		[2]
社会保障		21148	1	WP22C11K	社会保障論Ⅱ		(2	
		21143	1	WP11C08K		[2)
高齢者に対する支援と介護保	! 険制度	21144	1	WP12C06K	高齢者福祉論Ⅱ	[-	2)
		21141	1	WP11C07K	障害者福祉論 I	[2)
障害者に対する支援と障害者	自立支援制度	21142	1	WP12C05K	障害者福祉論Ⅱ	[-	2)
	一・家庭福祉	21139	1	WP11C06K	児童福祉論 I	(2)
制度	1里 水灰田皿	21140	1	WP12C04K	児童福祉論Ⅱ	[-	2)
 低所得者に対する支援と生活	保護制度	21029	1	WP20C09K	公的扶助論		[2)
		21153	1	WP21C10K	医療福祉論 Ι		[2	
保健医療サービス		21154	1	WP22C12K	医療福祉論Ⅱ		ĺ	2	
		21151	1	WP20C46K	就労支援サービス論		Ì	2	
権利擁護と成年後見制度	・のうち 1 科目	21152	1	WP20C47K	権利擁護と成年後見		ſ	2)
IE 147/ERX 3/84 12/2/E/1/2	7731114	21157	1	WP20C48K	司法福祉論A		ſ	2	<u> </u>
更生保護制度		21157	1	WP 20 C 49 K	司法福祉論B		٢	2	
		21023	2	WP11C01E	相談援助技術演習I	[[2)		
		21023	2	WP22C02E	相談援助技術演習Ⅱ			2)	
相談援助演習		21025	3	WP23C01E	相談援助技術演習Ⅲ			2)	
I THE WARM IN I H		21023	2	WP34C01E	相談援助技術演習IV		<u> </u>		$\frac{\perp}{2}$
		21027	2	WP35C01E	相談援助技術演習V				$\frac{2}{2}$
		21163	1	WP21C12E	相談援助実習指導I		٢	2	
	目談援助実習指導			111 210121	10 HV 1/V 4/V 1/V 1/U 1/U 1/U 1	1		_	7
相談援助実習指導		21164	1	WP22C14E	相談援助実習指導Ⅱ		١	2]

[※]実習施設の種類については、社会福祉法施行規則にある指定施設のみとする。

10. 公認心理師国家試験受験資格に関する科目の履修 「生活科学部心理福祉学科〕

(1) 公認心理師とは

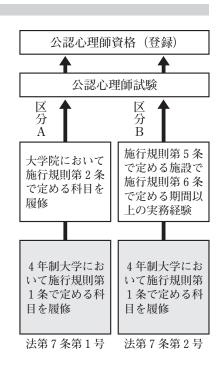
公認心理師とは、心の健康に関わる諸活動の実践に際して必要な高度の専門性を有する者に与えられる 国家資格である。公認心理師法(第2条)においては、「公認心理師」とは、公認心理師登録簿への登録を 受け、公認心理師の名称を用いて、保健医療、福祉、教育、司法、産業等の分野において、心理学に関す る専門的知識及び技術をもって、次に掲げる行為を行うことを業とする者であることが規定されている。

- ① 心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析
- ② 心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助
- ③ 心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助
- ④ 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供

公認心理師には、国民の心の健康の保持増進にむけて、医師、教員その他の関係者と連携し、幅広く多様な職務を担うことが期待されている。

(2) 公認心理師資格の取得方法

公認心理師の資格は、公認心理師法によって定められた課程(大学4年間と大学院2年間で心理学その他の公認心理師となるために必要な科目として文部科学省令、厚生労働省令で定める科目を修めて卒業/修了していることなど)を経て、公認心理師試験受験資格を取得し、国家試験に合格した後、資格登録をすることによって得られる(第7条第1号及び第2号)。学部を卒業したのちに所定の専門機関における定められた期間の実務経験を経て受験資格が発生するルート(区分B;第7条第1号)も設けられているが、基本的には公認心理師養成に対応した大学院(修士課程)へ進学して受験資格を得るルート(区分A;第7条第1号)を想定しておくことが望ましい。なお、この資格を取得した者は、法に定められた職責に反する行為を行わない限り、永続的にその資格を有する。



(3) 履修登録上の留意点

- ① 公認心理師国家試験受験資格を得るためには、(4)で示した表の公認心理師法施行規則第1条に定められた科目の25科目(本学設置科目26科目)すべての単位修得が必須である。なお、<u>1科目でも未修</u> 得の科目がある状態で卒業した場合、卒業後の科目等履修などによる追加の履修は不可能であり、改めて公認心理師養成課程(学部)を有する大学に入学し直す必要がある。
- ② 進級に伴い他の卒業要件科目等の履修も必要となるため、(5)の履修モデル(一部、履修要件科目 有)を踏まえつつ1年次からの計画的かつ余裕をもった履修登録が必要である。

(4) 公認心理師法施行規則に定められた科目及び本学設置科目

<2019年(平成31年)度以降入学生>

		本	学設置	科目					
公認心理師法施行規則							配置	年次	
第1条に定められた科目	科目名	科目コード	科目 明細	科目 ナンバリング	形式	1 年 次	2 年次	3 年次	4 年次
①公認心理師の職責	○公認心理師の職責	21167	1	WP10C33K	講義	[2	2)		
②心理学概論	○心理学概論 I	21099	1	WP11A01K	講義	2			
③臨床心理学概論	○臨床心理学概論	21046	2	WP10C08K	講義	[2	2)		
④心理学研究法	○心理学研究法 I	21085	1	WP21C04K	講義		[2)
⑤心理学統計法	○心理学統計法	21130	1	WP20C40K	講義		[2)
⑥心理学実験	○心理学実験 I	21126	1	WP31C03J	実験			(:	2)
⑦知覚・認知心理学	○知覚・認知心理学	21058	2	WP20C25K	講義		[2)
8学習・言語心理学	○学習・言語心理学	21131	1	WP20C41K	講義		[2)
⑨感情・人格心理学	○感情・人格心理学	21042	2	WP20C16K	講義		[2	2)	
⑩神経・生理心理学	○神経・生理心理学	21110	1	WP20C30K	講義		[2)
⑪社会・集団・家族心理学	○社会・集団・家族心理学 I ○社会・集団・家族心理学 II	21117 21118	1 1	WP11C03K WP12C02K	講義講義	(2			
⑫発達心理学	○発達心理学	21125	1	WP10C31K	講義	[2	2)		
⑬障害者・障害児心理学	○障害者・障害児心理学	21049	2	WP20C19K	講義		[2)
⑭心理的アセスメント	○心理的アセスメント	21083	3	WP20C21K	講義		[2)
⑤心理学的支援法	○心理学的支援法	21043	2	WP10C32K	講義	(4	2)
⑥健康・医療心理学	○健康・医療心理学	21124	1	WP10C30K	講義	[2	2)		
⑰福祉心理学	○福祉心理学	21123	1	WP10C29K	講義	(2	2)		
®教育·学校心理学	○教育·学校心理学	21132	1	WP20C42K	講義		[2)
⑩司法·犯罪心理学	○司法・犯罪心理学	21128	1	WP30C09K	講義			(:	2)
②産業・組織心理学	○産業・組織心理学	21088	2	WP30C05K	講義			(:	2)
②人体の構造と機能及び疾病	○人体の構造と機能及び疾病	21109	1	WP20C29K	講義		(2)
②精神疾患とその治療	○精神疾患とその治療	21129	1	WP20C39K	講義		(2)
②関係行政論	○関係行政論	21133	1	WP20C43K	講義		[2)
②心理演習	○心理演習	21087	2	WP20C24E	演習		[2)
②心理実習	○心理実習	21134	1	WP30C10J	実習			(;	3)

[※]授業科目の前の〇印は公認心理師資格必修科目である。 丸数字は卒業要件上の必修科目の単位数である。

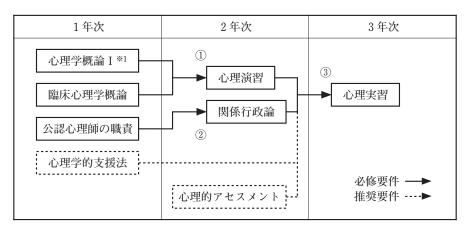
(5)「心理実習」および「心理学実験 I 」を履修するには

「心理実習」および「心理学実験 I 」の履修に際しては、下記に示す履修要件や科目履修の順序性があることを十分に留意して履修計画を立てる必要がある。

1. 「心理実習」の履修要件

- ① 「心理学概論 I 」と「臨床心理学概論」の単位修得の後に「心理演習」を履修できる。
- ② 「公認心理師の職責」の単位修得の後に「関係行政論」を履修できる。
- ③ 「心理演習」と「関係行政論」の単位修得の後に「心理実習」を履修できる。

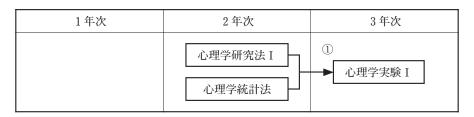
なお、必須ではないが「心理実習」の履修に先行して「心理学的支援法」と「心理的アセスメント」を 単位修得済であることが望ましい。



※1 公認心理師関連科目は「心理学概論 I 」のみだが、心理学概論 I は I と合わせて卒業要件であるため、 I 、 I ともに単位修得すること。

2. 「心理学実験 I」 の履修要件

① 「心理学研究法 I 」と「心理学統計法」の単位修得の後に「心理学実験 I 」を履修できる。



11. 認定心理士資格に関する科目の履修

〔生活科学部心理福祉学科〕

日本心理学会が認定する資格で、心理学の専門家としての職務を遂行する上で必要な最少限の標準的、 基礎的学力と技能を修得していると認定された人に対して与えられる資格である。下記の科目を修得し、 本学心理福祉学科を卒業すれば、申請資格を有することになる。なお、資格申請は個人で行うことになる が、卒業時に資格申請手続きについての説明会を行うので取得希望者は必ず出席すること。

[2019(平成31)年度以降入学生]

					本学設置	社科目	前里	
		認定心理士該当科目	科目 コード	科目明細	科目 ナンバリング	科目名	配置 年次	単位数
		(a)心理学概論	21099	1	WP11A01K	心理学概論 I ※	1	2
		(a)心垤子恢禰	21100	1	WP12A01K	心理学概論Ⅱ※	1	2
		(1) 心 理形等证为2分	21085	1	WP21C04K	心理学研究法 I	2~4	2
(1)	基礎科目 12単位以上	(b)心理学研究法	21086	1	WP22C05K	心理学研究法Ⅱ	2~4	2
	10 120/12		21126	1	WP31C03J	心理学実験 I	3~4	2
		(c)心理学実験	21127	1	WP32C01J	心理学実験 Ⅱ	3~4	1
			21096	1	WP20C22J	心理検査法実習	2~4	1
		(d)知覚心理学·学習心理学	21058	2	WP20C25K	知覚・認知心理学	2~4	2
		(e)生理心理学·比較心理学						
		(1) 数字 2 知兴 - 秋春 2 田兴	21125	1	WP10C31K	発達心理学	1~2	2
		(f)教育心理学・発達心理学 	50002	1	EX20C02K	教育心理学	2	2
			21042	2	WP20C16K	感情・人格心理学	2~3	2
			21043	2	WP10C32K	心理学的支援法	1~4	2
			21046	2	WP10C08K	臨床心理学概論	1~2	2
(2)	選択科目		21048	1	WP20C18K	深層心理学	2~4	2
	16単位以上	(g)臨床心理学·人格心理学	21049	2	WP20C19K	障害者・障害児心理学	2~4	2
			21051	1	WP30C02K	トランスパーソナル心理学	3~4	2
			21128	1	WP30C09K	司法・犯罪心理学	3~4	2
			21083	3	WP20C21K	心理的アセスメント	2~4	2
			21087	2	WP20C24E	心理演習	2~4	2
			21117	1	WP11C03K	社会・集団・家族心理学 I	1~2	2
		(h)社会心理学・産業心理学	21118	1	WP12C02K	社会・集団・家族心理学Ⅱ	1~2	2
			21123	1	WP10C29K	福祉心理学	1~2	2
(3)	その他の科目 (最大4単位)	(i)心理学関連の科目・卒業 論文・卒業研究						

(d) \sim (h) : 5 領域中 3 領域以上で各領域 4 単位以上、かつ、 5 領域の小計が16単位以上

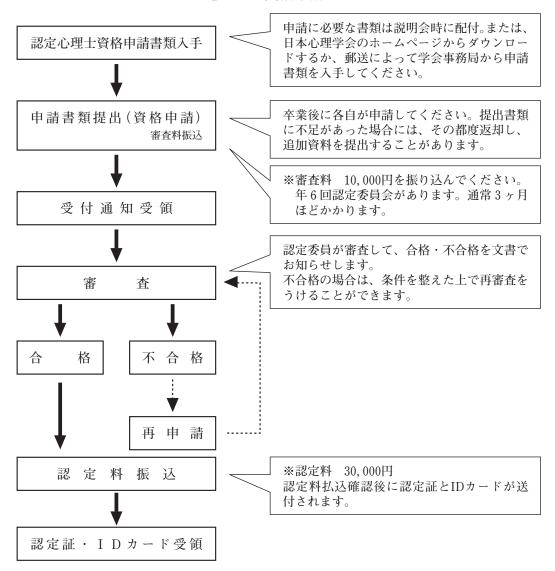
(1) 「基礎科目」、(2) 「選択科目」、(3) 「その他の科目」(i) の単位を加えて総計36単位以上

※は、心理福祉学科必修科目

認定心理士資格申請の手順(2019年3月現在)

1. 認定心理士の資格取得希望者は、4年次の1月中旬頃に説明会を予定しているので、必ず出席すること。

認定心理士資格申請の流れ



- ※ 心理学関係科目修得単位表は、指導教員の署名・捺印が必要になる。
- ※ 3月初旬卒業生氏名発表時に配付される成績通知票をもとに、書類を各自整備し、指定期日までに学務部窓口に提出すること。同時に卒業証明書並びに成績証明書の申し込みを行うこと、学位授与式当日に署名捺印がすんだ書類を返却する。
- ※ 申請時に修得科目のシラバスが必要になるので、当該科目の履修登録時にIC-UNIPAよりシラバスを 印刷しておき全て保管しておくこと。
- ※ 審査料10,000円と認定料30,000円は個人負担。

12. 福祉心理士資格に関する科目の履修

〔生活科学部心理福祉学科〕

(1) 福祉心理士とは

福祉心理士とは日本福祉心理学会が認定する民間資格で、専門家として、福祉職場で福祉心理支援などを行うことができる基礎学力・技能を有していると認定された人のことである。福祉サービスの利用者への心理相談援助の他に、利用者の家族やそこで働く職員への心理相談援助を行う。

(2) 福祉心理士資格の取得方法

本学が開講している科目のうち日本福祉心理学会が指定している科目で32単位以上修得し、学部を卒業もしくは大学院を修了すれば資格認定の申請ができる。審査の結果、認定されると福祉心理士資格を取得できる。

学部生3年次以降で既に指定科目32単位以上修得している者は資格の仮認定申請ができる。審査の結果 認定されると、卒業までの期間は仮認定の福祉心理士資格を取得できる。卒業時に卒業証明書を提出する と本認定の福祉心理士資格を取得できる。

なお、この資格は日本福祉心理学会会員に対して認定される資格であるため、申請時などに日本福祉心理学会に入会することが必要である。

資格認定の申請は、必要書類を揃えて個人で行うことになるが、事前に担当教員に相談するのもよい。 申請に必要な書類は担当教員から、もしくは日本福祉心理学会ホームページから入手できる。

資格認定に必要な費用は

認定審査料 20,000円

認定料 10,000円 (審査に合格した後に必要な費用)

である。資格認定申請と同時に日本福祉心理学会へ入会する場合は、準会員(学部学生)の学会費3,000円が別に必要となる。

(3) 福祉心理士資格に関する科目

福祉心理士資格の認定申請をするためには、「福祉心理士資格認定のための指定科目」表の「大学開設科目」の修得が必要である。

[2019(平成31)年度以降入学生]

福祉心理士資格認定のための指定科目

	松子到口			本学設置科	目	20年4月 次任教	可思尔克	次任松
	指定科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	科目名	- 必要科目・単位数	配置年次	単位数
		21099	1	WP11A01K	心理学概論 I		1	2
基	心理学	21100	1	WP12A01K	心理学概論Ⅱ		1	2
基礎科	福祉心理学	21123	1	WP10C29K	福祉心理学	2 科目以上 4 単位以上	1~2	2
Ħ	社会福祉学	21101	1	WP11A02K	現代社会と福祉 I	4 中區為工	1	2
		21102	1	WP12A02K	現代社会と福祉Ⅱ		1	2
		21046	2	WP10C08K	臨床心理学概論		1~2	2
		21083	3	WP20C21K	心理的アセスメント	1	2~4	2
	臨床心理学 心理査定法	21096	1	WP20C22J	心理検査法実習	1	2~4	1
	カウンセリング (心理相談)	21043	2	WP10C32K	心理学的支援法	4 科目	1~4	2
	心理療法 発達心理、児童心理	21087	2	WP20C24E	心理演習	8 単位以上	2~4	2
	障害者の心理 高齢者の心理	21125	1	WP10C31K	発達心理学	1	1~2	2
	阿斯自立	21049	2	WP20C19K	障害者・障害児心理学		2~4	2
		21050	1	WP20C20K	老年心理学		2~4	2
	-	21117	1	WP11C03K	社会・集団・家族心理学Ⅰ		1~2	2
		21118	1	WP12C02K	社会・集団・家族心理学Ⅱ		1~2	2
		21042	2	WP20C16K	感情・人格心理学		2~3	2
心理		21048	1	WP20C18K	深層心理学		2~4	2
心理学関係科目		21058	2	WP20C25K	知覚・認知心理学		2~4	2
係系		21128	1	WP30C09K	司法・犯罪心理学		3~4	2
目		21129	1	WP20C39K	精神疾患とその治療		2~4	2
		21051	1	WP30C02K	トランスパーソナル心理学		$3 \sim 4$	2
	その他の心理学関係*1	21053	1	WP30C04K	癒しのセラピー	- 4 単位以上	3~4	2
	ての個の心理子因所で1	21085	1	WP21C04K	心理学研究法 I	4 平位以上	2~4	2
		21086	1	WP22C05K	心理学研究法Ⅱ		2~4	2
		21126	1	WP31C03J	心理学実験 I		3~4	2
		21127	1	WP32C01J	心理学実験 Ⅱ		3~4	1
		21124	1	WP10C30K	健康・医療心理学		1~2	2
		21088	2	WP30C05K	産業・組織心理学		3~4	2
		21130	1	WP20C40K	心理学統計法		2~4	2
		21131	1	WP20C41K	学習・言語心理学		2~4	2
		21132	1	WP20C42K	教育・学校心理学		2~4	2
		21113	1	WP11C02K	相談援助技術総論I		1	2
		21114	1	WP12C01K	相談援助技術総論Ⅱ		1	2
		21135	1	WP21C07K	相談援助技術各論I	1	2~3	2
		21136	1	WP22C09K	相談援助技術各論Ⅱ	-	2~3	2
		21137	1	WP23C02K	相談援助技術各論Ⅲ		2~3	2
社		21138	1	WP24C01K	相談援助技術各論IV	-	2~3	2
社会福祉学関係科目		21023	2	WP11C01E	相談援助技術演習I	_	1~2	2
祉学	相談援助	21024	2	WP22C02E	相談援助技術演習Ⅱ	1科目	2~3	2
関係	精神保健福祉援助技術	21025	3	WP23C01E	相談援助技術演習Ⅲ	2 単位以上	2~3	2
科目		21027	2	WP34C01E	相談援助技術演習IV	_	3~4	2
Ц		21077	2	WP35C01E	相談援助技術演習V	-	3~4	2
		21163	1	WP21C12E	相談援助実習指導I	_	2~4	2
		21164	1	WP22C14E	相談援助実習指導Ⅱ		2~4	2
		21080	2	WP43C01E	相談援助実習指導Ⅲ		4	2
		21081	2	WP31C02J	相談援助実習I	_	2~4	6
		21082	2	WP42C02J	相談援助実習Ⅱ		4	2

	TNY TN D			本学設置科	目	か飛び口)X は製.	ご思たい)); [上业].
	指定科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	科目名	- 必要科目・単位数	配置年次	単位数
		21147	1	WP21C09K	社会保障論 I		2~4	2
		21148	1	WP22C11K	社会保障論Ⅱ		2~4	2
		21159	1	WP30C11K	福祉行財政論A		3~4	2
		21160	1	WP30C12K	福祉行財政論B		3~4	2
		21157	1	WP20C48K	司法福祉論A		2~4	2
		21158	1	WP20C49K	司法福祉論B		2~4	2
		21149	1	WP20C44K	福祉運営管理論A		2~4	2
		21150	1	WP20C45K	福祉運営管理論B		2~4	2
		21153	1	WP21C10K	医療福祉論 I		2~4	2
		21154	1	WP22C12K	医療福祉論Ⅱ		2~4	2
社		21145	1	WP21C08K	地域福祉論 I		2~4	2
会福		21146	1	WP22C10K	地域福祉論Ⅱ		2~4	2
社会福祉学関係科目	その他の社会福祉学関係*2	21151	1	WP20C46K	就労支援サービス論	- 10単位以上	2~4	2
子関	ての他の任玄倫仙子圏は * 2	21152	1	WP20C47K	権利擁護と成年後見	10年世以上	2~4	2
() 科		21029	1	WP20C09K	公的扶助論		2~4	2
目		21139	1	WP11C06K	児童福祉論 I		1~4	2
		21140	1	WP12C04K	児童福祉論Ⅱ		1~4	2
		21141	1	WP11C07K	障害者福祉論 I		1~4	2
		21142	1	WP12C05K	障害者福祉論Ⅱ		1~4	2
		21143	1	WP11C08K	高齢者福祉論 I		1~4	2
		21144	1	WP12C06K	高齢者福祉論Ⅱ		1~4	2
		21076	1	WP20C07K	社会福祉調査法		2~4	2
		21115	1	WP20C37K	社会福祉発達史A		2~4	2
		21116	1	WP20C38K	社会福祉発達史B		2~4	2
		21037	1	WP20C13K	介護概論		2~4	2
		21078	1	WP20C14E	介護技術		2	2
	合計					32単位		

^{*1:「}臨床心理学」「心理査定法」「カウンセリング(心理相談)」「心理療法」「発達心理」「児童心理」「障害者の心理」「高齢者の心理」で4科目12単位以上を修得し、かつ全体で32単位以上を修得している場合は、修得しなくてもよい。
*2:「相談援助」で3科目12単位以上を修得し、かつ全体で32単位以上を修得している場合は、修得しなくてもよい。
※:科目が複数の科目に区分される場合(「I、II」「A、B」など)は、当該区分された科目の全てを修得して1科目とみなす。
例)「心理学概論 I」と「心理学概論 II」を修得して、1科目とみなす。

13. 管理栄養士国家試験受験資格·栄養士資格に関する科目の履修 「生活科学部食物健康科学科」

(1) 管理栄養士とは

高齢社会をむかえ、がん、心疾患、脳血管疾患、糖尿病などの生活習慣病に悩む人が増えており、健康 課題も深刻化している。また、同時に食をめぐる問題も深刻化・多様化しており、疾病を予防し、健康づ くりを果たす上で生涯を通じた食育の実施が重要視されている。そのため、専門的な栄養の知識に基づき、 人々の栄養状態、食行動を総合的に判断し、対象者に応じた適切な栄養教育ができる優れた技能と人格を 備えた人材の育成が求められている。管理栄養士は、健康づくりを「食」の領域から支援する専門家とし て、社会から大きな期待が寄せられている。

栄養士法(第1条第2項)において、管理栄養士は以下の3項目に該当する業務を行うことを業とする者であることが規定されている。

- ① 傷病者に対する療養のため必要な栄養の指導
- ② 個人の身体状況、栄養状態等に応じた高度の専門知識及び技術を要する健康の保持のための栄養の指導
- ③ 特定多数人に対して継続的に食事を供給する施設における利用者の身体の状況、栄養状態、利用の状況等に応じた特別の配慮を必要とする給食管理及びこれらの施設に対する栄養改善上必要な指導等を行う。

なお、①を行う場合、医師等の医療職種との連携(医師の指導)のもとに栄養量や摂取方法などの指導を行うことが義務づけられている(栄養士法第5条の5)。

管理栄養士の免許は、管理栄養士国家試験に合格した者に対して厚生労働大臣から与えられる(栄養法第2条3項)。管理栄養免許取得後は、病院、学校、保健所・保健センター、社会福祉施設(高齢者・児童)等の専門職員として、また、食品関係の技術員、研究員として活躍が期待できる。

(2) 管理栄養士養成施設の指定科目(管理栄養士国家試験受験資格)

生活科学部食物健康科学科は、厚生労働大臣により、栄養士及び管理栄養士の養成施設に指定されている。本学科において栄養士の免許、及び管理栄養士国家試験受験資格を取得するためには、本学学則の定める規定に基づき、管理栄養士学校指定規則に定める次頁以降の必修科目について所定の単位を修得し、併せて学士の資格を取得しなければならない。なお、所定の単位を修得したものは、4年次に実施される管理栄養士国家試験を受験することができる。

管理栄養士学校指定規則に定める科目及び本学設置科目(管理栄養士養成課程)

[2017(平成29)年度以降入学生]

管理	 栄養士学校指定規則に	 定める科目	単位数				本学設置科目			
H . T.	1 K 1 K 1 K 1 K 1 K 1 K 1 K 1 K 1 K 1 K		立数	単位数					立数	
	教育内容	講義 又は 演習	実験 又は 実習	科目コード	科目明細	科目 ナンバリング	科目名	講義 又は 演習	実験 又は 実習	配置年次
)	22104	1	FS21A01K	公衆衛生学 I	2		2
	社会・環境と	C		22106	1	FS32A02K	公衆衛生学Ⅱ	2		3
	健康*	6		22107	2	FS30A01K	社会福祉概論	2		3
				22197	1	FS40A02J	公衆衛生学実験		1	4
				22108	2	FS11A04K	解剖生理学 I	2		1
				22109	2	FS12A01K	解剖生理学Ⅱ	2		2
				22110	2	FS10A02J	解剖生理学実験		1	1
				22101	2	FS11A01K	生化学 I	2		1
	人体の構造と	1.4		22111	2	FS22A01K	生化学Ⅱ	2		2
	機能及び疾病 の成り立ち*	14		22198	1	FS30A02J	生化学実験		1	3
				22182	1	FS31A02K	医学一般 I	2		3
				22183	1	FS32A03K	医学一般Ⅱ	2		4
専門				22180	1	FS10A03K	運動生理学	2		3
専門基礎分野				22181	2	FS40A03J	運動栄養生理学実験		1	4
分野				22102	1	FS11A02K	食品学 I	2		1
1			10	22115	3	FS22A02K	食品学Ⅱ	2		2
				22184	1	FS10A04J	食品学実験		1	1
				22117	2	FS10A05J	分析化学実験		1	1
				22118	1	FS10C01K	食品化学	2		1
				22119	2	FS30A03K	食品加工学	2		3
	食べ物と健康*	8		22120	2	FS30A04J	食品加工学実習		1	3
				22123	1	FS20A01K	食品衛生学	2		2
				22124	1	FS20A02J	食品衛生学実験		1	2
				22199	1	FS11A05J	調理学実習 I		1	1
				22200	1	FS12A02J	調理学実習Ⅱ		1	1
				22126	2	FS20A03K	調理学	2		2
]	22127	2	FS20A04J	調理学実験		1	2
				22103	2	FS11A03K	基礎栄養学 I	2		1
	基礎栄養学*	2		22122	4	FS32A04K	基礎栄養学Ⅱ	2		3
				22201	1	FS20A05J	栄養学実験		1	2
専門分野				22128	2	FS21A02K	ライフステージ栄養学 I	2		2
分野				22129	1	FS22A03K	ライフステージ栄養学Ⅱ	2		2
~7	応用栄養学*	6		22174	2	FS31A03J	応用栄養学実習I		1	3
				22188	1	FS32A05J	応用栄養学実習Ⅱ		1	3
				22130	1	FS40A04K	疾病予防のための栄養学	2		4

管理		定める科目	・単位数				本学設置科目			
		単位	立数					単位	立数	
	教育内容	講義 又は 演習	実験 又は 実習	科目コード	科目 明細	科目 ナンバリング	科目名	講義 又は 演習	実験 又は 実習	配置 年次
				22133	3	FS21A03K	栄養教育論 I	2		2
	栄養教育論*	6		22136	2	FS22A04K	栄養教育論Ⅱ	2		2
	木貫驭目珊	O		22135	2	FS33A01K	栄養教育論Ⅲ	2		3
				22134	2	FS30A05J	栄養教育論実習		1	3
				22137	2	FS21A04K	臨床栄養学 I	2		2
			8	22140	2	FS22A05K	臨床栄養学Ⅱ	2		2
	臨床栄養学*	8		22139	2	FS33A02K	臨床栄養学Ⅲ	2		3
		0		22141	2	FS34A01K	臨床栄養学Ⅳ	2		3
				22189	1	FS20A06J	臨床栄養学実習		1	2
				22163	1	FS30A06J	応用臨床栄養学実習		1	3
専				22142	2	FS21A05K	公衆栄養学 I	2		2
専門分野	公衆栄養学*	4		22190	1	FS30A07J	公衆栄養学実習		1	3
野				22144	2	FS32A06K	公衆栄養学Ⅱ	2		3
				22176	2	FS11A07K	給食経営管理論 I	2		1
	THE 444 AVI TO A A A A			22164	3	FS22A06K	給食経営管理論Ⅱ	1		2
	給食経営管理 論*	4		22177	1	FS10A07E	給食実務演習	1		1
	HIIII			22191	1	FS21A06J	給食経営管理実習 I		1	2
			J	22192	1	FS22A07J	給食経営管理実習Ⅱ		1	2
	総合演習	2		22195	1	FS31A01E	総合演習 I	1		3
	心口供白	4		22196	1	FS32A01E	総合演習Ⅱ	1		3
				22150	3	FS31A02J	臨地実習I(給食経営管理)		1	3
	臨地実習		4	22152	3	FS32A07J	臨地実習Ⅱ(臨床栄養)		2	3
				22151	3	FS43A01J	臨地実習Ⅲ(公衆栄養)		1	4
	累計	60	22				累計	64	24	
	合計	8	2				合計	8	8	

臨地実習にある「臨地実習 I (給食経営管理)」「臨地実習 II (臨床栄養)」には給食の運営に係る校外実習の 1 単位を含む。

^{*}管理栄養士国家試験科目

栄養士法施行規則に定める科目及び本学設置科目(栄養士養成課程)

[2017(平成29)年度以降入学生]

	 カス科日・	当 位数				本学設置科目			
不良工(A)他们 // // // // // // // // // // // // //	立数				学于以巨 们日	畄 イ	 立数		
教育内容	講義 又は 演習	実験 又は 実習	科目コード	科目明細	科目 ナンバリング	科目名	講義 又は 演習	実験 又は 実習	配置年次
なるとほり伸車	4)	22104	1	FS21A01K	公衆衛生学 I	2		2
社会生活と健康	4		22107	2	FS30A01K	社会福祉概論	2		3
			22108	2	FS11A04K	解剖生理学 I	2		1
			22110	2	FS10A02J	解剖生理学実験		1	1
人体の構造と機能	8		22101	2	FS11A01K	生化学 I	2		1
			22182	1	FS31A02K	医学一般 I	2		3
		4	22183	1	FS32A03K	医学一般 Ⅱ	2		4
			22102	1	FS11A02K	食品学I	2		1
			22184	1	FS10A04J	食品学実験		1	1
食品と衛生	6		22117	2	FS10A05J	分析化学実験		1	1
及師と附土	0		22119	2	FS30A03K	食品加工学	2		3
			22120	2	FS30A04J	食品加工学実習		1	3
			22123	1	FS20A01K	食品衛生学	2		2
)	22103	2	FS11A03K	基礎栄養学 I	2		1
			22201	1	FS20A05J	栄養学実験		1	2
			22128	2	FS21A02K	ライフステージ栄養学I	2		2
栄養と健康	8		22174	2	FS31A03J	応用栄養学実習I		1	3
			22137	2	FS21A04K	臨床栄養学 I	2		2
			22189	1	FS20A06J	臨床栄養学実習		1	2
			22140	2	FS22A05K	臨床栄養学Ⅱ	2		2
			22133	3	FS21A03K	栄養教育論 I	2		2
			22134	2	FS30A05J	栄養教育論実習		1	3
栄養の指導	6	10	22136	2	FS22A04K	栄養教育論Ⅱ	2		2
			22142	2	FS21A05K	公衆栄養学 I	2		2
			22190	1	FS30A07J	公衆栄養学実習		1	3
			22176	2	FS11A07K	給食経営管理論I	2		1
			22177	1	FS10A07E	給食実務演習	1		1
			22191	1	FS21A06J	給食経営管理実習 I		1	2
 給食の運営	4		22192	1	FS22A07J	給食経営管理実習Ⅱ		1	2
州及りた台	+		22126	2	FS20A03K	調理学	2		2
			22199	1	FS11A05J	調理学実習 I		1	1
			22200	1	FS12A02J	調理学実習Ⅱ		1	1
			22150	3	FS31A02J	臨地実習 I (給食経営管理)		1	3
小計	36	14				小計	37	14	
合計	5	0				合計	5	51	

(3) 学内外実験・実習計画

○管理栄養士養成に関わる4年間の実験・実習科目

履修年次	履修科目	単位	履修方法	備考
	調理学実習 I	1	週 2 コマ×15週	
	調理学実習Ⅱ	1	週2コマ×15週	
1年次	食品学実験	1	週2コマ×15週	
	分析化学実験	1	週2コマ×15週	
	解剖生理学実験	1	週2コマ×15週	
	栄養学実験	1	週 2 コマ×15週	'
	調理学実験	1	週2コマ×15週	
0 年場	食品衛生学実験	1	週2コマ×15週	
2 年次	臨床栄養学実習	1	週2コマ×15週	
	給食経営管理実習 I	1	週3コマ×10週	
	給食経営管理実習Ⅱ	1	週3コマ×10週	
	食品加工学実習	1	週 2 コマ×15週	
	生化学実験	1	週2コマ×15週	
	臨地実習 I (給食経営管理)	1	集中	A
	臨地実習Ⅱ(臨床栄養)	2	集中	В
3年次	応用臨床栄養学実習	1	週2コマ×15週	
	応用栄養学実習I	1	週2コマ×15週	
	応用栄養学実習Ⅱ	1	週2コマ×15週	
	栄養教育論実習	1	週2コマ×15週	
	公衆栄養学実習	1	週2コマ×15週	
	公衆衛生学実験	1	週 2 コマ×15週	
4 年次	運動栄養生理学実験	1	週2コマ×15週	
	臨地実習Ⅲ (公衆栄養)	1	集中	С

○臨地実習

臨地実習は、2~4名の学生を1組として各実習施設に配属する。実習を効果的に進めるため、事前指導では学習課題の作成に取り組み、実習の意義・目的の明確化に努める。

実習中には「実習記録」の記録を、また、終了後には「実習報告書」の提出を義務付ける。各自が十分な目的意識を持ち、主体的、意欲的に実習に臨む事を期待する。

A. 臨地実習 I (給食経営管理)

特定給食施設に位置づけられる学校給食センター(共同調理場)または単独調理方式の小・中学校における給食経営管理の実際ならびに管理栄養士の役割を学ぶ。各施設の実習担当者の指導に従い、現場実習を通して経営管理(原価管理、帳票類の扱い方)、栄養管理(基準栄養量の扱い方、献立作成法、喫食状況の把握)、衛生・安全管理、食材料管理(発注、検品・検収の方法)、作業管理(作業計画のあり方、作業の効率化・標準化の方法)、施設設備管理について要点を学習する。また、栄養教育教材の作成、食指導の実際を通して栄養教育の手法を体得する。

B. 臨地実習 I (臨床栄養)

栄養士法において、病院などの医療施設における傷病者に対する栄養食事指導は管理栄養士の業務に位置づけられている。傷病者に対する栄養管理の実際を通して、各実習施設の特性をふまえながら、臨床栄養管理(栄養アセスメント、各種調査、栄養食事指導、チーム医療など)の要点、方法および管理栄養士の役割を理解する。

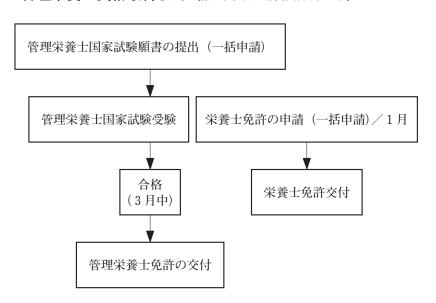
また、医療の一環として提供される病院給食について、種類・特性、食数管理などの要点を学ぶと同時に、入院時食事療養制度の運用と併せて給食経営管理の視点からの運営システムを学習する。

C. 臨地実習Ⅲ(公衆栄養)

行政機関である保健所・市町村保健センターの役割と、そこでの管理栄養士の役割を学び、国民の健康 づくり推進のための仕組みや地域保健対策についての理解を深める。

特に、保健所では、地域保健栄養体制の整備業務、市町村に対する支援業務、広域的または専門的な知識や技術を必要とする栄養指導業務、特定給食施設・栄養関連企業等への実施体制の調整業務、栄養相談・一般的栄養指導業務などの要点および住民の栄養改善の推進、地域組織の育成・啓発・普及の方法等についての理解を深める。

管理栄養士資格取得まで〔該当年次に詳細説明あり〕



14. 食品衛生監視員任用資格・食品衛生管理者資格に関する科目の履修 「生活科学部食物健康科学科」

(1) 食品衛生監視員・食品衛生管理者とは

食品衛生監視員とは、食品衛生法の規定に基づき、食品に起因する衛生上の危害を防止するために営業施設等への立入検査や食品衛生に関する指導の職務等を行う公務員のことをいい、任用されるには本資格が必要となる。(食品衛生法第30条)。国の食品衛生監視員は、検疫所における輸入食品の監視指導や地方厚生局における総合衛生管理製造過程の承認等を行っている。一方、自治体の食品衛生監視員は、保健所などにおいて各自治体の所管地域の営業施設等への監視指導を行う。平成15年の法改正により、国は、監視指導実施に関する統一的な考え方である「食品衛生に関する監視指導指針」を策定し、その指針に基づき国は輸入食品について「輸入食品監視指導計画」を策定し、自治体は「都道府県等監視指導計画」を策定し、それぞれの計画に従って監視指導を行うことになっている。

また食品衛生管理者とは、乳畜肉製品、食品添加物、及び特に衛生上の考慮を必要とする食品の製造、加工を行う施設で、監督、指導の業務にあたる者をいう。なお、このような施設では資格者を置くことが法律で義務づけられている。(食品衛生法第48条)。

(2) 食品衛生監視員任用資格・食品衛生管理者資格に関する科目

生活科学部食物健康科学科は、厚生労働大臣により、食品衛生監視員(任用)、及び食品衛生管理者の養成施設に指定されている。本学科において食品衛生法(施行令第9条第1項第1号及び法第48条第6項第3号)に定める食品衛生監視員任用資格及び食品衛生管理者の資格を取得するためには、本学学則の定める規程に基づき、所定の科目を修得することが必要である。

[2017(平成29)年度以降入学生]

				本	学設置科目			***
	区分	科目	科目	科目	科目名	単作	立数	配置年次
		コード	明細	ナンバリング	竹日石	必修	選択	
A 野 ル	· 学朋校	22100	1	FS10A01K	有機化学	2		1
A群 化	公学関係	22117	2	FS10A05J	分析化学実験	1		1
		22101	2	FS11A01K	生化学 I	2		1
D群件	物化学関係	22111	2	FS22A01K	生化学Ⅱ	2		2
1 日付 生	. 物儿子闵尔	22198	1	FS30A02J	生化学実験	1		3
		22118	1	FS10C01K	食品化学		2	1
C # 沙	5.4-4加兴县6	22119	2	FS30A03K	食品加工学	2		3
C群 微	性物学関係	22120	2	FS30A04J	食品加工学実習	1		3
		22104	1	FS21A01K	公衆衛生学 I	2		2
		22106	1	FS32A02K	公衆衛生学Ⅱ	2		3
り扱い	. 血怎. 上兴胆. 区	22197	1	FS40A02J	公衆衛生学実験	1		4
D群 公	衆衛生学関係	22123	1	FS20A01K	食品衛生学	2		2
		22124	1	FS20A02J	食品衛生学実験	1		2
		22151	3	FS43A01J	臨地実習Ⅲ(公衆栄養)	1		4
		22103	2	FS11A03K	基礎栄養学 I	2		1
		22108	2	FS11A04K	解剖生理学 I	2		1
		22109	2	FS12A01K	解剖生理学Ⅱ	2		2
		22110	2	FS10A02J	解剖生理学実験	1		1
		22182	1	FS31A02K	医学一般 I	2		3
		22183	1	FS32A03K	医学一般Ⅱ	2		4
		22128	2	FS21A02K	ライフステージ栄養学 I	2		2
		22129	1	FS22A03K	ライフステージ栄養学Ⅱ	2		2
		22201	1	FS20A05J	栄養学実験	1		2
E群 そ	の他の関連科目	22174	2	FS31A03J	応用栄養学実習 I	1		3
		22188	1	FS32A05J	応用栄養学実習Ⅱ	1		3
		22137	2	FS21A04K	臨床栄養学 I	2		2
		22189	1	FS20A06J	臨床栄養学実習	1		2
		22142	2	FS21A05K	公衆栄養学 I	2		2
		22190	1	FS30A07J	公衆栄養学実習	1		3
		22191	1	FS21A06J	給食経営管理実習 I	1		2
		22192	1	FS22A07J	給食経営管理実習Ⅱ	1		2
		22150	3	FS31A02J	臨地実習 I (給食経営管理)	1		3
		22152	3	FS32A07J	臨地実習Ⅱ (臨床栄養)	2		3

- (1) A群~D群までの各群において、それぞれ1科目以上修得すること。
- (2) A群~D群までの科目の中から、合計22単位以上修得すること。
- (3) 上記22単位を含み、A群~E群までの各科目の中から、合計40単位以上修得すること。

15. 看護師国家試験受験資格に関する科目の履修 〔看護学部看護学科〕

看護師とは

少子・高齢化や医療の高度化、社会や自然環境の変化に伴い、看護をめぐる情勢は著しく変化し、保健・ 医療・福祉の一端を担う看護職への期待はかつてなく高まっている。

看護職とは、保健師・助産師・看護師の総称であり、すべて「看護」を基盤に持つ専門職である。看護職能団体である日本看護協会は「看護とは、健康のあらゆるレベルにおいて個人が健康的に正常な日常生活ができるように援助することであり、この場合のあらゆるレベルにおける援助というのは、健康危機、健康回復など健康のどのレベルにおいても、対象となる人が、それまで持ち続けていた生活リズム(健康な状態)にまで整えることである」と述べている。

このように看護職の行う仕事は、人々のさまざまなレベルの健康状態に関心を持って、その人の生活上に起こる諸問題に対して専門的な知識と技術を活用して健康問題の改善や解決をめざす援助活動であり、 人間にとって最も大切な健康、すなわち生命に直接関わる仕事といえる。

看護師の具体的な役割としては、①健康を障害した人々の身の回りの世話、②疾病に罹患した者に対して医師の行う診断や治療・検査の介助、③健康を保持し疾病の回復に必要な生理的、心理的、社会的環境づくり、④疾病予防に対する保健指導や健康教育、⑤円滑な医療遂行のための医療従事者との協力・調整などがあげられる。これらの役割を果たすためには専門的な知識・技術・態度が必要である。看護の三大要素とも言われるものである。

看護師は、人間を対象とする仕事であるところから、学習内容も多岐にわたる。健康や疾病に関する医学的知識、心理や情緒に関する心理学的知識、社会や経済に関する社会学的知識などである。また、看護は実践の科学といわれるように科学的な根拠を持った技術の修得が必要であり、看護専門職業人としての態度面の学習も欠かせない。これらは、講義だけでなく演習や学外の病院、保健所、老人保健施設など医療施設や福祉施設などの実習を合わせて実施することによって修得できる。

本学看護学部では、これらの一般教養から専門知識や技術を修得する内容を含む科目を整え、学習の場 を準備しており、所定の単位を修得すれば看護師国家試験受験資格が得られる。

	בויאם	C 187		則の対比表 																754		1 /		(降		1
		_							td: rik	ets HH	tif rikk			古田	分野		護目	币課利 ##				取行 4	也実	ы		_
			\						基礎分野	専門分		_	_	头 1	<u>刀</u> 到	r	_	統分			甫	門分		≘	irt:	_
					わた相	Eul oo tel	±.4.6	to.	#I I	-	_	#	r:E:	-tz.		ы	本主	_	-	т	4	I 1/1			統分	
		教育詞	果程	1	指定規	則の教	. 月 内 在	2	行学的思考の基盤へ間と生活・社会の理解	人体の構造と機能	疾病の成の立ちに回復の 健康支援と社会保障制度	基礎看護学	成人看護学	老年看護学	小児看護学	母性看護学	精神看護学	在宅看護論	看護の統合と実践	基礎看護学	成人看護学	老年看護学		精神看護学		7 看護の統合と実践
									理解	19	回し 同制度															践
区	.分	科目コード	科目明細	授業科目	配置年次	単位必修	边数	履修方法及び 卒業要件	13	1 d	_				4								23			
						20/19	76237	16単位必修	13		1	\vdash			-				\dashv	П	Т	\top	23			\dashv
	教養 目			全学教養科目				+ 9単位選択必修	0																	
				ो -				25	25	()				()							0			
		31101	3	人体構造機能学A	1	2)	Ĺ														
	疾人	31186	1	人体構造機能学B	1	2)	L									$oxed{\bot}$					
	疾病の成り立ちと回復の促進人体の構造と機能、	31187	1	人体構造機能学演習	2	1													П		\top	\top				
	のの	31103	1	生化学	1	1])	Π						П			\top	\top		П		
	り造	31104	2	栄養・代謝学	1	1		1)					П								П		
	当機	31105	2	食物健康実習	2		1	1				Т						\Box	┪	\Box	\top	\top	\top	\Box		\neg
	と能	31106	2	感染と防御 (微生物学)	1	1																		П		-
	復	31107	1	病理病態学	2	2						t							\exists		1					=
葜	の但	31108	1	薬理学	2	2						\vdash									+	+		Н		_
享門表燃斗目	進	31109	2	疾病治療論A(成人・高齢者)	2	3		27単位必修				\vdash							\dashv		+	+		\vdash		_
t k		31188	1	疾病治療論B (小児・母性・精神)	2	3		27年世纪19											-							_
Ĭ										-											+	+				
1	倫健	31189	1	医療倫理	1	2						⊢							\dashv		+	+	_	\vdash	_	_
	理康	31111	2	社会保障制度論	1	2						-							_		+	+		Н		_
	倫理・社会	31112	2	保健医療福祉行政論	1	2						▙		_					_		_	_		Н		_
	会と	31113	1	保健医療看護経済学	1		1					_							_		4	_		Ш		_
		31212	1	カウンセリング技術	2		1																			_
	疫学と統計	31178	1	公衆衛生学	1	1						┖							_		4	\perp				
	と現象	31115	2	疫学	2	2)															
	許の	31179	1	保健統計	3		2)															
				計				27	0	2	7				()							0			
		31117	1	看護学概論	1	1						0														
		31190	1	看護倫理	2	1			0																	
		31118	1	科学的思考基礎演習 I (看護学へのアプローチ)	1	1						0	0	0	0	0	0	0								
		31191	1	科学的思考基礎演習Ⅱ (コミュニケーションヒム臓験)	1	1						0						0								
		31119	2	科学的思考基礎演習Ⅲ (ヘルスアセスメントの基礎)	1	1						0														
	看 護学	31120	2	科学的思考基礎演習IV (ヘルスアセスメントの応用)	2	1						0	0	0							T			П		_
	学	31123		援助技術論A(日常生活の援助技術)	1	2		18単位必修				0				П		H	\exists	\Box	+	+	+	Н	1	_
	の基本	31124	1	援助技術論B(診療に伴う援助技術)	2	2						0				\vdash		\vdash	\dashv	\vdash	+	+	+	\forall	\dashv	_
	本	31125	2	看護関係法規	1	1				t		0				H		H	-	\vdash	+	+	+	\vdash		
		31126	2	精神保健 (発達段階と場に応じたメンタルヘルス)	2	1				\vdash		ť				0		H	\dashv	\forall	+	+	+	\vdash		_
fi		31192	1	健康教育論(理論・実践)	2	2				<u> </u>		\vdash				0		\vdash	-	\vdash	+	+	+	\vdash		_
享 門斗目		31129	1	早期看護体験実習	1	1				<u> </u>		\vdash		۲		\vdash		\vdash	\dashv			1				_
計		31130	1	基礎看護学実習	2	3				\vdash		\vdash				H		\vdash	\dashv	0	+	+		\mathbb{H}		_
-		01100	1	本 版 目 成 丁 大 目 計		J		18	1)	\vdash	_		1	3		Ш	\dashv				4			_
		31122	2	科学的思考基礎演習 V (看護実践力の基礎)	2	1		10	<u> </u>	 '	,	\vdash					\cap		\dashv	\vdash	_	_	4		-	_
					2			-	<u> </u>	1		1	0	Н		\vdash		\exists	-	\vdash	+	+	+	\vdash		_
	看	31135	2	成人看護学概論	-	1				-		\vdash	9	-		\vdash		\vdash	\dashv	\vdash	+	+	+	\vdash	-	_
	看護展開の基礎	31136	2	高齢者看護学A (信齢者の健康と障害)	2	1				\vdash		\vdash		0					\dashv	$\vdash \vdash$	+	+	+	\vdash		
	開開	31193	1	小児看護学A(健康な小児の生活支援)	2	1		9 単位必修		-		-	_	_	0			\vdash	_	\vdash	+	+	-	\vdash		_
	の	31194	1	母性看護学A(リプロダクティブヘルスケア)	2	1		-		-		-	_			0		\vdash	_	\vdash	+	+	+	\vdash		
	一礎	31195	1	精神看護学A(心の基本理解と健康)	2	1				<u> </u>		1					0			\sqcup	_	\perp		\square		
		31140	2	公衆衛生看護学概論	2	2				<u> </u>		_	0	0	0	0	0		_	Щ	4	\perp	1	Ш		_
	1	31196	1	在宅看護学A(在宅療養者・家族の理解)	2	1			l			1	1													
		01130	_		1					_		_	_		_		_		_	_	_	_				

※科目ナンバリングは、学科科目を参照すること。

																看	護師	課程	!							
									基礎		門基礎	Ц,	Ę	專門	分野	ř		統合				臨地	実習	i		
				_					分野		分野	Ι			Π			分里	ř		専門	分野	ř		統台	≙
					旨定規	則の教	有内容	ř	科品	人体	疾健	基	成	老	虚	母	精	在	乔	I		Π			分野	爭
		教育調	程		_	_			-学的思考の基盤	体の構造と機能	疾病の成り立ちと回復の促進健康支援と社会保障制度	基礎看護学	成人看護学	老年看護学	小児看護学	母性看護学	精神看護学	在宅看護論	看護の統合と実践	基礎看護学	老年看護学	小児看護学	母性看護学	精神看護学	在宅看護論	看護の統合と実践
									血の理解	HC	回復の原							,							i	実践
E .		科目	科目	Fitt Mo-rat →	配置	単作	立数	履修方法及び			促進															
区分	†	コード	明細	授業科目	年次	必修	選択	卒業要件	13	+	21	Н			4	0			$^{+}$			2	3			-
$\overline{}$		31197	1	科学的思考基礎演習VI (看護実践力の応用)	3	1	2017		10	+	21	Н	0				\cap	οТ	+		Т	Т				Ť
	ŀ	31142	2	成人看護学A(セルフケア)	2	2				+		Н	0	\vdash	$\overline{}$	\vdash	\dashv	\dashv	+		+	\vdash		\dashv		†
	ŀ	31142	1	成人看護学B(ペリオペレイティブケア・クリティカルケア)	3	1				+		Н	0			\dashv	-	+	+		+	\vdash		\vdash		+
	ŀ				-					╀		Н				\vdash		+	+		+			\vdash		
	-	31144	2	高齢者看護学B(高齢者の健康障害と看護)	3	2				+		\vdash		0		\vdash	\dashv	+	+	_	+	-			_	4
		31199	1	小児看護学B(小児の健康障害と看護)	3	2				1		Н			0		_	4	\perp	_	+				_	1
		31146	2	母性看護学B (ペリネイタルケア)	3	2				₩		\square				0	_	\perp	\downarrow	\perp	\perp				\perp	+
		31200	1	精神看護学B(心を病む人の理解とセルフマネジメント)	3	2				_		Ш					0	_	\perp		_	Ш				
		31201	1	在宅看護学B(在宅療養を支える看護)	3	2												0	\perp							
		31202	1	公衆衛生看護活動展開論A (発達・健康課題と看護)	2	1							0	0	0	0	0		_[
	_	31180	2	公衆衛生看護活動展開論B(公衆衛生看護技術)	3		2										\Box	(7							\top
	看護展開の応用	31203	1	公衆衛生看護活動展開論C(組織活動・社会資源)	3		1											(5							寸
	展	31181	2	公衆衛生看護管理論 (健康危機管理を含む)	4		1	32単位必修		T								-	5		\top	\vdash		\Box		\top
	開	31204	1	学校保健	2	1	_	12 / [2.0]		+		Н			0			+	+		+					1
	応	31205	1	学校健康相談	4	1	1			+		Н			0	\vdash	\dashv	+	+		+	\vdash		\dashv		+
	用	31182		産業保健	4		1			╁		Н			-	-	-	-			+	\vdash		\dashv	-	+
	ŀ		1		_		1			\vdash								-	4		_					+
		31155	1	成人看護学実習	3	4				\perp								_	_	С	+					4
		31156	2	高齢者看護学実習	3	3													4		0					
		31157	1	小児看護学実習	3	2				┖									\perp			0				\perp
		31158	1	母性看護学実習	3	2																	\circ			
専		31159	1	精神看護学実習	3	2																		0		
専門科目	Ī	31160	1	在宅看護学実習	3	2																			0	
117	İ	31183	2	公衆衛生看護学実習A (活動展開の基礎)	2	1				T									T		10	0	0	0		T
	İ	31206	1	公衆衛生看護学実習B (活動展開の応用)	4		4			T									+		Ť					0
	}	01200	1	計	1		1	32	0	+	0	Н			1	6		_	\dashv			1	6			<u> </u>
-	_	21162	1		4	1		32	0	+	- 0	Н						1	\dashv		T	1			$\overline{}$	+
	-	31163	1	国際看護論	1 4	1	-			+		\vdash		\vdash		\vdash	\dashv	-	2	+	+			\vdash	+	\dashv
	-	31207	1	国際看護論演習	1-4		2			\perp		Н				\vdash	\dashv	_	<u> </u>	_	+				_	\dashv
		31164	1	看護マネジメント(医療安全含む)	4	1				-		Ш				\square	_	_	2		1					\dashv
		31165	1	看護教育学	4		1			_		Ш						_	2		\perp					\Box
		31167	1	研究方法論	4	1						Ш						(
		31208	1	研究方法論演習 I	4	1	L		L	\perp]	LΙ				LĪ	_		\supset		\perp	$\lfloor \rfloor$				_ [
	≠	31209	1	研究方法論演習Ⅱ	4	1											\neg		0							
	看護学の発展	31169	1	看護生体情報論	4		1	11単位必修									\exists	(5							\neg
	学	31170	1	リハビリテーション看護	4		1	1		T		П	0	0		П	\dashv	ot	\top		T					1
	発	31171	1	がん看護	4		1	2 単位選択		T		Н		Ť		\Box	\dashv	_	st	\top	\top					\dashv
	展	31154	1	ターミナルケア論	4	1	<u> </u>			+		H	0					0	_	+	+				\dashv	\dashv
	ŀ	31173	1	代替療法と看護	4	1	1			+		H		\vdash					<u></u>	+	+	\vdash		\vdash	+	\dashv
	ŀ									+		H					+	_	_	+	+	\vdash		\vdash	+	\dashv
	-	31211	1	生と死の倫理	4		1		<u> </u>	+		Н	0			0	\dashv	-	<u> </u>	-	+	\vdash		\vdash	-	\dashv
		31210	1	災害看護(放射線災害を含む)	4	1				1							_		2		1					\dashv
	ļ	31176	2	科学的思考基礎演習VII(穩ブロフェッショナルへの学び)	4	1						0	0	0	0		0	0	_		\perp					
		31185	1	総合実習	4	3				\perp		Ш								0 0		0	0	0	0	\circ
	[計				13	0	$\prod_{i=1}^{n}$	0	L 1	0 (選抄	₹2]	単位	を含	む)	_T			3	3			
				卒業要件単位数				124	26		27	4	18 (選排	₹21	単位	を含	む)	T			2	3			1
				指定規則に対する増単位数					13	+	6	⊢			8				\rightarrow)			1

※科目ナンバリングは、学科科目を参照すること。

16. 保健師国家試験受験資格に関する科目の履修 〔看護学部看護学科〕

保健師とは

日本は世界屈指の先進国、長寿国といわれているが、地域では虐待や登校拒否、中・高年者の過労死や自殺など、身体に現れた病気だけでなく「生きる」「生活する」「学び、発達する」「働く」という場面でさまざまな障害が発生している。また、地球の温暖化や自然の破壊が進行し、生命そのものが危機に曝されている。このような状況下で、身体と心の悩みを総合的に捉えるヒューマンケアや保健・予防の考え方を重視して、人々が生活の場で自らの健康の決定要因をコントロールし続けられるように、地域(個人、家庭、地域社会、学校、職場)の環境条件を整備支援する活動がますます期待されている。

看護師が病気や障害などの援助を必要とする人に対して、個人個人の健康を取り戻す過程へのケアを中心に行うのに対して、保健師は、地域で生活するすべての人々を対象にして、援助を求めてくる人だけでなく、家庭の事情や経済的問題などさまざまな理由で必ずしも援助を求めてこない人々を見つけ出し、保健・予防の観点から地域住民の健康を守る活動をする。つまり、保健師は、看護技術、予防的・公衆衛生的援助技術、社会事業的援助技術を駆使して、地域の人々の健康を守り、その人の持っている生命力や能力を最大限に発揮して楽しく生活が続けられるよう支援する専門職である。

保健師の具体的な役割として、①人々の健康ならびに疾病・障害の予防、発生、回復及び改善の過程を、社会的条件の中でとらえた支援、②地域の人々が自らの健康状態を認識して健康の保持・増進を図れるよう健康学習や自助グループ活動を実施し、また社会資源を活用できるような支援活動、③地域に潜在している健康問題を見出すとともに、潜在している健康問題を予測し、これらの問題を組織的に解決していくこと、④保健・医療・福祉行政の基本的知識を踏まえ、地域の健康問題の解決に必要な社会資源の開発や、保健・医療・福祉サービスを評価し、調整することなどがあげられる。

保健師教育は、看護教育の大学化に伴い、養成所・短大専攻科から学部での保健師看護師統合カリキュラム、そして学部選択制・選抜制と移行し、さらに大学院教育へと多様化している。すなわち、高度実践者として活躍できる専門職人材の育成が、ますます求められているところである。保健師のアイデンティティを持ち、保健師として「保健指導」できる知識・技術の基礎を修得できる教育体制として、本学看護学部も、2020年度より学部選抜制を導入する。選抜方法は以下の通りである。

- 1. 募集定員 20名
- 2. 出願時期 2年次2月初旬(後期定期試験期間終了後)
- 3. 出願資格 2年次前期までのGPA2.5以上の者であり、かつ、1年次および2年次の必修全科目が、 3年次進級当初に履修済みであること。

在学期間中、出願できるのは1回限りとする。

4. 選抜方法

出願者の中から、2年次前期までのGPAおよび2年次後期までに履修する公衆衛生看護学領域科目(公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護活動展開論A、健康教育論、公衆衛生看護学実習A)の成績上位者から定員数を選抜する。

選抜合格者は、看護師国家試験受験資格に関する科目の履修に加えて所定の単位を修得すれば、保健師 国家試験受験資格を得ることができる。

<u> </u>				則の対比表 									. At	2. <i>化</i> 非台币:					子生
	_	_												マ 健師		小兜 :	衛生看	華学	$\overline{}$
			\	_					2	*衆衛生	上看護	学	疫学	保健	保健		実習	10岁一丁	
	教	育課程	A H	指定規		_	容	医防土沙耳科	公衆衛生看護学概論	個人・家族・集団・組織の支援	公衆衛生看護活動展開論	公衆衛生看護管理論		保健統計学	保健医療福祉行政論	実習とは、集団・組織の支援	公衆衛生看護活動展開論実習	公衆衛生看護管理論実習	計
区	分	科目コード	科目明細	授業科目	配置年次		選択	履修方法及び 卒業要件		援		23 (20) 			接	5		28 (25)
	· 教養 · 目			全学教養科目		2.10	Æ/V	16単位必修 + 9 単位選択必修					/						
	1		_	計	T .			25				0					0		0
		31101	3	人体構造機能学A	1	2													
	疾人	31186	1	人体構造機能学B	1	2	\sqcup											_	<u> </u>
	疾病の成り立ちと回復の促進人体の構造と機能、	31187	1	人体構造機能学演習	2	1	\sqcup												<u> </u>
	成構	31103	1	生化学	1	1	Ш												<u> </u>
	り迫と	31104	2	栄養・代謝学	1	1													
	ち機	31105	2	食物健康実習	2		1												
	回影	31106	2	感染と防御 (微生物学)	1	1													
	復の	31107	1	病理病態学	2	2													
専	促	31108	1	薬理学	2	2													
専門基礎科目	進	31109	2	疾病治療論A(成人・高齢者)	2	3		29単位必修											
礎		31188	1	疾病治療論B(小児・母性・精神)	2	3													
目		31189	1	医療倫理	1	2													
	倫健 理康	31111	2	社会保障制度論	1	2													
	理尿・支	31112	2	保健医療福祉行政論	1	2									0				2
	・社会	31113	1	保健医療看護経済学	1		1												
	云と	31212	1	カウンセリング技術	2		1												
	疫健	31178	1	公衆衛生学	1	1			0										1
	学康	31115	2	疫学	2	2							0						2
	疫学と統計	31179	1	保健統計	3	2								0					2
	前リマク	31179	1	計	3		\vdash	29	-			7					0		7
		21117	1	看護学概論	1	1	$\overline{}$	23	 										- ' -
		31117	1	看護倫理	1	1	,												1
		31190	1			1 1	\vdash		_										
		31118			2	1													
			1	科学的思考基礎演習 I (看護学へのアプローチ)	1	1													
		31191	1	科学的思考基礎演習 I (看護学へのアプローチ) 科学的思考基礎演習 II (コミュニケーションと人間照)	1 1	1													
	看	31191 31119	1 2	科学的思考基礎演習 I (看護学へのアプローチ) 科学的思考基礎演習 II (コミュニケーションヒム間隙) 科学的思考基礎演習 II (ヘルスアセスメントの基礎)	1 1 1	1 1 1													
	看護学	31191 31119 31120	1 2 2	科学的思考基礎演習 I (看護学へのアプローチ) 科学的思考基礎演習 II (コミュニケーションと人間照8) 科学的思考基礎演習 II (ヘルスアセスメントの基礎) 科学的思考基礎演習 IV (ヘルスアセスメントの応用)	1 1 1 2	1 1 1 1													
	看護学の#	31191 31119 31120 31123	1 2 2 1	科学的思考基礎演習 I (看護学へのアプローチ) 科学的思考基礎演習 II (コミュニケーションと人間係) 科学的思考基礎演習 II (ヘルスアセスメントの基礎) 科学的思考基礎演習 IV (ヘルスアセスメントの応用) 援助技術論A (日常生活の援助技術)	1 1 1 2	1 1 1 1 2		18単位必修											
	0	31191 31119 31120 31123 31124	1 2 2 1 1	科学的思考基礎演習 I (看護学へのアプローチ) 科学的思考基礎演習 II (コミュニケーションと人間縣) 科学的思考基礎演習 II (ヘルスアセスメントの基礎) 科学的思考基礎演習 IV (ヘルスアセスメントの応用) 援助技術論A (日常生活の援助技術) 援助技術論B (診療に伴う援助技術)	1 1 1 2 1 2	1 1 1 1 2 2		18単位必修											
		31191 31119 31120 31123 31124 31125	1 2 2 1	科学的思考基礎演習 I (看護学へのアプローチ) 科学的思考基礎演習 II (コミュニケーションと人間縣) 科学的思考基礎演習 II (ヘルスアセスメントの基礎) 科学的思考基礎演習 IV (ヘルスアセスメントの応用) 援助技術論A (日常生活の援助技術) 援助技術論B (診療に伴う援助技術) 看護関係法規	1 1 1 2 1 2	1 1 1 1 2 2		18単位必修	0										1
	0	31191 31119 31120 31123 31124	1 2 2 1 1	科学的思考基礎演習 I (看護学へのアプローチ) 科学的思考基礎演習 II (コミュニケーションと人間際) 科学的思考基礎演習 II (ハルスアセスメントの基礎) 科学的思考基礎演習 IV (ヘルスアセスメントの応用) 援助技術論A (日常生活の援助技術) 援助技術論B (診療に伴う援助技術) 看護関係法規 精神保健 (発達段階と場に応じたメンタルヘルス)	1 1 1 2 1 2	1 1 1 2 2 1 1		18単位必修	0	0									1 1
再中間	0	31191 31119 31120 31123 31124 31125	1 2 2 1 1 2	科学的思考基礎演習 I (看護学へのアプローチ) 科学的思考基礎演習 II (コミュニケーションと人間縣) 科学的思考基礎演習 II (ヘルスアセスメントの基礎) 科学的思考基礎演習 IV (ヘルスアセスメントの応用) 援助技術論A (日常生活の援助技術) 援助技術論B (診療に伴う援助技術) 看護関係法規	1 1 1 2 1 2	1 1 1 1 2 2		18単位必修	0	0	0								_
専門科	0	31191 31119 31120 31123 31124 31125 31126	1 2 2 1 1 2 2	科学的思考基礎演習 I (看護学へのアプローチ) 科学的思考基礎演習 II (コミュニケーションと人間際) 科学的思考基礎演習 II (ハルスアセスメントの基礎) 科学的思考基礎演習 IV (ヘルスアセスメントの応用) 援助技術論A (日常生活の援助技術) 援助技術論B (診療に伴う援助技術) 看護関係法規 精神保健 (発達段階と場に応じたメンタルヘルス)	1 1 1 2 1 2 1 2 2 1	1 1 1 2 2 1 1 2		18単位必修	0	0	0								1
専門科目	0	31191 31119 31120 31123 31124 31125 31126 31192	1 2 2 1 1 2 2 1	科学的思考基礎演習 I (看護学へのアプローチ) 科学的思考基礎演習 II (コミュニケーションと人間縣) 科学的思考基礎演習 II (ヘルスアセスメントの基礎) 科学的思考基礎演習 IV (ヘルスアセスメントの応用) 援助技術論A (日常生活の援助技術) 援助技術論B (診療に伴う援助技術) 看護関係法規 精神保健 (発達段階と場に応じたメンタルヘルス) 健康教育論 (理論・実践)	1 1 1 2 1 2 1 2 2	1 1 1 1 2 2 2 1 1 1		18単位必修	0	0	0								1
専門科目	0	31191 31119 31120 31123 31124 31125 31126 31192 31129	1 2 2 1 1 2 2 1 1	科学的思考基礎演習 I (看護学へのアプローチ) 科学的思考基礎演習 II (コミュケーションと人間際) 科学的思考基礎演習 II (ハルスアセスメントの基礎) 科学的思考基礎演習 IV (ヘルスアセスメントの応用) 援助技術論A (日常生活の援助技術) 援助技術論B (診療に伴う援助技術) 看護関係法規 精神保健 (発達段階と場に応じたメンタルヘルス) 健康教育論 (理論・実践) 早期看護体験実習	1 1 1 2 1 2 1 2 2 1	1 1 1 2 2 1 1 2		18単位必修 18	0	0	0	4					0		1
専門科目	0	31191 31119 31120 31123 31124 31125 31126 31192 31129	1 2 2 1 1 2 2 1 1	科学的思考基礎演習 I (看護学へのアプローチ) 科学的思考基礎演習 II (コミュケーションと人間縣) 科学的思考基礎演習 II (ハルスアセスメントの基礎) 科学的思考基礎演習 IV (ヘルスアセスメントの応用) 援助技術論A (日常生活の援助技術) 援助技術論B (診療に伴う援助技術) 看護関係法規 精神保健 (発達段階と場に応じたメンタルヘルス) 健康教育論 (理論・実践) 早期看護体験実習	1 1 1 2 1 2 1 2 2 1	1 1 1 2 2 1 1 2			0	0	0	4					0		1 2
専門科目	の基本	31191 31119 31120 31123 31124 31125 31126 31192 31129 31130	1 2 2 1 1 2 2 1 1 1	科学的思考基礎演習 I (看護学へのアプローチ) 科学的思考基礎演習 II (コミュケーションと人間縣) 科学的思考基礎演習 II (ハルスアセスメントの基礎) 科学的思考基礎演習 IV (ヘルスアセスメントの応用) 援助技術論A (日常生活の援助技術) 援助技術論B (診療に伴う援助技術) 看護関係法規 精神保健 (発達段階と場に応じたメンタルヘルス) 健康教育論 (理論・実践) 早期看護体験実習 基礎看護学実習 計	1 1 2 1 2 1 2 2 1 2 2 1 2	1 1 1 1 2 2 1 1 2 1 3			0	0	0	4					0		1 2
専門科目	の基本	31191 31119 31120 31123 31124 31125 31126 31192 31129 31130	1 2 2 1 1 2 2 1 1 1 1	科学的思考基礎演習 I (看護学へのアプローチ) 科学的思考基礎演習 II (コミュケーションと人間縣) 科学的思考基礎演習 II (ハルスアセスメントの基礎) 科学的思考基礎演習 IV (ヘルスアセスメントの応用) 援助技術論A (日常生活の援助技術) 看護関係法規 精神保健 (発達段階と場に応じたメンタルヘルス) 健康教育論 (理論・実践) 早期看護体験実習 基礎看護学実習 計 科学的思考基礎演習 V (看護実践力の基礎)	1 1 1 2 1 2 1 2 2 1 2 2	1 1 1 2 2 1 1 2 1 3			0	0	0	4					0		1 2
専門科目	の基本 看護展	31191 31119 31120 31123 31124 31125 31126 31192 31129 31130 31122 31135	1 2 2 1 1 2 2 1 1 1 1	科学的思考基礎演習 I (看護学へのアプローチ) 科学的思考基礎演習 II (コミュケーションと人間縣) 科学的思考基礎演習 II (ハルスアセスメントの基礎) 科学的思考基礎演習 IV (ヘルスアセスメントの応用) 援助技術論品 (日常生活の援助技術) 看護関係法規 精神保健 (発達段階と場に応じたメンタルヘルス) 健康教育論 (理論・実践) 早期看護体験実習 基礎看護学実習 計 科学的思考基礎演習 V (看護実践力の基礎) 成人看護学概論	1 1 1 2 1 2 1 2 2 1 2 2 1 2 2 2 2	1 1 1 2 2 1 1 2 1 3		18	0	0	0	4					0		1 2
専門科目	の基本 看護展開の	31191 31119 31120 31123 31124 31125 31126 31192 31130 31122 31135 31136	1 2 2 1 1 2 2 1 1 1 1	科学的思考基礎演習 I (看護学へのアプローチ) 科学的思考基礎演習 II (コミュニケーションと人間縣) 科学的思考基礎演習 II (ハルスアセスメントの連盟) 科学的思考基礎演習 IV (ハルスアセスメントの応用) 援助技術論A (日常生活の援助技術) 援助技術論B (診療に伴う援助技術) 看護関係法規 精神保健 (発達段階と場に応じたメンタルヘルス) 健康教育論 (理論・実践) 早期看護体験実習 基礎看護学実習 計 科学的思考基礎演習 V (看護実践力の基礎) 成人看護学概論 高齢者看護学A (高齢者の健康と障害)	1 1 1 2 1 2 1 2 2 1 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 2 2 1 1 1 2 1 3			0	0	0	4					0		1 2
専門科目	の基本 看護展開の	31191 31119 31120 31123 31124 31125 31126 31192 31129 31130 31122 31135 31136 31193	1 2 2 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1	科学的思考基礎演習 I (看護学へのアブローチ) 科学的思考基礎演習 II (コミュニケーションと人間縣) 科学的思考基礎演習 II (ハルスアセスメントの連般) 科学的思考基礎演習 IV (ハルスアセスメントの応用) 接助技術論A (日常生活の援助技術) 接助技術論B (診療に伴う援助技術) 看護関係法規 精神保健 (発達段階と場に応じたメンタルヘルス) 健康教育論 (理論・実践) 早期看護体験実習 基礎看護学実習 計 科学的思考基礎演習 V (看護実践力の基礎) 成人看護学概論 高齢者看護学A (高齢者の健康と障害) 小児看護学A (健康な小児の生活支援)	1 1 1 2 1 2 1 2 2 1 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 2 2 1 1 2 1 3		18	0	0	0	4					0		1 2
専門科目	の基本 看護展開	31191 31119 31120 31123 31124 31125 31126 31192 31129 31130 31122 31135 31136 31193 31194 31195	1 2 2 1 1 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 1	科学的思考基礎演習 I (看護学へのアブローチ) 科学的思考基礎演習 II (コミュニケーションと人間縣) 科学的思考基礎演習 II (ハルスアセスメントの連制) 科学的思考基礎演習 IV (ハルスアセスメントの応用) 接助技術論A (日常生活の援助技術) 接助技術論B (診療に伴う援助技術) 看護関係法規 精神保健 (発達段階と場に応じたメンタルヘルス) 健康教育論 (理論・実践) 早期看護体験実習 基礎看護学実習 計 科学的思考基礎演習 V (看護実践力の基礎) 成人看護学概論 高齢者看護学A (高齢者の健康と障害) 小児看護学A (健康な小児の生活支援) 母性看護学A (リプロダクティブヘルスケア) 精神看護学A (心の基本理解と健康)	1 1 1 2 1 2 1 2 2 1 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 2 2 1 1 2 1 3		18	0	0	0	4					0		1 2
専門科目	の基本 看護展開の	31191 31119 31120 31123 31124 31125 31126 31192 31129 31130 31122 31135 31136 31193 31194	1 2 2 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 1	科学的思考基礎演習 I (看護学へのアブローチ) 科学的思考基礎演習 II (コミュニケーションと人間縣) 科学的思考基礎演習 II (ハルスアセスメントの連般) 科学的思考基礎演習 IV (ハルスアセスメントの応用) 援助技術論A (日常生活の援助技術) 援助技術論B (診療に伴う援助技術) 看護関係法規 精神保健 (発達段階と場に応じたメンタルヘルス) 健康教育論 (理論・実践) 早期看護体験実習 基礎看護学実習 計 科学的思考基礎演習 V (看護実践力の基礎) 成人看護学概論 高齢者看護学A (高齢者の健康と障害) 小児看護学A (健康な小児の生活支援) 母性看護学A (リプロダクティブヘルスケア)	1 1 1 2 1 2 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 1 3		18		0	0	4					0		4

[※]科目ナンバリングは、学科科目を参照すること。

	$\overline{}$												ſ	呆健師	課程				
									Ź	公衆衛/	生看護	学	疫学	保健	保健	公衆	衛生看 実習	護学	
	教	育課程		指定規	則の著	牧育内*	容		公衆衛生看護学概論	個人・家族・集団・組織の支援	公衆衛生看護活動展開論	公衆衛生看護管理論	7	保健統計学	健医療福祉行政論	実習とは、集団・組織の支援	公衆衛生看護活動展開論実習	公衆衛生看護管理論実習	: i
区	分	科目 コード	科目 明細	授業科目	配置 年次		立数 選択	履修方法及び 卒業要件		援		23 (20)			援	考習 		28 (25)
		31197	1	科学的思考基礎演習VI(看護実践力の応用)	3	1	7C3-1/1					20 (20					J		20 (20)
		31142	2	成人看護学A(セルフケア)	2	2													
		31198	1	成人看護学B(ペリオペレイティブケア・クリティカルケア)	3	1													
		31144	2	高齢者看護学B (高齢者の健康障害と看護)	3	2													
		31199	1	小児看護学B (小児の健康障害と看護)	3	2													
		31146	2	母性看護学B(ペリネイタルケア)	3	2													
		31200	1	精神看護学B(心を病む人の理解とセルフマネジメント)	3	2	\vdash							1					
		31200	1	在宅看護学B(在宅療養を支える看護)	3	2	\vdash			0									2
		31202	1	公衆衛生看護活動展開論A (発達·健康課題と看護)	2	1					0								1
		31180	2	公衆衛生看護活動展開論B(公衆衛生看護技術)	3	2					0								2
	看	31203	1	公衆衛生看護活動展開論C(組織活動・社会資源)	3	1					0								1
	看護展開	31181	2	公衆衛生看護管理論(健康危機管理を含む)	4	1		41単位必修						_					1
	開	31204	1	学校保健	2	1		11中世紀19		0									1
	の応用	31204	1	学校健康相談	4	1	1							-					1
	用	31182	1	産業保健	4	1	1			0									1
				成人看護学実習	3														1
		31155	1		3	3								-					
		31156	2	高齢者看護学実習	_	_													—
専		31157	1	小児看護学実習	3	2				-				-					_
専門科		31158	1	母性看護学実習	3	2								-					_
目		31159	1	精神看護学実習	3	2								-					-
		31160	1	在宅看護学実習	3	2													
		31183	2	公衆衛生看護学実習A(活動展開の基礎)	2	1											0	_	1
		31206	1	公衆衛生看護学実習B(活動展開の応用)	4	4											0	0	4
				計				41				9				L	5		14
		31163	1	国際看護論	4	1													<u> </u>
		31207	1	国際看護論演習	1-4		2												
		31164	1	看護マネジメント (医療安全含む)	4	1	\sqcup									Ш			
		31165	1	看護教育学	4		1							_		\sqcup			
		31167	1	研究方法論	4	1	Ш									Ш			
		31208	1	研究方法論演習 I	4	1	Ш							_		\sqcup			<u> </u>
	看	31209		研究方法論演習Ⅱ	4	1	\sqcup	11単位必修						_		Ш			
	看護学の	31169	1	看護生体情報論	4		1	11単位必修								Ш			
	子の	31170	1	リハビリテーション看護	4		1	2 単位選択											
	発展	31171	1	がん看護	4		1												
	/11/4	31154	1	ターミナルケア論	4	1	\sqcup												
		31173	1	代替療法と看護	4		1									Ш			
		31211	1	生と死の倫理	4		1												
		31210	1	災害看護 (放射線災害を含む)	4	1	Ш					0							1
		31176	2	科学的思考基礎演習VII(種プロフェッショナルへの学び)	4	1													
		31185	1	総合実習	4	3											0	0	3
				計				13				1					3		4
				卒業要件単位数				124				24					8		32
		保健	師国家	試験受験資格を取得する場合の最低必要単位	数			135				24					8		32
				指定規則に対する増単位数								1					3		4

※科目ナンバリングは、学科科目を参照すること。

履修要項別

1.	卒業研究規程	195
2.	茨城キリスト教大学研究倫理指針	198
3.	海外研修制度······	202
4.	『異文化体験』の履修	212
5.	単位互換制度	214
6.	派遣学生および特別聴講学生に関する規程	216
7.	国外大学とのデュアル・ディグリー制度運営規程	218
8.	科目等履修生に関する規程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	220
9.	聴講生に関する規程	222
10.	その他	224

1. 卒業研究規程

卒業研究提出にかかわる注意事項、指示事項がある場合は掲示にて指示する。

提出締切日 学事暦及び掲示で確認すること

提出先 学務部(文化交流学科を除く)

文学部

現代英語学科

- 1. 研究内容の範囲 英語学・英米文学・英語教育・異文化間コミュニケーション・観光学・メディア論・その他英語および英語 (圏) 文化に関連するテーマであること。
- 2. 卒業研究の様式:

A. 論文

- ◆英文の場合、A4判用紙を使用。1ページ25行程度で12枚以上に相当するワード数であること。さらに、和文(400字詰原稿用紙3枚程度)の要旨を付けること。ただし、表紙、目次、要旨はページ数に入れない。参考文献、図表は本文のページ数に入れる。
- ◆和文の場合、A 4 判用紙を使用。400字詰原稿用紙30枚以上に相当する字数であること。さらに、本文の前に英文(400語程度)の要旨を付けること。ただし、表紙、目次、要旨はページ数に入れない。参考文献、図表は本文のページ数に入れる。
- B. ドラマ・プレゼンテーション:指導教員の指示に従い、CD、DVD等に保存し、概要とともに提出する。概要はA4 判用紙を使用し、400字程度とする。
- C. その他: 学科の担当教員に問い合わせること。
- 3. 注意点

指導教員と十分にコミュニケーションをとりながら研究を進めること。

児童教育学科

- 1. 研究内容の範囲 教育学、教育心理学、児童学に関わる論文(作品、演奏等を含む)とする。
- 2. 卒業研究の様式 担当教員の指示に従うものとする。

文化交流学科

- 1. 研究内容の範囲 文化交流学科の卒業研究にふさわしいテーマであること。
- 2. 指導教員 原則として学科所属の教員とする。

学科外教員の指導を希望する場合には、学科主任に相談すること。

生活科学部

心理福祉学科

- 1. 研究内容の範囲 心理福祉にかかわる研究 (調査等を含む) で卒業研究にふさわしいテーマとする。 ※様式の詳細は、学科の申し合わせに基づく担当教員の指示に従うものとする。
- 2. 用紙規格・枚数

A4用紙(和文40字×30行)、本文(表紙、目次、図表等を除く)10枚以上を目安とする。原則として、日本語ワープロでの作成とする。ただし、担当者の指示があった場合はそれに従うこととする。

3. 指導教員

心理福祉演習の担当者を原則とする。

心理福祉演習を担当しない学科専任教員の指導を希望する場合は、当該教員の了解を得るものとする。 他学科の専任教員の指導を希望する場合は、学科主任ならびに当該教員に相談すること。 兼任講師の指導は認めない。

食物健康科学科

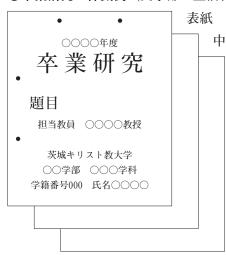
- 1. 研究内容の範囲 (1) 食物健康科学科の卒業研究にふさわしいテーマであること。
 - (2) 指導は、学科所属の担当教員が行う。
- 2. 用紙規格・枚数 (1) A 4 判用紙を使用し、横とじとすること。
 - (2) 構成は表紙、目次、本文、図表、謝辞、参考文献とする。

経営学部

経営学科

- 1. 研究内容の範囲 経営学科の卒業研究にふさわしいテーマであること。
- 2. 指導は、学科所属の担当教員が行う。
- 3. その他詳細については、卒業研究要項にて説明する。

●**卒業研究の体裁例**(文学部・生活科学部・経営学部共通)



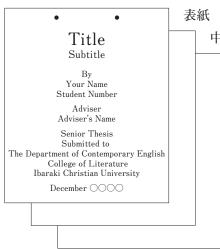
表紙 黒表紙か厚紙を使用

中表紙 (表紙と同じものを記入する)

目次・本文

- ※上部または横2ヶ所をとじひもでとじる。 食物健康科学科は横2ヶ所をとじる。
- ※児童教育学科は学科名の後に専攻名を記載 する。

●現代英語学科卒業研究(英文)体裁例



表紙 黒表紙か厚紙を使用

中表紙 (表紙と同じものを記入する)

目次・本文

※上部2ヶ所をとじひもでとじる。

2. 茨城キリスト教大学研究倫理指針

(目的)

第1条 茨城キリスト教大学(以下「本学」という。)は、本学の学術研究の信頼性と公正性を確保することを目的とし、研究を遂行する上で求められる研究者および研究に関与する事務職員の行動、態度の倫理的指針をここに定める。

(研究の基本)

- 第2条 研究者は、良心と信念に従って、自らの責任で研究を遂行し、不当な圧力により研究成果の客観 性を歪めることがあってはならない。
- 2 研究者は、生命の尊厳を重んじ、個人のプライバシーに配慮し、基本的人権を尊重しなければならない。
- 3 研究者は、国際的に認められた規範、規約および条約等、国内の法令、告示等および本学の諸規程を 遵守しなければならない。

(定義)

- 第3条 「研究者」は、次の者とする。
 - (1) 本学教育職員任用規程第2条(1) から(7) に定める者
 - (2) 前(1) と共同で研究を行う全ての者
- 2 「研究」とは、研究計画の立案、計画の実施、成果の発表、評価にいたる全ての過程における行為、決定およびそれに付随する全ての事項をいう。
- 3 「発表 とは、自己の研究に係る新たな知見、発見または専門的知見を公表する全ての行為をいう。
- 4 「研究に関与する事務職員」とは、本学の研究に対する事務、管理等(以下「研究事務等」という。) に携わる専任事務職員、嘱託員、臨時職員、およびアルバイト職員をはじめとする全ての研究事務等に 従事する者をいう。

(研究者の態度)

- 第4条 研究者は、自己の専門研究が及ぶ範囲を自覚し、他分野の専門研究を尊重するとともに、自己研 鑚に努めなければならない。
- 2 研究者は、他の国、地域、組織等の研究活動における、文化、慣習、規律の理解に努めなければならない。
- 3 研究者は、他の研究者と共同で研究活動を行う場合は、相互の学問的立場を尊重しなければならない。
- 4 研究者は、研究協力者、研究支援者等に対しては、謝意をもって接しなければならない。
- 5 研究者は、学生が共に研究活動に関わる場合は、学生が不利益を蒙らないよう十分に配慮をしなければならない。
- 6 研究者は、自己の研究計画について、分かり易く、明瞭に説明できるよう努めなければならない。
- 7 研究者は、研究遂行中において、計画進捗状況の自己点検を行い、適切な時期に途中経過の報告ができるよう努めなければならない。

(研究のための情報、データ等の収集)

- 第5条 研究者は、科学的かつ一般的に妥当な方法、手段で、研究のための資料、情報、データ等を収集 しなければならない。
- 2 研究者が、研究のために資料、情報、データ等を収集する場合は、その目的に適う必要な範囲におい

て収集するよう努めなければならない。

(インフォームド・コンセント)

- 第6条 研究者が、人の行動、環境、心身等に関する個人の情報、データ等の提供を受けて研究を行う場合は、提供者に対してその目的、収集方法等について、分かり易く説明し、提供者の明確な同意を得なければならない。
- 2 組織、団体等から、当該組織、団体等に関する資料、情報、データ等の提供を受ける場合も前項に準じるものとする。

(個人情報の保護)

第7条 研究者は、プライバシー保護の重要性に鑑み、研究のために収集した資料、情報、データ等で、 個人を特定できるものは、これを他に洩らしてはならない。

(実験ノート、情報、データ等の利用および管理)

- 第8条 研究者は、実験ノート、研究のために収集または生成した資料、情報、データ等の滅失、漏洩、 改ざん等を防ぐために適切な措置を講じなければならない。
- 2 研究者は、実験ノート、研究のために収集または生成した資料、情報、データ等を適切な期間保存しなければならない。ただし、法令または規程等に保存期間の定めのある場合はそれに遵うものとする。 (機器、薬品・材料等の安全管理)
- 第9条 研究者が、研究実験において研究装置・機器等および薬品・材料等を用いるときは、関係取扱規程、要領等を遵守し、その安全管理に努めなければならない。
- 2 研究者は、研究の過程で生じた残渣物、使用済みの薬品・材料等について、責任をもってその最終処理をしなければならない。

(研究成果の発表)

- 第10条 研究者は、研究の成果を広く社会に還元するため、公表しなければならない。ただし、産業財産 権等の取得およびその他合理的理由のため公表に制約のある場合は、その合理的期間内において公表し ないものとすることができる。
- 2 研究成果は、学問的誠実性と論理的忠実性によって導かれた、新たな知見、発見であることに鑑み、 研究者は、他者の成果を自己の成果として発表してはならない。
- 3 研究者は、研究成果の発表に際しては、先行研究を精査し尊重するとともに、他者の知的財産を侵害 してはならない。
- 4 研究者は、研究成果発表における不正な行為は、本学および研究者に対する社会の信頼性を喪失する 行為であることを自覚し、次に掲げる不正な行為は、絶対にこれをしてはならない。
 - (1) 捏造(存在しないデータの作成)
 - (2) 改ざん (データの変造、偽造)
 - (3) 盗用(他人のデータや研究成果等を適切な引用なしで使用)
- 5 研究者は、研究発表における不適切な引用、引用の不備、誇大な表現、都合のよい誤解をさせる表現 等は、不正行為とみなされる恐れがあることを自覚し、適切な引用、誤解のない完全な引用、そして真 摯な表現をしなければならない。

(オーサーシップ)

第11条 研究者は、研究活動に実質的な関与をし、研究内容に責任を有し、研究成果の創意性に十分な貢献をしたと認められる場合に、適切なオーサーシップを認められる。

(研究費の取扱い)

第12条 研究者および研究に関与する事務職員は、研究費の源泉が、学生納付金、国・地方公共団体等か

らの補助金、財団、企業等からの助成金、受託・共同研究費、寄附金等によって賄われていることを常 に留意し、研究費の適正な使用および管理に努め、その負託に応えなければならない。

- 2 研究者は、交付された研究費を当該研究に必要な経費のみに使用しなければならない。
- 3 研究者および研究に関与する事務職員は、研究費の使用および管理に当たっては、法令、本学の諸規程、当該研究費の使用規定等を遵守しなければならない。
- 4 研究者および研究に関与する事務職員は、証憑書類等を適切に管理し、実績報告においては、研究遂 行の真実を明瞭に記載しなければならない。

(他者の業績評価)

- 第13条 研究者が、レフリー、論文査読、審査委員等の委嘱を受けて、他者の研究業績の評価に関わると きは、被評価者に対して予断を持つことなく、評価基準、審査要綱等に従い、自己の信念に基づき評価 しなければならない。
- 2 研究者は、他者の業績評価に関わり知り得た情報を不正に利用してはならない。当該業績に関する秘密は、これを保持しなければならない。

(本学の責務)

- 第14条 本学は、研究者の研究倫理意識を高揚するために、必要な啓発、倫理教育の計画を策定し、実施 するものとする。
- 2 本学は、この指針の運用を実効あるものとするため、研究者の研究倫理に反する行為および研究に関 与する事務職員の研究倫理に反する行為に加担する行為に対しては適切な措置を講じるものとする。
- 3 前2項に関する事項は別に定める。

(改定)

第15条 この指針の改定は、研究支援委員会の議を経、合同教授会の承認を得てこれを行う。

附則

- 1 この指針は、2010年4月1日から施行する。
- 2 この指針は、2014年4月1日から施行する。
- 3 この指針は、2015年4月1日から施行する。

3. 海外研修制度

(1) 海外語学研修

海外語学研修は、学部・学科・学年を問わず全ての学生を対象として、夏期/春期休業中の約2週間または4週間で実施される。語学研修を中心に、それぞれの国の歴史や文化などを直接体験できる内容が盛り込まれている。参加に伴い、海外語学研修の単位修得が可能である。

なお、成績評価は「認」となり、GPA算出の対象とはならない。

○研修先

アメリカ合衆国

機 関 名:オクラホマ・クリスチャン大学 (Oklahoma Christian University: OC)

所 在 地:オクラホマ州 オクラホマ市

時期・内容:春期休業中の約4週間。英語、米国文化に関する授業を受講する。

修 得 単 位:海外語学研修 A または B (4単位)

機 関 名:アッシュランド大学 (Ashland University)

所 在 地:オハイオ州 アッシュランド市

時期・内容:夏期休業中の約2週間。英語、米国文化に関する授業を受講する。

修 得 単 位:海外語学研修 C または D (2 単位)

機 関 名:ウェストアラバマ大学 (The University of West Alabama)

所 在 地:アラバマ州 リビングストン市

時期・内容:夏期休業中の約2週間。英語、米国文化に関する授業を受講する。ESLコースを受講する。

修 得 単 位:海外語学研修 C または D (2 単位)

カナダ

機 関 名:ファンショーカレッジ (Fanshawe College)

所 在 地:オンタリオ州 ロンドン市

時期・内容:夏期/春期休業中の約4週間または2週間。ESLコースを受講する。

修 得 単 位:海外語学研修 A または B (4 単位)、C または D (2 単位)

イギリス

機 関 名:コヴェントリーカレッジ (Coventry College)

所 在 地:コヴェントリー市

時期・内容:夏期/春期休業中の約4週間または2週間。ESLコースを受講する。

修 得 単 位:海外語学研修 A または B (4単位)、C または D (2単位)

ニュージーランド

機 関 名:ワイカト大学パスウェイズカレッジ(The University of Waikato Pathways College)

所 在 地:ハミルトン市

時期・内容:春期休業中の約4週間。一般英語コースを受講する。

修 得 単 位:海外語学研修 A または B (4単位)

フランス共和国

機 関 名:現代フランス語視聴覚センター カヴィラム

(Centre d'Approches Vivantes des Langues et des Médias: CAVILAM)

所 在 地:ヴィシー市

時期・内容:夏期/春期休業中の約4週間または2週間。フランス語学習コースを受講する。

修 得 単 位:海外語学研修 A または B (4 単位)、C または D (2 単位)

ドイツ連邦共和国

機 関 名:ブレーメン州立大学外国語センター

(Fremdsprachenzentrum der Hochschulen im Land Bremen)

所 在 地:ブレーメン市

時期・内容:夏期休業中の約4週間。ドイツ語学習コースを受講する。

修 得 単 位:海外語学研修 A または B (4 単位)

機 関 名:インターナショナル・コミュニケーション研究所デュッセルドルフ校

(Institut für Internationale Kommunikation in Düsseldorf)

所 在 地:デュッセルドルフ市

時期・内容:夏期/春期休業中の約4週間または2週間。ドイツ語学習コースを受講する。

修 得 単 位:海外語学研修 A または B (4 単位)、C または D (2 単位)

中華人民共和国

機 関 名:天津師範大学(Tianjin Normal University)

所 在 地:天津市

時期・内容:夏期休業中の約2週間。中国語、中国文化に関する授業を受講する。

修 得 単 位:海外語学研修C または D (2単位)

最低催行人数:5名

大韓民国

機 関 名:明知大学校 (Myongji University)

所 在 地:ソウル市、龍仁市

時期・内容:夏期休業中の約2週間。韓国語、韓国文化に関する授業を受講する。

修 得 単 位:海外語学研修C または D (2単位)

フィリピン共和国

機 関 名:ネグロス・オクシデンタルーレコレトス大学(University of Negros Occidental-Recoletos)

所 在 地:バコロド市

時期・内容:夏期/春期休業中の約4週間または2週間ESLコースを受講する。

修 得 単 位:海外語学研修A またはB (4単位)、

C または D (2単位)

最低催行人数: 3名

(2)海外文化研修

海外文化研修は、学部・学科・学年を問わず全ての学生を対象として、当該年度の引率教員がデザイン したテーマに沿って、夏期/春期休業中の約2週間で実施される。参加に伴い、海外文化研修の単位修得 が可能である。

修得単位:海外文化研修(2単位)

(3) 交換留学

協定を結んでいる大学に、学生を約1年間派遣する制度である。

また、留学中に修得した単位の一部は本学の単位として認定される(最大30単位)。認定方法としては、留学先で修得した科目の内容及び時間数と、本学の単位として認定を希望する科目の内容及び時間数を勘案し、認定となる。そのため、留学先で修得したすべての単位が認定されるとは限らないため注意すること。なお、成績評価は「認」となり、GPA算出の対象とはならない。

留学期間は本学における在学期間として算入されるため、4年間で卒業することも可能であり、経済的な支援制度もある。

○留学先

アメリカ合衆国

機 関 名:オクラホマ・クリスチャン大学 (Oklahoma Christian University: OC)

所 在 地:オクラホマ州 オクラホマ市

留学先授業料:全額免除

機 関 名:ウェストアラバマ大学 (The University of West Alabama)

所 在 地:アラバマ州 リビングストン市

留学先授業料:全額免除

機 関 名:ハワイ大学マノア校(University of Hawai'i at Mānoa)

所 在 地:ハワイ州 ホノルル市

留学先授業料:全額免除

カナダ

機 関 名:ファンショーカレッジ(Fanshawe College)

所 在 地:オンタリオ州 ロンドン市

留学先授業料:全額免除

スウェーデン王国

機 関 名:リンネ大学 (Linnaeus University)

所 在 地:ヴェクショー市

留学先授業料:全額免除

中華人民共和国

機 関 名:天津師範大学 (Tianjin Normal University)

所 在 地:天津市 留学先授業料:全額免除

機 関 名:広東海洋大学(Guangdong Ocean University)

所 在 地:湛江市 留学先授業料:全額免除

台 湾

機 関 名:南華大学(Nanhua University)

所 在 地:嘉義県 留学先授業料:全額免除

大韓民国

機 関 名:明知大学校 (Myongji University)

所 在 地:ソウル市 留学先授業料:全額免除

機 関 名:韓瑞大学校(Hanseo University)

所 在 地:瑞山市 留学先授業料:全額免除

機 関 名: KC大学校 (KC University)

所 在 地:ソウル市 留学先授業料:全額免除

ベトナム社会主義共和国

機 関 名:ホーチミン市外国語情報技術大学

(Ho Chi Minh City University of Foreign Languages and Information Technology: HUFLIT)

所 在 地:ホーチミン市 留学先授業料:全額免除

機 関 名:フエ大学外国語カレッジ(Hue University College of Foreign Languages)

所 在 地:フエ市 留学先授業料:全額免除 機 関 名:ホーチミン市テクノロジー大学(Ho Chi Min City University of Technology: HUTECH)

所 在 地:ホーチミン市

留学先授業料:全額免除

カンボジア王国

機 関 名:アンコール大学 (Angkor University)

所 在 地:シェムリアプ市

留学先授業料:全額免除

インドネシア共和国

機 関 名:リアウ大学 (University of Riau)

所 在 地:プカンバル市

留学先授業料:全額免除

キルギス共和国

機 関 名:ビシケク国立大学(Bishkek State University)

所 在 地:ビシケク市 留学先授業料:全額免除

ウクライナ

機 関 名:イワン・フランコ記念リヴィウ国立大学(Ivan Franko National University of Lviv)

所 在 地:リヴィウ市 留学先授業料:全額免除

※詳細(内容、手続き方法等)は、本学ホームページを参照するか、直接、地域・国際交流センター国際 交流課に問い合わせること。

申込みにあたっては、通常の授業に支障をきたさないよう注意して計画を立てること。

(4) セメスター留学〔文学部現代英語学科〕

文学部現代英語学科の学生のみを対象とし、提携している大学に約7ヵ月間派遣する制度である。

また、留学中に修得した単位の一部は本学の単位として認定される(最大20単位)。認定方法としては、留学先で修得した科目の内容及び時間数と、次ページのリストから認定を希望する科目の内容及び時間数を勘案し、認定となる。そのため、留学先で修得したすべての単位が認定されるとは限らないため注意すること。なお、成績評価は「認」となり、GPA算出の対象とはならない。

留学期間は本学における在学期間として算入されるため、4年間で卒業することも可能であり、経済的な支援制度もある。

○留学先

アメリカ合衆国

機 関 名:ハワイ大学マノア校 (University of Hawai'i at Mānoa)

所 在 地:ハワイ州 ホノルル市

留学先授業料:10%免除

対 象 学 年:1年~3年次後期

修 得 単 位:必修科目及び選択科目最大20単位

オーストラリア連邦

機 関 名:クイーンズランド大学 生涯教育・英語教育センター

(Institute of Continuing & TESOL Education, The University of Queensland)

所 在 地:クイーンズランド州 ブリスベン市

留学先授業料:10%免除

対 象 学 年:1年~3年次後期

修 得 単 位:必修科目及び選択科目最大20単位

フィリピン共和国

機 関 名:ネグロス・オクシデンタルーレコレトス大学(University of Negros Occidental-Recoletos)

所 在 地:バコロド市 留学先授業料:10%免除

対 象 学 年:1年~3年次後期

修 得 単 位:必修科目及び選択科目最大20単位

※詳細(内容、手続き方法等)は、本学ホームページを参照するか、直接、地域・国際交流センター国際 交流課に問い合わせること。

申込みにあたっては、通常の授業に支障をきたさないよう注意して計画を立てること。

セメスター留学における単位認定可能科目

セメスター留学で修得した単位は、下記の授業科目の単位(最大20単位)として充当することができる。

	科目コード	科目ナンバリング	授業科目	必修/選択	単位数	年次	
1	12004	EN11A04E	Listening I	選択	1	1	
2	12005	EN12A04E	Listening II	選択	1	1	
3	12006	EN20C03E	Advanced Listening	選択	1	2~4	*
4	12008	EN11C02E	Pronunciation I	選択	1	1~4	
5	12009	EN12C02E	Pronunciation II	選択	1	1~4	
6	12010	EN20C04E	Presentation	選択	1	2~4	
7	12012	EN11A03E	Reading I	選択	1	1	
8	12013	EN12A03E	Reading II	選択	1	1	
9	12014	EN20C02E	Advanced Reading	選択	1	2~4	*
10	12018	EN21C03E	Writing I	選択	1	$2\sim4$	*
11	12019	EN22C03E	Writing II	選択	1	2~4	*
12	12020	EN10C07E	Activities I	選択	1	1~4	
13	12021	EN10C08E	Activities II	選択	1	1~4	
14	12047	EN20C05K	異文化間コミュニケーション	選択	2	2~4	
15	12083	EN32A01E	現代英語演習II	必修	2	3	
16	12105	EN11A02E	Audio Visual English I	必修	1	1	
17	12106	EN12A02E	Audio Visual English II	必修	1	1	
18	12107	EN21C01E	Audio Visual English III	選択	1	2~4	
19	12108	EN22C01E	Audio Visual English IV	選択	1	2~4	
20	12140	EN20C45E	特殊演習	選択	1	2~4	
21	12144	EN11A01E	English Communication I	必修	1	1	
22	12145	EN12A01E	English Communication II	必修	1	1	
23	12146	EN21A01E	English Communication III	必修	1	2	
24	12147	EN22A01E	English Communication IV	必修	1	2	
25	12148	EN11C01E	Conversation I	選択	1	1~4	
26	12149	EN12C01E	Conversation II	選択	1	1~4	
27	12150	EN20C01E	Advanced Conversation	選択	1	2~4	*
28	12151	EN21C02E	Discussion I	選択	1	2~4	
29	12152	EN22C02E	Discussion II	選択	1	2~4	
30	12178	EN10C01E	Controlled Independent Study I	選択	1	1~4	
31	12179	EN10C02E	Controlled Independent Study II	選択	1	1~4	
32	12180	EN20C08E	グローバルイングリッシュ	選択	2	2~4	

(2020年2月25日教務委員会承認)

*のついた科目は教職課程に必要な科目であるため、教員免許状取得を希望する学生は単位認定ができない。

- 1) 単位認定は留学する学年次内で履修できる科目に限る。
- 2) 留学によって認定できる単位数の上限は20単位である。各科目で単位数や授業期間、授業時間が異なることがあるので、よく確認すること。

4. 『異文化体験』の履修

授業科目『異文化体験』のねらい

『異文化体験』は、「学ぶ者の主体的な体験」を尊重し、「学生個人が自発的に準備し、計画を練り、実行に移した海外研修 | を、大学の授業科目として認めるものである。

そのため、手がかりとなる現代英語学科科目『異文化間コミュニケーション』(2単位)または、文化交流学科科目『異文化間コミュニケーション』(2単位)を事前に履修しているか、履修中であることが望ましい。

想定される『異文化体験』

- (1) 本学とは提携関係にない海外の教育機関への短期留学。
- (2) 明確な研究テーマを設定して、海外において調査を行う場合。

いずれの場合も実施時期は、夏期休業中・冬期休業中・春期休業中を原則とする。

同時に修得できる外国語の単位

上記(1)の場合、『異文化体験』(2単位)に加えて、その教育機関において学習する外国語科目の単位 $(1 \sim 2 \text{ 単位})$ を認定する。

認定される外国語科目は、

『総合英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ』

『英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ』

『フランス語 I A、 I B、 II A、 II B、 III A、 II B、 II A、 III

『ドイツ語 I A、 I B、 II A、 II B、 II B、 II A、 II B、 II A、 II B、 II A、 II B、 II A、 II B、 II A、 II B、 II A、 II B、 II A、

『中国語IA、IB、ⅡA、ⅡB、ⅢA、ⅢB、NA、NB』

『コリアンIA、IB、ⅡA、ⅡB、ⅢA、ⅢB、NA、NB』

『その他の外国語A、B、C、D』

のいずれか 1 外国語とする。ただし、現代英語学科の学生の場合は、『総合英語 I 、 II 、

履修登録から単位の修得まで

希望者は、履修登録から単位修得に至るまでのスケジュールを右表で確認し、所定書類の提出や期限等を遵守すること。(不明な点は随時、学務部窓口にて相談すること)

手続きのスケジュール

体験期間手続き	夏期休業中	冬期休業中 (卒業年次は不可)	春期休業中 (卒業年次は不可)			
履修登録 (夏期・冬期休業中に 体験する場合)	体験しようとする年度の 4月 (後期科目として登録)	体験しようとする年度の 4月または9月 (後期科目として登録)				
計画書作成	上上の大学者の教務委員に相談し、体験前に詳細な計画書を作成すること。					
計画書提出期限 (提出先:学務部窓口)	5 月末	10月末	12月下旬			
教務委員会による 計画書審査結果通知	6 月	11月	1月			
体験実施						
レポート作成必要書類準備		- トにまとめること。教育機 間(2単位分)の学習を証明				
履修登録 (春期休業中に体験する場合)			体験・帰国後の4月 (前期科目として登録)			
レポート提出期限 (提出先:学務部窓口)	10月末	2月中旬	4月末			
教務委員による 口頭試問	11月	2 月下旬	5月			
教務委員会による 成績認定審査	12月	2 月下旬	6月			
成績通知	3月 (後期成績として通知)	3月 (後期成績として通知)	9月 (前期成績として通知)			

[※]提出締切等の具体的な日時については毎年度、IC-UNIPAにて掲示する。

5. 単位互換制度

単位互換制度

本学では、茨城大学、茨城県立医療大学、茨城工業高等専門学校、常磐大学及び常磐短期大学、沖縄大学、放送大学との間で、単位互換に関する協定を結んでいる。

この制度は、「相互の交流と協力を促進し、教育内容の充実を図る」ことを目的とし、各大学がお互いの独自性を生かした授業を公開し合い、それぞれの学生が自由に他大学で学べるようにしたものである。

(1) 茨城大学、茨城県立医療大学、茨城工業高等専門学校、常磐大学及び常磐短期大学との単位互換制度 前年度末から、単位互換可能な授業科目を学生に明示するので、その中から希望する科目を選択しても らうことになる。特に単位互換科目は、単位数や授業期間、授業時限が異なることがあるので、よく確認 してから申し込むこと。受講できる科目数は、一人3科目までである。修得した単位は、本学の卒業要件 単位として認定される。

なお、申込期間は、履修登録との関係上、短くなっているので、〆切日および必要書類等をよく確認すること。書類は大学を通して受入れ大学(茨城大学 他)に一括申請することになるので、期日までに遅れないよう提出すること。

また、受入れ大学と定期試験の日時が重なる場合には追試験の対象となるため、早めに学務部に相談すること。

●申込みに必要な書類

- ① 特別聴講学生願(指定用紙)
- ② 在学証明書
- ③ 成績証明書
- ④ 健康診断書(本学健康診断受診後、提出)
- ・上記書類の提出〆切日 4月上旬、詳しくは掲示等で確認すること。
- ・受入学生の決定(許可) 4月中旬
- · 聴講開始時期 4 月中旬以降

※受講希望者は、正式な受入許可が決定する前に授業が始まることになるので、第1回目の授業から 出席するよう、心がけること。

(2) 沖縄大学との単位互換制度

本学に在籍したまま沖縄大学で1年間学ぶことができる単位互換制度に関わる協定が2005年度に締結された。この協定は、相互に学生を派遣する制度で、沖縄大学からの学生も本学で受け入れている。

この制度は、2012年度より全学部全学科の学生を対象とする制度に変更されている。沖縄大学との単位 互換制度については、10月(予定)に説明会を行うので、希望者は必ず出席すること。

沖縄大学における受講科目単位数の上限は48単位となっているが、本学で認定できる単位数は30単位までとなっている(「派遣学生および特別聴講学生に関する規程」第4条」)。沖縄大学における受講科目については、申込時から所属学科と随時相談し、決定することになる。なお、受講に際し、有料となる科目も

あるので、事前によく確認すること。

沖縄大学への派遣は、1年間となるので、保護者ともよく相談し、十分な理解を得たうえで、応募すること。

●申込みに必要な書類

- ① 特別科目等履修生願書(指定用紙)
- ② 派遣学生志望動機(指定用紙)
- ③ 成績証明書(派遣決定時)
- ・上記書類の提出〆切日 11月上旬、詳しくは掲示等で確認すること。
- ・派遣学生の決定 11月中旬(面接等実施)
- ・聴講開始時期 翌年度4月

※説明会は10月を予定しているが、希望者は前期中に学務部窓口で相談することが望ましい。

(3) 放送大学との単位互換制度

本学との単位互換制度の対象として、2017年度から放送大学が加わった。従来型の教室における授業とは異なり、放送による自宅での学習も可能になり、また受講時間の制約も大幅に緩和されることが予想される。(逆に自分自身をしっかりと管理していかないと、失敗の元にもなるので、注意すること。)

本学の学生が修得できる放送大学の単位は、在学期間を通じて20単位、1学期間では4単位が上限となっている。また、単位を修得するためには、放送大学が定める通信指導あるいは単位認定試験を受けて、合格しなければならない。

放送大学の授業を受講する場合は、放送大学が定める額の授業料を支払わなければならない。 申込方法、必要書類、受講開始時期等については、後日掲示するので、注意すること。

6. 派遣学生および特別聴講学生に関する規程

第1章 総則

(趣旨)

第1条 茨城キリスト教大学(以下「本学」とする。)の学生で、本学学則第56条の規程により、他大学 又は短期大学等(以下「他大学等」とする。)の授業科目を履修しようとする派遣学生、及び他 大学等の学生で、本学学則第57条の規程により、本学の授業科目を履修しようとする特別聴講学 生の取扱については、本規程の定めるところによる。

(他大学等との協議)

- 第2条 本学学則第56条及び第57条の規程による派遣学生の派遣及び特別聴講学生の受入れについては、 次の各号に掲げる事項について、他大学等と協議し、合同教授会の承認を得るものとする。
 - (1) 履修を認める授業科目の範囲
 - (2) 履修を認める学生数
 - (3) 単位の認定方法と評価方法
 - (4) 履修期間
 - (5) 学生の身分
 - (6) 授業料等の費用
 - (7) その他必要と思われる事項

第2章 派遣学生

(履修願と許可)

- 第3条 本学学生が他大学等の授業の履修を希望する場合には、所属する学部教授会の承認を得て当該大 学等に履修願を提出し、当該大学等の許可を得なければならない。
- 2 前項の規定する許可を得た者の当該大学等における身分は、当該大学等の規定するものとする。(単位と評価)
- 第4条 派遣学生としての許可を受けた者は、大学にあっては30単位、短期大学にあっては15単位を超え ない範囲で、本学の卒業要件中の科目の単位として認定を受けることができる。
 - 2 前項の単位数は、本学学則第14条の算定基準によるものとする。
 - 3 本学の卒業要件中の科目の単位として認定を受ける科目の成績評価については、本規程第2条に 規定するとおり、本学と当該大学等との協議によってその評価基準を設定し、当該大学等は成績 証明書を交付するものとする。

(検定料・入学金・授業料等)

第5条 派遣学生としての許可を受けた者は、当該大学等に対し、本学との協議によって決定される額の 検定料・入学金・授業料等を支払わなければならない。

(学生証と規則等の遵守)

- 第6条 派遣学生の許可を受けた者で当該大学等から所定の学生証又はそれに準ずる証明書の交付を受けた者は、当該大学等に滞在する間はそれを携帯しなければならない。
 - 2 派遣学生は、当該大学等の規則を遵守しなければならない。

第3章 特別聴講学生

(履修願と許可)

- 第7条 他大学等の学生が本学の授業の履修を希望する場合には、当該大学等を通して本学に履修願を提出し、本学学部教授会または合同教授会の承認を得なければならない。
 - 2 前項の規定する許可を得た者の本学における身分は、特別聴講学生とする。

(単位と評価)

- 第8条 特別聴講学生の許可を得て本学の授業を履修する者の単位は、本学との協議に基づいて、当該大学等における単位として認定される。
 - 2 本学は当該大学等と協議して評価基準を設定し、成績証明書を交付するものとする。

(検定料・入学金・授業料等)

第9条 特別聴講学生は、本学と当該大学等との協議によって決定される額の検定料・入学金・授業料等 を本学に支払わなければならない。

(身分証明書と規則等の遵守)

- 第10条 特別聴講学生の許可を受けた者に対し、本学は特別聴講学生としての学生証を交付する。この学生証は当該特別聴講学生が本学に滞在する間はそれを携帯しなければならない。
 - 2 特別聴講学生は、本学の規則を遵守しなければならない。

第4章 その他

(規程の改正)

第11条 本規程の改正は、教授会の議を経て学長がこれを行うことができる。

附 則

- 1 この規程は、1996年4月1日より施行する。
- 2 この規程は、1999年4月1日より施行する。
- 3 この規程は、2013年4月1日より施行する。
- 4 この規程は、2017 (平成29) 年4月1日より施行する。
- 5 この規程は、2019 (平成31) 年4月1日より施行する。

7. 国外大学とのデュアル・ディグリー制度運営規程

第1条(目的)

この規程は、茨城キリスト教大学(以下、「本学」と記す)学則第34条に則り、本学とデュアル・ディグリー制に関する協議が成立した国外大学との間のデュアル・ディグリー制運営に関して規定することを目的とする。

第2条 (用語の定義)

デュアル・ディグリー制とは、本学と国外大学での学位取得要件を充足した者に、両大学で学位を授与する制度のことである。

第3条(修学期間および身分)

- 1. デュアル・ディグリー取得を目指す学生(以下、「デュアル・ディグリー生」と記す)の修学期間は、本学で2年、国外大学で2年を基本とする。ただし、修学期間を調整する必要がある場合は、学長の承認を受けなければならない。
- 2. 国外大学で修学しているデュアル・ディグリー生は、修学期間中、本学の学籍を維持する在学留学生として扱う。

第4条(志願要件)

デュアル・ディグリー取得を志願する者は、以下の要件を満たさなければならない。

- (1) 本学で1学期以上を修了し、GPAが2.5以上の者。
- (2) 国外大学の使用言語で受講が可能な者。
- (3) 学則による懲戒履歴がない者。
- (4) 海外旅行資格停止などの処分を受けたことがない者。

第5条(申請手続および選抜手続)

- 1. デュアル・ディグリーを志願する学生は、所定の期日までに申請書を学務部に提出しなければならない。
- 2. 学務部は、当該学生の所属する学科と連携し、申請者の資格要件、修学能力などに関して審査を行い、教務委員会の議を経てデュアル・ディグリー候補生を選抜する。
- 3. デュアル・ディグリー候補生の選抜が完了したら、学務部は学生の氏名等必要事項を地域・国際交流センターに通知しなければならない。
- 4. 前項の通知を受け、地域・国際交流センターは当該学生を特別在学留学生とすることの可否について当該委員会の議を経て決定しなければならない。
- 5. 上記3.および4.を経てデュアル・ディグリー候補生として選抜された学生は、所属教授会の議を経て、学長の承認を受けなければならない。

第6条(派遣・受け入れ・時期および人数)

- 1. 派遣・受け入れの時期は、毎学期開始時とする。
- 2. 派遣・受け入れの人数は、国外大学との協定による。ただし、両大学間での別途の協議によって、派遣・受け入れ・人数等の調整をおこなうことができるものとする。

第7条(登録および授業料)

- 1. デュアル・ディグリー生は、両大学の登録手順により、所定の登録をしなければならない。
- 2. デュアル・ディグリー生の授業料は、両大学間の協定による。

3. 授業料以外の生活費等は、両大学間の協定によって定める。

第8条(卒業単位認定)

- 1. デュアル・ディグリー生は、国外大学の教育課程を履修しなければならない。
- 2. 国外大学で履修した科目の成績評価は、当該国外大学の規程により、卒業単位および成績認定は本学の規程による。
- 3. 国外大学からのデュアル・ディグリー生の一学期当たりの取得単位の範囲は、本学の学則による。 第9条(学位授与)
 - 1. 国外大学からのデュアル・ディグリー生は、本学卒業に必要な単位の二分の一以上を取得しなければならない。
 - 2. デュアル・ディグリー生は、本学と国外大学両校の規程に定められるそれぞれの卒業要件を満たした場合に、双方の大学から学位を取得できる。

第10条(遵守事項)

- 1. デュアル・ディグリー生は、本学と国外大学の学則および諸規程を遵守しなければならない。
- 2. デュアル・ディグリー生は、出入国管理法および諸般の法規を遵守しなければならない。

第11条 (途中放棄)

- 1. デュアル・ディグリー生は国外大学で修学中、本学学長の承認なく就学放棄および休学はできない。
- 2. デュアル・ディグリー生として派遣された者が途中放棄する場合、デュアル・ディグリー履修放棄願を学務部に提出しなければならない。取得済みの単位の扱いについては本学の規程を適用する。

第12条 (その他)

この規程に明示されていない事項は、国外大学との相互協議により定める。

第13条(改定)

この規程の改定は、合同教授会の議を経て行う。

附 則

- 1. この規程は、2015年4月1日から施行する。
- 2. この規程は、2018 (平成30) 年4月1日から施行する。

8. 科目等履修生に関する規程

(目的)

第1条 この規程は本学学則第21章の各条文に基づき、科目等履修生の取扱いに関し必要事項を定めるものである。

(出願資格)

- 第2条 科目等履修生として出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。
 - (1) 短期大学または高等専門学校を卒業した者。
 - (2) 大学に2年以上在学し、62単位以上を修得して中途退学した者。
 - (3) 大学を卒業した者。
 - (4) 本学の卒業生で、教職関連科目および各種資格関連科目の修得を希望する者。
 - (5) 本学と提携関係にある外国の大学からの留学生。
 - 2 外国人については、前項各号のいずれかに該当し、履修する年度の4月より1年間以上の日本在 留資格を有している者。または、本学と提携関係にある外国の大学の留学生。

(受講科目の制限)

- 第3条 科目等履修生は、本学の開講科目中、次の各号に該当する科目の履修は認められない。
 - (1) 実験・実技関連科目および外国語科目
 - (2) 教職関連科目(教育実習を含む) および各種資格関連科目
 - (3) その他本学が受講を認めない科目
 - 2 前項(2)に掲げる科目については、本学の卒業生および大学院生、その他本学がその受講を特に認めた者に限り、受講できるものとする。

(受講期間)

第4条 受講期間は1年以内とする。ただし、希望により第6条の手続きを経て継続を許可することがある。

(履修単位等の制限)

第5条 科目等履修生が履修できる単位数は30単位までとする。

(出願手続きおよび審査料)

- 第6条 科目等履修生を志願する者は、次の各号に定める審査料と書類を期日までに提出しなければならない。ただし本学と提携関係にある外国の大学の留学生については別に定める。
 - (1) 審査料: 10,000円(本学の卒業生は、5,000円) なお、継続する場合、審査料は無料とする。
 - (2) 提出書類:科目等履修生願書、卒業証明書、単位修得証明書、写真1枚
 - (3) 外国人については、前項のいずれかに該当する書類の他、在留資格証明書を添付すること。

(選考方法および許可)

第7条 科目等履修生の選考は書類審査と面接とし、教務委員会が審査に当たり、教授会に諮り許可する。 ただし、本学と提携関係にある外国の大学の留学生については別に定める。

(登録料および受講料等)

第8条 科目等履修生として入学を許可された者は、定められた期間内に次の各号に該当する登録料および受講料を納入する。ただし、本学と提携関係にある外国の大学の留学生については別に定める。

- (1) 登録料:8,000円(本学の卒業生は、4,000円)
- (2) 受講料: 1 単位 17,000円

(許可の取消)

第9条 前条に定められた納付金を所定の期日までに納入しない場合は、許可を取り消すことがある。 (納付金の返還)

第10条 既に納入された納入金は、原則として返還しない。

(証明書の発行)

第11条 科目等履修生から願い出があったときは、単位修得証明書を発行する。

(規程の改定)

第12条 本規程の改定は、合同教授会の議を経て学長がこれを行うことができる。

附 則

- 1 この規程は2005年4月1日より施行する。 尚、この規程の発効をもって「聴講生および科目等履修生に関する規程」は廃止する。
- 2 この規程は2011年4月1日より施行する。尚、2011年度より科目等履修生となることを希望する者については、その募集および審査を2010年度末より行う。
- 3 この規程は2015年4月1日より施行する。 ただし、2015年度より科目等履修生となることを希望する者については、その募集および審査を 本規程に則り、2014年度末より行う。
- 4 この規程は2017 (平成29) 年4月1日より施行する。 ただし、2017年度より科目等履修生となることを希望する者については、その募集および審査を 本規程に則り、2016年度末より行う。
- 5 この規程は2019 (平成31) 年4月1日より施行する。 ただし、2019年度より科目等履修生となることを希望する者については、その募集および審査を 本規程に則り、2018年度末より行う。

9. 聴講生に関する規程

(目的)

第1条 この規程は本学学則第21章の各条文に基づき、聴講生の取扱いに関し必要事項を定めるものである。

(出願資格)

- 第2条 聴講生として出願できる者は、高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められた者とする。
 - 2 外国人については、履修する年度の4月より1年間以上の日本在留資格を有している者。または、本学と提携関係にある外国の大学の留学生。

(受講科目の制限)

- 第3条 本学の開講科目中、聴講生の受講できない授業科目は、次の各号に該当するものとする。
 - (1) 実習・実技関連科目および外国語科目
 - (2) 教職科目および各種資格関連科目
 - (3) その他本学が受講を認めない科目

(受講期間)

第4条 受講期間は1年以内とする。ただし、希望により第6条の手続きを経て継続を許可することがある。

(履修単位等の制限)

第5条 聴講生が1年以内に履修できる授業科目は、通年科目の場合は5科目まで、半期科目の場合は10 科目までとする。

(出願手続きおよび審査料)

第6条 聴講生を志願する者は、次の書類を期日までに提出しなければならない。

提出書類: 聴講生願書、写真2枚

ただし、外国人については在留資格証明書を添付すること。

2 第8条に規定される登録料および受講料において割引を受けようとする者は、必要な証明書を添付すること。

(選考方法および許可)

第7条 聴講生の選考は書類審査とする。

(登録料および受講料等)

- 第8条 聴講生として許可された者は、定められた期間内に次の各号に該当する登録料および受講料を納 入する。
 - (1) 登録料:4,000円(本学の卒業生または60歳以上の場合は半額とする。)
 - (2) 受講料: 1科目(通年) 32,000円 (半期科目) 16,000円 (本学の卒業生または60歳以上の場合は、それぞれの半額とする。)

(許可の取消)

第9条 前条に定められた納付金を所定の期日までに納入しない場合は、許可を取り消すことがある。 (納付金の返還)

第10条 既に納入された納入金は、原則として返還しない。

(証明書の発行)

第11条 聴講生から願い出があったときは、聴講証明書を発行する。

(規程の改正)

第12条 本規程の改正は、合同教授会の議を経てこれを行うことができる。

附 則

- 1 この規程は2005年4月1日より施行する。 尚、この規程の発効をもって「聴講生および科目等履修生に関する規程」は廃止する。
- 2 この規程は、2015 (平成27) 年9月1日より施行する。

10. その他

(1) コンピュータ教室・コンピュータ自習室の利用について

学内には学生が利用できるコンピュータが下記のとおり設置されています。これらのコンピュータは授業で使用するほか、IC-UNIPA、電子メールの送受信、ホームページの閲覧、図書館システム、レポート作成などに利用することができます。全てのコンピュータは茨城キリスト教学園LAN (IC-Net) に接続されており、学内LANを経由してインターネットに接続できるようになっています。

<コンピュータ教室>

- 6 号館 2 階6204教室 (Windows 10×48台)
- 7 号館 4 階7401教室 (Windows 10×52台)
- ○11号館 3 階11301教室 (Windows 10×48台)
- ○11号館 3 階11302教室 (Windows 10×40台 ノートPC)
- シオン館 3 階325教室 (Windows 10×48台)

<コンピュータ自習室 (PC-Room)>

- PC-Room I (10号館 2階10204教室) (Windows 10×10台)
- PC-Room II (7号館 4階7402教室) (Windows 10×40台)

<利用時間>

① コンピュータ教室

授業以外でコンピュータ教室を利用できる時間は、掲示でお知らせします。学務部掲示板にて確認 してください。

- ※夏・冬・春期休業期間については、原則として利用することは出来ません。
- ② コンピュータ自習室 (PC-Room)

PC-Room I 月曜日~金曜日 9:00~20:00 土曜日 9:00~14:10

PC-Room II 月曜日~金曜日 9:00~20:00 土曜日 9:00~11:30

- ※利用時間は授業時間帯(1時限単位)で区切っています。他の利用者の迷惑にならないよう節度を もって利用してください。
- ※授業・年末年始・学内行事による使用不可日は、学務部より掲示にてお知らせしますので確認してください。

<コンピュータの利用方法>

① 認証方法

ユーザー IDとパスワードはIC-UNIPAと同一です。



② 学生用個人フォルダの割り当て

ユーザー認証に成功すると、学生用ファイルサーバーの中に設定されている個人フォルダを利用することができるようになります(Windows上のライブラリがこの個人フォルダになっています)。フォルダの容量は上限300MB(メガバイト)です。授業の課題やレポートなど個人のファイルを保存することが出来ます。また、この個人フォルダは、学内のどのコンピュータからログインしても同じとなります。

※私用データ(画像や音楽)を保存すると容量超過につながります。

③ ユーザー ID・パスワードの管理

ユーザー IDとパスワードは、コンピュータを起動させるために必要なだけでなく、自分の個人的なデータが保存されている個人フォルダを開く鍵でもあります。同時に自分宛の電子メールを読むための鍵でもありますので、個人の責任において厳重に管理してください。万一、他人があなたのユーザー IDやパスワードを使った場合、自分の個人情報が盗まれるだけでなく、悪意のあるものが犯罪行為に利用した際、あなたがその責任に問われることがあります。厳重に管理すると同時に、パスワードは他の人が推測できないものにしましょう。

<ユーザー IDと仮パスワードの配付について>

- ① ユーザー IDと仮パスワードは、入学時全員に配付します。
- ② パスワードの変更方法については、履修ガイダンス時に説明します。
- ③ 仮パスワードは、4月20日まで有効です。それまでの間に自分だけがわかるパスワードに変更してください。

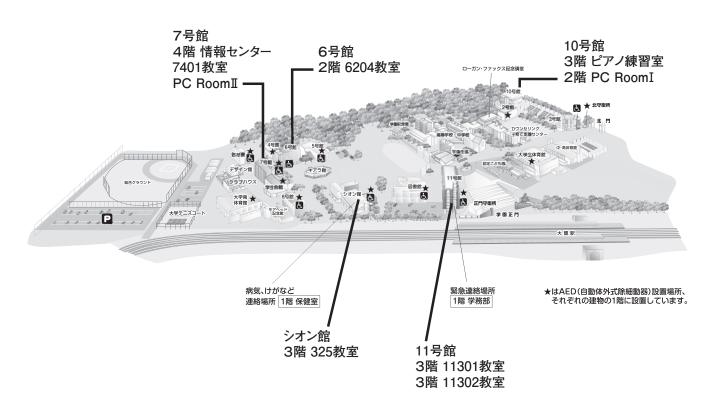
(2) IC-UNIPAについて

IC-UNIPAは、さまざまな情報を一つの共有サーバに蓄積することにより、学生・教職員がその情報を有効に活用することを可能にしたWEBサービスシステムです。各種お知らせ、休講情報の確認をはじめ、WEB履修登録、シラバス照会、成績照会、授業資料のダウンロード等の機能があり、それらを学内外から利用できます。

(3) ピアノ練習室の利用について

10号館3階にある『ピアノ練習室』は、音楽科目の予習・復習に利用したり、趣味でピアノをひきたいという学生が利用しています。

希望者は空いている練習室を自由に利用できます。利用の際は、他の利用者の迷惑にならないようモラルをもって使用してください。



PC Room・コンピュータ教室・ピアノ練習室配置図

(4) 正規授業に係る実習による授業欠席届について

学生が、<u>正規授業に係る学外実習</u>で授業を欠席する場合は、学務部窓口カウンターに備え付けの、「授業欠席届」(下記様式)に記入し朱肉印を押して、<u>欠席授業1週間前までに授業担当教員へ本人が直接</u>提出すること。

詳細は、各実習に関する説明会や授業等で説明する。

正規授業「

就職活動や個人的事由で欠席する場合に、この様式を使用してはいけない。

なお、当該授業が休講になる場合は、提出しなくてよい。

<様式>					
			年	月	日届出
	先生				

上記の実習のため、先生の下記の授業を欠席いたします。

記

「」に該当実習名を必ず記入す

」の学外実習による授業欠席届

学 部・学 科	学部		学科	専攻	年	次
学籍番号	氏 名					
	欠席授業科目名	名	日 付	·曜日·	時 限	
			月	日	曜日	時限
1. pt/5. #40/ D			月	日	曜日	時限
欠席授業科目			月	日	曜日	時限
			月	日	曜日	時限
			月	日	曜日	時限
実習校・施設名 及び 住所・電話番号			Tel			
実習期間	年 月	目	()	から		
7, L 791 IN	年 月	日	()	まで		
備考					A-2-11-7-1	

茨城キリスト教大学

〈注〉この届出を提出しても出席扱いとならないので注意してください。 担当教員各位: この欠席届に関する問い合わせは、学務部までお願いいたします。

大学院について

1.	文学研究科英語英米文学専攻/修士課程	229
2.	文学研究科先取り履修制度と、1年半・3年履修制度について…	230
3.	生活科学研究科食物健康科学専攻/修士課程	231
4.	生活科学研究科心理学専攻/修士課程	232
5.	看護学研究科看護学専攻/修士課程	234

1. 文学研究科英語英米文学専攻/修士課程

本専攻の教育課程は、英米文学・英語学・英語教育の3つの分野と関連科目群から編成されている。

英米文学の分野では、「リベラル・アーツとしての英米文学」というテーマが設定されている。これは英 米の文学を、西欧キリスト教文化圏の精神が生み、古代ギリシア文明が育んだものとして捉えようという 意図からである。

英語学の分野では、最新の言語理論に基づいて高度な英語分析を行うことによって英語への理解を深める事を目標としている。

近年、英語教育の分野への関心が高まっている。すでに英語教育に携わっている人や、これから英語教育に携わろうとしている人を主な対象とし、本学園の伝統である英語教育をさらに充実、発展させるために力を注いでいる。

教育職員免許状の取得

中学校・高等学校教諭一種免許状(英語)を有する者が、本専攻において、教育職員免許法及び同施行規則に定められている単位を修得した場合、中学校・高等学校教諭専修免許状(英語)を取得することができる。

英語英米文学専攻科目

(2019年度以降)

科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数
〔英米文学の分野〕		〔英語学の分野〕		〔英語教育の分野〕		〔関連科目〕	
英米文学特論A	2	英語学特論A	2	英語教育特論 A	2	言語学研究	2
英米文学演習A	2	英語学演習A	2	英語教育演習 A	2	応用言語学研究	2
英米文学特論B	2	英語学特論B	2	英語教育特論B	2	社会言語学研究	2
英米文学演習B	2	英語学演習B	2	英語教育演習B	2	コーパス言語学研究	2
英米文学研究A	2	英語学研究 A	2	英語教育研究 A	2	小学校英語教育	2
英米文学研究B	2	英語学研究B	2	英語教育研究B	2	特殊演習A	2
英米文学課題研究 I	2	英語学課題研究 I	2	英語教育課題研究 I	2	特殊演習B	2
英米文学課題研究Ⅱ	2	英語学課題研究 Ⅱ	2	英語教育課題研究 Ⅱ	2		
英米文学課題研究Ⅲ	2	英語学課題研究Ⅲ	2	英語教育課題研究Ⅲ	2		
英米文学課題研究IV	2	英語学課題研究IV	2	英語教育課題研究IV	2		

備考

英語英米文学専攻では、課題研究を行う分野から課題研究8単位を含め12単位以上、課題研究を行う分野以外からそれぞれ計4単位以上、総計30単位以上を修得すること。関連科目も修了単位に算入される。 (2010年度入学生から)

2. 文学研究科先取り履修制度と、1年半・3年履修制度について

「先取り履修制度」とは、文学部もしくは生活科学部の4年次生(以上)が、後期期間中に大学院科目等履修生として大学院の科目を履修する制度のことです。この制度を利用すれば、大学院進学前に大学院の授業を受講することができますし、単位を取得できれば、大学院に進学後、文学研究科が定めた修了要件の一部として認定されます。さらに、本学在校生がこの「先取り履修制度」を利用して大学院科目を履修する場合、科目等履修生の審査料・登録料・受講料がすべて半額になります。

「先取り履修制度」を利用するには?

- (1) 学務部から「先取り履修可能科目」と「先取り履修希望届・推薦書」を入手します。
- (2) 履修したい科目の決定および推薦状の依頼 科目等履修生として履修したい科目が決まったら、ゼミの先生に推薦状の作成をお願いしてください。
- (3) 科目等履修生の申し込み

「先取り履修制度」希望者受付期間が設定(IC-UNIPAおよび学務部の大学院掲示版参照)されますので、その期間中に「先取り履修希望届・推薦書」を提出します。「先取り履修制度」に申し込みができる資格は下記の通りです。

- 1) 茨城キリスト教大学文学部または生活科学部に3年以上在学し、かつ卒業要件単位108単位以上取得している者。
- 2) 3年次までのGPAが2.5以上の者。
- 3) 9月に大学院文学研究科 I 期入学試験に出願予定の者。
- (4)「先取り履修制度」申込者の面接
- (5)「先取り履修制度|許可者の発表
- (6) 科目等履修生として登録
- (7) 大学院科目履修開始および大学院 I 期試験の受験申込

後期の授業開始日から、科目等履修生として大学院の授業を履修し、大学院Ⅰ期試験の申し込みをします。大学院Ⅱ期試験を受験することも可能です。

○1年半履修制度と3年履修制度について

文学研究科では、これまで 2 年間かけて授業を受講し、修士論文を書いて修士課程を修了することが一般的でした。この「2 年履修制度」に加えて、2012年度より、「1 年半履修制度」と「3 年履修制度」が新設されました。

- 1. 「1年半履修制度」とは、通常より早く修士号を取得したい学生のために新設された制度です。この「1年半履修制度」のメリットは、短期間で修士号を取得できるだけでなく、学納金の総支払金額も軽減されることです。ただし、1年半で32単位を取得し、さらに修士論文を修了期間内に仕上げるのは困難ですので、「1年半履修制度」を希望する学生は、4年次後期に「先取り履修制度」により、大学院の授業を履修し、単位をなるべく多く取得しておく必要があります。
- 2. $\lceil 3$ 年履修制度」とは、通常よりも時間をかけて研究し、修士号を取得する希望を持つ学生のために新設される制度です。この「3 年履修制度」のメリットは、3 年間の在籍に対して、学納金は2 年分で済みますので、1 年間で支払う金額が軽減されることです。
- ◎ $\lceil 1$ 年半」、 $\lceil 2$ 年」、 $\lceil 3$ 年」、いずれの履修制度を選択するのが最適であるか、大学院の試験を受験する前に、事前相談を受けて、慎重に検討してください。事前相談は入試広報部で受け付けています。

3. 生活科学研究科食物健康科学専攻/修士課程

茨城キリスト教大学大学院 生活科学研究科食物健康科学専攻(修士課程)では、食物を介した人間の健康における諸問題を科学的に探究し解決する能力を養い、食品管理、健康管理、医療、食育分野で地域社会に貢献する人材の養成を目指す。

基本となる教育・研究のフィールドとして、「食物科学」と、「人間栄養学」の2分野を配置した。

「食物科学」分野では、食物中の機能成分、危害因子等、人間の健康やQOL(Quality of Life)に影響を与える因子を研究し、食品機能分析、食品有害物質対策等の専門技能をみがく。

「人間栄養学」分野では、摂取後の栄養素の機能発現、食物と健康や疾病との関係を神経機能など心の 側面からも研究し、専門職業人としての知識技術を身につける。

また、両分野の発展系として[専門応用科目]と[食教育支援科目]の科目群を設けて、高度な専門性と倫理性を培い、崇高な精神、高い指導力を有する教育者の養成を目指す。

修了することにより、修士(食物健康科学)の学位が授与されるほか、中学校・高等学校教諭(家庭)の一種免許状の取得者、栄養教諭一種免許状の取得者は、必要な単位を履修することにより、それぞれの専修免許状を取得することができる。昼夜間開講制、3年間の長期履修制度を設けているので、仕事をもちながらの学びも可能である。

食物健康科学専攻科目

(2019年度以降)

科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数
〔食物科学分野〕		〔人間栄養学分野〕		専門関連分野	
食物科学特論 I	2	人間栄養学特論 I	2	〔専門応用科目〕	
食物科学特論Ⅱ	2	人間栄養学特論Ⅱ	2	分子栄養学特論	2
食物科学特論Ⅲ	2	人間栄養学特論Ⅲ	2	栄養生理学特論	2
食物科学演習	2	人間栄養学演習	2	神経栄養学特論	2
食物科学特別実習	1	人間栄養学特別実習	1	神経生理学特論	2
食物科学特別研究	8	人間栄養学特別研究	8	病態臨床栄養学特論	2
				保健統計学特論	2
				食教育特論	2
				人間栄養学特論IV	2
				ライフステージ栄養学特論	2
				医療栄養学特論	2
				食行動科学特論	2
				食品開発特論	2
				調理科学特論	2
				〔食教育支援科目〕	
				教育方法学特論	2
				教育方法学演習	2
				教育支援特論	2
				教育支援演習	2
				臨床心理学特論	2
				障害者支援特論	2
				障害児教育研究	2
				発達心理学特論	2
				発達心理学演習	2

備考

- ・生活科学研究科を修了し修士の学位を得るためには30単位以上を修得しなければならない。
- ・専門教育を構成する「食物科学」、「人間栄養学」の2分野を総合的に履修するため、各分野の特論I、Ⅱ、Ⅲの3科目6単位、合計12単位必修の履修のほか、修士論文を含め、専攻する分野の選択科目11単位の履修、及び選択科目7単位以上の履修が必要(修了要件30単位以上)。

4. 生活科学研究科心理学専攻/修士課程

茨城キリスト教大学大学院生活科学研究科心理学専攻(修士課程)では、建学の精神の下、心理に関する支援や研究を行う上で求められる優れた思考力・判断力・表現力とともに倫理性の深化を通して、将来、高度心理専門職業人として託された責務を適正に行い、広く市民の福祉に貢献する人材の育成をめざしている。

心理学専攻を修了した者には、修士(心理学)の学位が授与される。また公認心理師法の定めに従い、 学部教育においてすべての指定科目を取得済みの者であり、かつ本専攻において同法が定めるすべての大 学院指定科目を修得した者は、課程修了と同時に公認心理師国家試験受験資格を得ることができる。公認 心理師には、いじめや不登校、自死・自殺、虐待など、現代社会において専門的介入によって当事者やそ の関係者の心理や生活の質の向上、発達の支援等に寄与することが期待されている。

本専攻の教育課程は、「心理教育科目」「心理実践科目」「実習科目」の3群、全29科目から編成されている。

「心理教育科目」群は、建学の精神と歴史に深い関係のある教育支援系科目を含む全10科目から構成されている。人間の生涯に渡る発達や学習の機序に関する科学的・専門的知識を深めるための科目が配置されている。心理教育課題研究 $I \sim IV$ は、自ら批判的思考を持って研究に従事することを通して現代社会における心理社会的課題を読み解く能力とともに心理専門職として科学的視点を持って実践に臨む能力を養うことをめざすものであり、その成果は修士論文として結実される。

「心理実践科目」群には、心理学の理論と技能との相互連環と有機的な関連付けを図るための科目が配置されている。全16科目のうち9科目は、公認心理師指定科目である。この資格の取得をめざす者には必修科目となる。心理実践課題研究 I ~IVでは、自らの心理的支援体験を題材とした研究活動への取り組みを通して、生物心理社会モデルに基づいたアセスメント力、多職種多機関と協働して支援実践に臨む力など、現代社会における心理専門職従事者としてふさわしい態度の形成を図る。研究活動の成果は、ケース研究論文として結実される。

「実習科目」群は、「心理実践実習 I ~Ⅲ」から構成されている。「心理教育科目」と「心理実践科目」の各群において培われた専門知識と技術を病院や学校等、学内外における実習協力施設において実際に試行、体現する学びを通して実践者として求められる力の涵養を図る。

本専攻では、心理学を基盤とし、そこに自らの学びの志向と将来像を加えることによって、それぞれの 興味関心と進路に応じた多様な履修展開が可能である。また昼夜間開講制、3年間の長期履修制度の利用 によって、仕事や子育て、留学等と就学の両立など、ニーズに応じた多様な形態による学びが可能になっ ている。

心理学専攻科目

(2020年度以降)

単位数	科目		科目	単位数
	〔心理実践科目〕		〔実習科目〕	
2	臨床心理学特論	2	心理実践実習 I	5
2	保健医療分野に関する理論と支援の展開	2	心理実践実習Ⅱ	5
2	福祉分野に関する理論と支援の展開	2	心理実践実習Ⅲ	5
2	教育分野に関する理論と支援の展開	2		
2	学校カウンセリング特論	2		
2	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	2		
2	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	2		
2	心理的アセスメントに関する理論と実践	2		
2	心理支援に関する理論と実践 I	2		
2	心理支援に関する理論と実践Ⅱ			
	家族関係・集団・地域社会における心理支援に	9		
	関する理論と実践	_ Z		
	心の健康教育に関する理論と実践	2		
	心理実践課題研究 I	2		
	心理実践課題研究Ⅱ	2		
	心理実践課題研究Ⅲ	2		
	心理実践課題研究IV	2		
	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	[心理実践科目] 2 臨床心理学特論 2 保健医療分野に関する理論と支援の展開 2 福祉分野に関する理論と支援の展開 2 教育分野に関する理論と支援の展開 2 学校カウンセリング特論 1 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開 2 産業・労働分野に関する理論と支援の展開 2 心理支援に関する理論と実践 I 2 心理支援に関する理論と実践 I 3 次族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践 「 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践 心の健康教育に関する理論と実践 心の健康教育に関する理論と実践 心理実践課題研究 I い理実践課題研究 I い理実践課題研究 II い理実践課題研究 II い理実践課題研究 II い理実践課題研究 II い理実践課題研究 II	[心理実践科目] 2 臨床心理学特論 2 保健医療分野に関する理論と支援の展開 2 福祉分野に関する理論と支援の展開 2 教育分野に関する理論と支援の展開 2 学校カウンセリング特論 2 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開 2 産業・労働分野に関する理論と支援の展開 2 心理方援に関する理論と支援の展開 2 心理支援に関する理論と実践 I 2 心理支援に関する理論と実践 I 2 小理支援に関する理論と実践 I 2 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践 「2 次理実践課題研究 I 2 心理実践課題研究 I 2 小理実践課題研究 I 2 1	【心理実践科目】 (実習科目) 2 臨床心理学特論 2 心理実践実習 I 心理実践実習 I 心理実践実習 I 心理実践実習 II 心理実践実習 II 心理実践実習 II 心理実践実習 II 心理実践実習 II 心理実践実習 II 心理実践実習 II シャケカウンセリング特論 2 一次校カウンセリング特論 2 一方のアセスメントに関する理論と支援の展開 企業・労働分野に関する理論と支援の展開 2 心理的アセスメントに関する理論と実践 I 2 心理支援に関する理論と実践 I 2 小理支援に関する理論と実践 I 2 小理支援に関する理論と実践 I 2 小理支援に関する理論と実践 I 2 次族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践

備考

^{・「}実習科目」の「心理実践実習 I 」 5単位を修得し、「心理教育課題研究 I \sim IV 」 または「心理実践課題研究 I \sim IV 」の8単位を含め、総計30単位以上を修得しなければならない。

5. 看護学研究科看護学専攻/修士課程

茨城キリスト教大学大学院 看護学研究科看護学専攻(修士課程)は、

- 1. 社会の保健医療福祉ニーズに応える高度専門職業人の育成
- 2. 高度専門能力を支える実践看護学研究やその教育の担い手の育成
- 3. 慢性病者の在宅医療ケアシステムの開発
- 4. 専門職業人の自立とキャリア形成
- 5. Evidence based Nursingを支える基礎看護科学研究やその教育の担い手の育成

を教育研究の目標として、「基礎看護科学」分野及び「実践看護学」分野(慢性看護専攻教育課程・クリティカルケア看護専攻教育課程を含む)の2分野を設置した。「基礎看護科学」分野では、基盤実証看護学領域として、看護学のより高度な科学化と学問としての体系化のための実験的実証研究や、看護技術の安全性に関する実験的研究、新たな看護技術の開発研究をおこなう。さらに社会の要請もあり看護管理学と看護教育学をおいた。「実践看護学」分野では、多様化・複雑化する看護機能に的確な対応ができる高度な看護実践実現のための専門的な知識や技術を修得することや、看護実践上の諸問題の実態把握や構造分析をとおして、科学的かつ論理的に課題解決に取り組むことのできる研究的能力を育成することを目指していく。この分野には、生活支援看護学領域、発達支援看護学領域、精神看護学領域の3領域がある。特に注目すべきは、生活支援看護学領域において、慢性疾患患者への看護の実践と実践方法の開発を目指す慢性疾患看護のCNSコースを履修できることである。

社会人にも広く学びの場を提供するため、昼夜間開講制・3年間の長期履修制度を設け、少人数教育で、 丁寧な指導を実施する。

看護学専攻科目

TN III)\(\(\(\L \) \(\text{\tin}\exitit{\tex{\tin}\text{\ti}\tinit{\text{\ti}}}\titt{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\ti}}\titt{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\ti}}\titt{\text{\text{\ti}\titt{\text{\text{\text{\ti}\tint{\text{\text{\tirit}\	TA F	M 11 m.
科目	単位数	科目	単位数
〔共通選択科目〕		生活支援看護学演習 I	2
保健統計学特論	2	生活支援看護学演習 Ⅱ	2
教育方法学特論	2	急性期看護学特論	2
発達心理学特論	2	急性期看護学援助特論Ⅰ	2
カウンセリング特論	2	急性期看護学援助特論Ⅱ	2
栄養生理学特論	2	急性期看護学援助特論Ⅲ	2
障害者支援特論	2	急性期看護学演習 I	2
マネジメント特論	2	- 急性期看護学演習 II	2
ヘルスアセスメント特論	2	急性期看護学演習Ⅲ	2
病態生理学特論	2	急性期看護学演習IV	2
臨床薬理学特論	2	看護学特別研究(生活支援看護学)	8
		課題研究	2
〔専門共通科目〕		クリティカルケア看護学実習 I	2
看護学研究法特論	2	クリティカルケア看護学実習Ⅱ	3
看護理論特論	2	クリティカルケア看護学実習Ⅲ	5
看護倫理特論	2		0
看護形態機能学	2	〔発達支援看護学領域〕	
ヘルスプロモーション特論	2	発達支援看護学特論 I	2
コンサルテーション特論	2	発達支援看護学特論 Ⅱ	2
看護管理学特論	2	発達支援看護学特論Ⅲ	2
看護教育論	2	発達支援看護学演習 I	2
看護政策論	2	発達支援看護学演習 Ⅱ	2
東明到 日		看護学特別研究 (発達支援看護学)	8
専門科目 基礎看護科学分野		[精神看護学領域]	
			0
〔基盤実証看護学領域〕 毛蓋とは魅力学性系	0	精神保健学特論	2
看護生体情報学特論	2	臨床精神看護学特論	2
看護生体情報学演習	2	精神看護学演習	2
応用看護技術学	2	看護学特別研究(精神看護学)	8
応用看護技術学演習	2		
看護マネジメント特論 I	2		
看護マネジメント特論Ⅱ	2		
看護マネジメント演習	2		
看護教育学特論 I	2	〈備考〉	
看護教育学特論Ⅱ	2		
看護教育学演習	2	・論文コースの場合は、共通選択科目(
看護学特別研究(基盤実証看護学)	8	専門共通科目8単位以上、専門科目	
実践看護学分野		領域8単位以上、看護学特別研究8	
〔生活支援看護学領域〕		30単位以上を修得しなければならな	1,0
慢性看護学特論	2		
慢性看護学援助特論 I	2	・CNSコースの場合は、共通選択科	目6単位以
慢性看護学援助特論Ⅱ	2	上、専門共通科目8単位以上、看護	専門科目14
慢性看護学援助特論Ⅲ	2	単位以上、看護学実習10単位、課題	
慢性看護学援助特論IV	2	の合計40単位以上を修得しなければ	
慢性看護学演習 I	2		~
慢性看護学演習 Ⅱ	2		
慢性看護学実習 I	2		
慢性看護学実習Ⅱ	4		
慢性看護学実習Ⅲ	4		
生活支援看護学特論 I	2		
生活支援看護学特論Ⅱ	2		
生活支援看護学特論Ⅲ	2		
上11人1X/日IX丁NIIII II		<u> </u>	

施設案内図および教員研究室配置図

施設案内図および教員研究室配置図

◇災害時指定 1 次避難場所

- ★A 大学2号館、3号館、10号館、 カウンセリング研究所
- ★B 大学 11 号館、大学北体育館、図書館
- ★C 大学8号館、シオン館、大学南体育館、 大学テニスコート、クラブハウス
- ★D 大学 4 号館、5 号館、6 号館、7 号館、キアラ館、 デザイン館、学生会館、若草寮

◇原子力災害発生時

- ・建物 (できればコンクリート製) に入り、 ドアを閉めてください。
- ・窓を閉めてください。
- ・エアコン・換気扇を止めてください。
- ・カーテンを開けてください。



◇地震発生時

- ・まず自分自身の身を守ってください。
- ・冷静に対処しましょう。
- ・揺れが沈静化するまでその場で待機してください。
- ・衣類や持ち物で頭を覆い、落下物から身を守ってくだ さい。
- ・窓際から離れ、机の下などにもぐり、身を守ってくだ さい。
- ・ドア付近の学生はドアを開放して、出口を確保してく ださい
- ・窓ガラスの飛散を防ぐため、カーテン・ブラインドを 閉めてください。

◇地震がおさまったら…

- ・屋外退避の避難指示放送がなかった場合は、授業を再 開します。
- ・屋外退避の避難指示放送があった場合は、指定避難場 所へ避難します(1次避難)。
- ・余震に十分気をつけましょう。
- ・出口に殺到しないでください (前後のドアを利用)。
- ・障害者や負傷者の避難をサポートしてください。
- ・上下階への移動は階段を使用してください。
- ・移動の際は、姿勢を低く保ちましょう。
- ・エレベータは使用しないでください。
- ・全員の退出を確認するので、グループから離れないで ください。

◇施設案内図

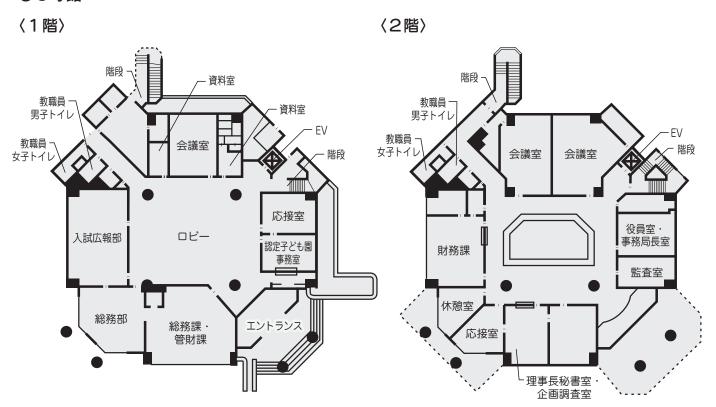






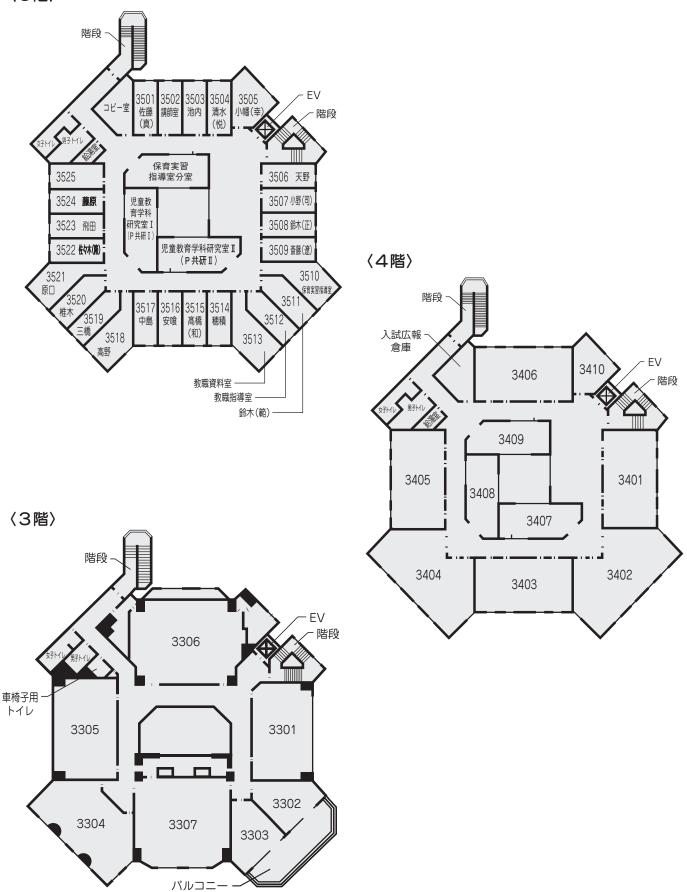
★ AED(自動体外式除細動器)設置

●3号館



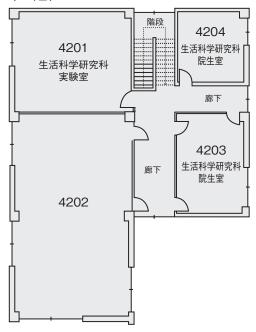
●3号館

〈5階〉

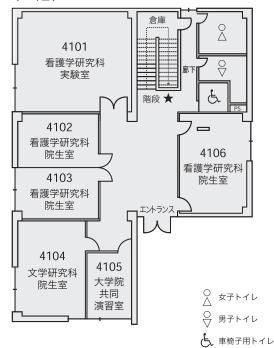


●4号館

〈2階〉



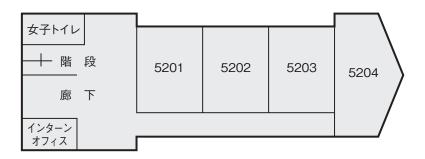
〈1階〉



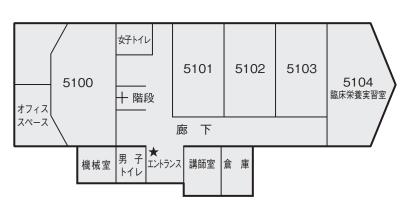
★ AED(自動体外式除細動器)設置

●5号館

〈2階〉



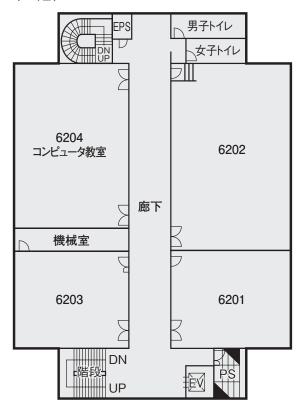
〈1階〉



★ AED(自動体外式除細動器)設置

●6号館

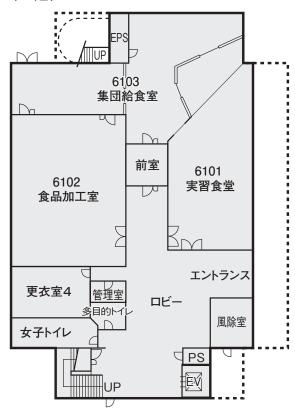
〈2階〉



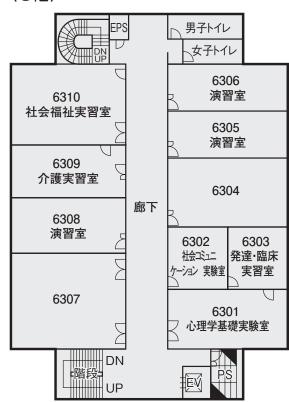
〈4階〉



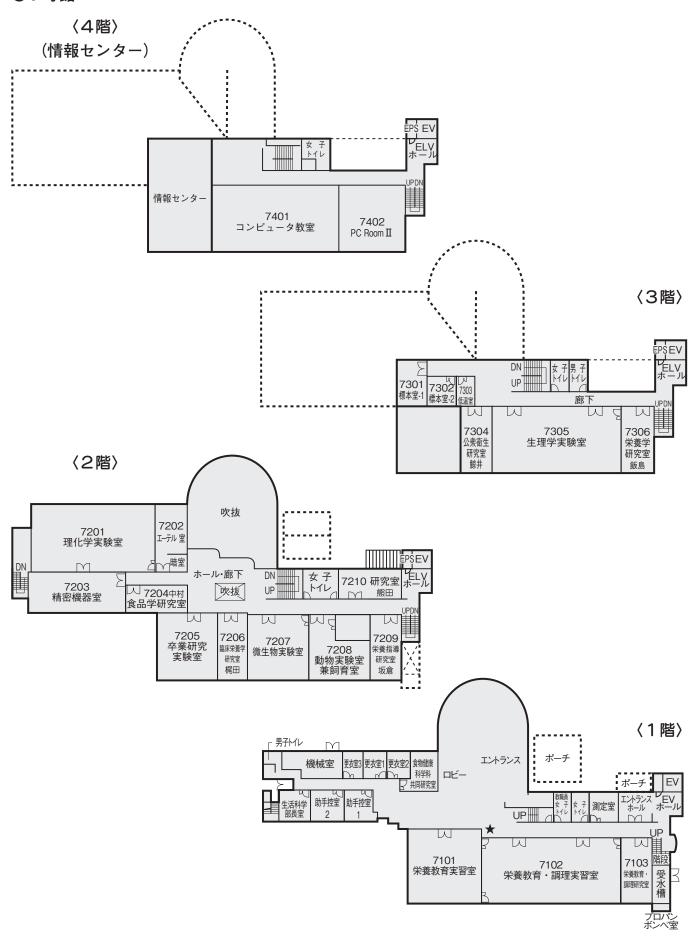
〈1階〉



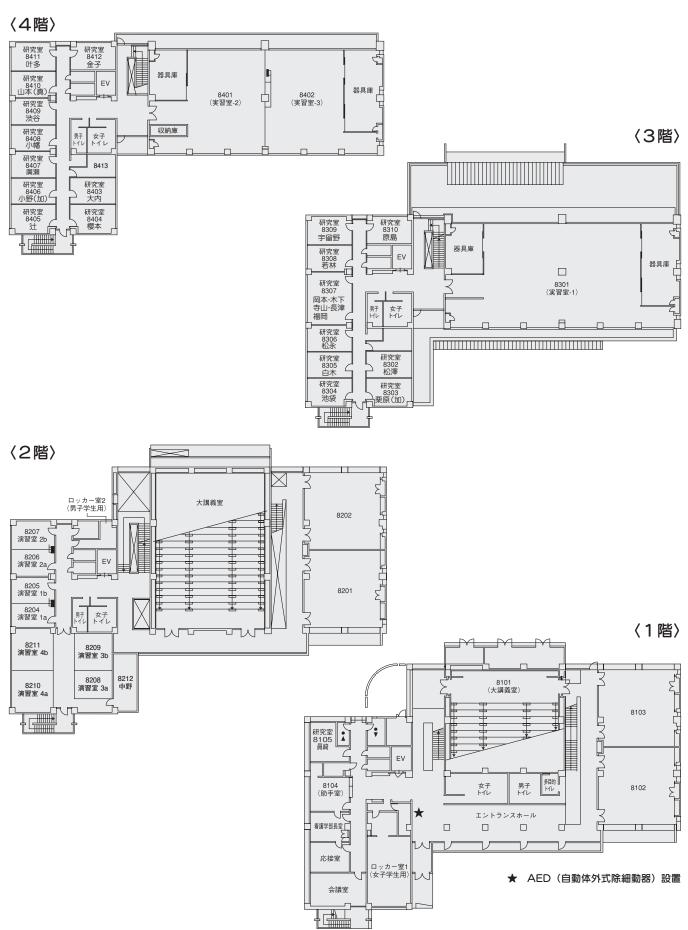
〈3階〉



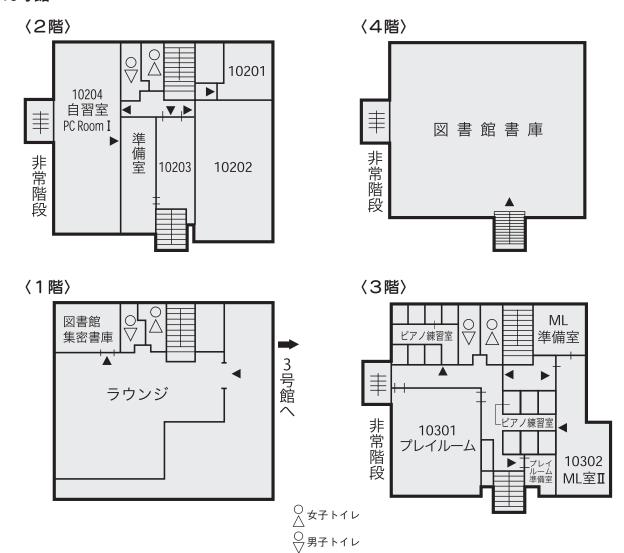
●7号館



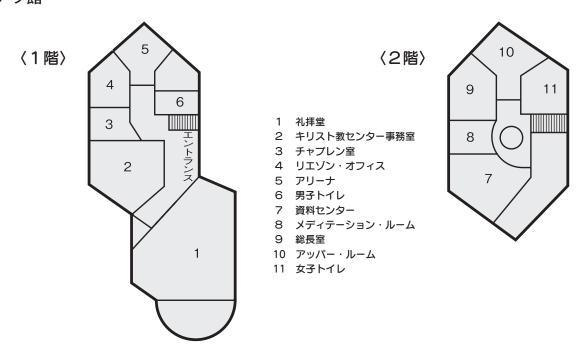
●8号館



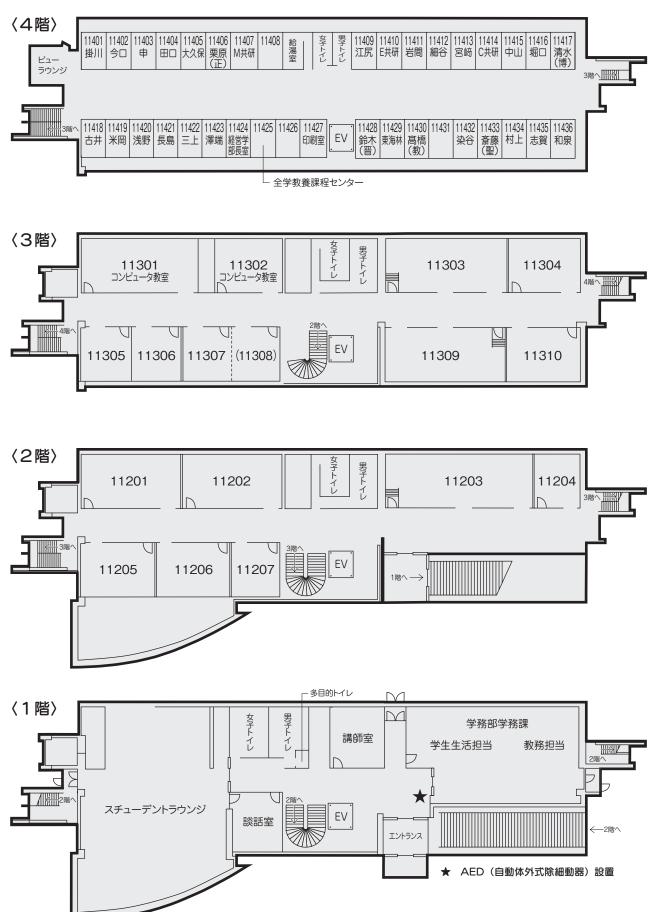
●10号館



●キアラ館

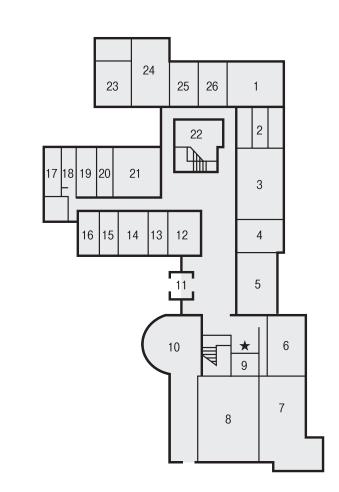


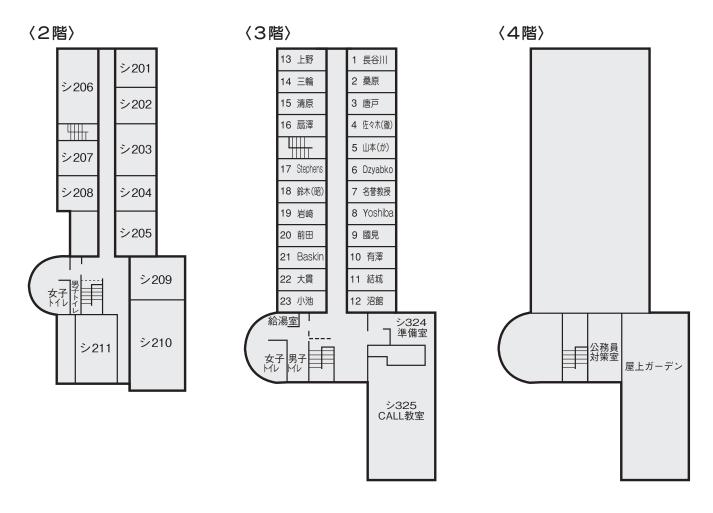
●11号館



●シオン館〈1階〉

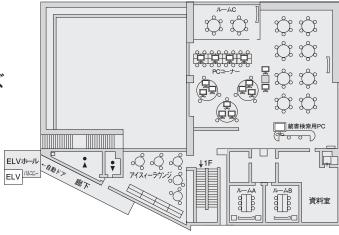
- 1 学長室
- 2 キャリア支援センター(相談室)
- 3 キャリア支援センター
- 4 キャリア支援センター資料室
- 5 庶務課
- 6 小会議室
- 7 地域・国際交流センター
- 8 ラウンジ
- 9 女子トイレ
- 10 ロッカー室
- 11 エントランス
- 12 応接室
- 13 講師室
- 14 学術研究センター
- 15 休憩室
- 16 清掃員控室
- 17 倉庫
- 18 職員更衣室
- 19 教職員女子トイレ
- 20 教職員男子トイレ
- 21 保健室
- 22 資料室
- 23 機械室
- 24 大会議室
- 25 文学部長室
- 26 副学長室
- ★ AED (自動体外式除細動器) 設置





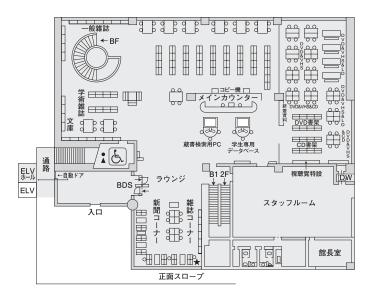
●図書館

〈2階〉ラーニング・コモンズ

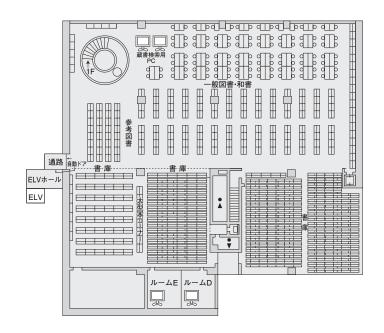


- ☆ 女子トイレ
- ♥ 男子トイレ
- ら 車椅子用トイレ
- ★ AED(自動体外式 除細動器)設置

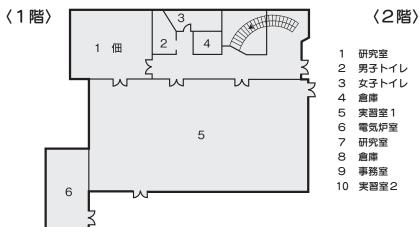
〈1階〉

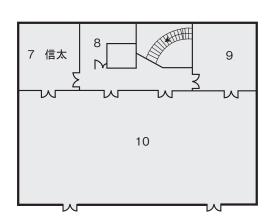


〈地下1階〉

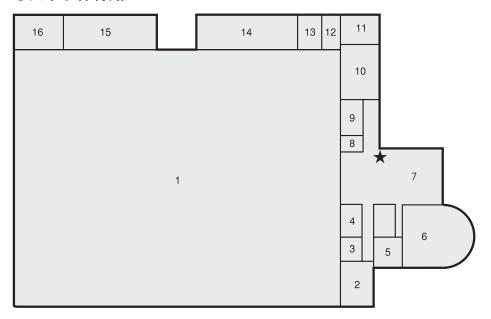


●デザイン館



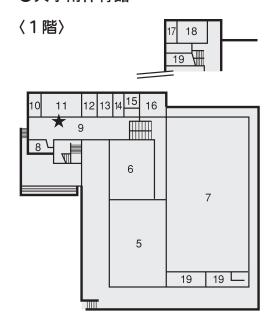


●大学北体育館

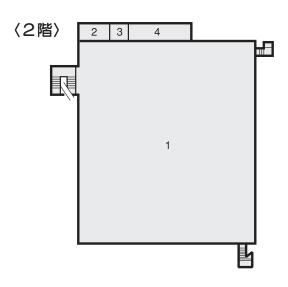


- 1 大フロアー
- 2 男子ロッカールーム
- 3 男子シャワールーム
- 4 男子トイレ
- 5 救護室
- 6 管理室
- 7 玄関・ホール
- 8 身障者用トイレ
- 9 女子トイレ
- 10 女子ロッカールーム
- 11 女子シャワールーム
- 12 機械室
- 13 放送室
- 14 教材用倉庫
- 15 厚生用倉庫
- 16 トレーニング室
- ★ AED (自動体外式除細動器) 設置

●大学南体育館



- 1 2階大フロアー
- 2 女子更衣室
- 3 シャワー室・トイレ
- 4 教材・厚生倉庫 5 卓球室
- 6 講義室
- 7 テニスフロアー
- 8 玄関
- 9 ホール
- 10 救護室
- 11 体育教員室
- 12 研究室
- 13 研究室
- 14 シャワー室
- 15 男子トイレ
- 16 女子トイレ
- 17 シャワー室
- 18 男子更衣室
- 19 倉庫
- ★ AED (自動体外式除細動器) 設置



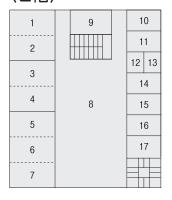
●学生会館

〈1階〉



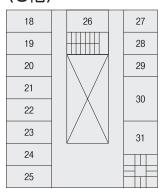
★ AED(自動体外式除細動器)設置

〈2階〉



- 宿泊室(21) 1 (22)2 "
- 12 湯沸室 3 (23)13 洗濯室 " 14 洗面所
- 4 (24)" 5
- (25)6 (26)
- 7 (27)
- 8 吹抜ホール
- 9 機械室
- 10 倉庫

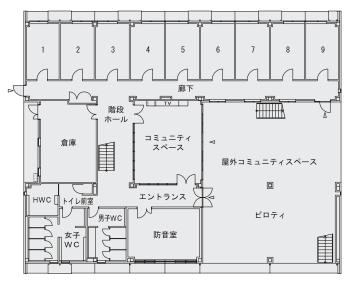
〈3階〉



- 18 教職員用宿泊室(31)
- 19 (32)"
- 20 " (33)
- 21 宿泊室(34)
- 22 (35)"
- 23 " (36)
- 24 (37)
- 25 (38)
- 26 倉庫
- 27 湯沸室
- 28 洗面所
- 29 女子トイレ
- 30 会議室
- 31 屋上庭園

●クラブハウス

〈1階〉



- 1 バスケットボール部
- 2
- 3 風まかせの唄
- 4 茶道部
- 5 ICメディア編集部
- 6 極真空手部
- 7 バドミントン部
- 8 軟式野球部
- 9 バレーボール部

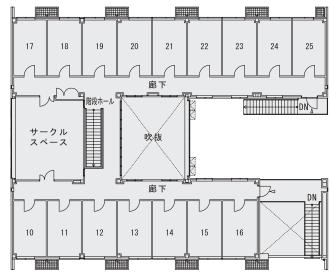
〈2階〉

11 女子トイレ

15 脱衣室

17 浴室

16 シャワー室



- 10 美術部
- 11 エレキテル B.B.F.
- 12 写真部
- 13 軽音楽部
- 14 rongorongo
- 15 学園祭実行委員会
- 16 学生自治会
- 17 吹奏楽団 18 硬式テニス部
- 19 Futsal 部
- 20 シネマ研究会
- 21 児童文化研究会
- 22 ソフトテニス部
- 23 華道部
- 24 合唱団
- 25 クラブ連合委員会

<< 台風・暴風雨の接近等に伴う対応指針 >>

茨城キリスト教大学教務委員会

- (1) 常磐線が台風・暴風雨等の理由によって大甕駅を含む区間において運行停止となった場合の授業実施については、次の通りとする。
 - イ) 当日6時の段階で運行停止となっている場合、1・2時限の授業を休講とする。
 - ロ) 当日9時の段階で運行停止となっている場合、3時限以降の授業も休講とする。 なお、大甕駅を含む区間が計画運休となった場合には、(1) の指針にかかわらずイ) またはロ) の休 誰を指示することがある。
- (2) 茨城県北部 (県央地域・県北地域) に「特別警報」「暴風警報」等が発令された場合の授業実施については、次の通りとする。
 - イ) 当日6時の段階で警報が発令中の場合、1・2時限を休講とする。
 - 口) 当日6時を過ぎ8時40分までの間に警報が発令された場合(発令中を含む)、1・2時限を休講とする。
 - ハ) 当日9時を過ぎても警報が解除されない場合、3時限以降の授業も休講とする。
 - 二) 授業実施中、茨城県地方に「暴風警報」等が発令された場合は、速やかに全ての授業等(サークル 活動等を含む)を終了し帰宅することとする。
- (3) 定期試験実施日における取扱も上記の通りとする。
- (4) 上記の措置で休講となった授業・試験については、別途日程を調整のうえ代替の授業・試験を実施する。
- (5) その他、緊急の場合には学長の判断による。
- (6) 上記理由により授業が休講となる場合は、大学ホームページ上でその旨掲示する。ただしネットワーク障害、停電等生じた場合は掲示できないことがある。
- (7) 上記理由により授業が休講となる可能性が極めて高いと判断される場合は、大学ホームページ上の掲示に注意するよう、喚起することがある。
- (8) 学外実習等に関しては、別途指示が出される場合がある。

以上

<< 地震発生時の対処法 >>

【地震発生時】

- ①まず自分自身の身を守ってください。
- ②冷静に対処しましょう。
- ③揺れが沈静化するまでその場で待機してください。
- ④衣類や持ち物で頭を覆い、落下物から身を守ってください。
- ⑤窓際から離れ、机の下などにもぐり、身を守ってください。
- ⑥ドア付近の学生はドアを開放して、出口を確保してください。
- ⑦窓ガラスの飛散を防ぐため、カーテン・ブラインドを閉めてください。

【地震沈静後】

- ①(屋外退避の避難指示放送)の有無→放送なしの場合、授業を再開します。
- ②放送ありの場合、指示に従って指定避難場所へ移動します。
- ③余震に十分気をつけましょう。
- ④出口に殺到しないでください。

(「前半分は前のドアから、後ろ半分は後ろのドアから出てください」等)

- ⑤障害者や負傷者の避難をサポートしてください。
- ⑥上下階への移動は階段を使用してください。移動の際は姿勢を 低く保ちましょう。エレベータを使用してはいけません。
- ⑦全員の退出を確認するのでグループから離れないでください。

【避難場所への移動】

- ①指定の避難場所へ避難しましょう。
- ②衣類や持ち物で頭を覆い、落下物から身を守ってください。
- ③窓ガラスや外壁等の落下物に注意してください。
- ④地面の亀裂や陥没、隆起に注意してください。
- ⑤避難場所では教職員の指示に従ってください。

<< 原子力災害発生時の対処方法 >>

- 1 建物 (できればコンクリート 製) に入り、ドアを閉めてく ださい。
- 2 窓を閉めてください。
- 3 エアコン・換気扇を止めてく ださい。
- 4 カーテンを開けてください。

一般注意事項

(1) 授業時間

月~土曜日

時限	第1時限	第2時限	昼休み	第3時限	第4時限	第5時限	第6時限
時間	8:40~	10:20~	11 : 50∼	12:40~	14:20~	16 : 00∼	17:40~
	10:10	11:50	12 : 40	14:10	15:50	17 : 30	19:10

○チャペルは、火曜日、水曜日、木曜日の12:00~12:30に実施。

(2) 休講・補講

授業担当者が公務等で授業ができない場合、そのつど「IC-UNIPA」に掲示する。始業時より30分以上経過しても何らの通知もない場合は学務部に問い合わせること。

また、休講等により授業が実施されなかった場合には補講を実施する。日程が決まり次第「IC-UNIPA」に掲示する。

休講・補講情報は、「IC-UNIPA」から確認できます。

大学公式サイト : https://www.icc.ac.jp/

携帯電話用ポータルサイト: http://up.icc.ac.jp/



(3) 事務取扱案内

平 日 午前8時45分~午後4時45分

土曜日 午前8時45分~午前11時50分 ただし、平日の午後0時から午後2時は、職員が交代で業務を取り扱うため、 通常の対応ができない場合がある。

(注)日曜日、祝日、その他大学が定める休業日には事務取扱はしない。なお休業期間その他特別な場合については、そのつど掲示により伝達する。

